仙台市文化財調査報告書第456集

元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅵ－

〔第２分冊〕

２０１７年３月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第456集　元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか　〔第2分冊〕　二〇一七年三月　仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第456集

元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅵ－

〔第２分冊〕

２０１７年３月

仙 台 市 教 育 委 員 会

本 文 目 次

第２分冊

第２章

第４節　伊古田遺跡 …… 1
1．調査要項 …… 1
2．4A 区の調査　(1) Ⅳ層検出の遺構と遺物 …… 1　(2) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 2
(3) 遺構外出土の遺物 …… 4
3．5A1 区の調査　(1) Ⅳa2 層検出の遺構と遺物 …… 4　(2) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 4
(3) 遺構外出土の遺物 …… 4
4．5A2 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 5　(2) 遺構外出土の遺物 …… 5
5．5A3 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 5
6．5B 区の調査　(1) Ⅲ層検出の遺構と遺物 …… 5　(2) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 6
(3) 遺構外出土の遺物 …… 7
7．6 区の調査 …… 7
8．ま と め …… 62
写真図版 …… 67
第５節　大野田古墳群 …… 84
1．調査要項 …… 84
2．15A 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 84　(2) 遺構外出土の遺物 …… 85
3．15B 区の調査　(1) Ⅲ層検出の遺構と遺物 …… 85
4．15C 区の調査　(1) Ⅳ層検出の遺構と遺物 …… 86　(2) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 86
5．15D 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 86
6．16A1 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 86　(2) 遺構外出土の遺物 …… 87
7．16A1 西区の調査　(1) Ⅳｂ層検出の遺構と遺物 …… 87　(2) Ⅶ層検出の遺構と遺物 …… 87
8．16A2 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 87
9．16A3 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 87
10．16B 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 87　(2) 遺構外出土の遺物 …… 88
11．16C 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 88　(2) 遺構外出土の遺物 …… 88
12．16D 区の調査　(1) Ⅲ層検出の遺構と遺物 …… 88　(2) Ⅳ層検出の遺構と遺物 …… 89
(3) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 89
13．16E 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 89
14．17A 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 89
(2) 仮Ｃ層（縄文時代の遺構確認面）検出の遺構と遺物 …… 89
(3) 遺構外出土の遺物 …… 90
15．17B 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 90　(2) Ⅷc 層検出の遺構と遺物 …… 90
(3) 遺構外出土の遺物 …… 90
16．ま と め …… 150
写真図版 …… 157
第６節　袋前遺跡 …… 174
1．調査要項 …… 174
2．6 区の調査　(1) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 174
3．ま と め …… 174

第７節　伊古田Ｂ遺跡 …… 176
1．調査要項 …… 176
2．５区の調査　(1) Ⅳa 層検出の遺構と遺物 ……176　(2) Ⅳb 層検出の遺構と遺物 …… 176
(3) Ⅴ層検出の遺構と遺物 …… 176
3．ま と め …… 179
写真図版 …… 181

第３章　総　括 …… 184
第１節　富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡の調査成果 …… 184
1．縄文時代 …… 184
2．弥生時代 …… 184
3．古墳時代 …… 184
4．古　　代 …… 185
5．中　　世 …… 186
6．近　　世 …… 186
第２節　小溝状遺構群と性格不明遺構について …… 186
第３節　木棺墓出土の管玉・ガラス小玉について …… 187
1．管玉について …… 187
2．ガラス小玉について　(1) 観察方法……188　(2) 観察結果…… 188
(3) まとめ …… 189

引用参考文献
報告書抄録

挿 図 目 次

第２分冊
第２章
第４節
第１図　伊古田遺跡 4A1 Ⅳ層遺構配置図 ……8
第２図　SD7 溝跡平面図・断面図
SD1 出土遺物 ……9
第３図　伊古田遺跡 4A1 Ⅴ層
遺構配置図 ……10
第４図　伊古田遺跡 4A1 深掘りⅨ層
遺構配置図 ……11
第５図　伊古田遺跡 4A2 Ⅴ層
遺構配置図 ……12
第６図　伊古田遺跡 4A2 下層
遺構配置図 ……13
第７図　SI35 竪穴住居跡平面図・断面図 ……14
第８図　SI36 竪穴住居跡平面図・断面図 ……14
第９図　SI86 竪穴建物跡平面図・断面図 ……15
第 10 図　SI86 竪穴建物跡出土遺物 ……15
第 11 図　SI108（a 期）竪穴建物跡平面図・
断面図 ……16
第 12 図　SI108（b 期）竪穴建物跡平面図・
断面図 ……17
第 13 図　SI109 竪穴建物跡平面図・断面図 ……18
第 14 図　SI110 竪穴建物跡平面図・断面図 ……19
第 15 図　SI110 竪穴建物跡出土遺物 ……19
第 16 図　SI111（a 期）竪穴建物跡平面図・
断面図 ……20
第 17 図　SI111（b 期）竪穴建物跡平面図・
断面図 ……21
第 18 図　SI111（b 期）竪穴建物跡出土遺物 ……21
第 19 図　SI111（c 期）竪穴建物跡平面図・
断面図 ……22
第 20 図　SI111（c 期）竪穴建物跡出土遺物 ……22
第 21 図　SI158 竪穴建物跡平面図・断面図 ……23
第 22 図　SI159 竪穴住居跡平面図・断面図 ……24
第 23 図　SI159 竪穴住居跡出土遺物 ……25

第 24 図　SB160 掘立柱建物跡平面図・断面図‥26
第 25 図　SB205 掘立柱建物跡平面図・断面図‥27
第 26 図　SK 土坑平面図・断面図‥‥‥‥‥‥‥28
第 27 図　SK153 土坑出土遺物‥‥‥‥‥‥‥‥‥28
第 28 図　SR213 河川跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥‥29
第 29 図　SR213 河川跡出土遺物‥‥‥‥‥‥‥29
第 30 図　SD39・139 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥30
第 31 図　溝跡出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥30
第 32 図　Ⅳ層出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥30
第 33 図　伊古田遺跡 5A1 区Ⅳ a2 層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥31
第 34 図　SI32 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥‥32
第 35 図　SI32 竪穴住居跡出土遺物（1）‥‥‥‥32
第 36 図　SI32 竪穴住居跡出土遺物（2）‥‥‥‥33
第 37 図　SR19 河川跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥‥33
第 38 図　Ⅳ a2 層遺構外出土遺物 ‥‥‥‥‥‥33
第 39 図　伊古田遺跡 5A1 区Ⅴ層遺構配置図 ‥‥34
第 40 図　SB60 掘立柱建物跡平面図・断面図‥‥35
第 41 図　SD46 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥35
第 42 図　伊古田遺跡 5A2 区Ⅴ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥37・38
第 43 図　SI92 竪穴住居跡平面図・
断面図（1）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥39
第 44 図　SI92 竪穴住居跡断面図（2）‥‥‥‥‥40
第 45 図　SI92 竪穴住居跡出土遺物‥‥‥‥‥‥40
第 46 図　SB43 掘立柱建物跡平面図・断面図‥‥41
第 47 図　土坑平面図・断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥41
第 48 図　溝跡断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥42
第 49 図　溝跡出土遺物（1）‥‥‥‥‥‥‥‥‥42
第 50 図　溝跡出土遺物（2）‥‥‥‥‥‥‥‥‥43
第 51 図　P285 ピット　Ⅴ層出土遺物‥‥‥‥‥43
第 52 図　伊古田遺跡 5A3 区Ⅴ層遺構配置図 ‥‥44
第 53 図　伊古田遺跡 5B 区Ⅲ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥45・46
第 54 図　SK16・78 土坑平面図・断面図‥‥‥‥47
第 55 図　土坑出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥47
第 56 図　SX24・25 性格不明遺構平面図・
断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥47
第 57 図　溝跡断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥47
第 58 図　溝跡出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥48
第 59 図　伊古田遺跡 5B 区Ⅴ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥49・50
第 60 図　SI52 竪穴遺構平面図・断面図‥‥‥‥51
第 61 図　SI52 竪穴遺構出土遺物‥‥‥‥‥‥‥51
第 62 図　SI53 竪穴遺構平面図・断面図‥‥‥‥51
第 63 図　SI60 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥‥52
第 64 図　SI60 竪穴住居跡出土遺物‥‥‥‥‥‥53
第 65 図　SI61 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥‥53
第 66 図　SI79 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥‥54
第 67 図　SI79 竪穴住居跡出土遺物‥‥‥‥‥‥54
第 68 図　SI83 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥‥55
第 69 図　SI102 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥55
第 70 図　SI234 竪穴住居跡平面図・断面図‥‥56
第 71 図　SI234 竪穴住居跡出土遺物‥‥‥‥‥56
第 72 図　土坑平面図・断面図（1）‥‥‥‥‥‥57
第 73 図　土坑平面図・断面図（2）‥‥‥‥‥‥58
第 74 図　SK68 土坑出土遺物‥‥‥‥‥‥‥‥‥58
第 75 図　SX80 性格不明遺構平面図・断面図‥‥59
第 76 図　溝跡断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥59
第 77 図　SD228 溝跡出土遺物‥‥‥‥‥‥‥‥59
第 78 図　遺構外出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥60
第 79 図　伊古田遺跡 6 区遺構配置図 ‥‥‥‥‥61
第 5 節
第 1 図　大野田古墳群 15A 区Ⅴ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥91
第 2 図　SB10 掘立柱建物跡
SD18・77・94 溝跡平面図‥‥‥‥‥‥‥‥92
第 3 図　SB10 掘立柱建物跡
SD18・77・94 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥93
第 4 図　SB82 掘立柱建物跡平面図・断面図‥‥94
第 5 図　SB89 掘立柱建物跡平面図・断面図‥‥95
第 6 図　SB133 掘立柱建物跡
SD36・117 ・140 溝跡平面図 ‥‥‥‥‥‥96
第 7 図　SB133 掘立柱建物跡
SD177 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥97
第 8 図　土坑平面図・断面図 ‥‥‥‥‥‥‥‥98
第 9 図　土坑出土遺物（1）‥‥‥‥‥‥‥‥‥98
第 10 図　土坑出土遺物（2）‥‥‥‥‥‥‥‥‥99
第 11 図　SX126 性格不明遺構平面図・断面図
SD119・125・132 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥99
第 12 図　Ⅳ層遺構外出土遺物 ‥‥‥‥‥‥‥100
第 13 図　大野田古墳群 15B 区Ⅲ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥101
第 14 図　SD1 ～ 3 溝跡断面図‥‥‥‥‥‥‥‥101
第 15 図　大野田古墳群 15C1 区Ⅴ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥102
第 16 図　大野田古墳群 15C2 区Ⅳ層
遺構配置図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥103

第 17 図　大野田古墳群 15C2 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
第 18 図　SD30 溝跡断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・105
第 19 図　大野田古墳群 15D 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
第 20 図　38 号墳周溝平面図・断面図・・・・・・・・107
第 21 図　38 号墳周溝出土遺物・・・・・・・・・・・・・・107
第 22 図　大野田古墳群 16A1 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・108
第 23 図　大野田古墳群 16A1 西区Ⅳｂ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
第 24 図　大野田古墳群 16A1 西区Ⅶ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
第 25 図　33 号墳周溝平面図・出土遺物・・・・・・111
第 26 図　SD16 溝跡出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・112
第 27 図　P92 ピット出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・112
第 28 図　Ⅳ層遺構外出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・112
第 29 図　大野田古墳群 16A2 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
第 30 図　SD26 溝跡出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・114
第 31 図　大野田古墳群 16A3 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・115・116
第 32 図　土坑平面図・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・117
第 33 図　大野田古墳群 16B1 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118
第 34 図　大野田古墳群 16B2 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
第 35 図　SI64 竪穴住居跡平面図・断面図・・・・120
第 36 図　SI64 竪穴住居跡出土遺物・・・・・・・・・・120
第 37 図　SD1 溝跡断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・121
第 38 図　Ⅳ層遺構外出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・121
第 39 図　大野田古墳群 16C1 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
第 40 図　大野田古墳群 16C2 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123
第 41 図　1 号墳周溝平面図・断面図・・・・・・・・・124
第 42 図　1 号墳周溝出土遺物 (1)・・・・・・・・・・・125
第 43 図　1 号墳周溝出土遺物 (2)・・・・・・・・・・・126
第 44 図　2 号墳周溝平面図・断面図・・・・・・・・・127
第 45 図　2 号墳周溝出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・127
第 46 図　30 号墳周溝平面図・断面図・・・・・・・・128
第 47 図　Ⅲ層遺構外出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・128
第 48 図　大野田古墳群 16D 区Ⅲ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129
第 49 図　SB23 掘立柱建物跡平面図・
断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131・132
第 50 図　SK1 土坑平面図・断面図・・・・・・・・・・・133
第 51 図　SD5 溝跡断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
第 52 図　大野田古墳群 16D 区Ⅳ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134
第 53 図　SD12 ～ 15 溝跡断面図・・・・・・・・・・・・・135
第 54 図　大野田古墳群 16D 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・136
第 55 図　大野田古墳群 16E 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・137
第 56 図　大野田古墳群 17A 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138
第 57 図　SI1 竪穴住居跡平面図・断面図・・・・・139
第 58 図　SI35 竪穴住居跡平面図・断面図・・・・140
第 59 図　SI35 竪穴住居跡出土遺物・・・・・・・・・・140
第 60 図　SI42 竪穴住居跡平面図・断面図・・・・141
第 61 図　SD20 溝跡断面図・出土遺物・・・・・・・・141
第 62 図　大野田古墳群 17A 区仮Ｃ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・142
第 63 図　SI41 竪穴住居跡平面図・断面図・・・・143
第 64 図　Ⅰ層遺構外出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・143
第 65 図　SK43 土坑平面図・断面図・・・・・・・・・・144
第 66 図　大野田古墳群 17B 区Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145
第 67 図　土坑平面図・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・146
第 68 図　SD14 溝跡出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・146
第 69 図　大野田古墳群 17B 区Ⅷｃ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・147
第 70 図　SX29 性格不明遺構平面図・断面図・・148
第 71 図　SX29 性格不明遺構出土遺物・・・・・・・・148
第 72 図　SK30 土坑出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・149
第 73 図　Ⅷｄ層遺構外出土遺物 ・・・・・・・・・・・・149
第 74 図　大野田古墳群出土の文字資料 (1) ・・151
第 75 図　大野田古墳群出土の文字資料 (2) ・・151
第 76 図　古代の文字関連資料が
出土した遺跡と地区 ・・・・・・・・・・・・・・153
第 6 節
第 1 図　袋前遺跡 6 区Ⅴ層遺構配置図 ・・・・・・175
第 7 節
第 1 図　伊古田 B 遺跡 5 区Ⅳａ～Ⅴ層
遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・177・178
第 2 図　SD2 溝跡断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・179

第３章
第２節
第１図　性格不明遺構の分布模式図 ・・・・・・・・187
第３節
第２図　ガラス小玉の製作技法
（倍率不同）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・188
第３図　ガラス小玉の製作技法別の
形状分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・189

表　目　次

第２分冊
第２章
第４節
第１表　遺構一覧表（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
第２表　遺構一覧表（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
第３表　遺構一覧表（3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
第５節
第１表　遺構一覧表（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・154
第２表　遺構一覧表（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
第３表　遺構一覧表（3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・156
第６節
第１表　遺構一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・174
第７節
第１表　遺構一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179
第３章
第１表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係
遺跡報告書別調査成果一覧（1）・・・・190
第２表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係
遺跡報告書別調査成果一覧（2）・・・・191
第３表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係
遺跡報告書別調査成果一覧（3）・・・・192
第４表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係
遺跡報告書別調査成果一覧（4）・・・・193
第５表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係
遺跡報告書別調査成果一覧（5）・・・・194

写真図版目次

第２分冊
第２章
第４節
写真図版1　伊古田遺跡（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・69
写真図版2　伊古田遺跡（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・70
写真図版3　伊古田遺跡（3）・・・・・・・・・・・・・・・・・71
写真図版4　伊古田遺跡（4）・・・・・・・・・・・・・・・・・72
写真図版5　伊古田遺跡（5）・・・・・・・・・・・・・・・・・73
写真図版6　伊古田遺跡（6）・・・・・・・・・・・・・・・・・74
写真図版7　伊古田遺跡（7）・・・・・・・・・・・・・・・・・75
写真図版8　伊古田遺跡（8）・・・・・・・・・・・・・・・・・76
写真図版9　伊古田遺跡（9）・・・・・・・・・・・・・・・・・77
写真図版10　伊古田遺跡出土遺物（1）・・・・・・・・・78
写真図版11　伊古田遺跡出土遺物（2）・・・・・・・・・79
写真図版12　伊古田遺跡出土遺物（3）・・・・・・・・・80
写真図版13　伊古田遺跡出土遺物（4）・・・・・・・・・81
写真図版14　伊古田遺跡出土遺物（5）・・・・・・・・・82
写真図版15　伊古田遺跡出土遺物（6）・・・・・・・・・83
第５節
写真図版1　大野田古墳群（1）・・・・・・・・・・・・・・159
写真図版2　大野田古墳群（2）・・・・・・・・・・・・・・160
写真図版3　大野田古墳群（3）・・・・・・・・・・・・・・161
写真図版4　大野田古墳群（4）・・・・・・・・・・・・・・162
写真図版5　大野田古墳群（5）・・・・・・・・・・・・・・163
写真図版6　大野田古墳群（6）・・・・・・・・・・・・・・164
写真図版7　大野田古墳群（7）・・・・・・・・・・・・・・165
写真図版8　大野田古墳群（8）・・・・・・・・・・・・・・166
写真図版9　大野田古墳群（9）・・・・・・・・・・・・・・167
写真図版10　大野田古墳群（10）・・・・・・・・・・・・・168
写真図版11　大野田古墳群出土遺物（1）・・・・・・169
写真図版12　大野田古墳群出土遺物（2）・・・・・・170
写真図版13　大野田古墳群出土遺物（3）・・・・・・171
写真図版14　大野田古墳群出土遺物（4）・・・・・・172
写真図版15　大野田古墳群出土遺物（5）・・・・・・173
第７節
写真図版1　伊古田Ｂ遺跡 ・・・・・・・・・・・・・・・・・183

第４節　伊古田遺跡

1．調査要項

(1) 遺 跡 名：伊古田遺跡（宮城県遺跡登録番号 01191）
(2) 所 在 地：仙台市太白区大野田字千刈田・塚田
(3) 調査面積：約 3,145 ㎡
　・平成 22 年度：約 1,109 ㎡（4A1・4A2 区）
　・平成 23 年度：約 2,975 ㎡（4A2・5A1・5A2・5A3・5B 区）
　・平成 24 年度：約 170 ㎡（6 区）
(4) 調査主体：仙台市教育委員会
(5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
(6) 担当職員
　・平成 22 年度：平間亮輔・川本剛史
　　（派遣調査員：蝦名　純／㈱三協技術）
　・平成 23 年度：平間亮輔・及川謙作・川本剛史
　　（派遣調査員：蝦名　純／国際文化財㈱）
　・平成 24 年度：平間亮輔
(7) 調査期間
（野外調査）・平成 22 年度：平成 22 年 11 月 8 日～平成 23 年 3 月 11 日
　・平成 23 年度：平成 23 年 5 月 19 日～平成 24 年 1 月 17 日
　・平成 24 年度：平成 24 年 7 月 17 日～ 8 月 23 日

2．4A 区の調査

調査区は、平成22年度に調査を行った北側の1区と、平成22・23年度に行った南側の2区に分かれる。

1区では、基本層Ⅳ層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡7条、小溝状遺構群3群27条を検出した。Ⅴ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）では、竪穴住居跡2軒、土坑2基、溝跡1条、小溝状遺構46条、ピット78基を検出した。

2区では、Ⅴ層上面において、竪穴住居跡1軒、竪穴建物跡6棟、掘立柱建物跡2棟、土坑14基、河川跡1条、性格不明遺構1基、溝跡16条、小溝状遺構群3群84条、ピット174基を検出した。

4A1区及び2区で下層の調査を行ったが（第4・6図）遺構は検出されなかった。

（１）Ⅳ層検出の遺構と遺物（第１・２図、写真図版１・10）

SD1溝跡（第1・2図、写真図版1・10）

1区南西側W160・S120～130グリッドで検出した東西方向の溝跡である。西側と南側は調査区外へ延びる。SD7溝跡と重複し本溝跡が新しい。平面形は不整形を呈し、検出長は9.8m、溝幅は2m以上あり、深さは11～70cmを測る。底面は起伏があり、西側が深くなる。

堆積土中から在地産の中世陶器擂鉢が2点出土し、中世の遺構の可能性がある。

SD7溝跡（第2図、写真図版1）

1区中央南西側W160～170・S100～120グリッドで検出したL字状を呈する溝跡である。SD1溝跡、小溝状遺構群と重複し、SD1溝跡より古く、小溝状遺構群Ⅱ・Ⅲ群より新しい。検出長は東西11.2m、南北18.6mを測るが途中4m程途切れる。断面観察ではⅣ層上面から掘り込まれていることが判明した。溝幅は65～110cm、Ⅳ層上面からの深さは40cmを測る。方向は東西方向がN-66°-W、南北方向N-23°-Eである。断面形はU字形を呈し、堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

本溝跡に伴うと考えられる遺物は出土していないが、検出層位などから中世以降に下る可能性がある。

（２）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第３・５・７～31図、写真図版１～５・10・14）

1区 SI35竪穴住居跡（第7図、写真図版1）

［位置］調査区南東隅W150～170・S120グリッドで検出した。

［重複関係］ピット群と重複し本住居跡が古い。本地区の南側には伊古田4A2区が隣接し、東端でSD139溝跡を検出した。本調査区では検出されなかったが、本住居跡の内側に隣接あるいは重複して延びていたものと考えられる。

［規模・形態］一部のみの検出であるが方形を呈すると考えられる。本住居跡は、本地区の南側に隣接する伊古田4A2区側に広がっているものと推測されるが、同箇所にはSD139溝跡があり、重複して壊されている可能性がある。

［主軸方向］N-55°　-E

［堆積土］堆積土は７層に分けられ、掘り方は認められない。

［壁面］やや外傾して立ち上がる。壁高は最大25cmを測る。

［柱穴］検出されなかった。

［床面］掘り込んだ面をそのまま床面としている。

［炉跡］焼土範囲が認められた。炉跡の可能性がある。

［周溝］北東側床面残存部分で検出した。

［出土遺物］掲載遺物なし。炉跡の可能性がある焼土範囲を検出したことや、4A2区SD139溝跡から古墳時代前期の可能性がある甕片が出土したことから、時期は古墳時代前期の可能性がある。

１区 SI36竪穴住居跡（第８図、写真図版１）

［位置］調査区中央南西側W170・S110グリッドに位置する。伊古田遺跡5A2区で南西側のコーナー部分を検出した。

［重複関係］SK37土坑、小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。

［規模・形態］北東・南西3.76ｍ、北西・南東約4.0ｍを測り、方形を呈すると考えられる。

［主軸方向］N-51°　-E

［堆積土］堆積土は２層に分けられ、掘り方は認められない。

［壁面］床面から垂直ぎみに立ち上がる。壁高は24cmを測る。

［柱穴］検出されなかった。

［周溝］検出されなかった。

［その他の施設］南東側壁際に楕円形を呈する土坑１基を検出した。

［床面］掘り込んだ面をそのまま床面としている。

［カマド・炉跡］検出されなかった。

［出土遺物］掲載できる遺物は出土しなかった。

２区 SI86竪穴建物跡（第９・10図、写真図版１・10）

［位置］調査区南東側W160・S130～140グリッドで検出した。

［重複関係］小溝状遺構群と重複し、小溝状遺構群より新しい。

［規模・形態］南北2.62ｍ、東西2.58ｍを測り、隅丸方形を呈する。

［主軸方向］N-1°　-W

［堆積土］堆積土は５層に分けられ、炉跡南側に６・７層が堆積する。６層は焼土粒を多量に含み、７層は上面に灰、炭化物が認められる。掘り方は認められない。

［壁面］床面から緩やかに外傾して立ち上がる。北側と南側は中央部に段がある。壁高は56cmを測る。

［柱穴］底面でピットを壁柱穴８基を検出した。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り込んだ面をそのまま床面としている。中央部がやや高くなっている。

［炉跡］北西側で焼土面を検出した。炉跡と考えられる。

［出土遺物］縄文時代晩期の壺形土器が出土したが、遺構の時期は中世と考えられる。

２区 SI111（a・b・c期）竪穴建物跡（第16～20図、写真図版４・10）

［位置］調査区中央東側W160～170・S120～130グリッドで検出した。

［重複関係］ SD143 溝跡、小溝状遺構群、SI110 竪穴建物跡と重複し、SD143 溝跡、小溝状遺構群より新しく、SI110 竪穴建物跡より古い。本竪穴建物跡は２度建て替えをしており、新しい方からａ・ｂ・ｃ期とする。
［規模・形態］ａ期は東西 5.1 ｍ、南北 4.7 ｍを測り、、隅丸方形を呈する。ｂ期は東西 4.4 ｍ、南北 4.7 ｍを測り、北西側と北東側の周溝がやや角張るが隅丸方形を呈する。ｃ期は東西 3.8 ｍ、南北 3.1 ｍを測り、、隅丸長方形を呈する。
［主軸方向］ａ期・ｂ期は N-5°　-E である。ｃ期は N-9°　-E である。
［堆積土］ａ期・ｂ期はそれぞれ２層に分けられ２層は周溝堆積土である。ｃ期は、３層に分けられ３層は周溝堆積土である。共に掘り方は認められない。
［壁面］ａ期は、床面から緩やかに外傾して立ち上がる。壁高は 30cm を測る。ｂ・ｃ期はともに壁は残存しない。
［柱穴］ａ期は底面でピット２基を検出した。P1 は柱痕跡を確認した。ｂ期はピット８基を検出した。主柱穴と考えられる。P1・4 は柱痕跡を確認した。ｃ期は炉跡付近にピット１基を検出した。そのほか周溝内にピット状の不整な掘り込みを多数検出した。
［周溝］ａ期は南側中央部と北東側を除き検出した。ｂ期は、北東側、北西側、西側、南側の一部で検出した。ｃ期は、東側で検出し、周溝と床面の間がテラス状になっている。
［床面］それぞれ拡張した面、古い竪穴の堆積土上面、掘り込んだ面をそのまま床面としている。
［炉跡］ｃ期の床面は、中央北東寄りで検出した。
［出土遺物］ｂ・ｃ期堆積土中から中世陶器片がわずかに出土した。時期は中世と考えられる。

２区 SI159 竪穴住居跡（第 22・23 図、写真図版 5・10・14）

［位置］調査区中央南側 W180 ～ 190・S120 ～ 130 グリッドで検出した。南側に隣接する伊古田遺跡 5A2 区の調査より全体を確認した。
［重複関係］小溝状遺構群、ピット群と重複し本住居跡が古い。
［規模・形態］北東・南西 5.8 ｍ、北西・南東約 5.9 ｍを測り、隅丸方形を呈する。
［主軸方向］N-38°　-E
［堆積土・構築土］調査区をまたいだ調査のため全体の整合性は不明である。4A2 区では 12 層に分けられ、1 ～ 11 層はカマドを含む堆積土、12 層は掘り方埋土である。5B 区では８層に分けられ１～６層は堆積土、7・8 層は掘り方埋土である。
［壁面］床面から垂直ぎみに立ち上がる。壁高は 40cm を測る。
［柱穴］床面でピットを 17 基検出した。いずれも柱痕跡は確認されない。
［周溝］カマド周辺を除き全周する。
［床面］掘り方埋土上面を床面としている。
［カマド］北東壁中央で検出した。
［掘り方］平坦である。
［出土遺物］非ロクロ土師器坏・甕、須恵器円面硯・蓋のほか鉄鏃などの鉄製品、土製支脚などが出土した。時期は８世紀後半頃と考えられる。その他に堆積土中から灰釉陶器壺片が出土した。

SB160 掘立柱建物跡（第 24 図、写真図版 5）

２区北側中央 W170 ～ 180・S120 グリッドで検出された。SI108・158 竪穴建物跡、小溝状遺構群Ⅲ群と重複し、SI108・158 竪穴建物跡より古く、小溝状遺構群Ⅲ群より新しい。北東の P10 は 4A1 区Ⅴ層で検出した柱穴で SI36 竪穴住居跡より新しい。桁行３間、梁行２間の側柱建物跡で、主軸方向は N-61°　-W である。桁行の総長は 7.3 ｍ、梁行の総長は東西 4.7 ｍを測る。掘り方は隅丸長方形を呈するものが多く、長辺 80 ～ 110cm、短辺 40 ～ 85cm を測る。深さは 40 ～ 85cm あり、4 隅の柱穴が比較的深く掘り込まれている。いずれの柱穴からも柱痕跡は確認されなかった。遺物の出土は確認されなかった。

SD139 溝跡（第 5・30・31 図、写真図版 5・10）

２区東側 W160 ～ 170・S120 ～ 130 グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅰ～Ⅲ群、ピット群と重複しこれよりも古い。北側の 4A1 区 SI35 竪穴住居跡より新しいと考えられるが直接の関係は不明である。主軸方向は N-53°　-E である。南側の 5B 区 SD48･81 溝跡に連続する遺構と考えられる。検出長は 13.9 ｍ、幅 1.8 ～ 2.2 ｍ、断面形はＶ字状を呈し、

深さは 67cm である。堆積土は３層に分けられ、自然堆積である。遺物は非ロクロの土師器甕が出土した。

SD203 溝跡（第５・31 図、写真図版 10）

２区西側 W180･S110 ～ 120 グリッドで検出した。SB205 掘立柱建物跡、SD204 溝跡、小溝状遺構群Ⅰ・Ⅱ群と重複し、SB205 掘立柱建物跡、小溝状遺構群より新しく SD204 溝跡よりも古い。北側の 5A2 区 SD1 溝跡に連続するものと思われ､南側の 5B 区 SD23 溝跡と連続する可能性もある。主軸方向は N-21°　-E である。検出長は 15.8 m､幅は 0.9 ～ 1.4 mを測る。断面形は皿形を呈し、深さ 32cm である。堆積土は４層に分けられ、自然堆積である。

堆積土中からロクロ土師器坏と須恵器坏が出土した。時期は９世紀前半頃である。土師器坏の外面底部には線刻が認められるものがある。

（３）遺構外出土の遺物（第 32 図、写真図版 10）

Ⅳ層から弥生時代後期の土器、古墳時代前期の器台、古代の須恵器坏が出土した。

3．5A1 区の調査

Ⅳ a2 層上面において、竪穴住居跡１軒、河川跡１条、小溝状遺構群３群 34 条を検出した。Ⅴ層上面において、掘立柱建物跡１棟、溝跡１条、小溝状遺構群２群 21 条、ピット群を検出した。

（１）Ⅳ a2 層検出の遺構と遺物（第 33 ～ 37 図、写真図版５・６・11）

SI32 竪穴住居跡（第 34 ～ 36 図、写真図版５・11）

［位置］調査区南西側 W160・S80 ～ 90 グリッドで検出した。

［重複関係］小溝状遺構群Ⅱ・Ⅲ群と重複し本住居跡が新しい。

［規模・形態］南北 2.85 m、東西 2.57 mを測り、隅丸長方形を呈する。

［主軸方向］N-29°　-E

［堆積土・構築土］17 層に分けられ、１～３層は堆積土、４～ 14 層はカマド堆積土、15・16 層は掘り方埋土、17 層はカマド袖構築土である。

［壁面］床面から外傾して立ち上がる。壁高は 45cm を測る。

［柱穴］床面でピットを３基検出した。いずれも浅い皿状の掘り込みである。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

［カマド］北東壁中央やや東寄りで検出した。燃焼部に被熱範囲が認められない。煙道部は約 90cm 壁外へ伸び、煙出し部は径 40cm､深さ 60cm のピットが掘り込まれ､その上部に底部を打ち欠いた土師器甕を､正位で据えている。ピット上面には甕を据えるため 60 × 95cm の隅丸長方形の掘り方が認められた。

［掘り方］ほぼ平坦に掘り込まれている。

［出土遺物］非ロクロ土師器、坏、ロクロ土師器坏、須恵器蓋、ロクロ土師器甕、刀子などの鉄製品、砥石などの石製品が出土した。時期は８世紀末葉から９世紀初頭頃と考えられる。

（２）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 39 ～ 41 図、写真図版 6）

SB60 掘立柱建物跡（第 40 図、写真図版 6）

調査区北側中央 W150・S80 グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅲ群、SR19 河川跡と重複し、いずれよりも古い。桁行２間以上、梁行２間の側柱建物跡で、主軸方向は N-33°　-E である。桁行の総長は 3.15 m以上、柱間寸法は 1.2 ～ 1.64 mを測る。梁行の総長は 2.78 m、柱間寸法は 1.46 ～ 1.68 mを測る。掘り方は隅丸長方形を呈するものが多く、長辺 40 ～ 62cm、短辺 36 ～ 50cm を測る。深さは 14 ～ 44cm を測り、P1・6 を除き柱痕跡が確認された。遺物の出土は確認されなかった。

（３）遺構外出土の遺物（第 38 図、写真図版 11）

Ⅳ a2 層から土製品の土錘が出土した。

4．5A2 区の調査

Ⅴ層上面において、竪穴住居跡１軒、掘立柱建物跡１棟、土坑７基、溝跡 23 条、小溝状遺構群２群 57 条、ピット 323 基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 42 ～ 51 図、写真図版 6・7・11・12）

SI92 竪穴住居跡（第 43 ～ 45 図、写真図版 6・11）

［位置］調査区中央西寄り W180・S100 グリッドで検出した。

［重複関係］SD41・56・88・93 溝跡、ピット群と重複し、本住居跡が古い。

［規模・形態］北東・南西 8.00 m、北西・南東 7.25 mを測る大形の竪穴で、隅丸方形を呈する。

［主軸方向］N-53°　-E

［堆積土・構築土］11 層に分けられ、1 ～ 10 層は堆積土、11 層は掘り方埋土である。

［壁面］床面から垂直ぎみに立ち上がる。壁高は 40cm を測る。

［柱穴］床面でピットを 24 基検出した。位置などから P21 ～ 24 の 4 基が主柱穴と思われ、P20 も柱痕跡が確認されている。P19 は貯蔵穴の可能性がある。

［周溝］溝跡に削平されている部分があるが、全周するものと考えられる。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

［その他の施設］北東側に SD1 溝跡、南東側に SD2 溝跡を検出した。北東部を区画する間仕切り溝と考えられる。

［炉跡］検出されなかった。溝跡に削平されたものと考えられる。

［掘り方］ほぼ平坦に掘り込まれている。

［出土遺物］床面から口縁部を欠損した土師器甕が出土した。時期は古墳時代前期 4 世紀頃と考えられる。

（２）遺構外出土の遺物（第 51 図、写真図版 12）

Ⅴ層から古墳時代前期の甑と古代の土師器坏が出土した。

5．5A3 区の調査

Ⅴ層上面において、河川跡１条、小溝状遺構３条、ピット 11 基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 52 図、写真図版 7）

東側で南北方向１条、東西方向２条の小溝状遺構を検出した。

6．5B 区の調査

Ⅲ層上面において、土坑 17 基、性格不明遺構２基、溝跡 11 条、ピット群を検出した。Ⅴ層上面において、竪穴住居跡６軒、竪穴遺構２基、土坑 18 基、溝跡９条、小溝状遺構群４群 63 条、ピット群を検出した。

（１）Ⅲ層検出の遺構と遺物（第 53 ～ 58 図、写真図版 7・12・13）

SK16 土坑（第 54・55 図、写真図版 13）

調査区中央北側 W180 ～ 190・S130 グリッドで検出した。SD21 溝跡と重複し本土坑が古い。平面形は隅丸方形を呈すると思われ、南北 122cm を測る。断面形は箱形で堆積土は３層に分けられ自然堆積と思われ、深さは 32cm を測る。

遺物は最下層から赤焼土器坏が出土し、灰釉陶器壺も堆積土中から出土した。赤焼土器坏は小形で 10 世紀後半頃の遺物と考えられる。

SD21・22・23 溝跡（第 53・57・58 図、写真図版 12・13）

いずれも南北方向の溝跡で SD22 溝跡は北側の 4A2 区Ⅴ層検出の SD204 溝跡、5A2 区Ⅴ層検出の SD41 溝跡に連続する溝跡と考えられる。SD23 溝跡は、堆積土の観察から３時期の変遷があるが、4A2 区Ⅴ層検出の SD203 溝跡、5A2 区Ⅴ層検出の SD1 溝跡に連続する溝跡の可能性がある。SD21 溝跡は 4A2 区Ⅴ層検出の SD161 溝跡に連続する溝跡の可能性がある。4A2・5A2 区ではⅢ層は検出されておらず、これらの溝跡は他の地区でもⅢ層から掘り込まれていたと考えられる。この内 SD22 溝跡は調査区中央 W190 ～ 200・S130 ～ 150 グリッドで検出した。SD20 溝跡と重複し、本溝跡が新しい。主軸方向は N-3°　-E である。検出長は 14.85 m、幅は 1.4 ～ 2.15 mを測り、断面形は逆台形を呈し、深さ 60cm である。堆積土は７層に分けられる。

堆積土中から主に 12 世紀後半から 13 世紀中頃の常滑窯産の陶器が出土した。

（２）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 59 ～ 77 図、写真図版 8・9・13・14）

SI52 竪穴遺構（第 60・61 図、写真図版 8・13）

［位置］調査区中央北側 W170 ～ 180・S130 グリッドで検出した。

［重複関係］SI53 竪穴住居跡、ピット群と重複し、SI53 竪穴住居跡より新しく、ピット群より古い。

［規模・形態］南北 2.35 m、東西 2.25 mを測り、隅丸方形を呈する。

［主軸方向］N-37°　-W

［堆積土・構築土］4 層に分けられ、1 ～ 3 層は堆積土、4 層は掘り方埋土である。

［壁面］床面から外傾して立ち上がる。壁高は 11cm を測る。

［柱穴］床面でピットを 2 基検出した。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

［炉跡］検出されなかった。

［掘り方］ほぼ平坦に掘り込まれている。

［出土遺物］土師器甕が出土した。時期は古墳時代前期 4 世紀頃と考えられる。

SI60 竪穴住居跡（第 63・64 図、写真図版 8・14）

［位置］調査区中央東側 W160・S140 グリッドで検出した。

［重複関係］SD45 溝跡、小溝状遺構群、ピット群と重複し、いずれよりも古い。

［規模・形態］南北 4.80 m、東西 4.16 mを測り、隅丸長方形を呈する。

［主軸方向］N-28°　-W

［堆積土・構築土］堆積土は単層で、掘り方はない。

［壁面］床面からやや外傾して立ち上がる。壁高は 19cm を測る。

［柱穴］床面でピットを 5 基検出した。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り込んだ面をそのまま床面とし、ほぼ平坦である。

［炉跡］検出されなかった。

［出土遺物］本住居跡に伴う遺物は確認されなかった。SK1 土坑は本住居跡に伴うものではなく、縄文時代の遺構と考えられ、縄文時代後期の深鉢が出土した。

SI79 竪穴住居跡（第 66・67 図、写真図版 9・13）

［位置］調査区南西側 W210・S160 ～ 1790 グリッドで検出した。南東側は調査区外へ延びる。

［重複関係］小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。

［規模・形態］南北 3.28 m、東西 3.85 m以上で、隅丸長方形を呈する。

［主軸方向］N-36°　-E

［堆積土・構築土］28 層に分けられ、1 ～ 7 層は堆積土、8 ～ 10 層は掘り方埋土、11 ～ 24 層がカマド堆積土、25 ～ 28 層はカマド袖構築土である。

［壁面］床面からほぼ垂直に立ち上がる。壁高は 50cm を測る。

［柱穴］床面でピットを 2 基検出した。いずれも浅い皿状の掘り込みである。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

［カマド］北東壁で検出した。燃焼部は明確な被熱範囲が認められないが、両袖の内面は被熱ている。煙道部は壁外へ 170cm 伸び、煙出し部も被熱している。

［掘り方］ほぼ平坦に掘り込まれている。

［出土遺物］非ロクロ土師器の坏、須恵器坏がカマド周辺から出土した。時期は 8 世紀後半頃と考えられる。

SI234 竪穴住居跡（第 70・71 図、写真図版 9・14）

［位置］調査区東側 W140・S140 グリッドで検出した。

［重複関係］小溝状遺構群、ピット群と重複し、いずれよりも古い。

［規模・形態］東西 3.25 m、南北 2.90 mを測り、隅丸長方形を呈する。

［主軸方向］N-20°　-W

［堆積土・構築土］8 層に分けられ 1 ～ 7 層は堆積土、8 層が掘り方埋土である。

［壁面］床面からやや外傾して立ち上がる。壁高は 30cm を測る。

［柱穴］検出されなかった。

［周溝］検出されなかった。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。

［炉跡］中央北西寄りに位置する。

［掘り方］ほぼ平坦である。

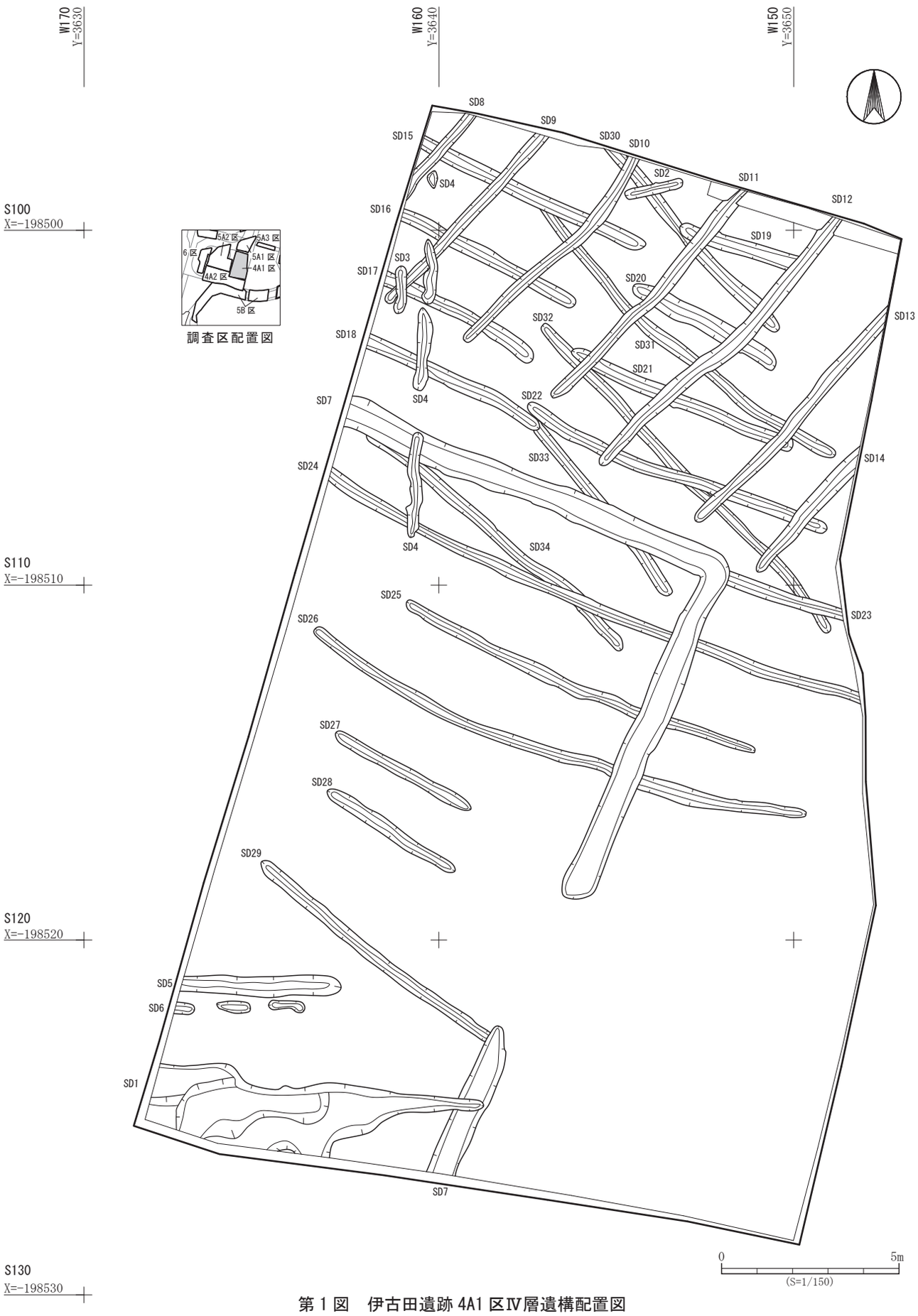
［出土遺物］土師器壺と台付甕が出土した。時期は古墳時代前期 4 世紀代と考えられる。

（３）遺構外出土の遺物（第 78 図、写真図版 15）

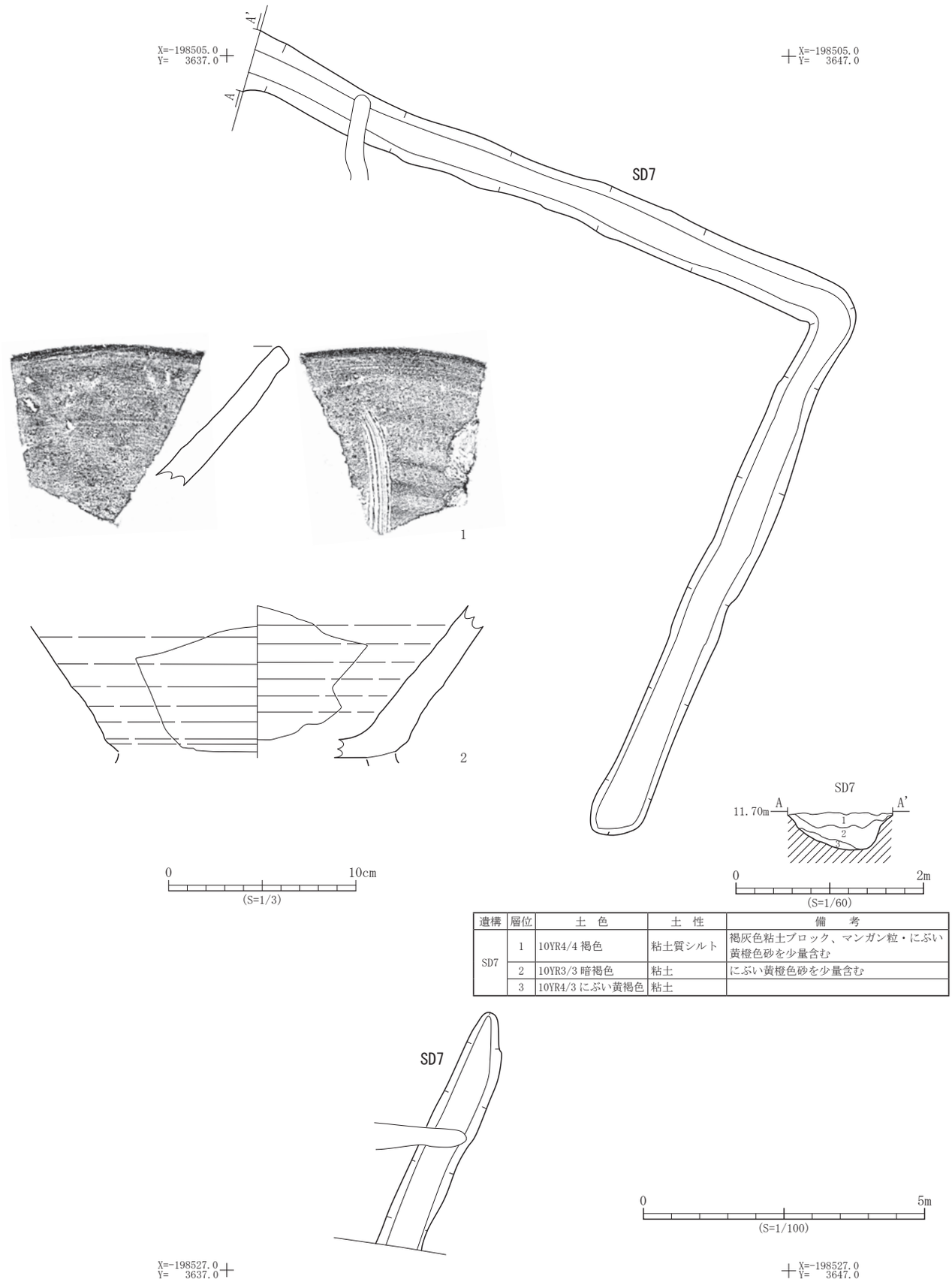
中世と考えられる青磁片や近世の瀬戸・美濃産の陶器、金属製品の鉄鏃などが出土した。

7．６区の調査

調査区の大半は深さ 2 m以上の撹乱を受けており、一部遺存する箇所は河川跡の堆積土であった。このため遺構はないものと判断した（第 79 図）。



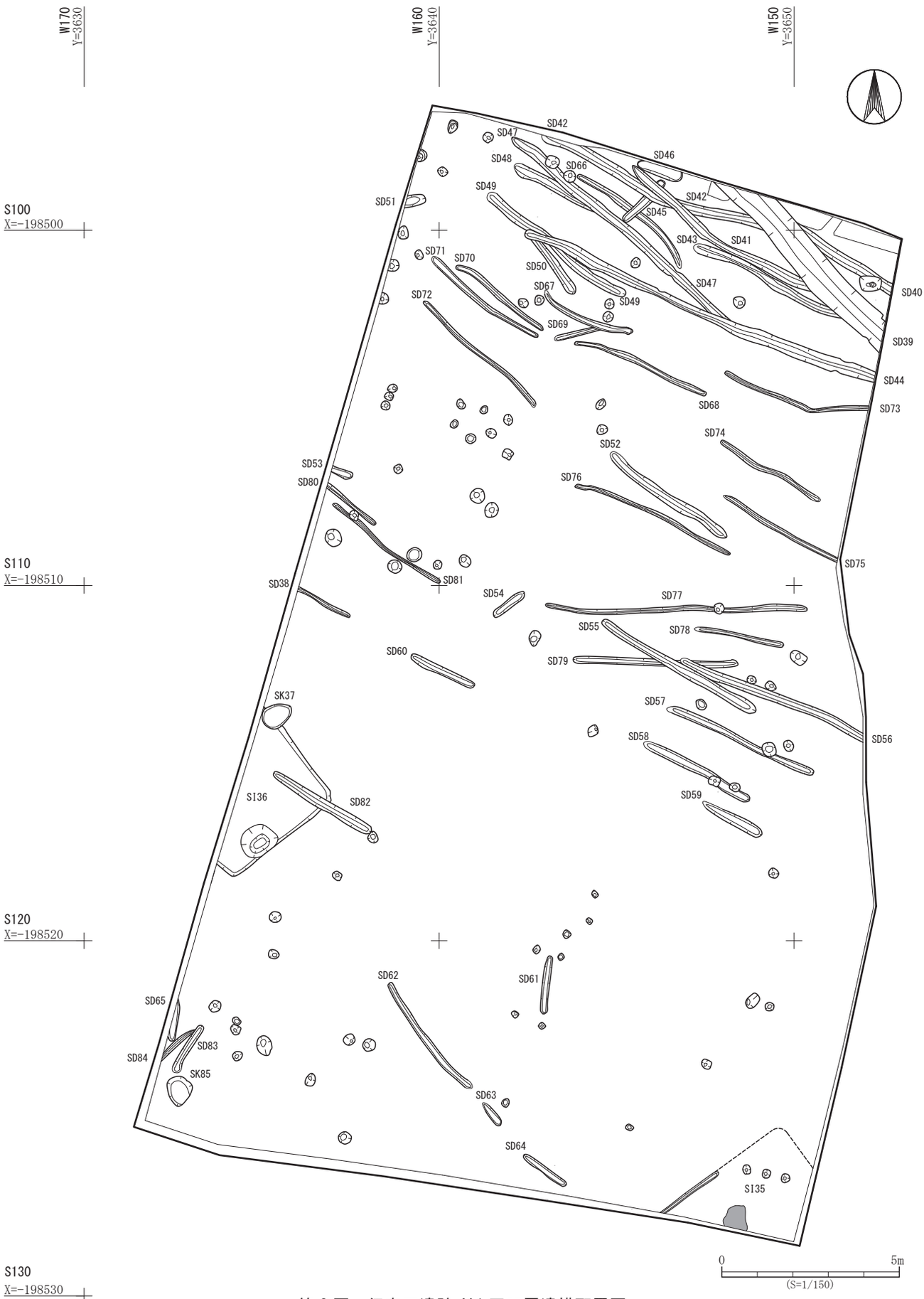
第１図　伊古田遺跡 4A1 区Ⅳ層遺構配置図



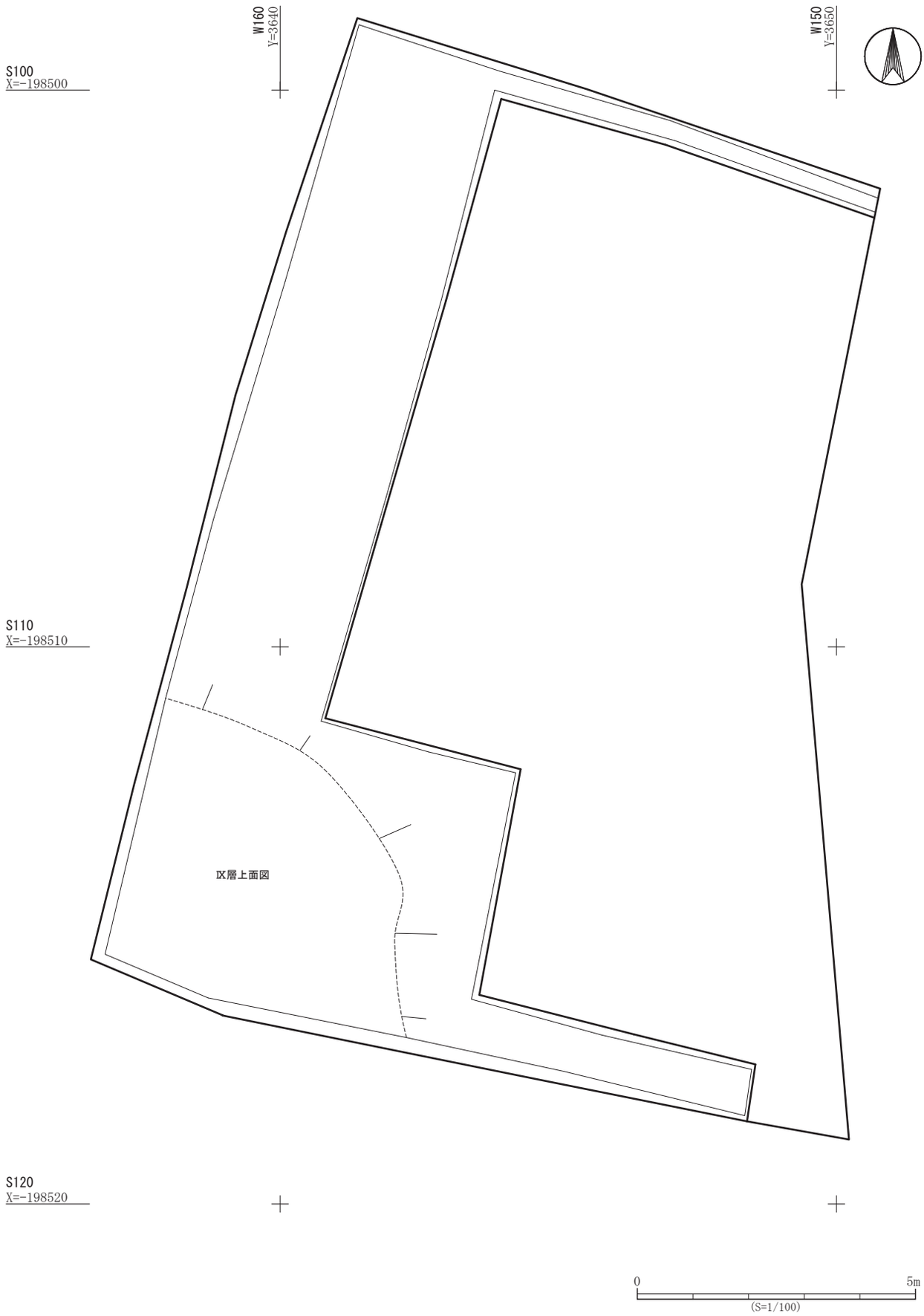
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD7	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	褐灰色粘土ブロック、マンガン粒・にぶい黄橙色砂を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	にぶい黄橙色砂を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
1	I-1	4A1	SD1	－	陶器	擂鉢	－×－×現 7.4	ロクロ　内面－擂目（単位６本）	在地	中世	10－1
2	I-2	4A1	SD1	－	陶器	擂鉢	－×（12.0）×現 8.1	ロクロ　内面－使用による摩滅　高台剥離	在地	中世	10－2

第２図　SD7 溝跡平面図・断面図　SD1 出土遺物

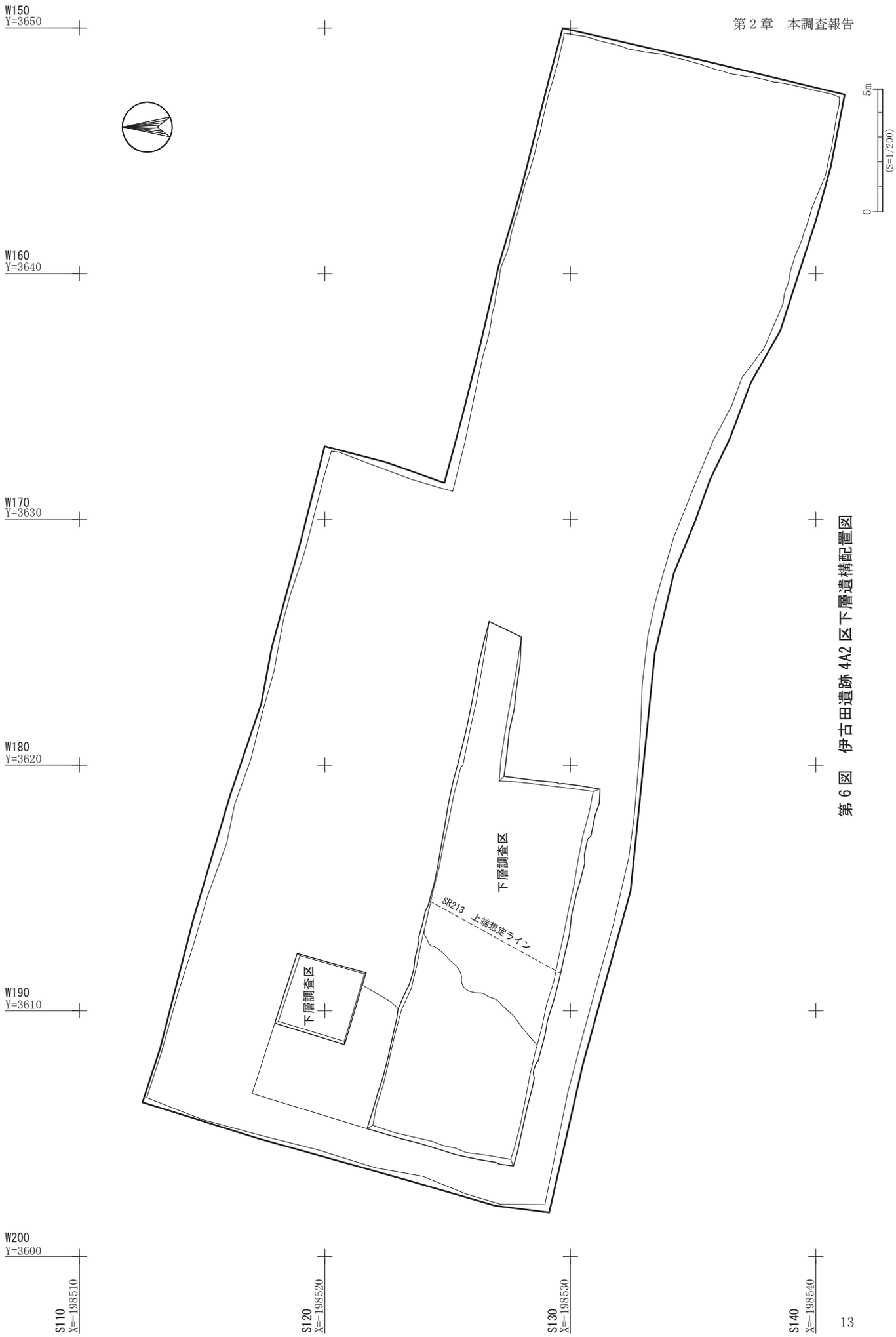


第３図　伊古田遺跡 4A1 区Ⅴ層遺構配置図

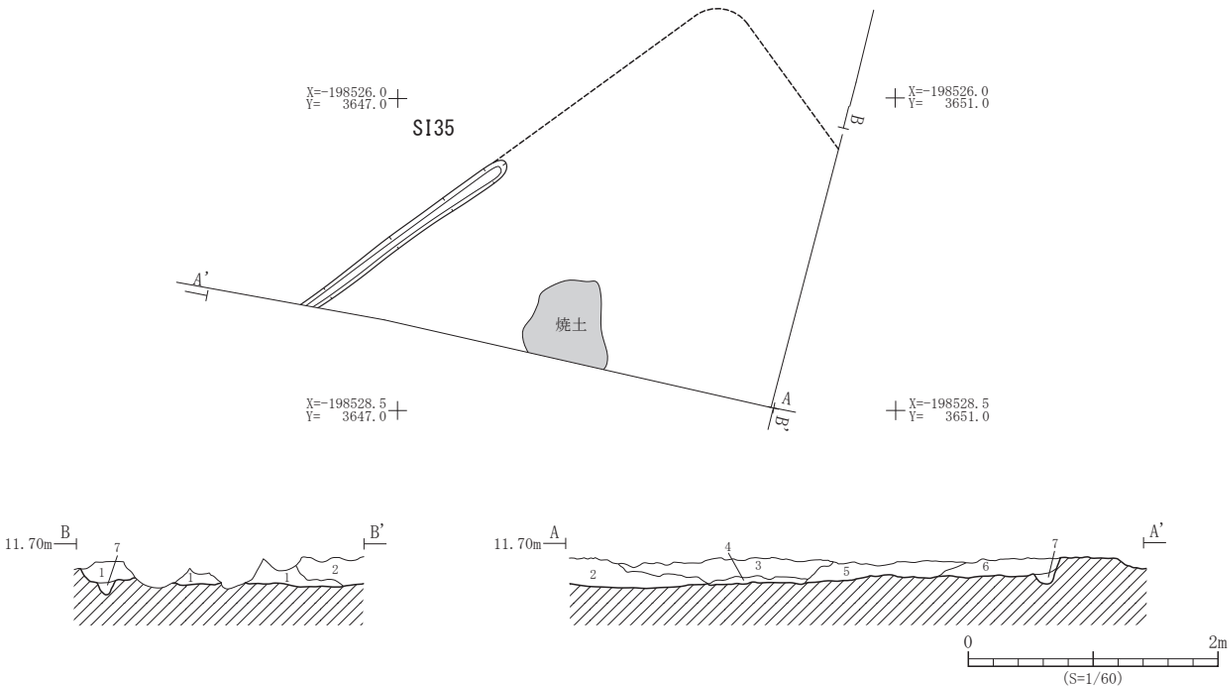


第４図　伊古田遺跡 4A1 区深掘りⅨ層遺構配置図

第５図　伊古田遺跡 4A2 区Ｖ層遺構配置図



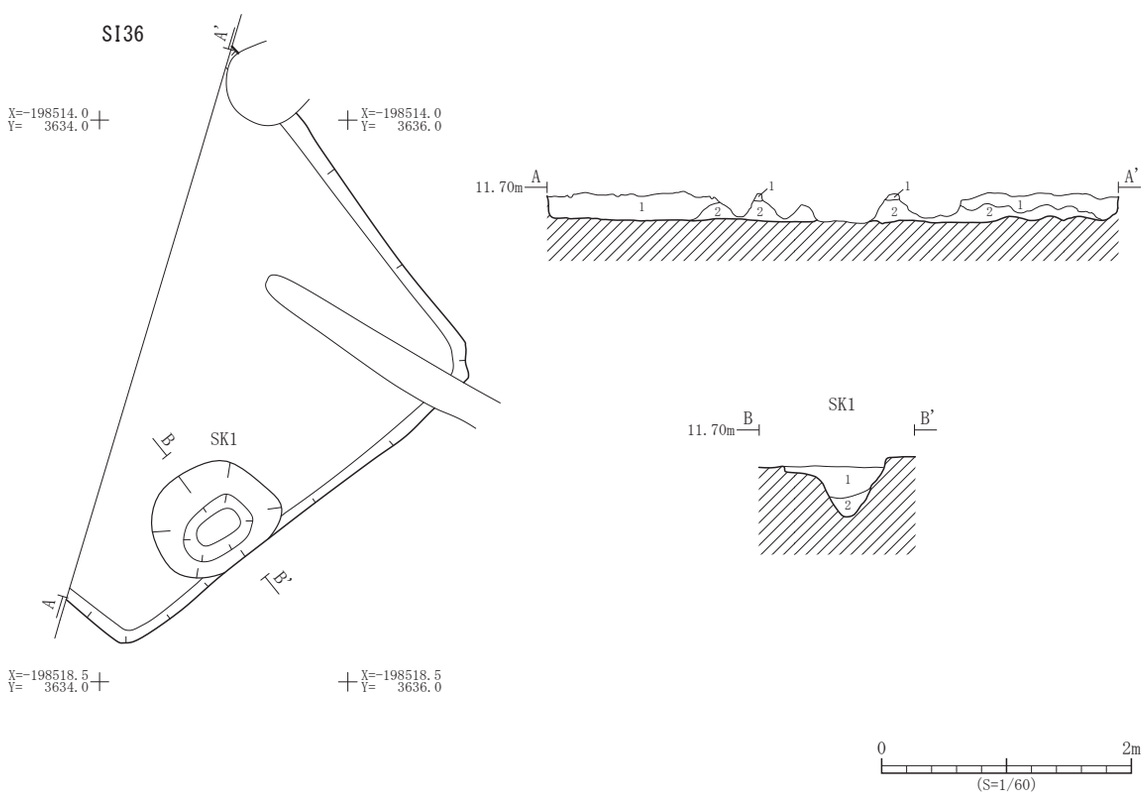
第６図　伊古田遺跡 4A2 区下層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI35	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	4	10YR3/3 暗褐色	粘土	焼土、炭化物を少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI35	5	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	6	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	7	2.5Y4/3 オリーブ褐色	粘土質シルト	周溝

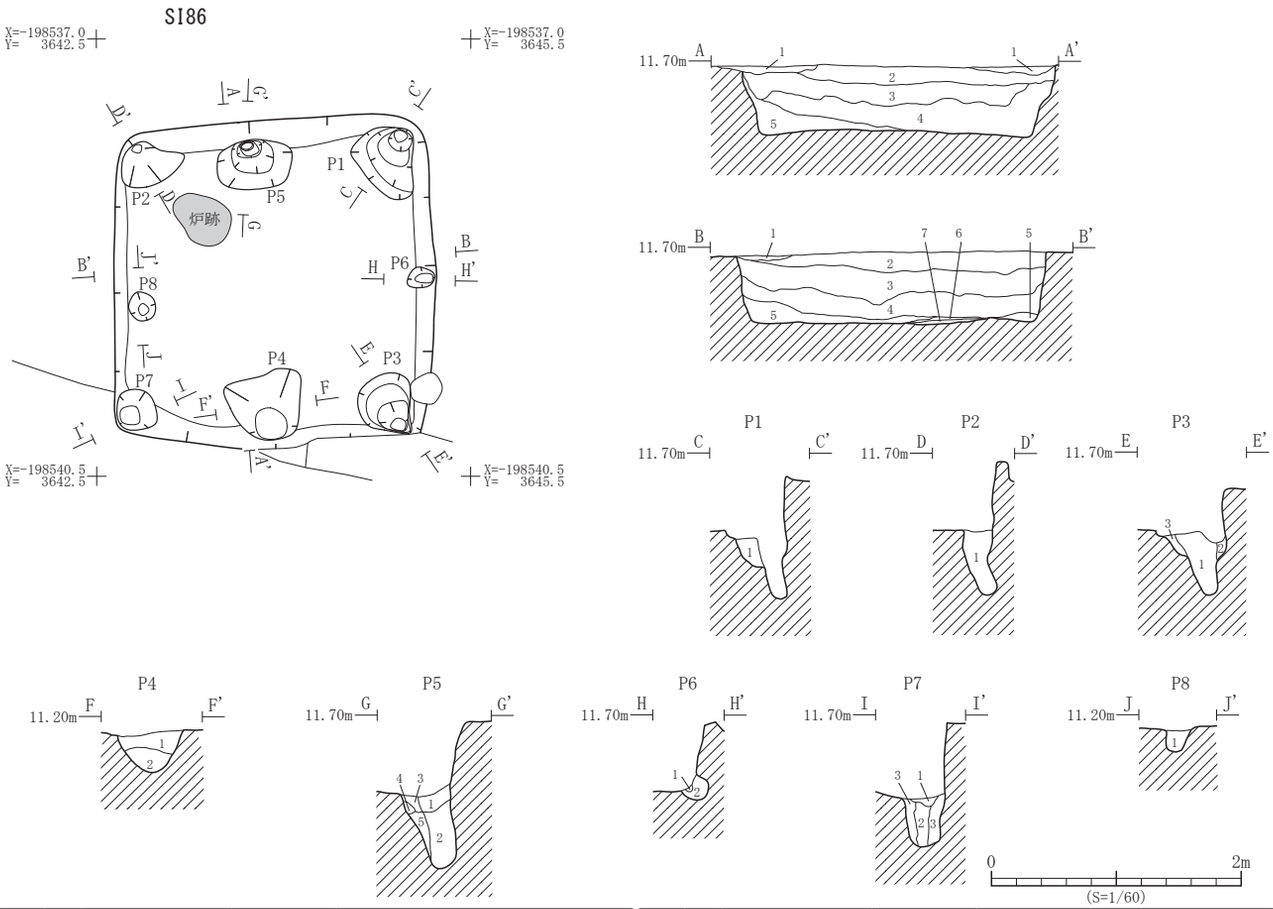
第７図　SI35 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI36	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物・浅黄橙色砂を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	粘土	炭化物、焼土・浅黄橙色砂を少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	明黄褐色砂を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、炭化物を少量含む

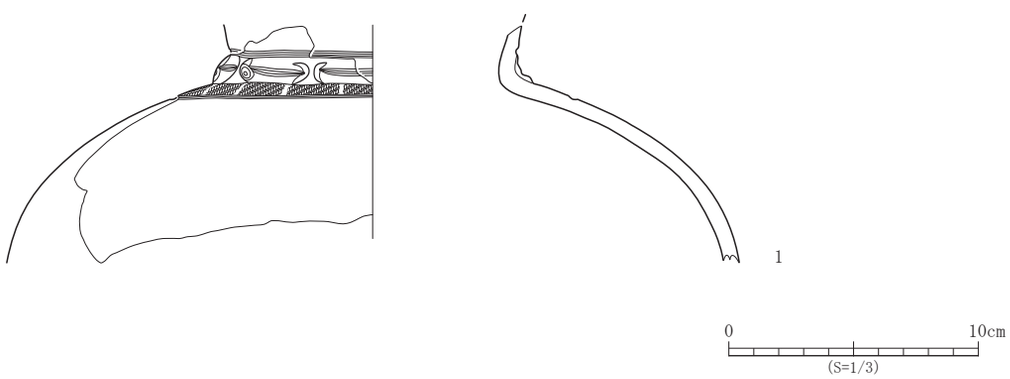
第８図　SI36 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI86	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	焼土粒多量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
	5	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	
	6	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	焼土粒を多量含む
	7	10YR1.7/1 黒色	炭	上部に灰を含む
P1	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
P3	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色ブロック・炭化物を少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色砂・炭化物を少量含む

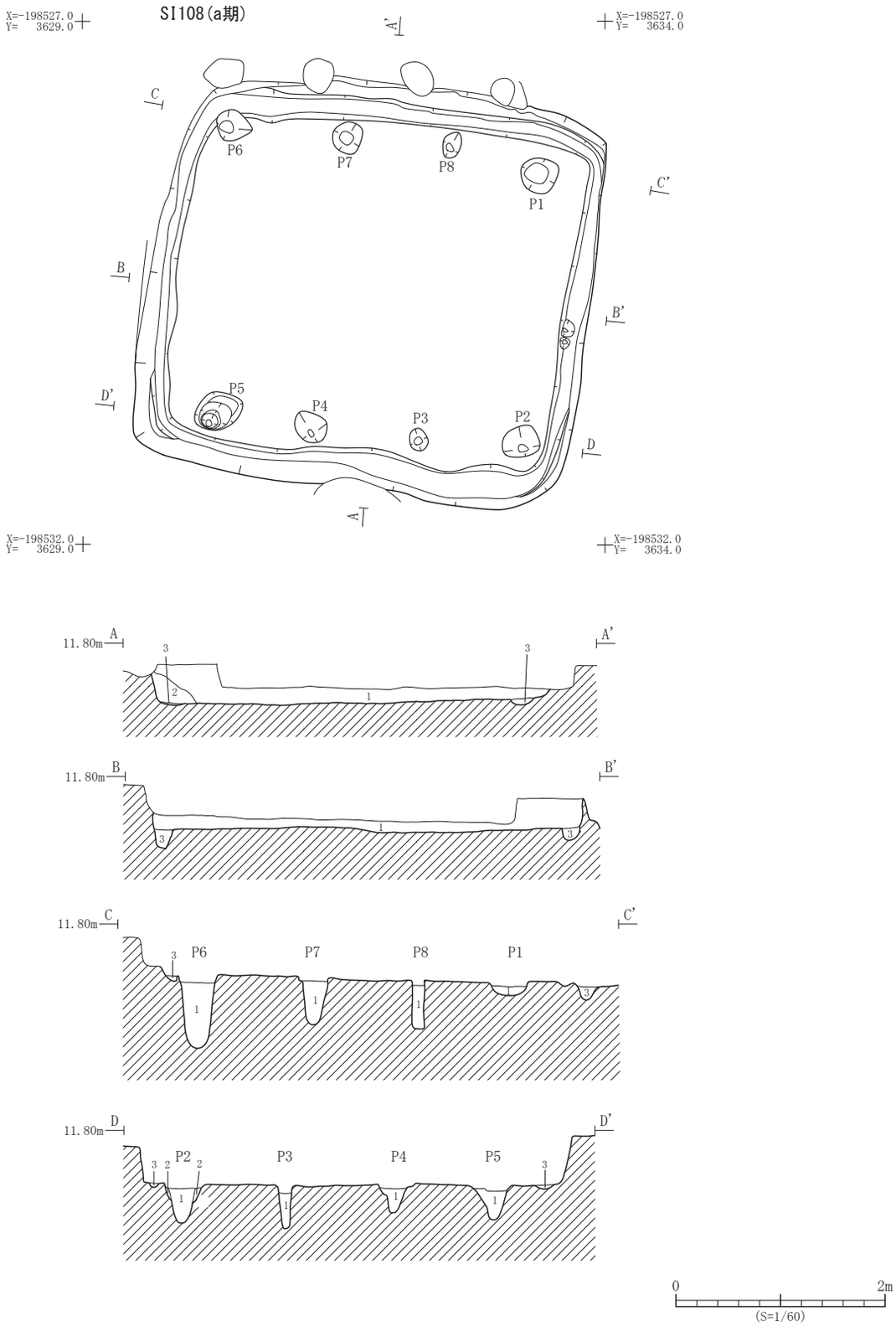
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P5	1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	4	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
	5	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
P6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	酸化鉄を斑状に含む
P7	1	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	灰黄褐色粘土ブロックを斑状に、炭化物を少量、焼土粒を微量含む
P8	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色シルト質粘土ブロックを少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む

第９図　SI86 竪穴建物跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-2	4A2	SI86	－	縄文土器	壺	口縁～体部－隆線文・沈線文・LR 縄文		10－4

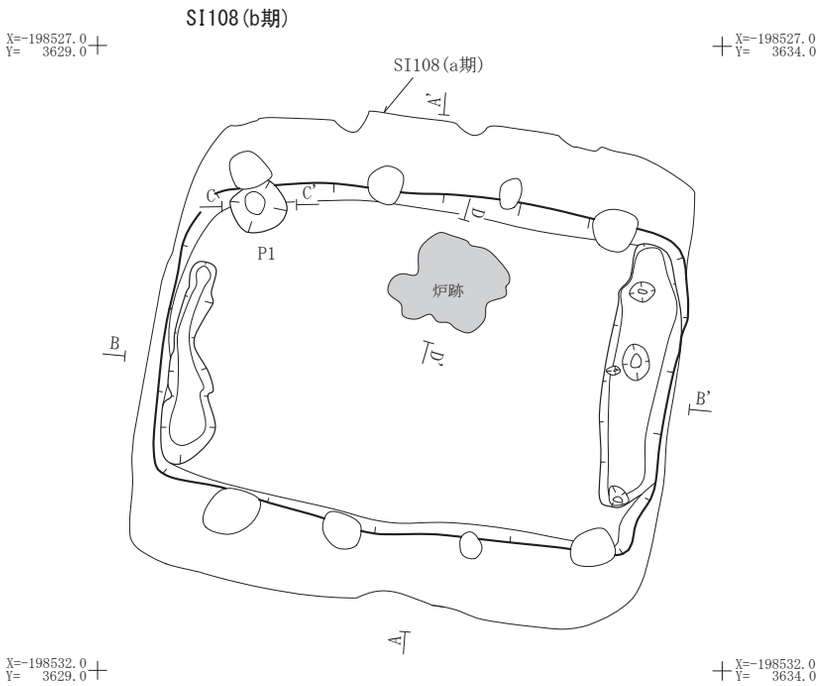
第 10 図　SI86 竪穴建物跡出土遺物

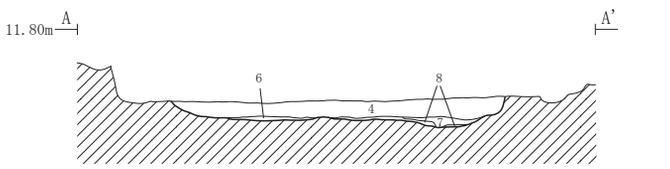


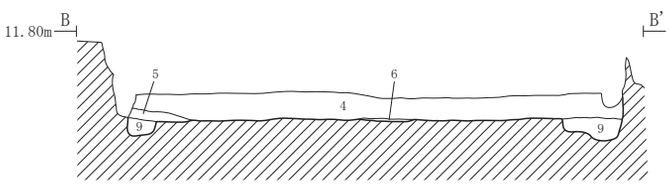
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI108 (a 期)	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物・褐色砂を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	灰黄褐色粘土を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	周溝
P1	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	2	10YR4/4 褐色	シルト	

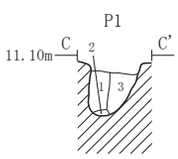
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
P4	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	
P5	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P7	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P8	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

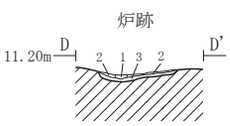
第 11 図　SI108（a 期）竪穴建物跡平面図・断面図

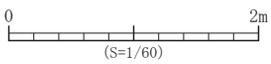








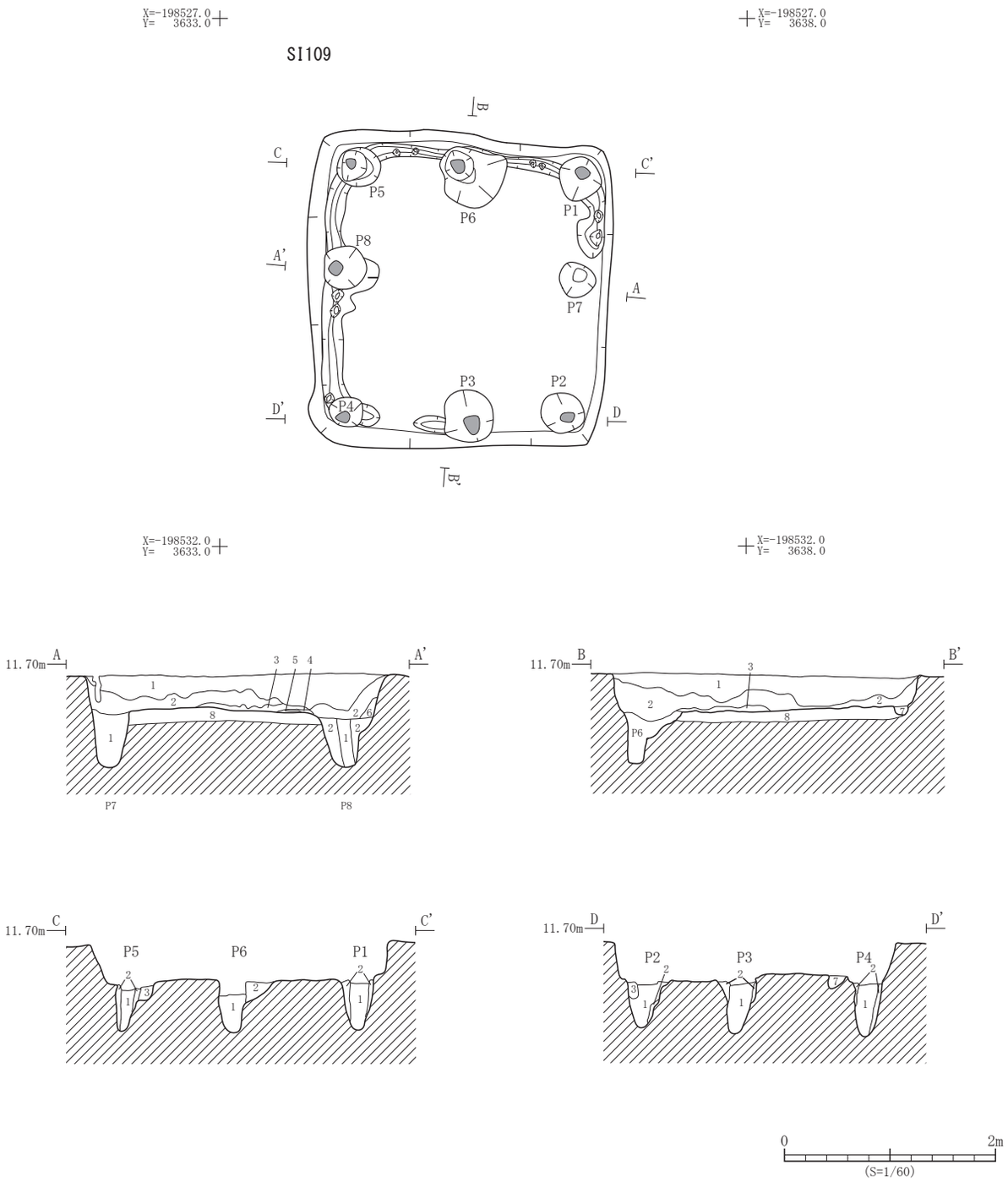




遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI108 (b期)	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物を少量含む
	6	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を互層状に含む
	7	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐灰色灰を多量含む
	8	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭、灰、焼土を互層状に多量含む
	9	10YR3/4 暗褐色	粘土	周溝

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
炉跡	1	5YR3/2 暗赤褐色	シルト	焼土
	2	7.5YR3/2 黒褐色	シルト	
	3	10YR4/4 褐色	シルト	

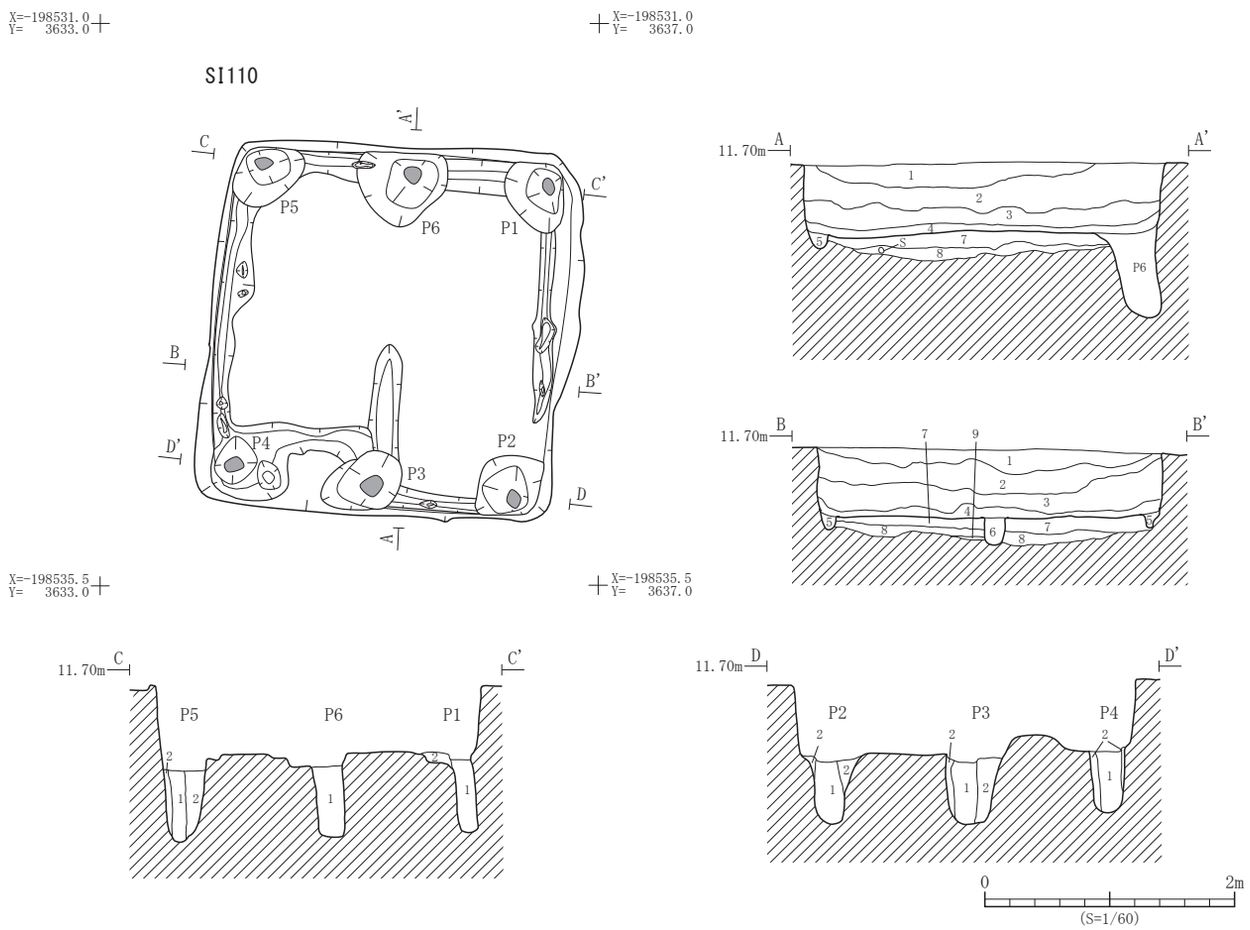
第 12 図　SI108（b 期）竪穴建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI109	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を少量含む
	3	10YR5/1 褐灰色	灰	にぶい黄褐色粘土との互層
	4	10YR3/2 黒褐色	炭	灰黄褐色粘土との互層
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	7	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロック・炭化物を多量含む　周溝
	8	10YR4/4 褐色	シルト	灰黄褐色粘土を少量含む　掘り方
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	3	10YR4/4 褐色	シルト	

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を多量含む
P5	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
P6	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
P7	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
P8	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む

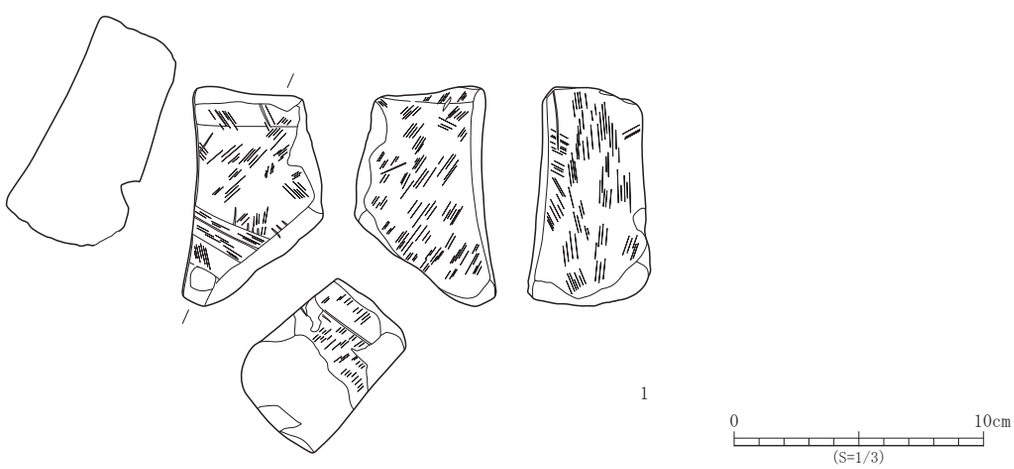
第 13 図　SI109 竪穴建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI110	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロックを多量、炭化物を微量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量含む
	4	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	5	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロック、炭化物を少量含む　周溝
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	仕切り溝
	7	10YR4/6 褐色	砂	灰黄褐色粘土を多量、炭化物を少量含む　掘り方
	8	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む　掘り方
	9	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	炭化物を多量含む　掘り方
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む

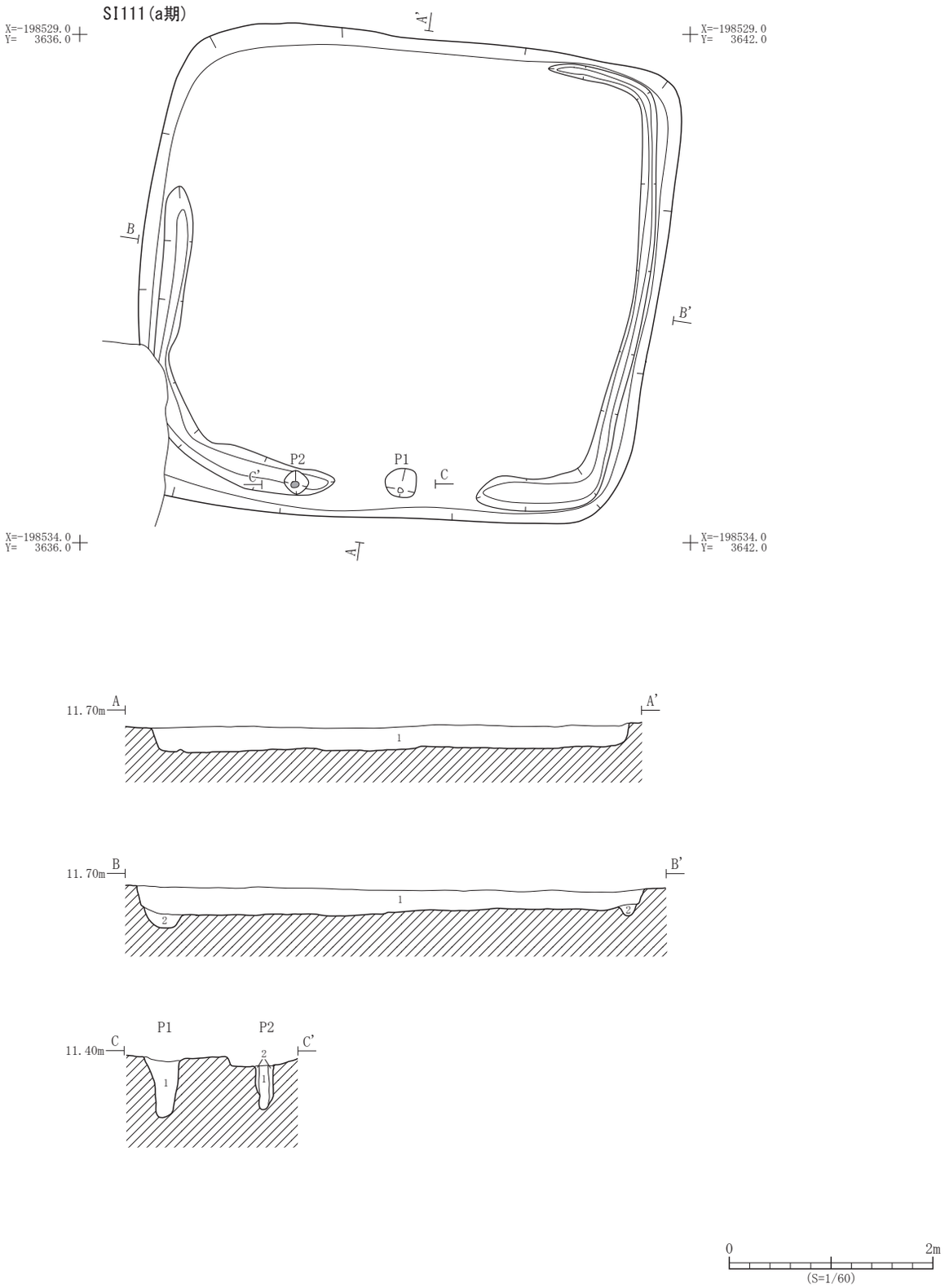
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
P5	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック、黒褐色粘土ブロックを少量含む
P6	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む　柱痕

第 14 図　SI110 竪穴建物跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　　考	写真図版
1	Kd-a-1	4A2	SI110	-	石製品	砥石	凝灰岩	8.8 × 5.6 × 4.9　294.4	砥面４面。	10 - 5

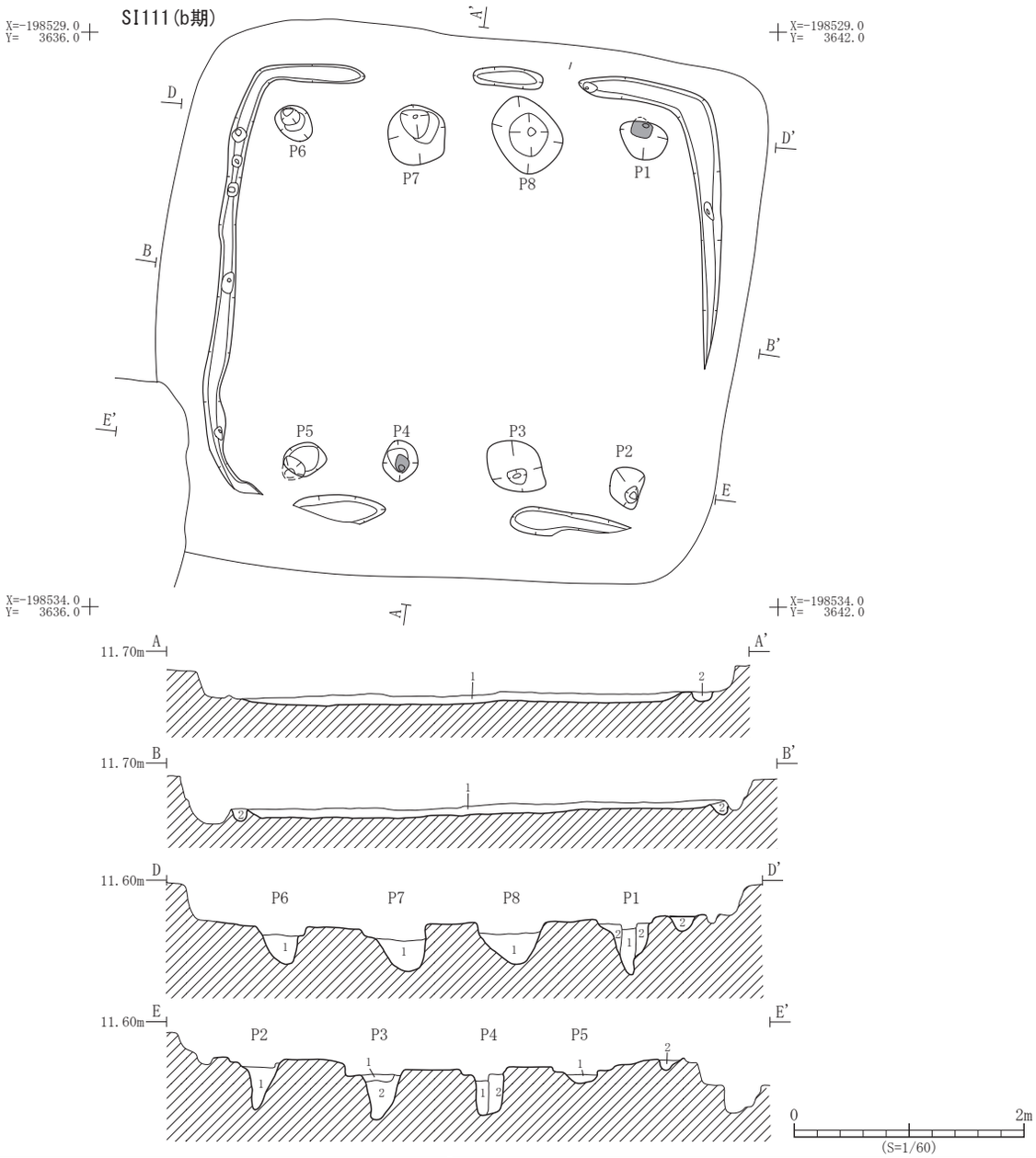
第 15 図　SI110 竪穴建物跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI111 (a 期)	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック。炭化物を少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土ブロックを含む　周溝
P1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P2	1	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	

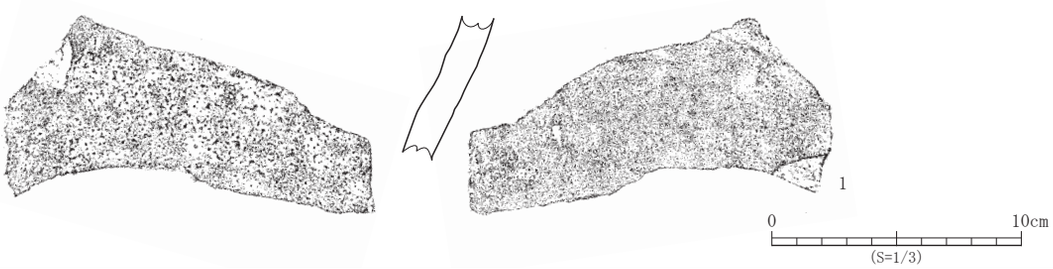
第 16 図　SI111（a 期）竪穴建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI111 (b期)	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量含む　周溝
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	シルト	
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
P3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

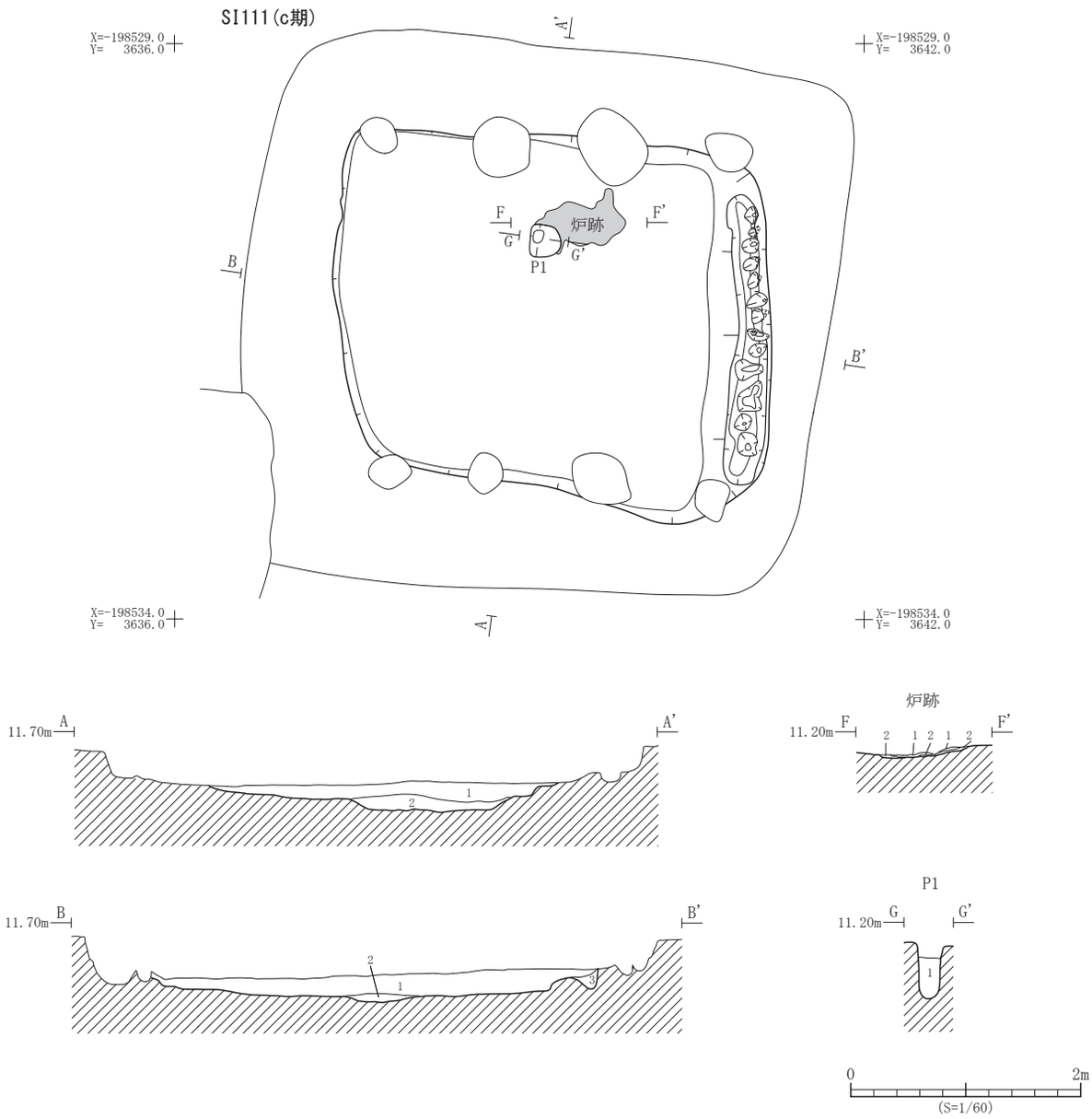
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
P5	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
P6	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物・焼土粒を少量含む
P7	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
P8	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

第 17 図　SI111（b 期）竪穴建物跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
1	I-4	4A2	SI111(b 期)	-	陶器	甕	-×-×現 5.8	-	在地	中世	10-6

第 18 図　SI111（b 期）竪穴建物跡出土遺物



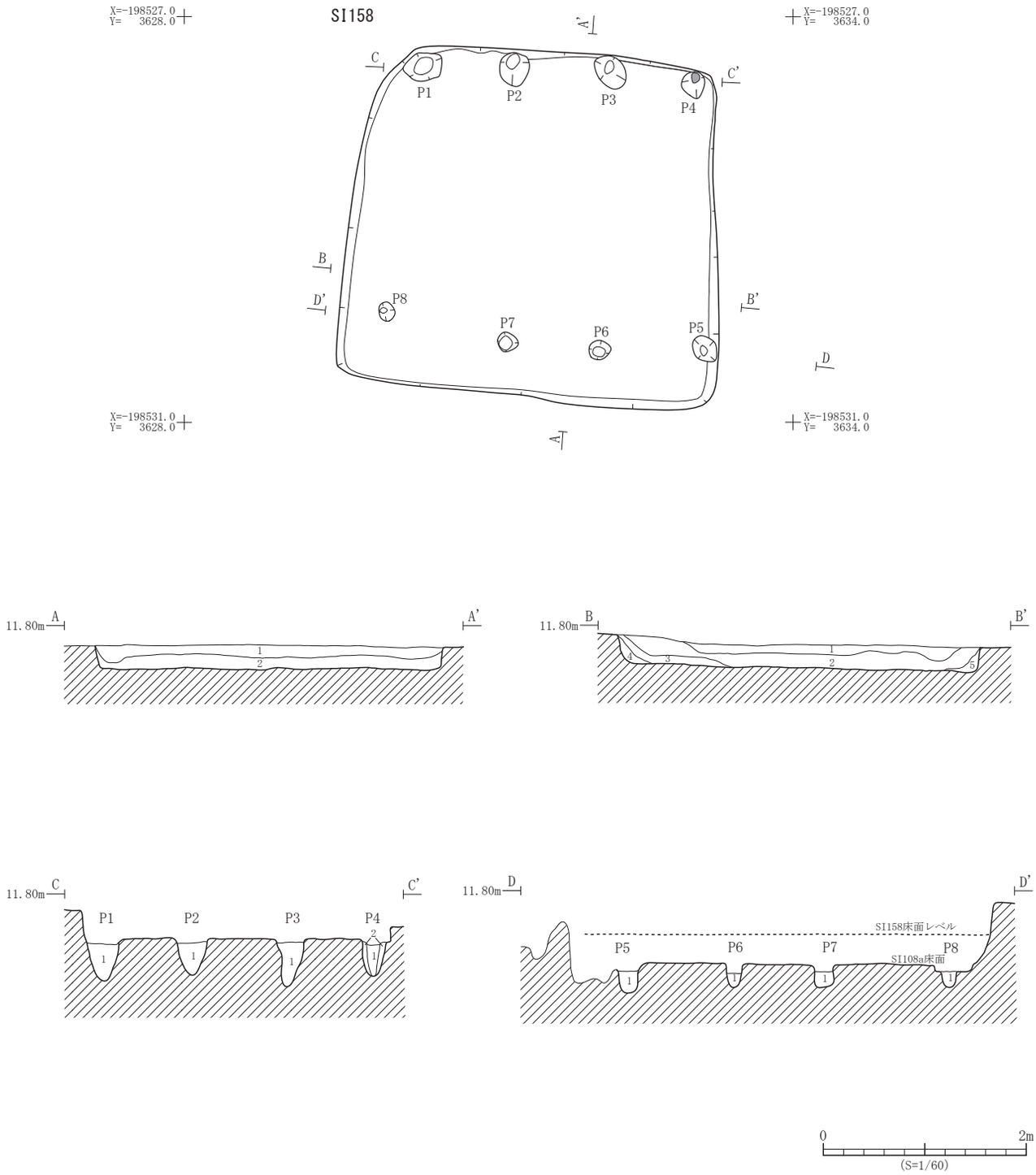
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI111 (c期)	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物、灰を互層状に含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土ブロックを含む　周溝

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
炉跡	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	暗赤褐色シルトを均質に含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

第 19 図　SI111（c 期）竪穴建物跡平面図・断面図

No.	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
1	I-3	4A2	SI111(c 期)	－	陶器	片口鉢	－×－×現 3.4	ロクロ	山茶碗窯系 渥美？	中世	10 - 7

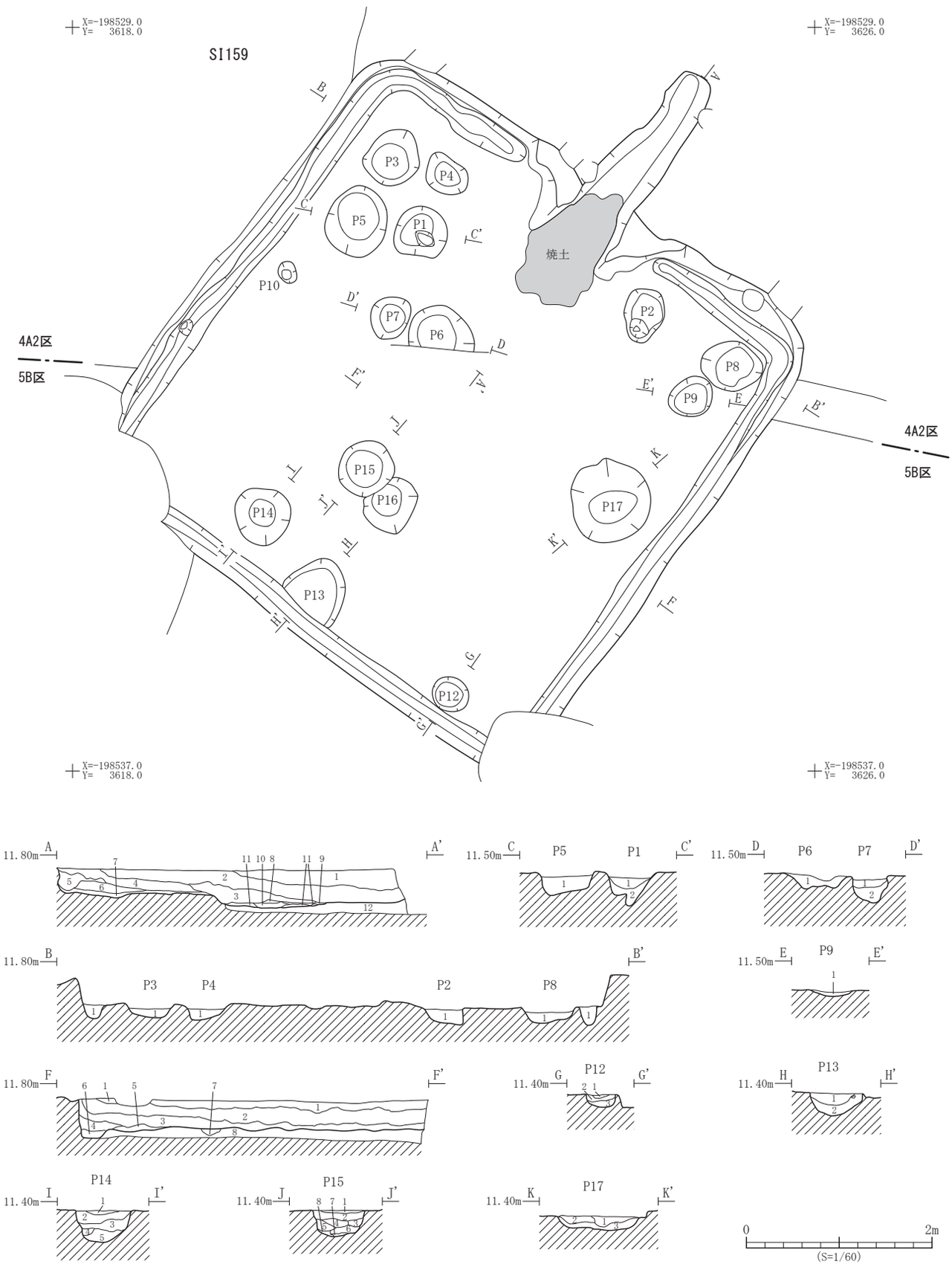
第 20 図　SI111（c 期）竪穴建物跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI158	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・にぶい黄褐色シルトブロック・炭化物を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを多量含む
	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
	5	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
P1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P2	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・灰黄褐色粘土ブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P3	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを多量含む
P5	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
P6	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
P7	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
P8	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む

第 21 図　SI158 竪穴建物跡平面図・断面図

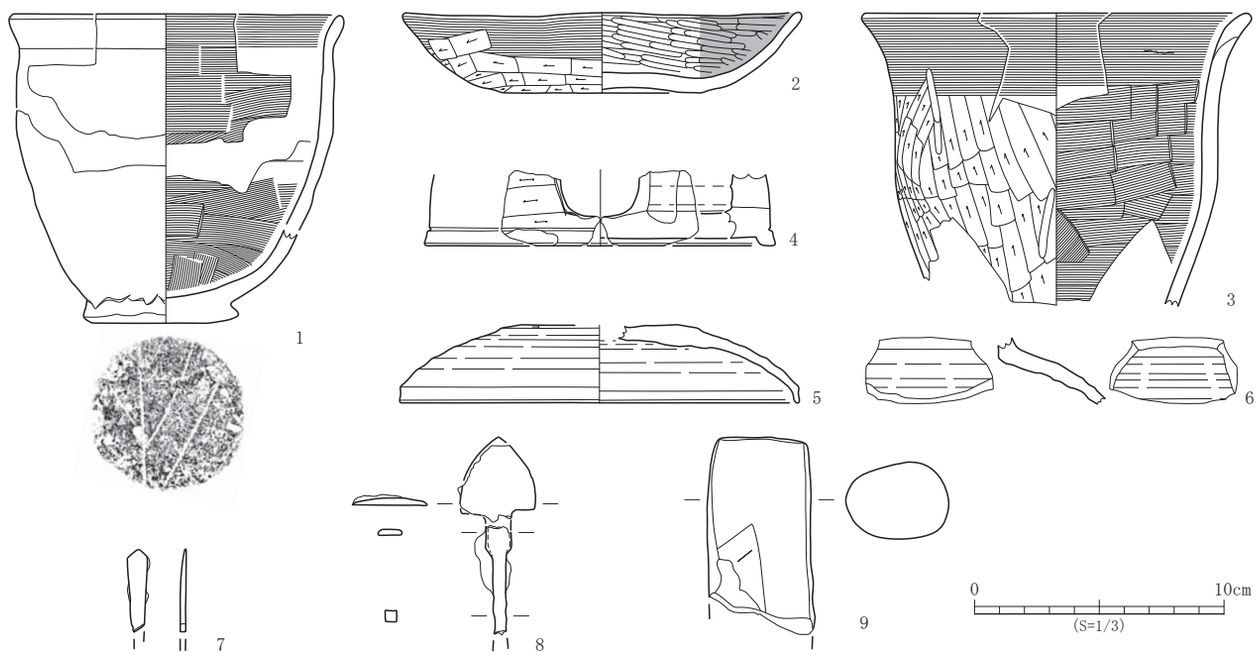


第 22 図　SI159 竪穴住居跡平面図・断面図

SI159 竪穴住居跡土層註記表

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI159 A-A´	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色砂を少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物を少量、焼土粒を含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む
	5	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量、焼土を含む
	6	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物、焼土を少量含む
	7	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
	8	5YR4/8 赤褐色	焼土	
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物・焼土を含む
	10	5YR4/4 にぶい赤褐色	シルト	焼土を含む
	11	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
	12	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・褐色粘土質シルトブロックを少量含む　掘り方
周溝	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
SI159 F-F´	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色砂を少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を微量含む　周溝
	7	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む　掘り方
	8	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む　掘り方
P1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色砂・炭化物・焼土粒を含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
P2	1	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物・焼土粒を多量含む
P3	1	10YR2/2 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量、炭化物・焼土粒を多量含む
P4	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック少量、炭化物・焼土粒を含む
P5	1	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色粘土・炭化物・焼土粒を多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を多量含む
P7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む
P8	1	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物・焼土を多量含む
P9	1	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物・焼土を多量含む
P12	1	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	焼土ブロックを多量、炭化物を含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	炭化物・焼土粒を多量含む
P13	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む
P14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質粘土	焼土粒・炭化物を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	焼土ブロック、炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	焼土ブロック・炭化物を少量含む
	5	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	焼土ブロック、炭化物・黒褐色シルト質粘土ブロックを少量含む
P15	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	焼土粒、焼土ブロック・炭化物・暗褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	3	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	炭化物、焼土ブロックを少量含む
	4	10YR2/2 黒褐色	シルト質粘土	焼土粒・炭化物を少量含む
	5	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	炭化物を多量、焼土粒を少量含む
	6	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
	7	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	8	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	炭化物を含む
P17	1	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	焼土ブロック、炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	炭化物・焼土ブロックを少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	焼土ブロック・炭化物を少量含む

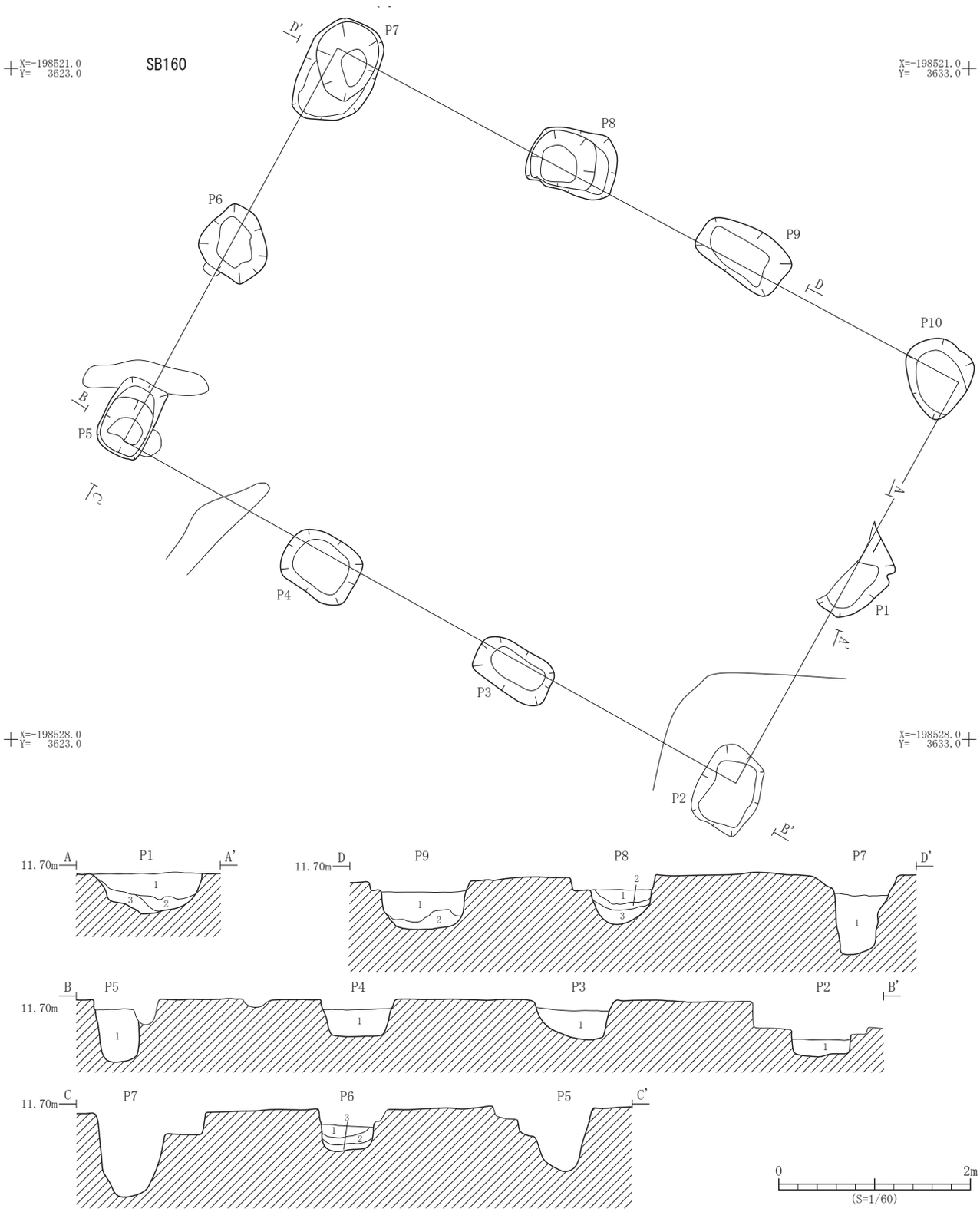


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-1	4A2	SI159	－	土師器	甕	(13.4) × 6.3 ×現 12.4	底部木葉痕	ヨコナデ・ヘラナデ	外面被熱。	10 - 8
2	C-2	4A2	SI159-P10	－	土師器	坏	16.0 × 8.0 × 3.2	ヨコナデ・ヘラケズリ　底部ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		10 - 12
3	C-3	4A2	SI159	掘り方	土師器	甕	(15.6) × － ×現 11.7	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ	内面輪積み痕。	10 - 9
4	E-6	4A2	SI159	－	須恵器	硯	－ × － ×現 3.0	ロクロナデ・ヘラケズリ	ロクロナデ		10 - 10
5	E-8	5B	SI159	－	須恵器	蓋	(16.0) × － ×現 3.1	ロクロナデ　天井部回転ヘラケズリ	ロクロナデ		14 - 4
6	I-6	5B	SI159	－	灰釉陶器	壺	－ × － ×現 2.7	ロクロナデ	ロクロナデ		14 - 5

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚（cm）	備　考	写真図版
7	N-1	4A2	SI159	－	金属製品	鉄族	現 3.8 × 0.8 × 0.2	無関鏃箭式。片造り。	10 - 11
8	N-9	5B	SI159	－	金属製品	鉄族	現 7.3 × 3.0 × 0.5	鏃身部は三角形。頸部は板状で、角あるいは撫角関。	14 - 2

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
9	P-6	5B	SI159- カマド	－	土製品	支脚	現 7.9 × 4.1 × 4.1　(137.6)		14 - 3
10	P-7	5B	SI159-P14	－	土製品	焼粘土塊		写真掲載。	14 - 1

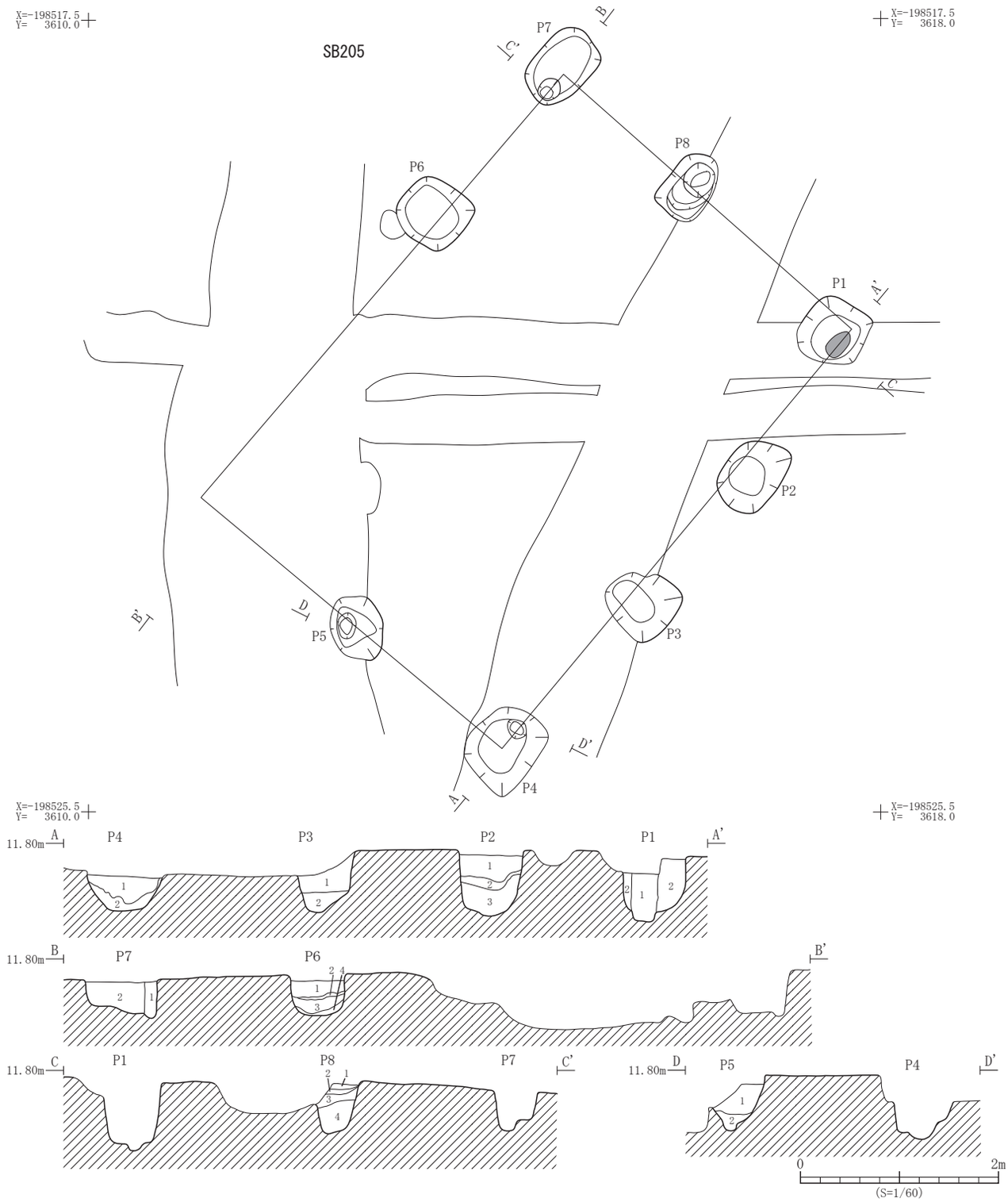
第 23 図　SI159 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB160 P1	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/6 褐色	粘土	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
P2	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロック・炭化物を少量含む
P3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
P4	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	
	3	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少量含む
P7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
P8	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色砂を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	
P9	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色砂を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む

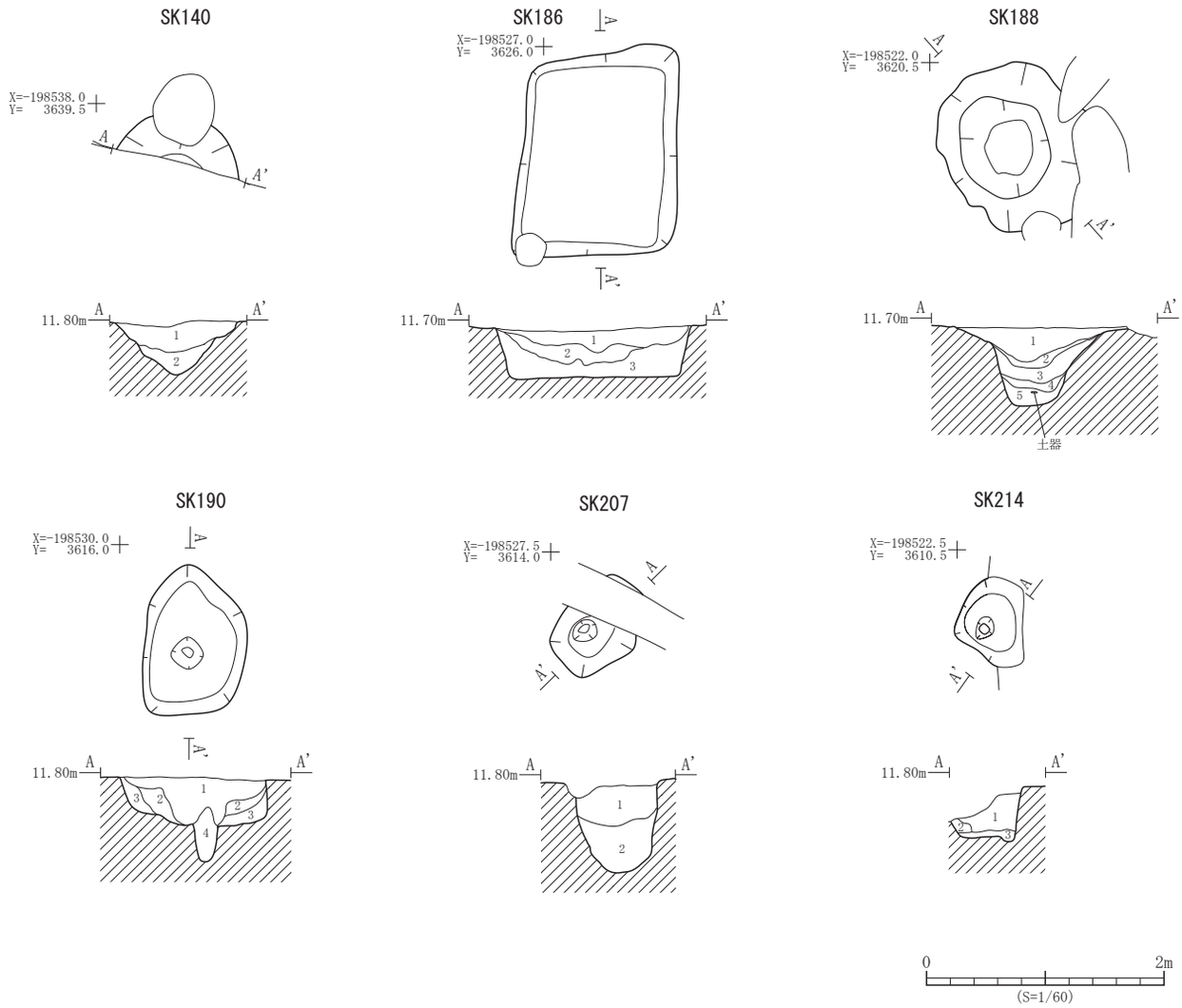
第 24 図　SB160 掘立柱建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB205 P1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・褐色砂を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを含む
P2	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを含む
	2	10YR4/6 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色砂を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
P4	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/6 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P6	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/6 褐色	シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	4	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
P7	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR4/4 褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを含む
P8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色砂質シルトブロックを少量含む
	4	10YR4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを多量含む

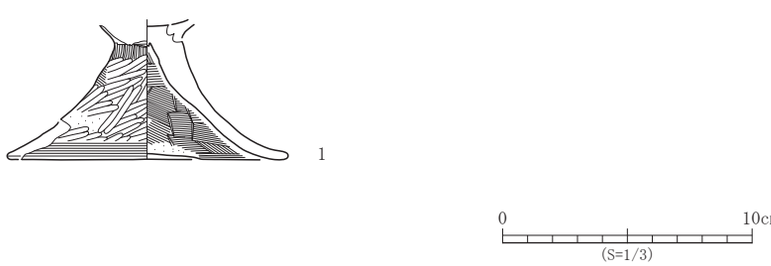
第 25 図　SB205 掘立柱建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK140	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	マンガン粒を多量含む
	2	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	
SK186	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロック・炭化物を含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を微量含む
SK188	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を多量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量含む
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK190	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	4	10YR4/1 褐灰色	粘土	
SK207	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量含む
SK214	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	

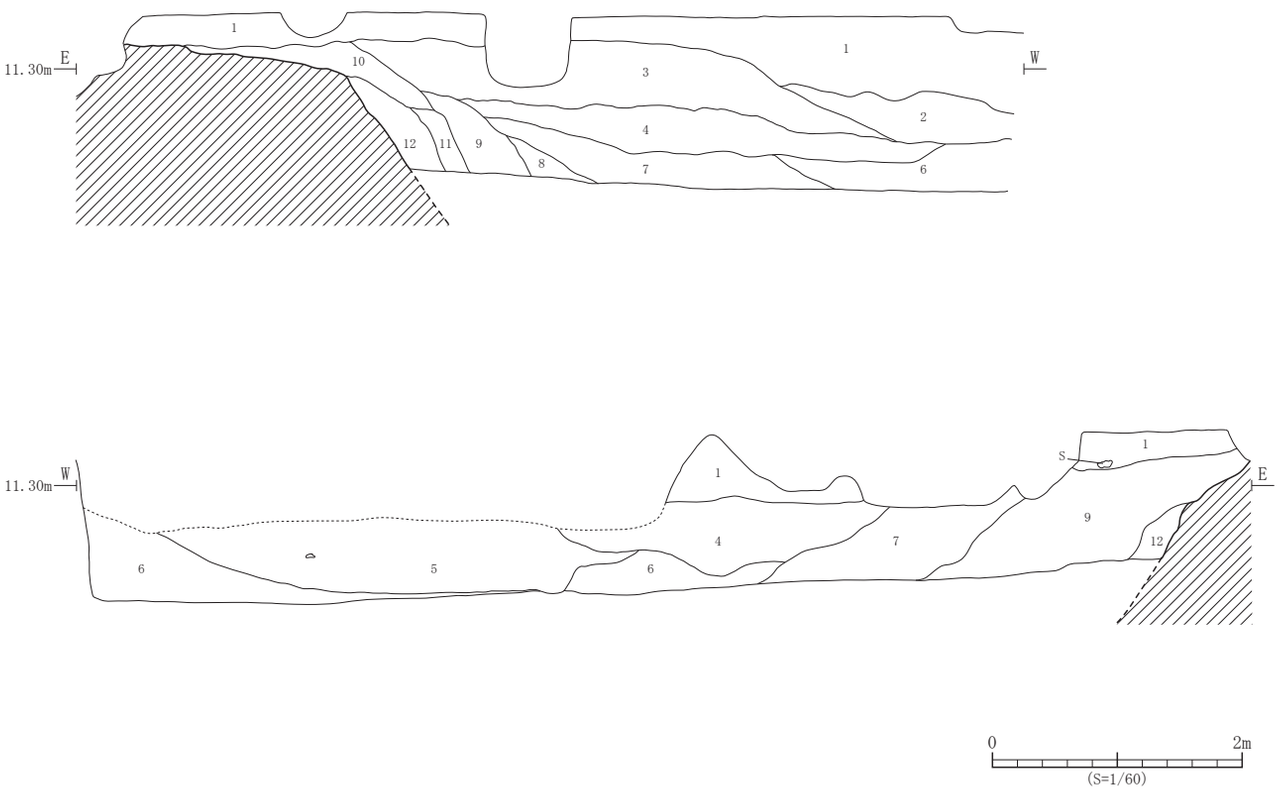
第 26 図　SK 土坑平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-5	4A2	SK153	-	土師器	高坏	- × 11.2 ×現 5.6	ヘラナデ・ヘラミガキ・ヨコナデ	ヘラナデ		10 - 13

第 27 図　SK153 土坑出土遺物

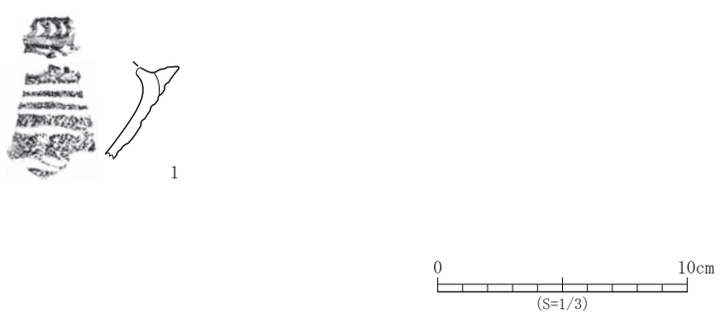
SR213



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SR213	1	10YR4/4 褐色	粘土	にぶい黄褐色シルトブロック・にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	細砂	にぶい黄褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐色粘土ブロックを斑状に多量含む
	5	10YR5/4 にぶい黄褐色	粗砂	にぶい黄褐色砂礫・にぶい黄褐色粘土との互層
	6	10YR5/3 にぶい黄褐色	細砂	オリーブ褐色砂礫・オリーブ褐色粘土との互層

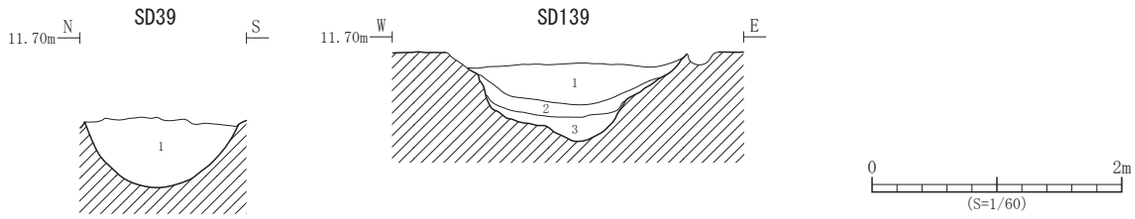
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SR213	7	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐色粘土との互層
	8	10YR5/4 にぶい黄褐色	細砂	
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	10	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
	11	10YR4/4 褐色	粘土	
	12	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	

第 28 図　SR213 河川跡断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-1	4A2	SR213	-	縄文土器	注口土器	体部 - 沈線文・刺突文・LR 縄文		10 - 14

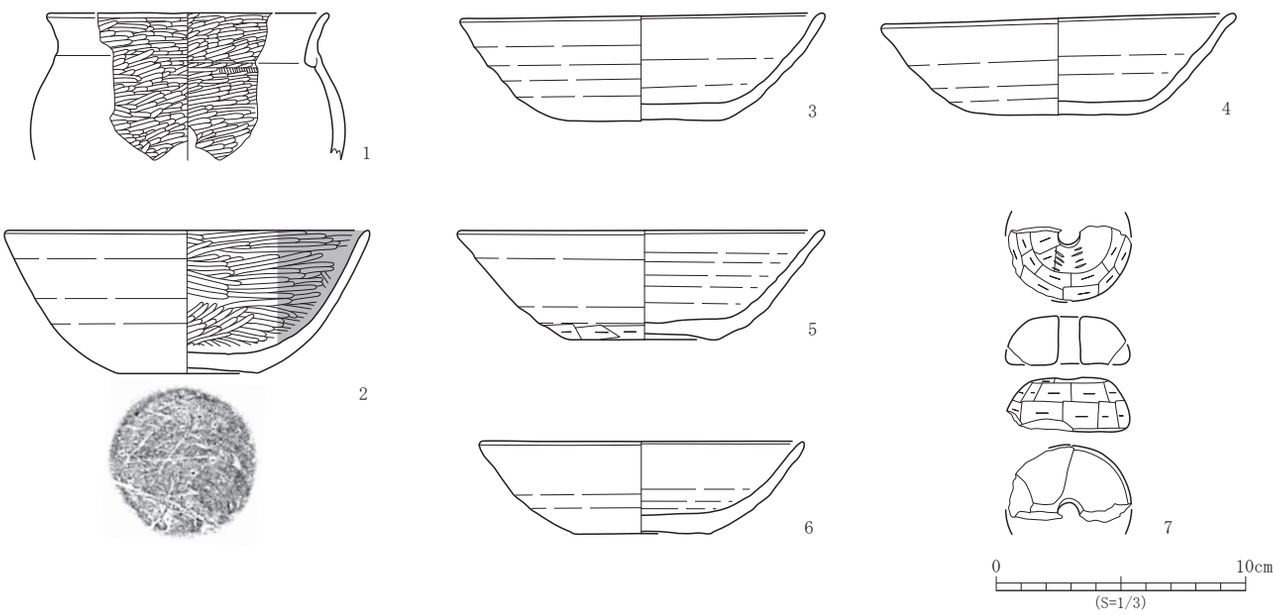
第 29 図　SR213 河川跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD39	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土を含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD139	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	3	10YR4/4 褐色	粘土	にぶい黄褐色粗砂を含む

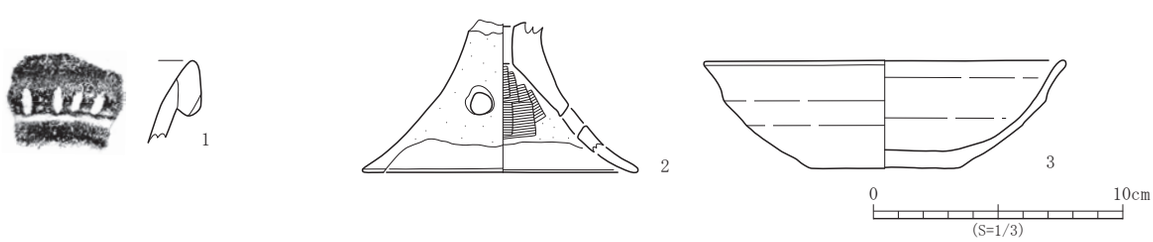
第 30 図　SD39・139 溝跡断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-4	4A2	SD139	－	土師器	甕	(11.3) × － × 現 5.9	ヘラミガキ	ヘラナデ・ヘラミガキ	内外面赤彩。	10 - 15
2	D-1	4A2	SD203	－	土師器	坏	(14.6) × 5.7 × 4.8	ロクロナデ　底部回転糸切り→手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	外面底部線刻。	10 - 17
3	E-2	4A2	SD203	－	須恵器	坏	(14.6) × 6.8 × 4.2	ロクロナデ　底部回転ヘラ切り			10 - 18
4	E-5	4A2	SD203	－	須恵器	坏	(14.2) × － × 3.9	ロクロナデ　底部回転ヘラ切り	ロクロナデ		10 - 20
5	E-3	4A2	SD203	－	須恵器	坏	(14.7) × 5.8 × 4.4	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部回転糸切り	ロクロナデ		10 - 19
6	E-4	4A2	SD203	－	須恵器	坏	(13.0) × 5.4 × 3.7	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		10 - 21

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
7	P-1	4A2	SD208	－	土製品	紡錘車	現 3.1 ×現 4.9 × 2.0　(28.4)　孔径 0.9	沈線文状の刻み・ケズリ。	10 - 16

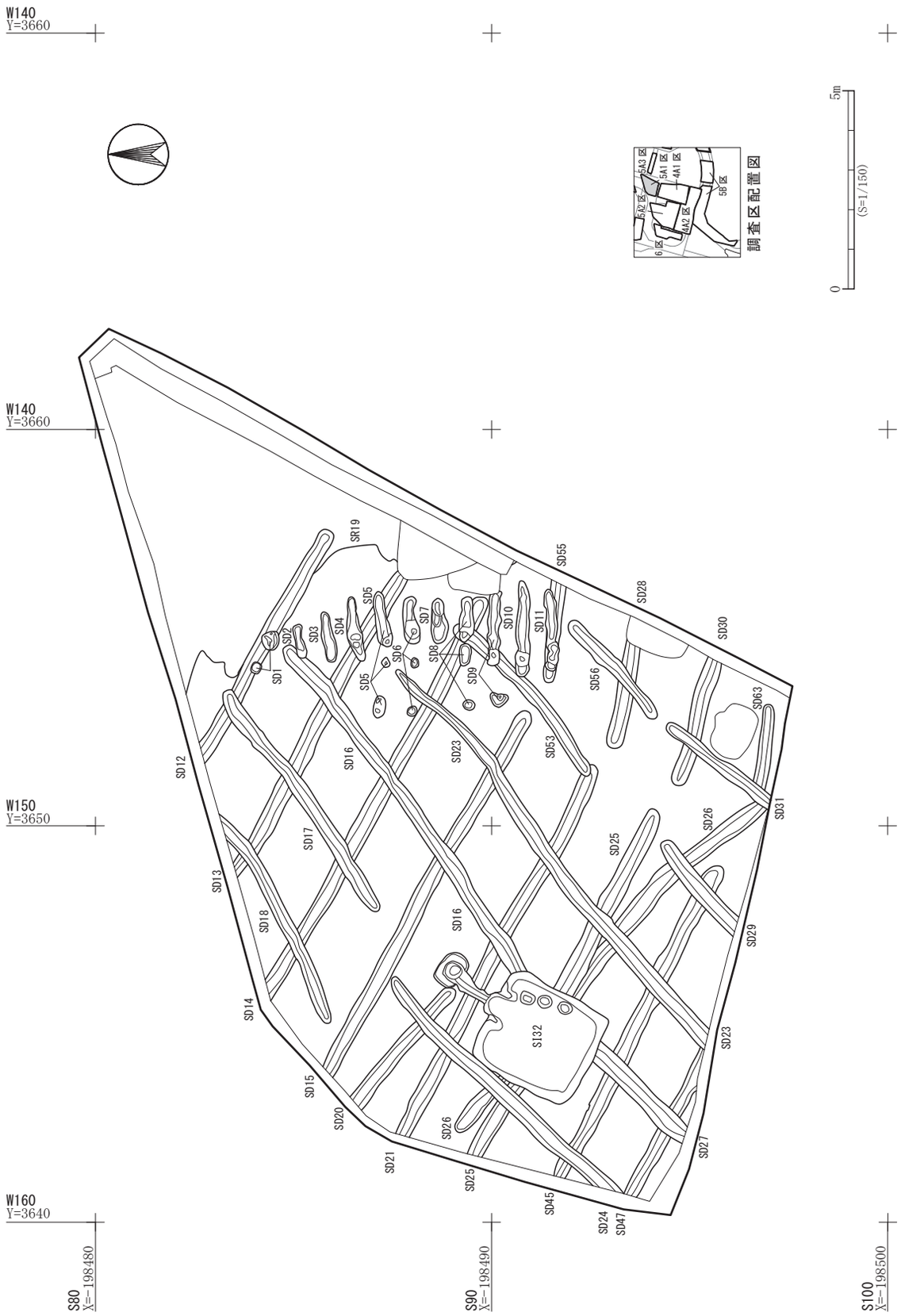
第 31 図　溝跡出土遺物



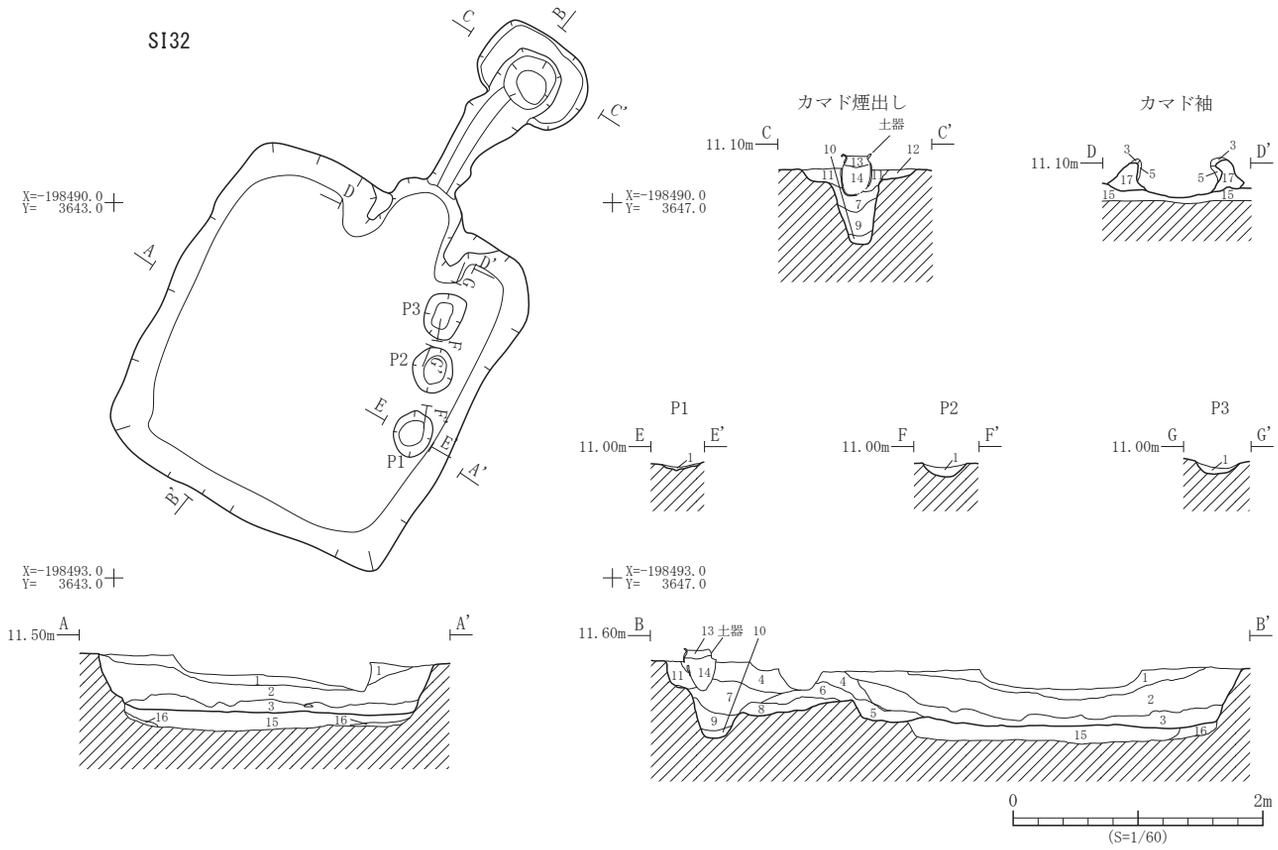
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	B-1	4A1	－	Ⅳ	弥生土器	壺・甕	外面口縁部－沈線文（スリット文）　内面－ナデ	複合口縁。	10 - 3

No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
2	C-6	4A2	－	Ⅳ	土師器	器台	－ × (11.0) ×現 6.1	－	ヘラナデ	透孔 3 ヶ所、内外面摩滅。	10 - 23
3	E-1	4A2	－	Ⅳ	須恵器	坏	(14.5) × (6.0) × 4.3	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		10 - 22

第 32 図　Ⅳ層出土遺物



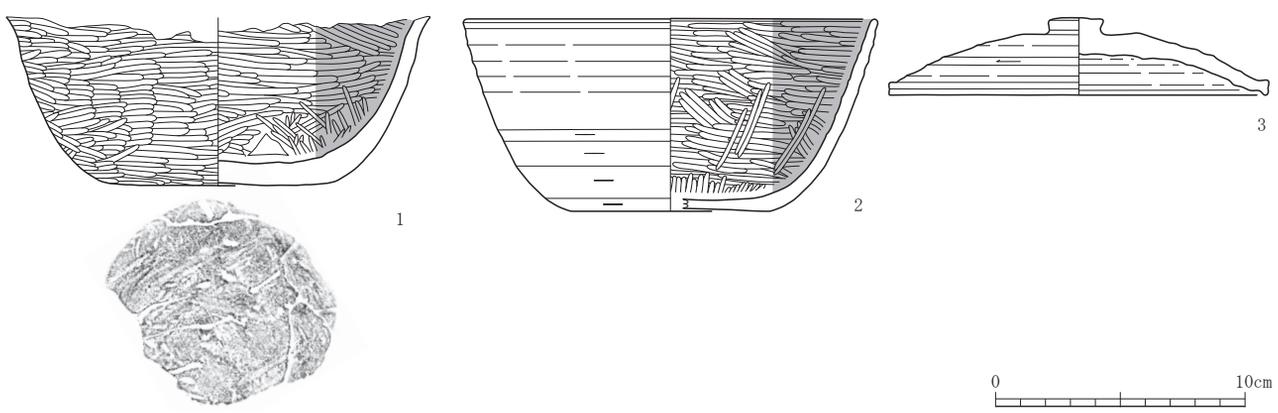
第 33 図　伊古田遺跡 5A1 区Ⅳ a2 層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI32	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	下部に炭化物を含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	カマド
	5	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック・炭化物・灰を多量含む　カマド
	6	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック、炭化物小ブロックを少量含む　カマド
	7	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む　カマド
	8	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土小ブロック、炭化物小ブロックを少量含む　カマド
	9	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む　カマド

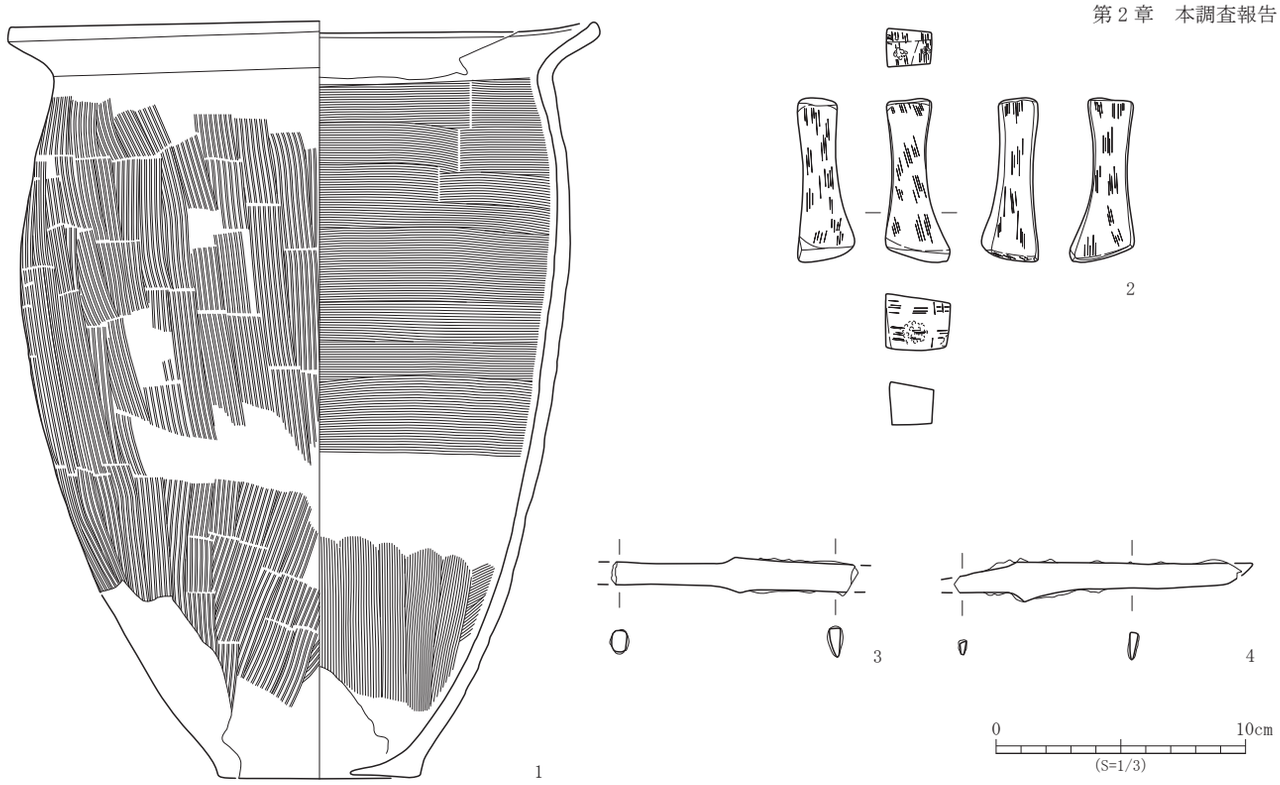
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI32	10	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を多量含む　カマド
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	カマド
	12	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	カマド
	13	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	酸化鉄を少量含む　カマド
	14	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物小ブロックを多量含む　カマド
	15	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土小ブロックを斑状に多量含む　掘り方
	16	10YR5/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	掘り方
	17	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を斑状に含む　カマド袖
P1	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	焼土・灰小ブロック、炭化物を多量含む
P2	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	焼土・灰小ブロック、炭化物を多量含む
P3	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	焼土・灰小ブロック、炭化物を多量含む

第 34 図　SI32 竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-7	5A1	SI32	－	土師器	坏	－×（9.0）×現 6.8	ヘラミガキ	ヘラミガキ・黒色処理	外面底部線刻。	11 - 2
2	D-2	5A1	SI32	床直	土師器	坏	（16.5）×（8.0）×7.7	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		11 - 3
3	E-7	5A1	SI32	床直	須恵器	蓋	15.2×－×3.1 つまみ部径 2.2	ロクロナデ　天井部回転ヘラケズリ	ロクロナデ		11 - 4

第 35 図　SI32 竪穴住居跡出土遺物（1）

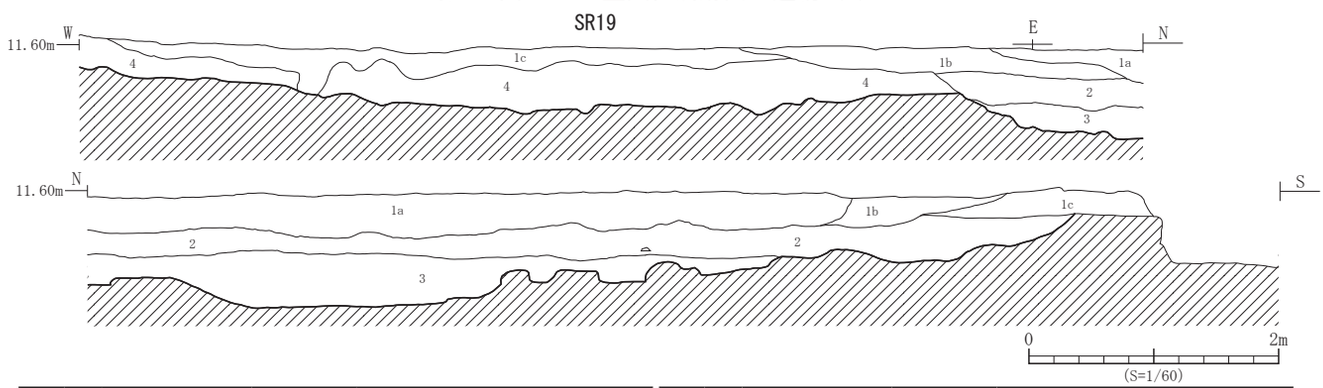


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-3	5A1	SI32- 煙出しピット	－	土師器	甕	(23.7) × (8.2) × 34.0	ロクロナデ・ハケメ	ロクロナデ・ヘラナデ・指ナデ	底部煙出しに使用するため打ち欠いている。	11 - 1

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
2	Kd-a-2	5A1	SI32	床面	石製品	砥石	凝灰岩	6.6 × 2.6 × 2.3　32.2	砥面６面。	11 - 5

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚（cm）	備　考	写真図版
3	N-4	5A1	SI32- カマド	－	金属製品	刀子	現 10.0 × 1.4 × 0.5	両関で、関は撫角。片造り。	11 - 7
4	N-5	5A1	SI32	床面	金属製品	刀子	現 11.5 × 1.6 × 0.3	両関で、関は撫角。片造り。	11 - 6

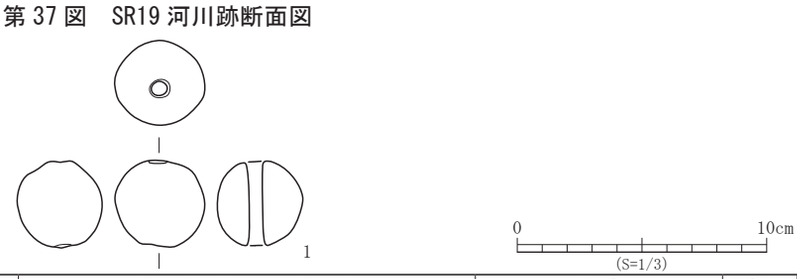
第 36 図　SI32 竪穴住居跡出土遺物（2）



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SR19	1a	10YR6/1 褐灰色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む
	1b	10YR6/1 褐灰色	砂質シルト	酸化鉄を含む
	1c	10YR6/2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量に含む
	2	10YR5/1 褐灰色	砂	酸化鉄を含む

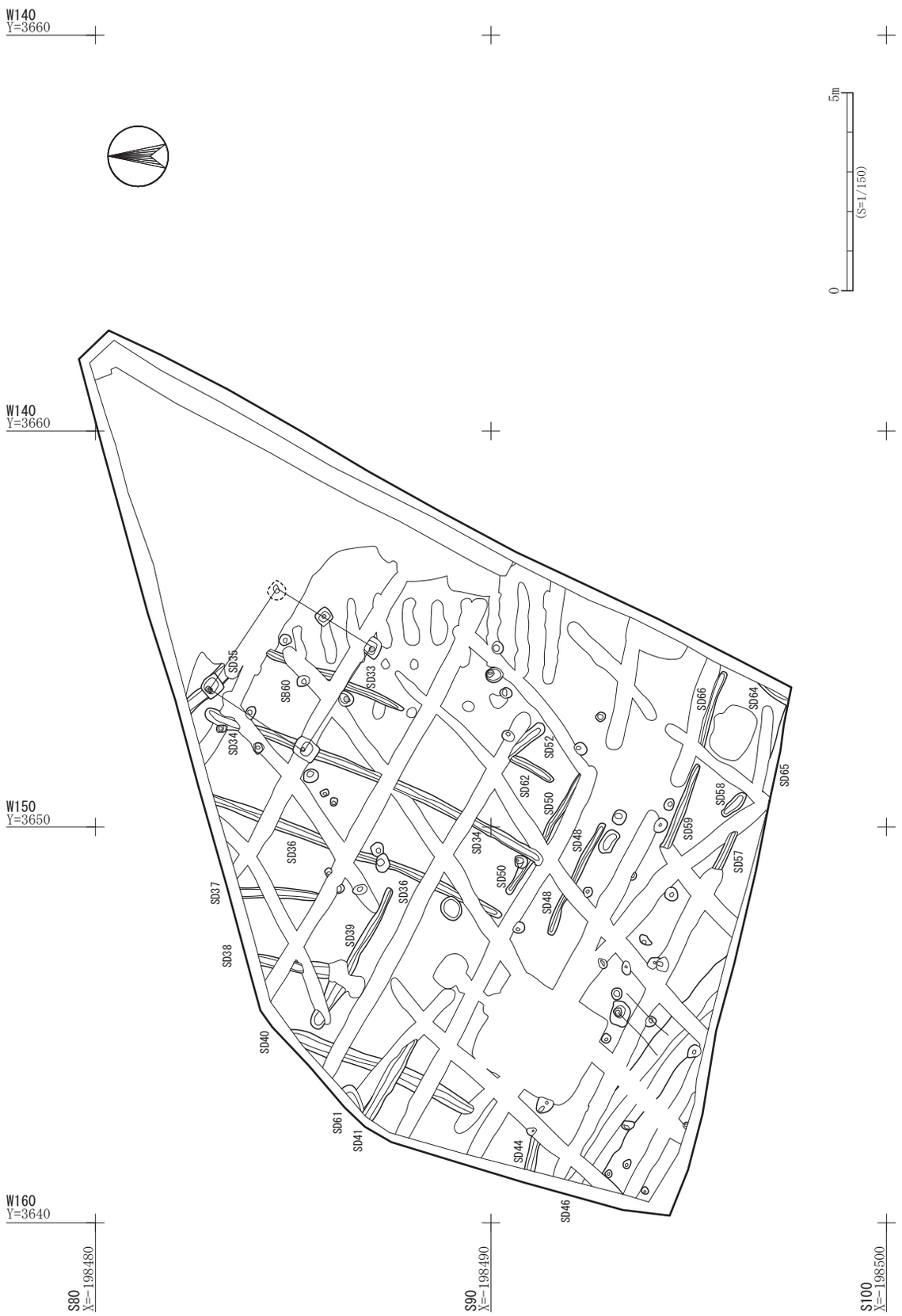
遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SR19	3	10YR5/1 褐灰色	粗砂	酸化鉄を含む
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐灰色砂質シルト小ブロックを多量、酸化鉄を含む

第 37 図　SR19 河川跡断面図

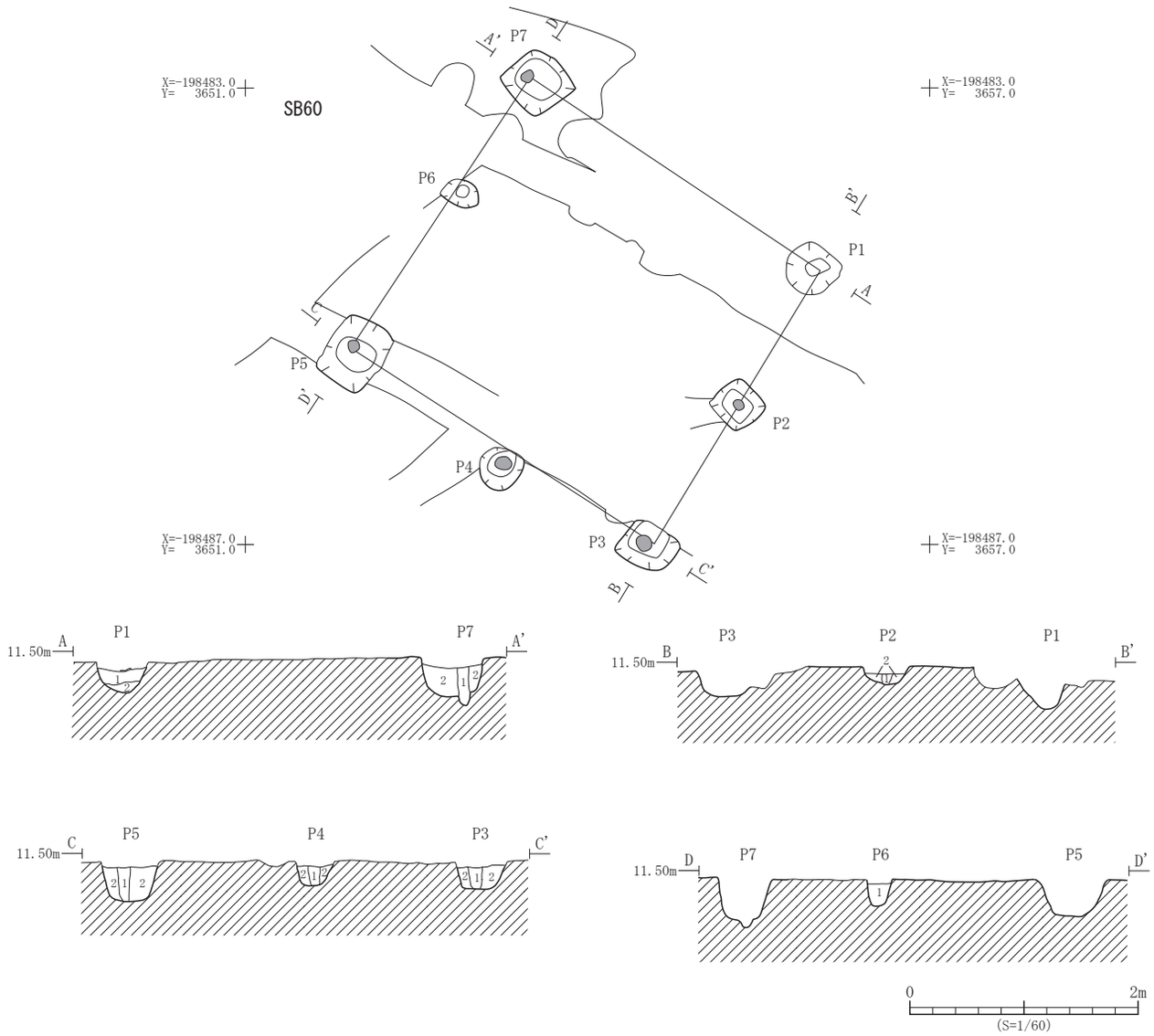


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
1	P-2	5A1	－	Ⅳ a2	土製品	土錘	3.5 × 3.6 × 3.4　40.2　孔径 0.6		11 - 8

第 38 図　Ⅳ a2 層遺構外出土遺物



第 39 図　伊古田遺跡 5A1 区Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB60	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む
P1	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	酸化鉄を少量含む　柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む
P3	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む

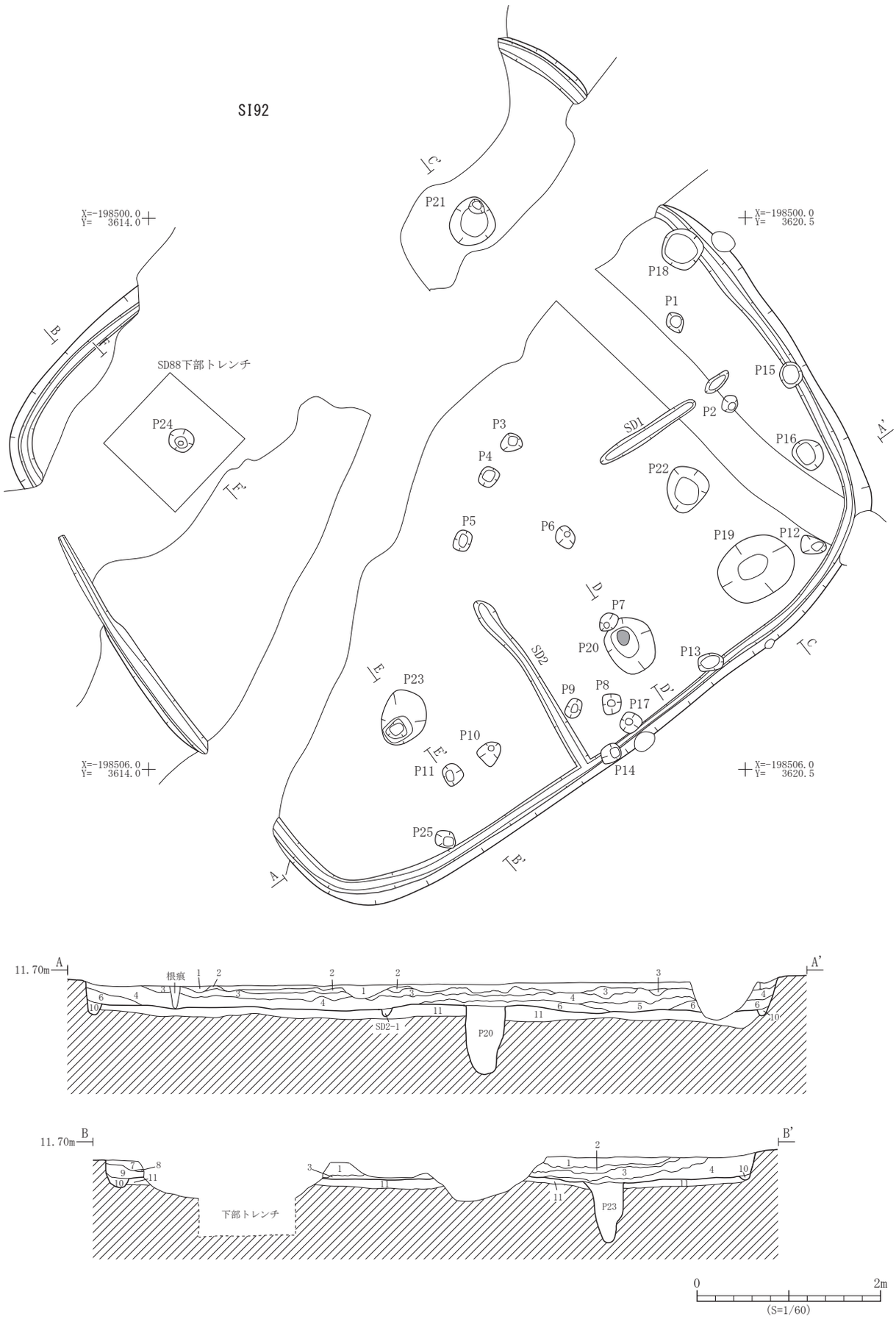
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む
P5	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	黒褐色粘土小ブロックを多量含む　柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む
P6	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを多量含む
P7	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色土小ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色土小ブロックを微量含む

第 40 図　SB60 掘立柱建物跡平面図・断面図

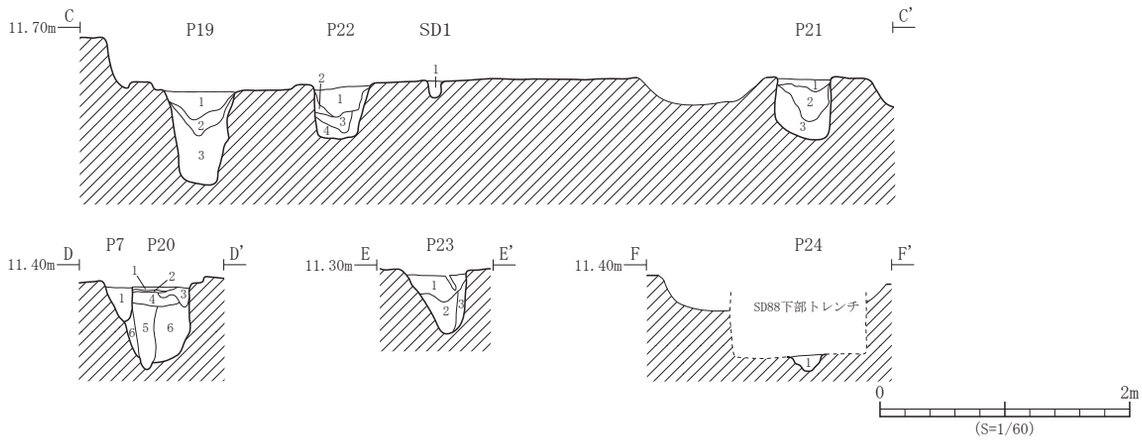
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD46	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	下層にⅢ層小ブロックを帯状に含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	黄褐色土小ブロックを多量含む

第 41 図　SD46 溝跡断面図

第 42 図　伊古田遺跡 5A2 区Ⅴ層遺構配置図



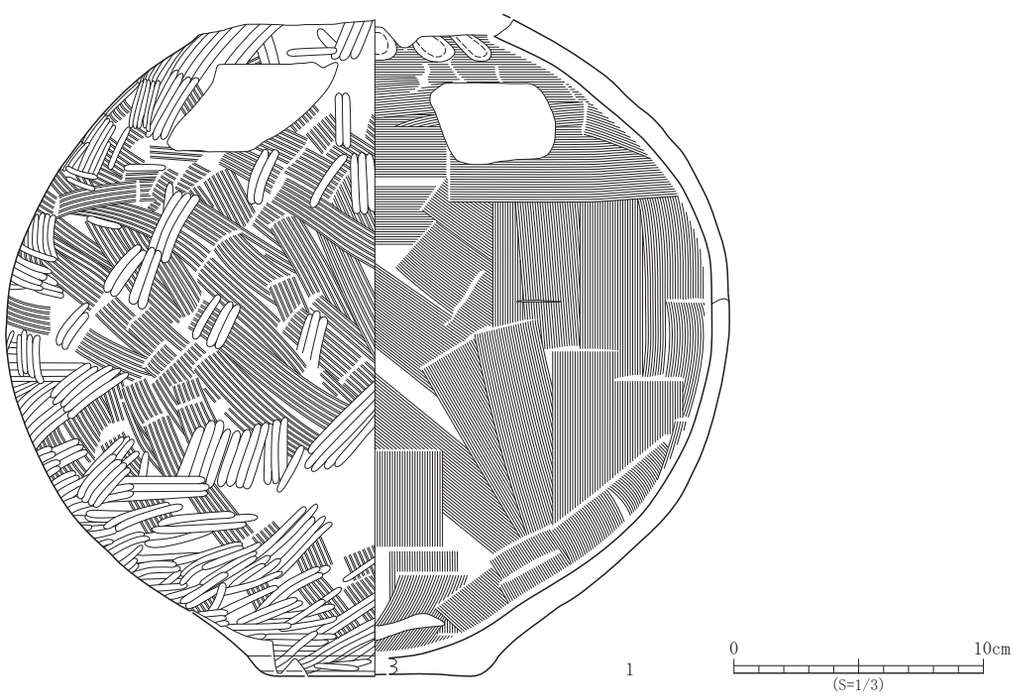
第 43 図　SI92 竪穴住居跡平面図・断面図（1）



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI92	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを多量含む
	4	10YR3/2 黒褐色	シルト質粘土	褐色砂質シルトブロック・マンガン粒を少量含む
	5	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを斑状に含む
	6	10YR3/3 暗褐色	粘土	マンガン粒を少量含む
	7	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	マンガン粒を多量含む
	8	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
	9	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	マンガン粒を少量含む
	10	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	周溝
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少量含む　掘り方
SD1	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
SD2	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
P19	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物ブロックを少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを少量含む

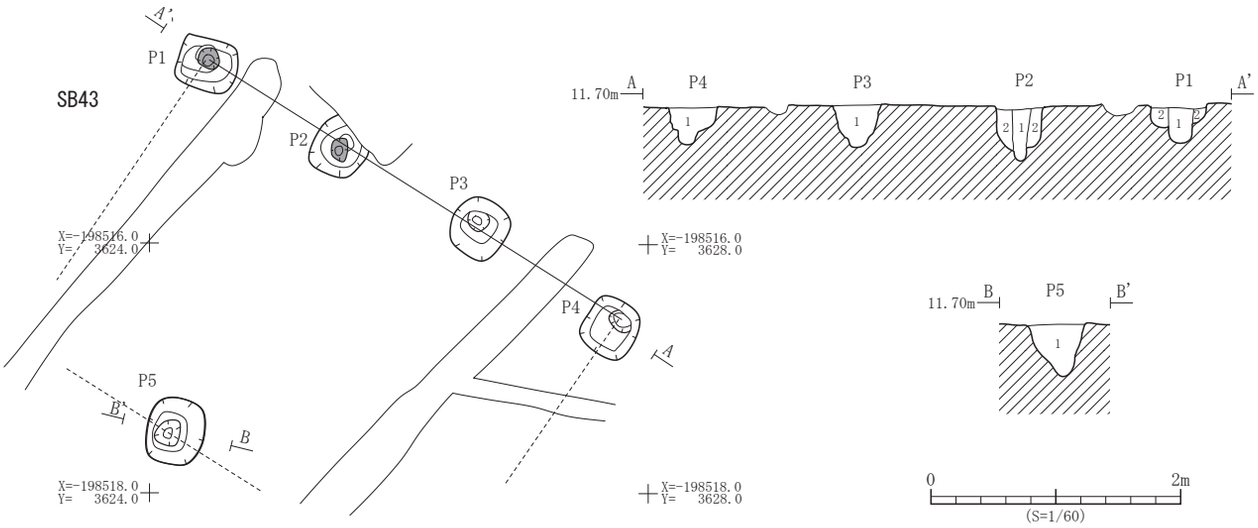
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P20	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR3/1 黒褐色	粘土	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	4	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色粘土ブロック・炭化物ブロックを少量含む
	5	10YR3/4 暗褐色	粘土	柱痕
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	褐色砂質シルトブロックを多量含む
P21	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物ブロックを含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色シルトブロックを多量、炭化物ブロックを含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む
P22	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを少量、炭化物ブロックを含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物ブロックを含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P23	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	
P24	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	砂を均等に多量含む

第 44 図　SI92 竪穴住居跡断面図（2）



№.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-11	5A2	SI92	床直	土師器	壺	－×（8.0）×現 26.3	ハケメ・ヘラミガキ	ヘラナデ・指オサエ		11 - 9

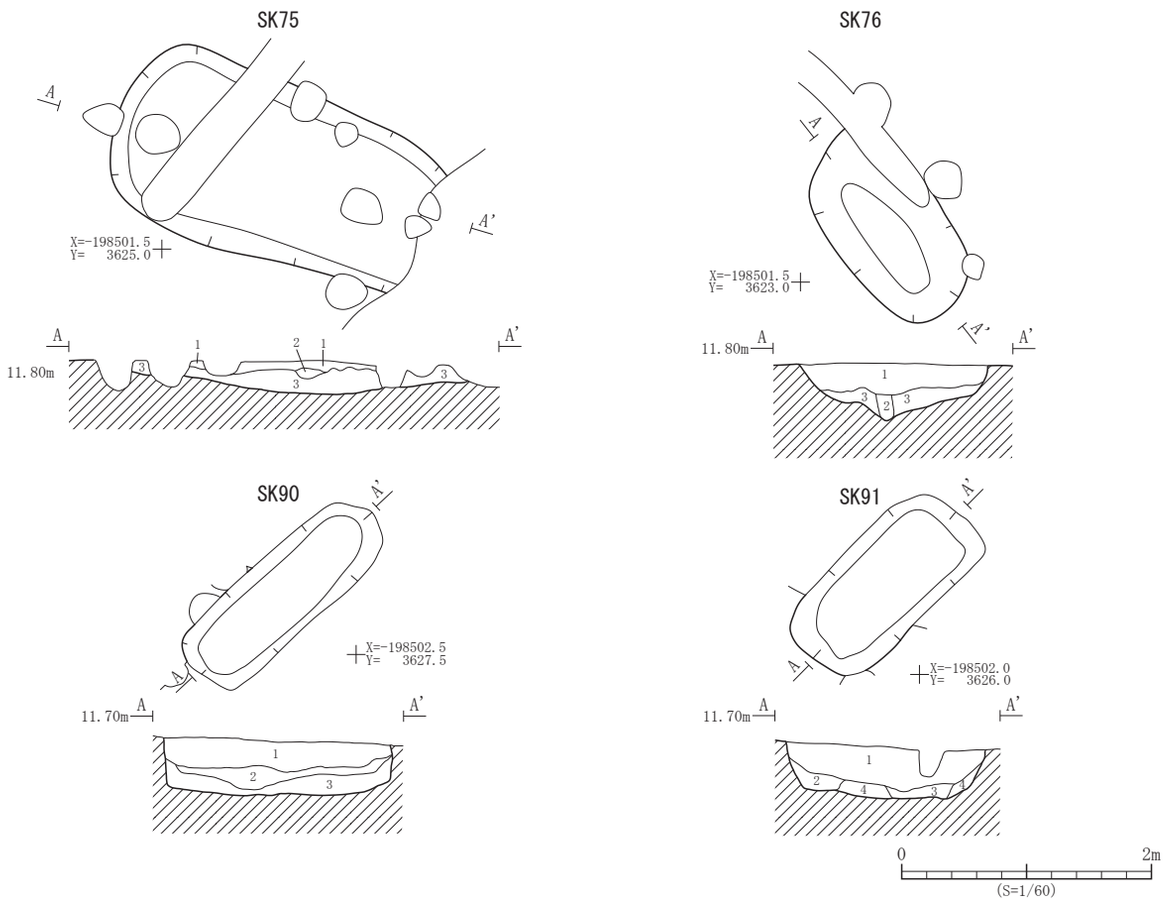
第 45 図　SI92 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB43	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
P1	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P3	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P4	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
P5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む

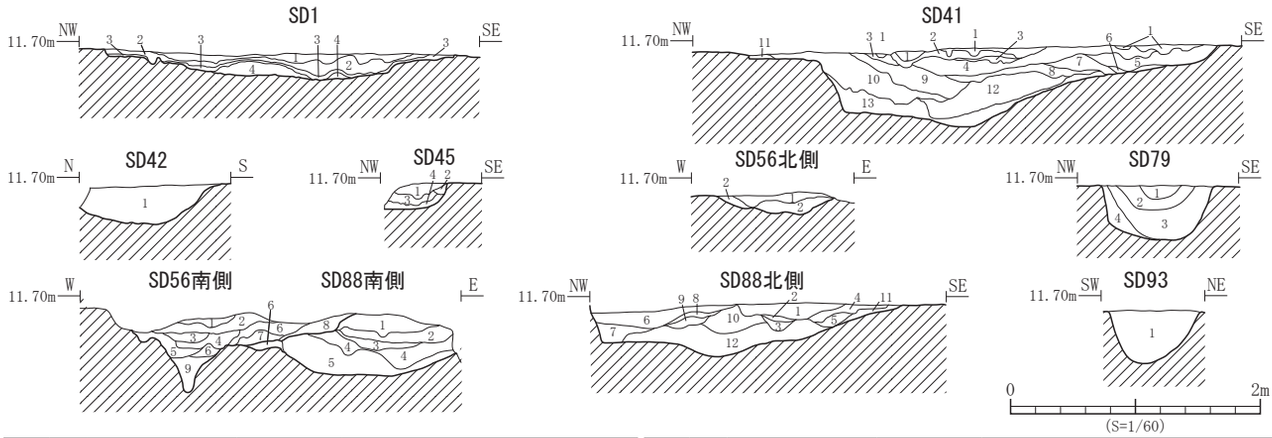
第 46 図　SB43 掘立柱建物跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK75	1	10YR3/1 黒褐色	粘土	褐色シルトブロック・マンガン粒を少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	マンガン粒を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	マンガン粒を少量含む
SK76	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	灰黄褐色シルトブロック・マンガン粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロックを多量含む

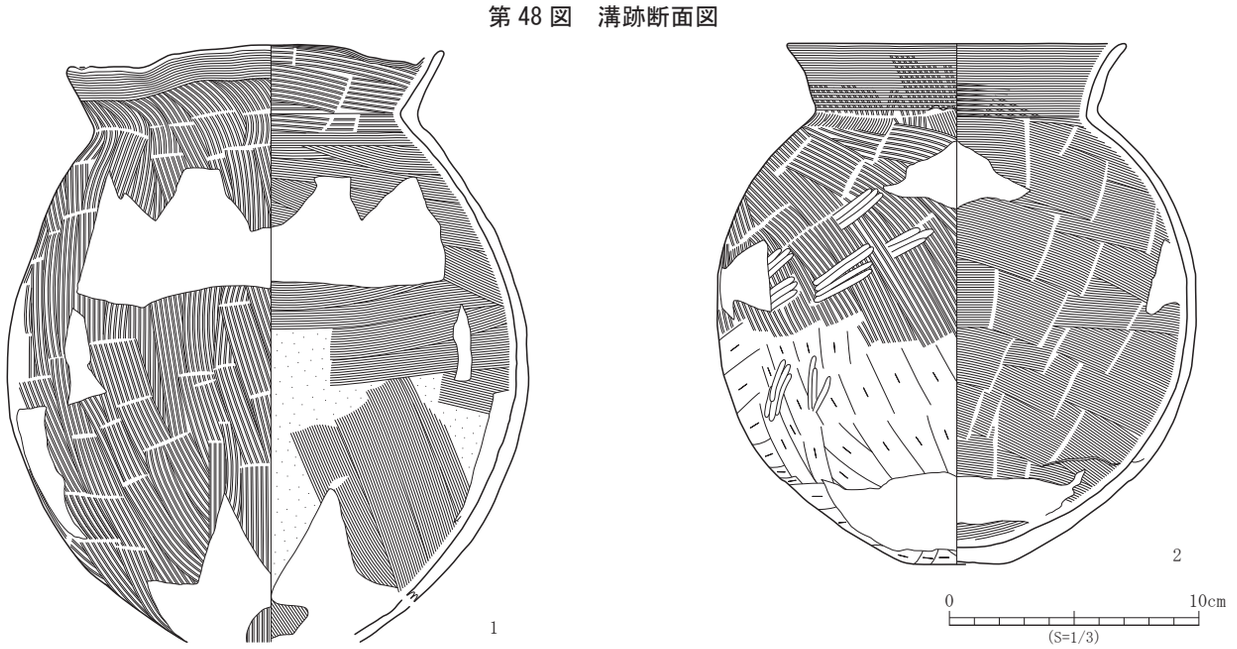
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK90	1	10YR3/1 黒褐色	粘土	にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	
SK91	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
	2	10YR3/1 黒褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む

第 47 図　土坑平面図・断面図



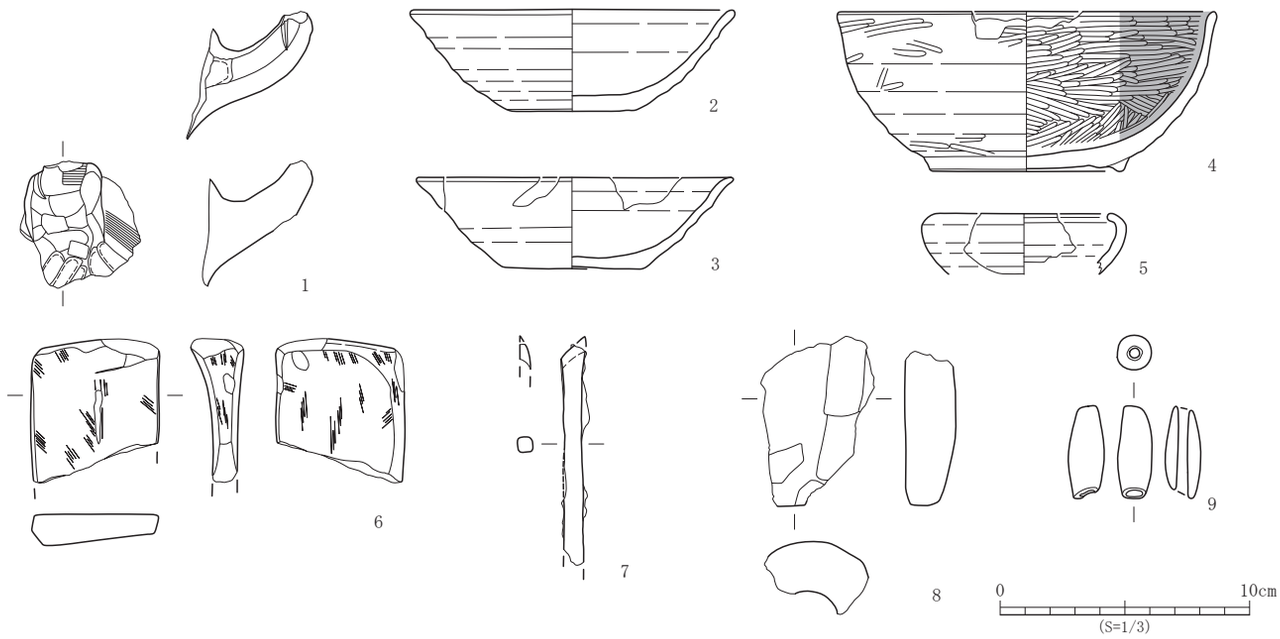
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂	褐色粗砂、灰白火山灰を少量含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土	灰白火山灰を少量含む
	3	酸化鉄層		下部にマンガンを含む
	4	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを多量含む
SD41	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	マンガン粒を多量、明褐色土を少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト質砂	暗褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	
	4	10YR4/2 灰黄褐色	細砂	粗砂との互層
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	
	6	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	7	10YR4/3 にぶい黄褐色	粗砂	
	8	10YR2/1 黒色	粘土	褐灰色細砂・褐色砂との互層
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	にぶい黄褐色粗砂との互層、暗褐色粘土ブロックを少量含む
	10	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	にぶい黄褐色砂を層状に、暗褐色粘土ブロックを少量含む
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	
	12	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	褐色粗砂との互層
	13	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	にぶい黄褐色細砂を斑状に含む
SD42	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト質砂	灰白火山灰・黒褐色粘土・マンガン粒を少量含む
SD45	1	10YR2/3 黒褐色	粘土	灰黄褐色砂を少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	砂	褐色砂を少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色砂を少量含む
SD56 北側	1	10YR3/1 黒褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト質砂	黒褐色粘土ブロックを少量含む
SD56 南側	1	10YR5/3 にぶい黄褐色	細砂	マンガン粒を多量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂	黒褐色シルトブロック・マンガン粒を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト質砂	炭化物を少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	にぶい黄褐色砂・黒褐色粘土との互層
SD56 南側	5	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粗砂を多量含む
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質砂	
	7	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色細砂を均質に含む
	8	10YR5/3 にぶい黄褐色	細砂	マンガン粒を多量含む
	9	10YR3/4 暗褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを少量含む
SD79	1	10YR4/4 褐色	シルト	マンガン粒を多量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロック・マンガン粒を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	4	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色粘土質シルトブロックを少量含む
SD88 北側	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	
	3	10YR3/3 暗褐色	粗砂	
	4	10YR3/1 黒褐色	粘土	褐色細砂ブロックを含む
	5	10YR3/2 黒褐色	粘土	暗褐色粗砂を均質に含む
	6	10YR3/3 暗褐色	シルト	黒褐色粘土質シルトブロック・にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む
	7	10YR3/3 暗褐色	粘土	にぶい黄褐色粗砂を多量含む
	8	10YR4/4 褐色	シルト質砂	にぶい黄橙色細砂との互層
	9	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	黒色粘土ブロックを少量含む
	10	10YR4/3 にぶい黄褐色	細砂	
	11	10YR4/4 褐色	シルト質砂	黒褐色シルトブロックを少量含む
	12	10YR4/2 灰黄褐色	細砂	
SD88 南側	1	10YR2/2 黒褐色	粘土	にぶい黄褐色シルト・暗褐色粘土質シルトとの互層、炭化物を少量含む
	2	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む
	3	10YR2/3 黒褐色	粘土	炭化物を多量含む
	4	10YR3/1 黒褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
	5	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
	6	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	炭化物を少量含む
SD93	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少量含む

第 48 図　溝跡断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-9	5A2	SD51	－	土師器	甕	15.1 × － × 24.0	ヨコナデ・ハケメ	ハケメ・ヨコナデ・ヘラナデ	内面摩滅。	11 - 11
2	C-10	5A2	SD88	－	土師器	甕	(13.6) × 3.9 × 20.9	ハケメ・ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ハケメ・ヨコナデ・ヘラナデ		12 - 11

第 49 図　溝跡出土遺物（1）



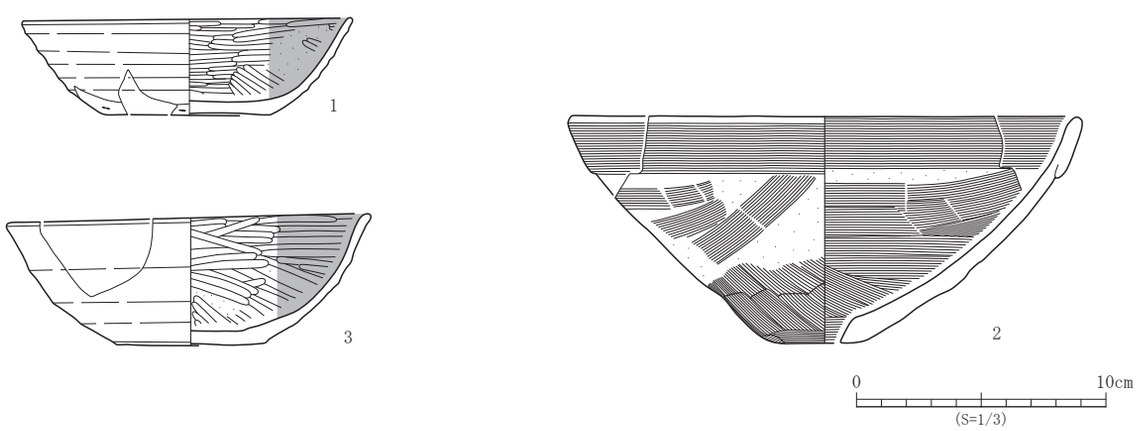
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-12	5A2	SD41	－	土師器	甑把手	－×－×現 5.1	指オサエ・ナデ	－		12 - 1
2	D-6	5A2	SD88	－	赤焼土器	坏	(13.0) × 4.9 × 4.1	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ・ヘラナデ・指ナデ		12 - 6
3	E-10	5A2	SD88	－	須恵器	坏	(12.7) × 5.6 ×現 3.7	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		12 - 10
4	D-7	5A2	SD88	－	土師器	高台付坏	(15.2) × 7.7 × 6.4	ロクロナデ・ヘラミガキ 底部回転糸切り→高台貼付	ヘラミガキ・黒色処理		12 - 5
5	I-5	5A2	SD51	－	緑釉陶器	鉢	(7.2) ×－×現 2.4	ロクロナデ・ヘラミガキ	ロクロナデ・ヘラミガキ		11 - 10

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
6	Kd-a-3	5A2	SD88	－	石製品	砥石	凝灰岩	(5.8) × 5.2 × 2.1　(55.8)	砥面４面。下部欠損。	12 - 7

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚（cm）	備　考	写真図版
7	N-6	5A2	SD88	－	金属製品	鉄鏃	現 8.9 × 0.9 × 0.6	鏃身部は無関の片刃箭で、端刃となる。片造り。	12 - 8
10	N-7	5A2	SD88	－	金属製品	椀形滓	7.1 × 5.7 × 2.6	写真掲載。	12 - 3
11	N-8	5A2	SD88	－	金属製品	椀形滓	9.6 × 6.5 × 3.0	写真掲載。	12 - 4

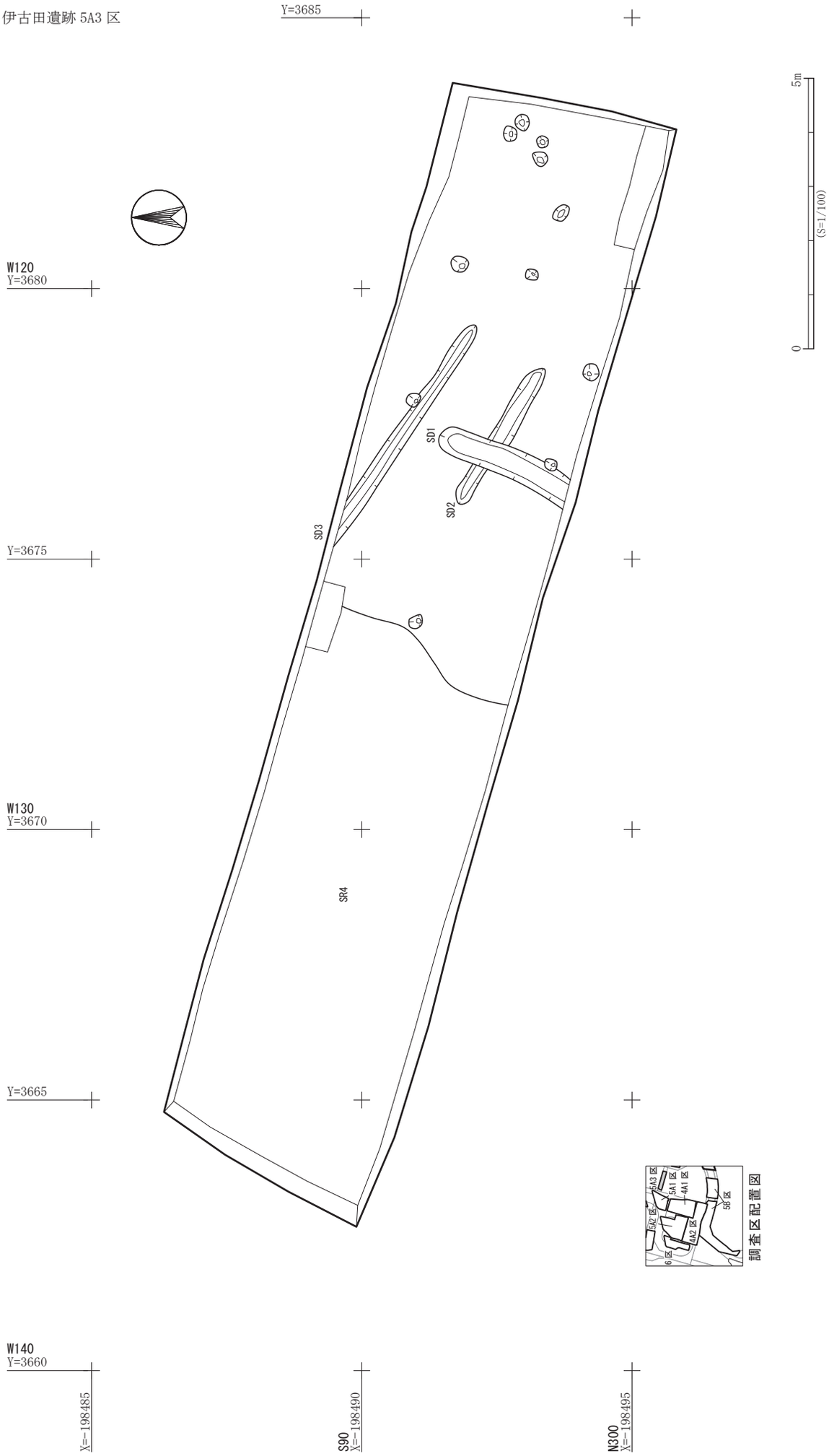
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
8	P-5	5A2	SD41	－	土製品	鞴（羽口）	現 6.8 ×現 4.6 × 2.1　(58.0)	ナデ。	12 - 2
9	P-3	5A2	SD88	－	土製品	土錘	3.7 × 1.4 × 1.4　5.4　孔径 0.4 cm		12 - 9

第 50 図　溝跡出土遺物（2）

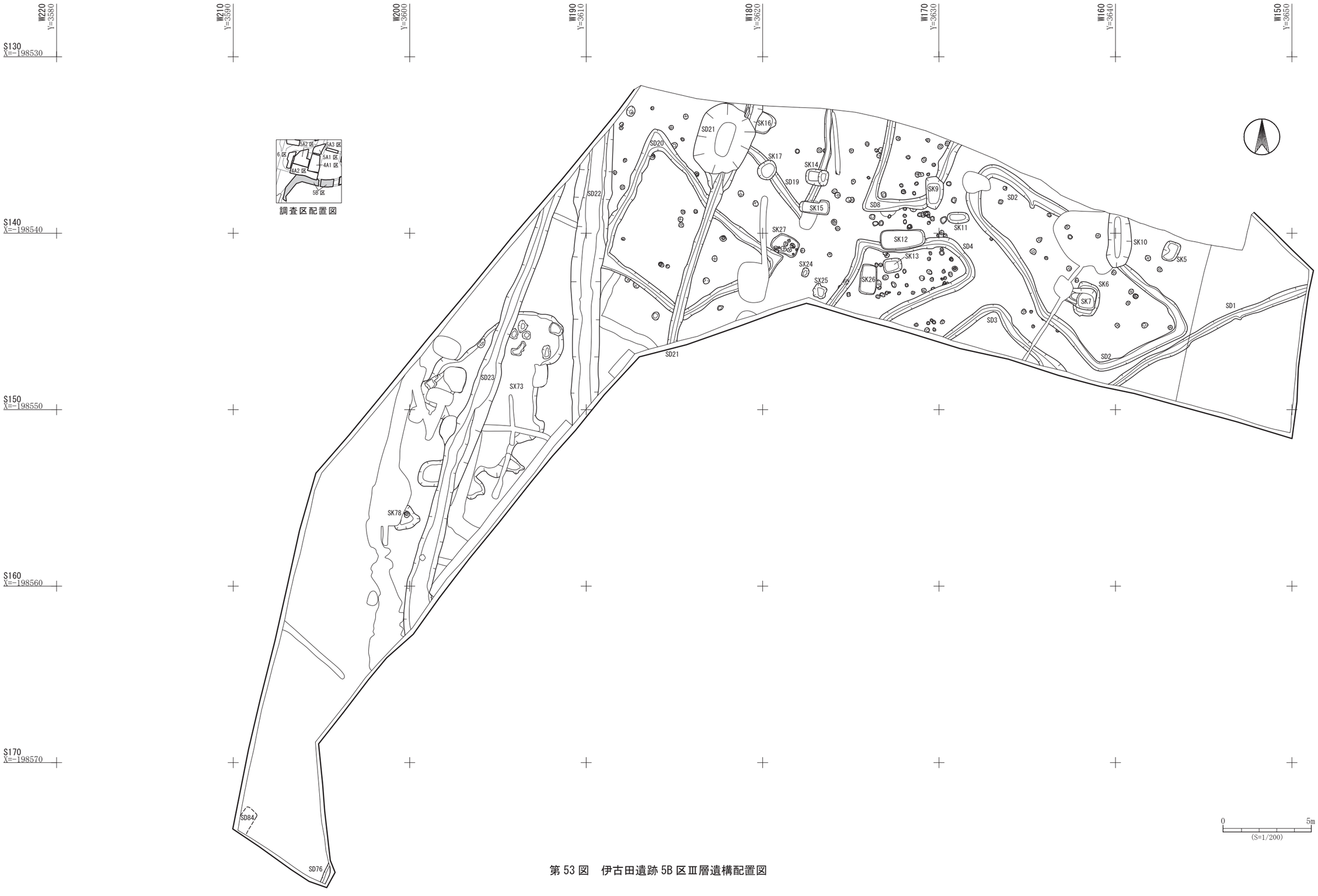


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-5	5A2	P285	－	土師器	坏	13.2 × 6.2 × 3.9	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		12 - 12
2	C-8	5A2	－	Ⅴ	土師器	甑	(20.6) × 3.3 × 9.0	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ		12 - 13
3	D-4	5A2	－	Ⅴ	土師器	坏	(14.6) × 6.0 × 5.1	ロクロナデ　底部回転糸切り→手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	内面摩滅。	12 - 14

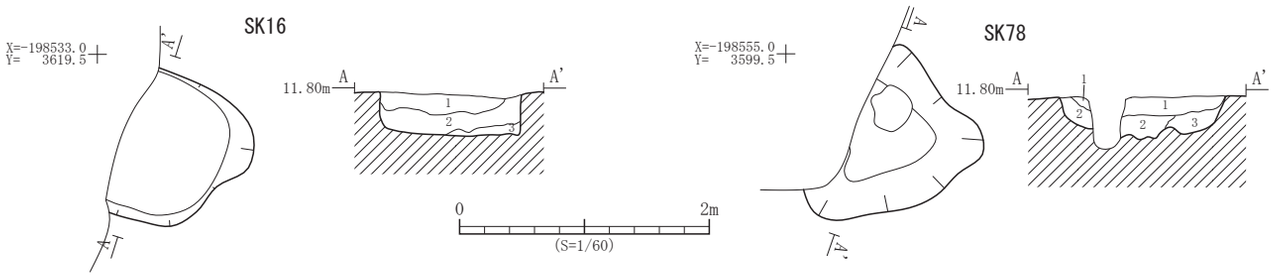
第 51 図　P285 ピット　Ⅴ層出土遺物



第 52 図　伊古田遺跡 5A3 区Ⅴ層遺構配置図



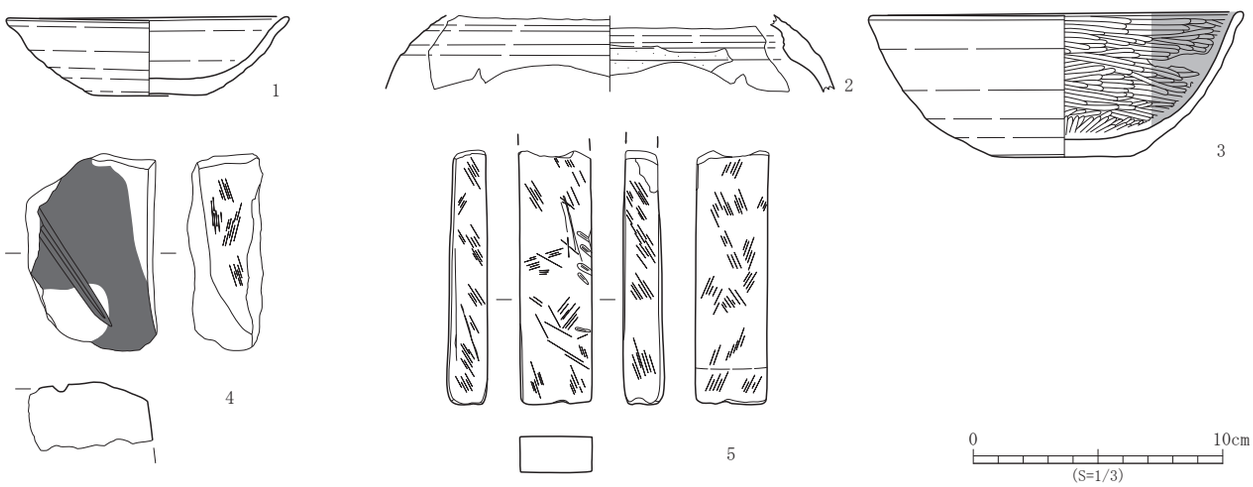
第 53 図　伊古田遺跡 5B 区Ⅲ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK16	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を多量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色シルトブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK78	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	酸化鉄を斑状に多量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色砂質シルトブロックを多量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む

第 54 図　SK16・78 土坑平面図・断面図

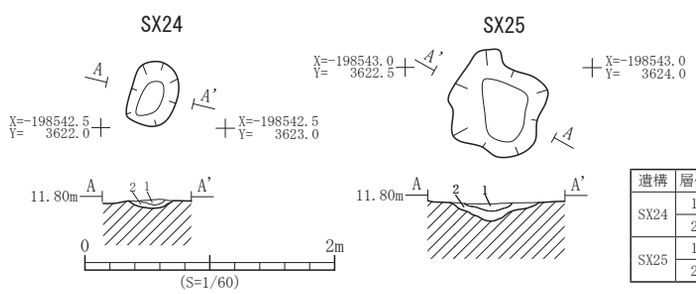


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-10	5B	SK16	最下層	赤焼土器	坏	(11.3) × 4.6 × 3.2	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		13 - 1
2	I-16	5B	SK16	2	灰釉陶器	長頸壺	- × - × 現 3.0	ロクロナデ	ロクロナデ	5A2 区Ⅴ層出土の体部片と接合。	13 - 2
3	D-11	5B	SK17	-	土師器	坏	(15.0) × 5.6 × 5.8	ロクロナデ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理		12 - 16

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
4	Kd-a-8	5B	SK16	2	石製品	砥石	凝灰岩	(7.9) × (5.3) × (3.0)　(113.4)	スス付着あり。	13 - 4
5	Kd-a-5	5B	SK15	-	石製品	砥石	凝灰岩	(10.2) × 2.9 × 1.6　(88.0)	砥面 4 面。両端部欠損。	12 - 15

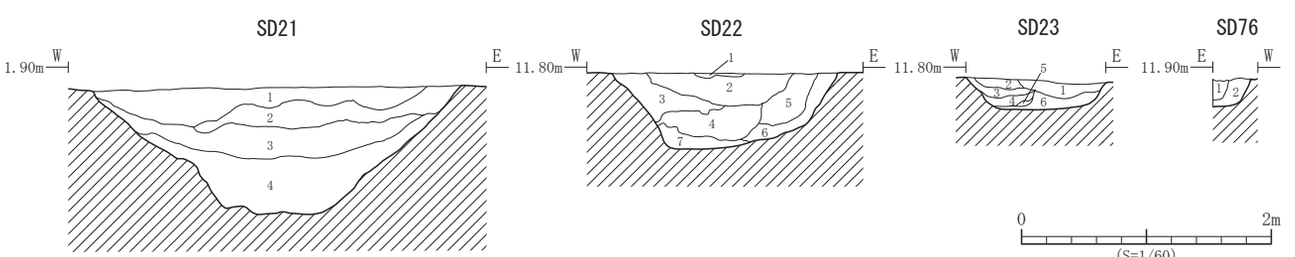
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
6	P-9	5B	SK16	-	土製品	焼粘土塊		写真掲載。	13 - 3

第 55 図　土坑出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SX24	1	5YR4/4 にぶい赤褐色	粘土質シルト	灰白砂を少量含む
	2	7.5YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・マンガン粒を少量含む
SX25	1	5YR3/6 赤褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	7.5YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・マンガン粒を少量含む

第 56 図　SX24・25 性格不明遺構平面図・断面図

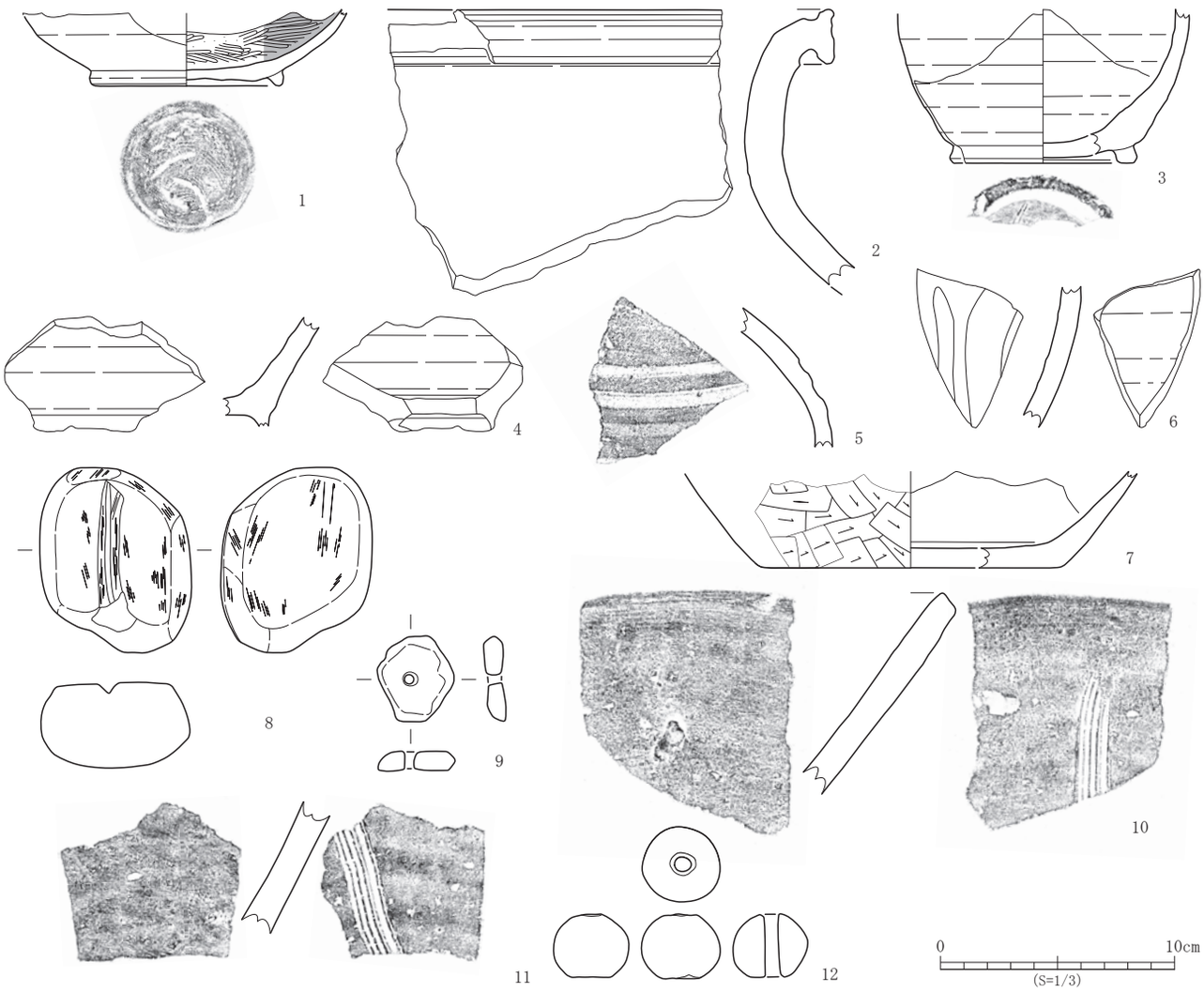


第 57 図　溝跡断面図

溝跡土層註記表

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD21	1	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロックを多量含む
	4	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	酸化鉄を斑状に多量含む
SD22	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	褐色砂を少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	褐色砂・黒色粘土質シルトブロック、灰白火山灰を少量含む
	3	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	4	10YR5/6 黄褐色	粗砂	灰黄褐色砂質シルト・黒褐色粘土との互層水性堆積層
	5	10YR2/3 黒褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD22	6	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
	7	2.5YR5/3 黄褐色	粘土質シルト	褐色砂を含む
SD23	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	灰白色砂、酸化鉄粒を少量含む
	2	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	マンガン粒、酸化鉄粒を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄粒、灰白色砂を少量含む
	4	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック主体、酸化鉄粒を少量含む
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	マンガン粒を少量含む
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
SD76	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質粘土	灰白色シルトブロックを含む



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-9	5B	SD23	－	土師器	高台付坏	－×7.9×現 3.1	ロクロナデ　底部回転糸切り→高台貼付	ヘラミガキ・黒色処理	外面底部不明圧痕。	12 - 17
3	I-14	5B	SD22	1	灰釉陶器	長頸壺	－×(8.0)×現 6.6	ロクロナデ	ロクロナデ	底部線刻。	13 - 13

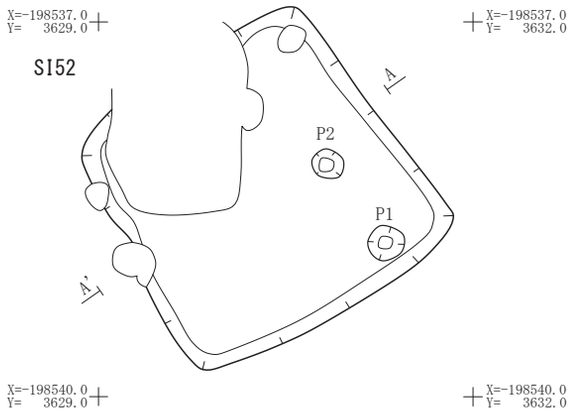
No.	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
2	I-10	5B	SD22	－	陶器	甕	－×－×現 12.2	ロクロ	常滑	中世	13 - 11
4	I-11	5B	SD22	－	陶器	片口鉢	－×－×現 5.0	ロクロ　内面－自然釉付着	常滑	中世	13 - 10
5	I-8	5B	SD21	－	陶器	壺	－×－×現 5.9	ロクロ	常滑	中世	13 - 5
6	I-13	5B	SD22	－	陶器	壺	－×－×現 6.8	ロクロ　外面－自然釉付着	常滑	中世	13 - 12
7	I-9	5B	SD22	－	陶器	甕	－×(13.0)×現 4.1	ヘラケズリ	在地	中世	13 - 9
10	I-12	5B	SD21	－	陶器	擂鉢	－×－×現 8.9	ロクロ　内面－擂目（単位 6 本）	在地	中世	13 - 6
11	I-7	5B	P90	1	陶器	擂鉢	－×－×現 5.6	ロクロ　内面－擂目（単位 6 本）	在地	中世	13 - 15

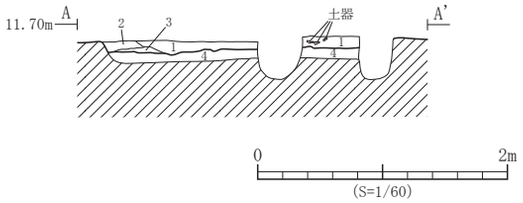
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
8	Kd-a-6	5B	SD21	－	石製品	砥石	安山岩	7.9×6.4×3.7　237.1	周縁部擦痕あり。	13 - 7
9	Kd-f-1	5B	SD23	－	石製品	有孔石製品	凝灰岩	3.7×3.3×0.9　10.5	孔内部に黒色付着物あり。	12 - 18

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
12	P-8	5B	SD21	－	土製品	土錘	2.8×3.3×3.2　29.0　孔径 0.7		13 - 8

第 58 図　溝跡出土遺物

第 59 図　伊古田遺跡 5B 区Ⅴ層遺構配置図



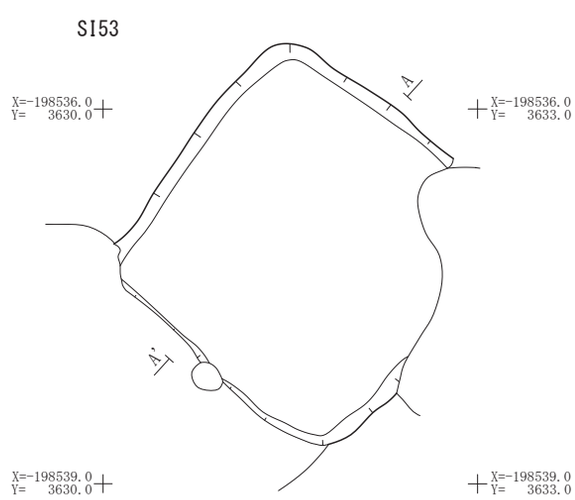


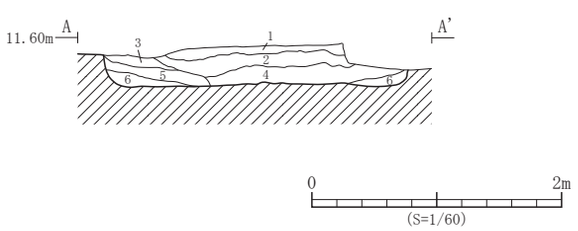
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI52	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物・焼土粒を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物・焼土粒を多量含む
	4	10YR4/6 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む　掘り方
P1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量、焼土粒を微量含む
P2	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量、焼土粒を微量含む

第 60 図　SI52 竪穴遺構平面図・断面図

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-13	5B	SI52	－	土師器	甕	19.0 × 7.8 × 24.2	ヨコナデ・ヘラケズリ・ハケメ　底部ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ		13 - 14

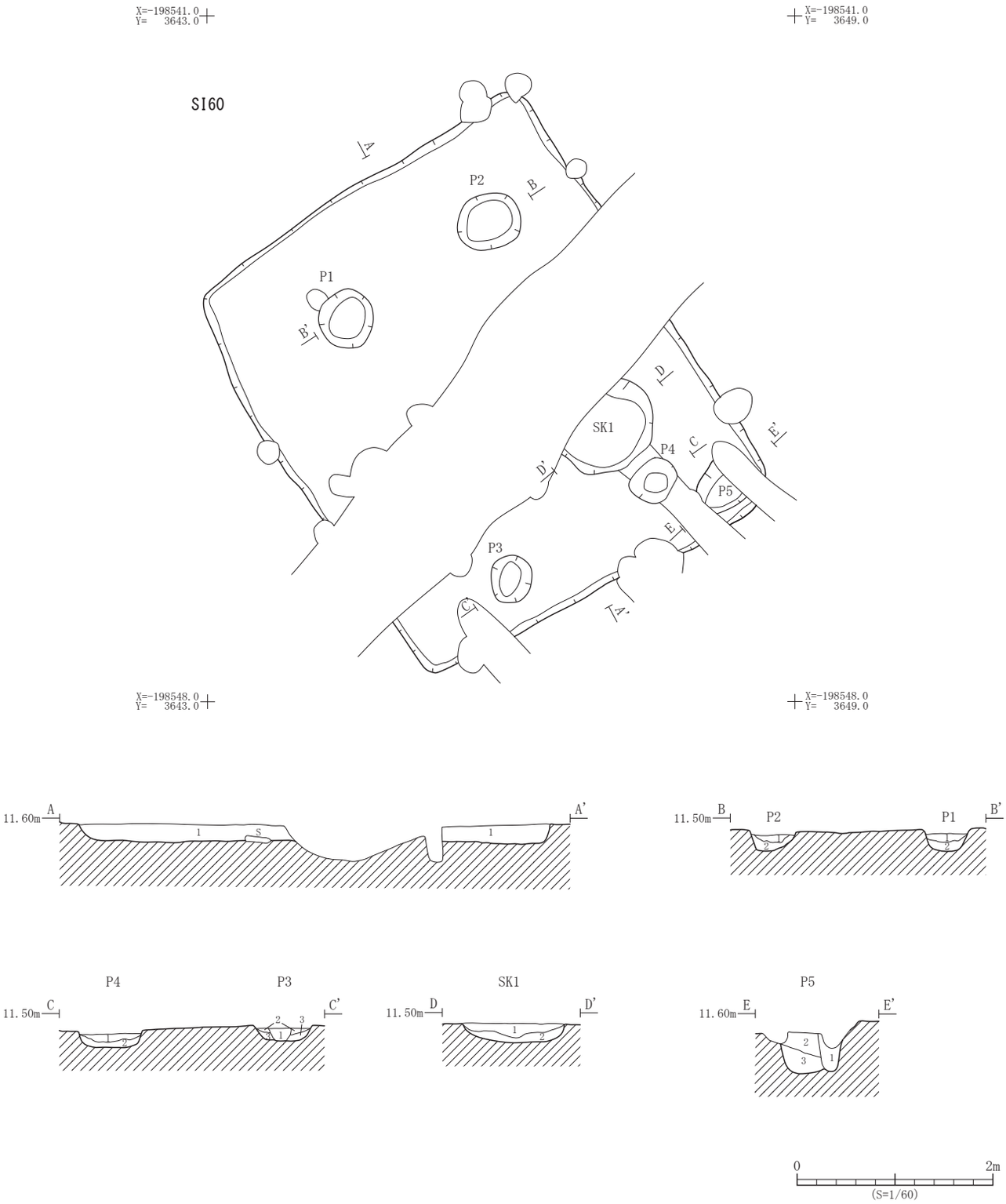
第 61 図　SI52 竪穴遺構出土遺物





遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI53	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土粒・炭化物を多量、焼土ブロックを少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土粒・炭化物を多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を微量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	焼土粒・炭化物を少量含む
	5	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を微量含む
	6	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む

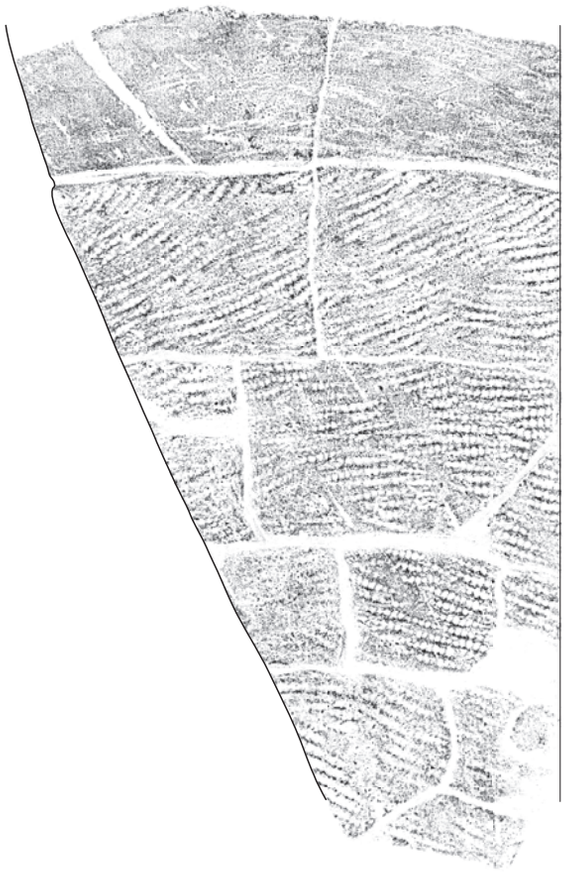
第 62 図　SI53 竪穴遺構平面図・断面図

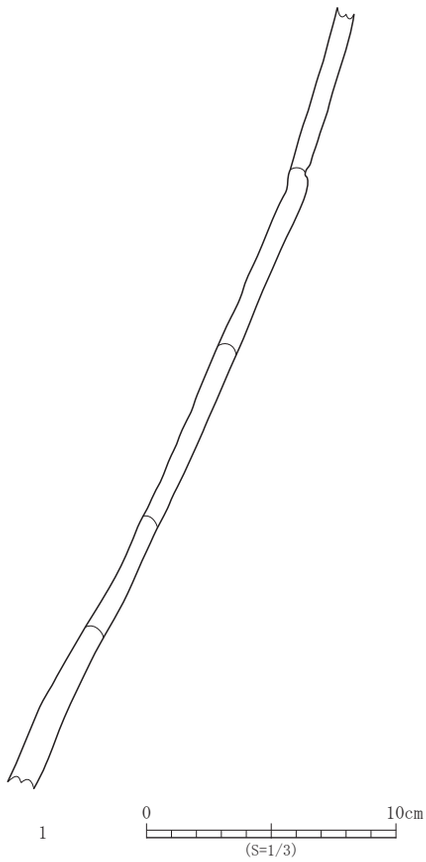


遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI60	1	10YR4/4 褐色	粘土	にぶい黄褐色砂質シルトブロックを少量含む
SK1	1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
P1	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	黄橙色砂・炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
P2	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を微量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P3	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	浅黄橙色砂を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
P4	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
P5	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼土粒・炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む

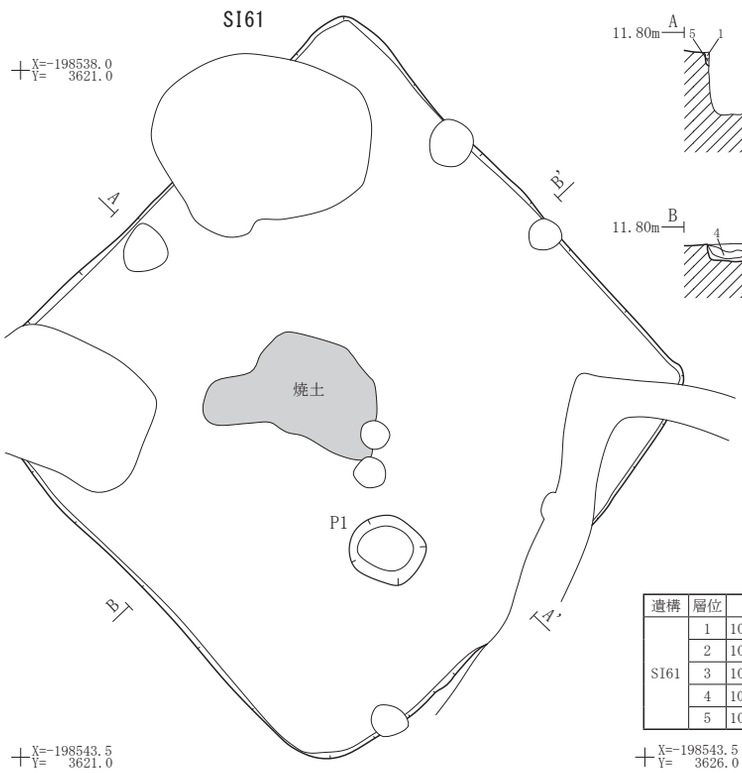
第 63 図　SI60 竪穴住居跡平面図・断面図

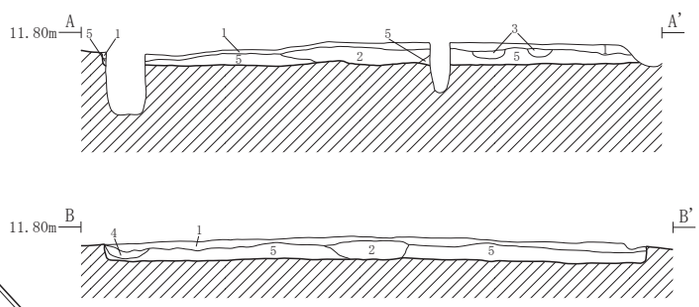


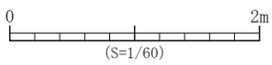


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-3	5B	SI60-SK1	－	縄文土器	深鉢	胴部－沈線文・LR 縄文		14 - 6

第 64 図　SI60 竪穴住居跡出土遺物



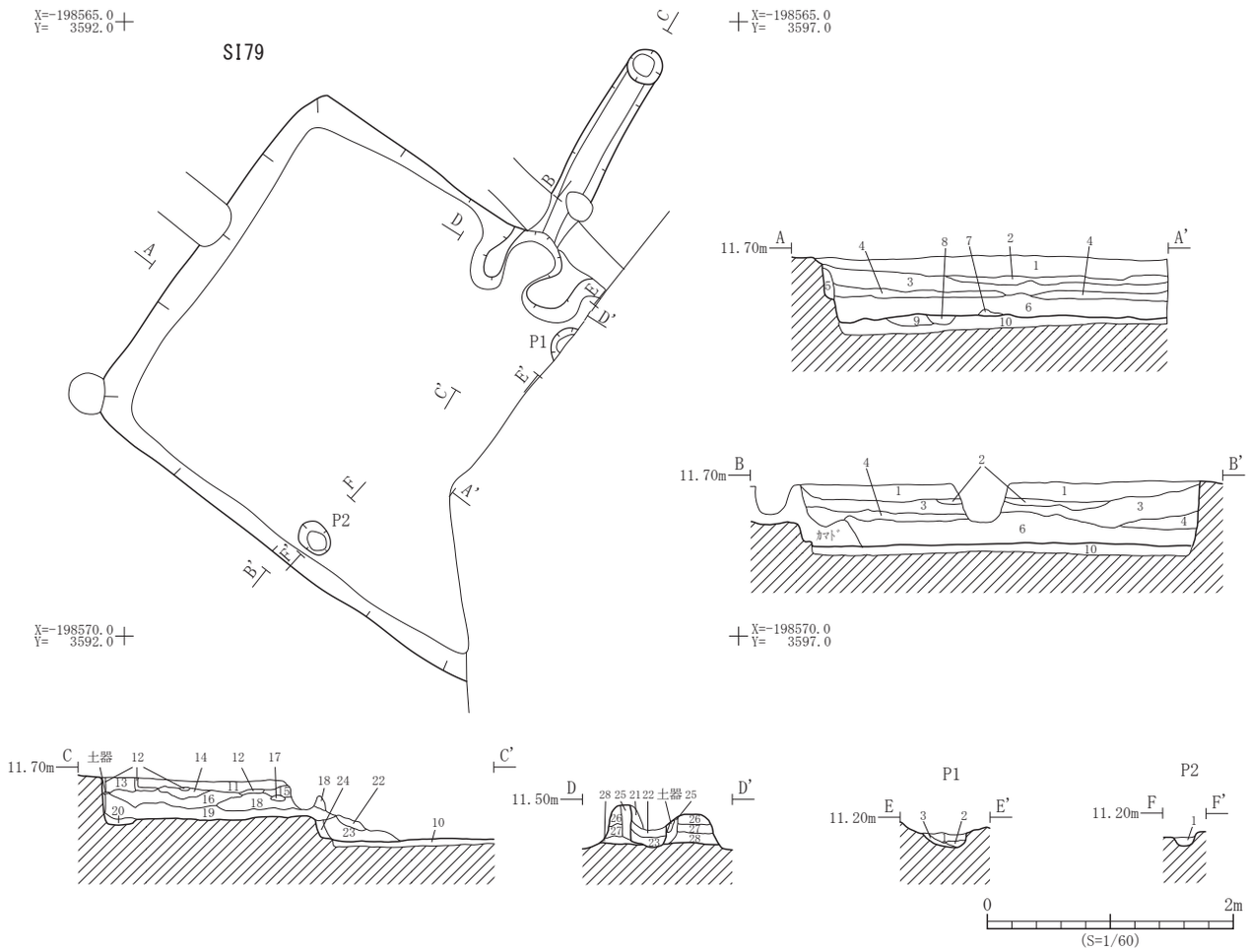




遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SI61	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物、マンガン粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼土ブロック・炭化物を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	マンガン粒・炭化物を少量含む
	5	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む

X=-198543.5
Y= 3626.0

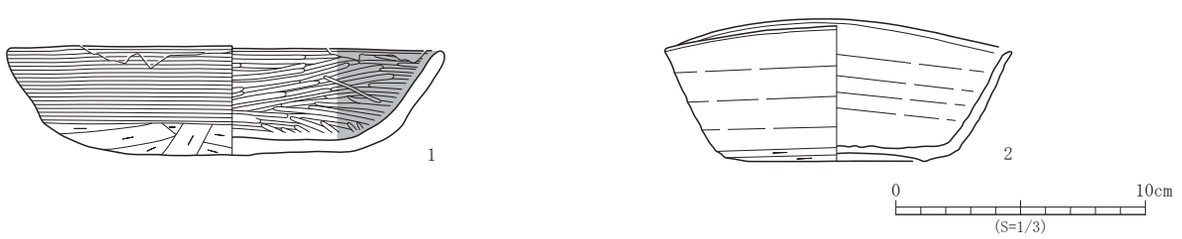
第 65 図　SI61 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI79	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	褐色砂質シルトブロック・灰白色砂を少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	灰白色砂を少量含む
	6	10YR3/4 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む
	7	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	8	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	掘り方
	9	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む　掘り方
	10	10YR4/4 褐色	砂質シルト	暗褐色粘土ブロックを少量含む　掘り方
	11	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	黒褐色シルト質粘土ブロックを少量含む
	12	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	被熱層
	13	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	14	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	15	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	16	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物、焼土粒を少量含む

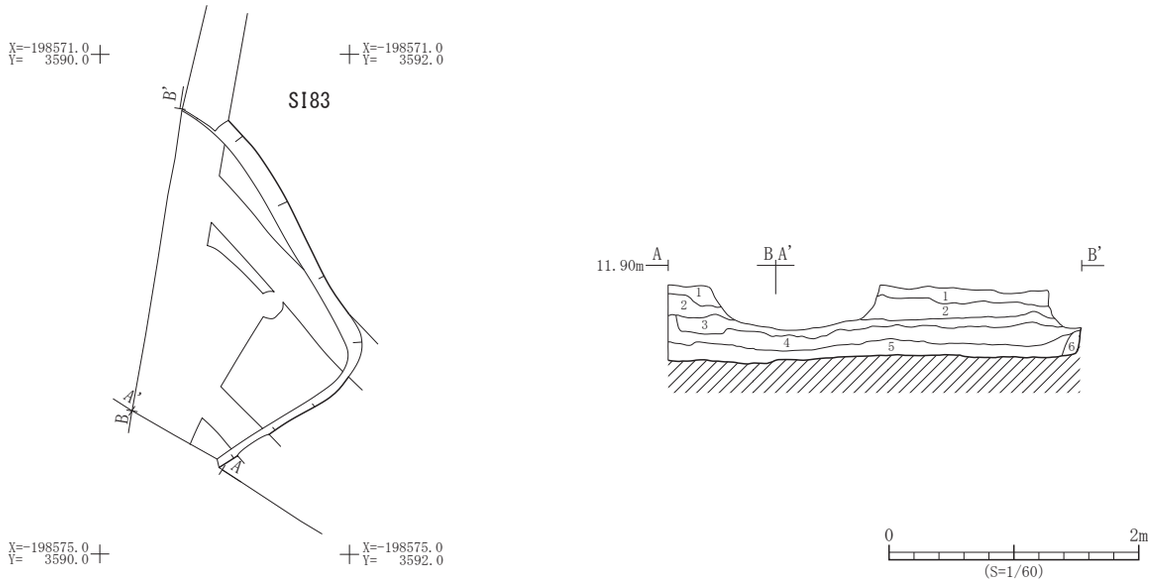
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI79	17	10YR2/3 黒褐色	シルト質粘土	被熱層　煙道天井崩落土
	18	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	炭化物、焼土粒を少量含む
	19	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を含む
	20	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	21	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物、焼土ブロックを少量含む
	22	5YR3/2 暗赤褐色	砂質シルト	焼土ブロック主体、炭化物を含む
	23	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	焼土ブロックを多量、炭化物を少量含む
	24	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	焼土ブロック・炭化物を少量含む
	25	5YR3/6 暗赤褐色	砂質シルト	焼土ブロック主体、炭化物を含む　カマド袖
	26	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む　カマド袖
	27	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	カマド袖
	28	10YR4/4 褐色	砂質シルト	カマド袖
P1	1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	焼土粒を少量含む
P2	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	焼土粒を少量含む

第 66 図　SI79 竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-16	5B	SI79	－	土師器	坏	17.5 × － × 現 4.4	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		13 - 17
2	E-9	5B	SI79	－	須恵器	坏	13.9 × 7.0 × 5.6	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部切り離し不明	ロクロナデ	外面自然釉付着。	13 - 16

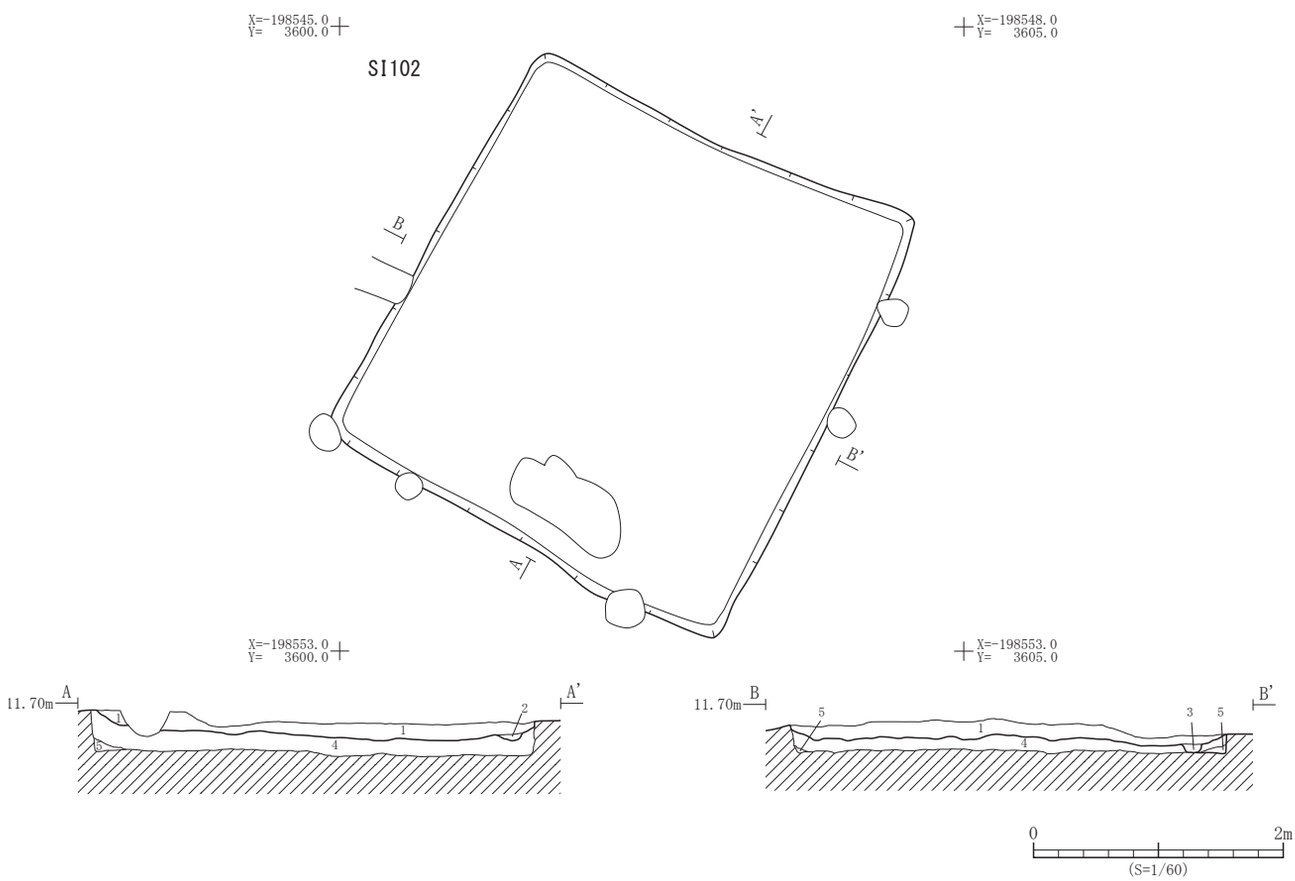
第 67 図　SI79 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI83	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI83	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	5	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	6	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む

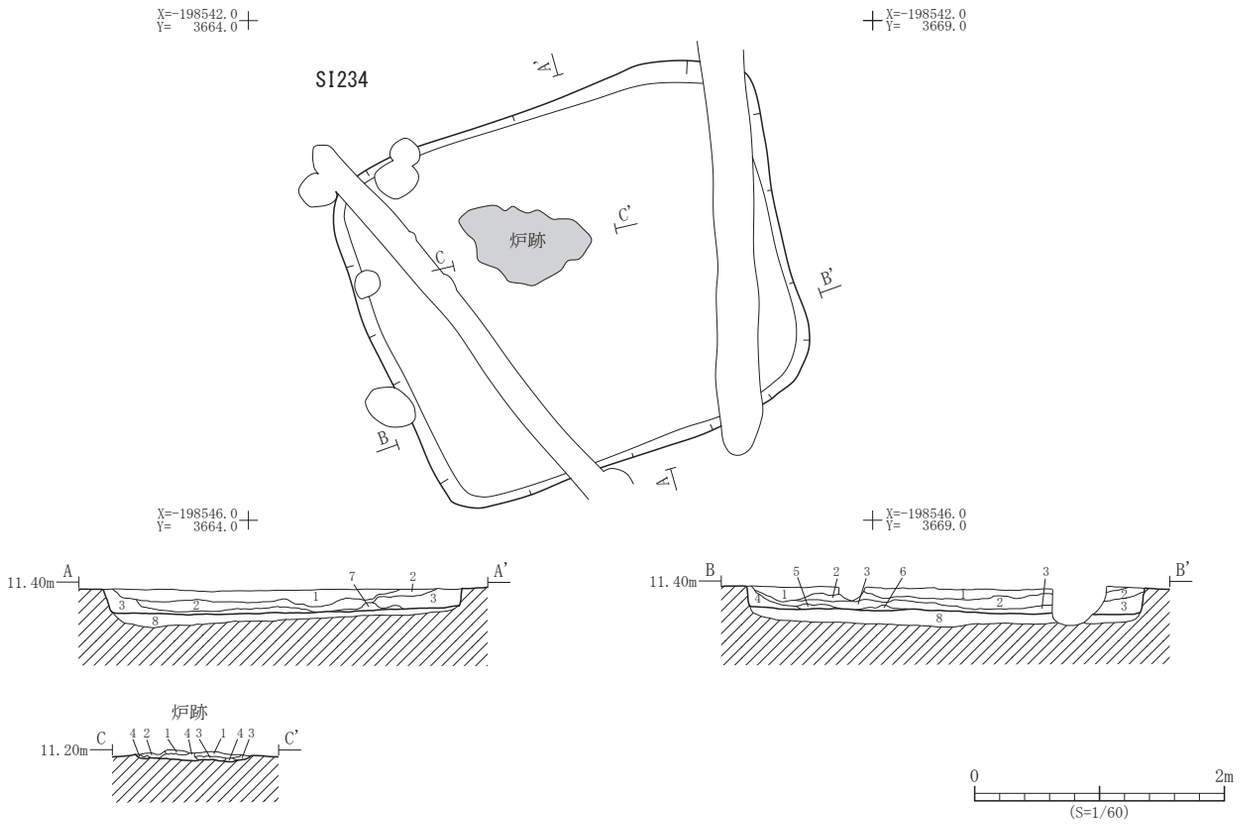
第 68 図　SI83 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI102	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	マンガン粒を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰白色砂・マンガン粒を少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI102	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	灰白色砂・マンガン粒を少量含む　掘り方
	5	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む　掘り方

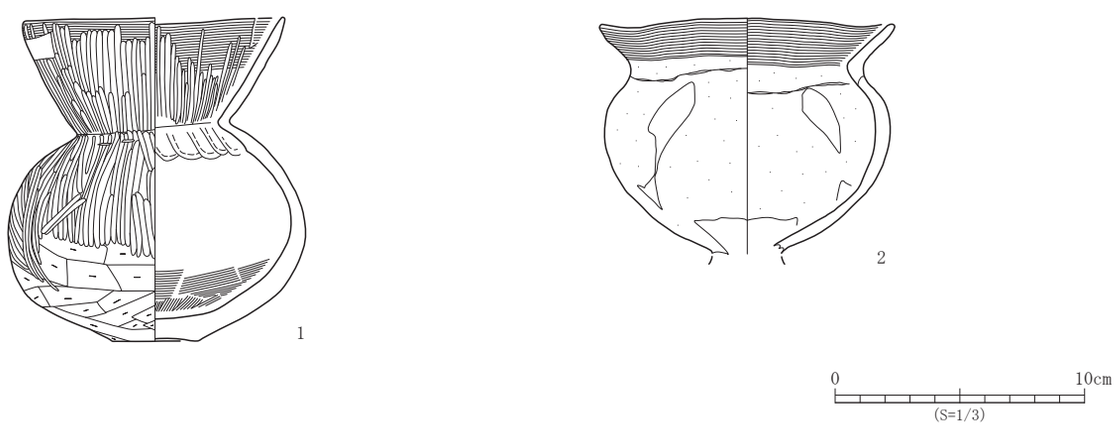
第 69 図　SI102 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI234	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む
	6	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多量含む
	7	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	8	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	掘り方

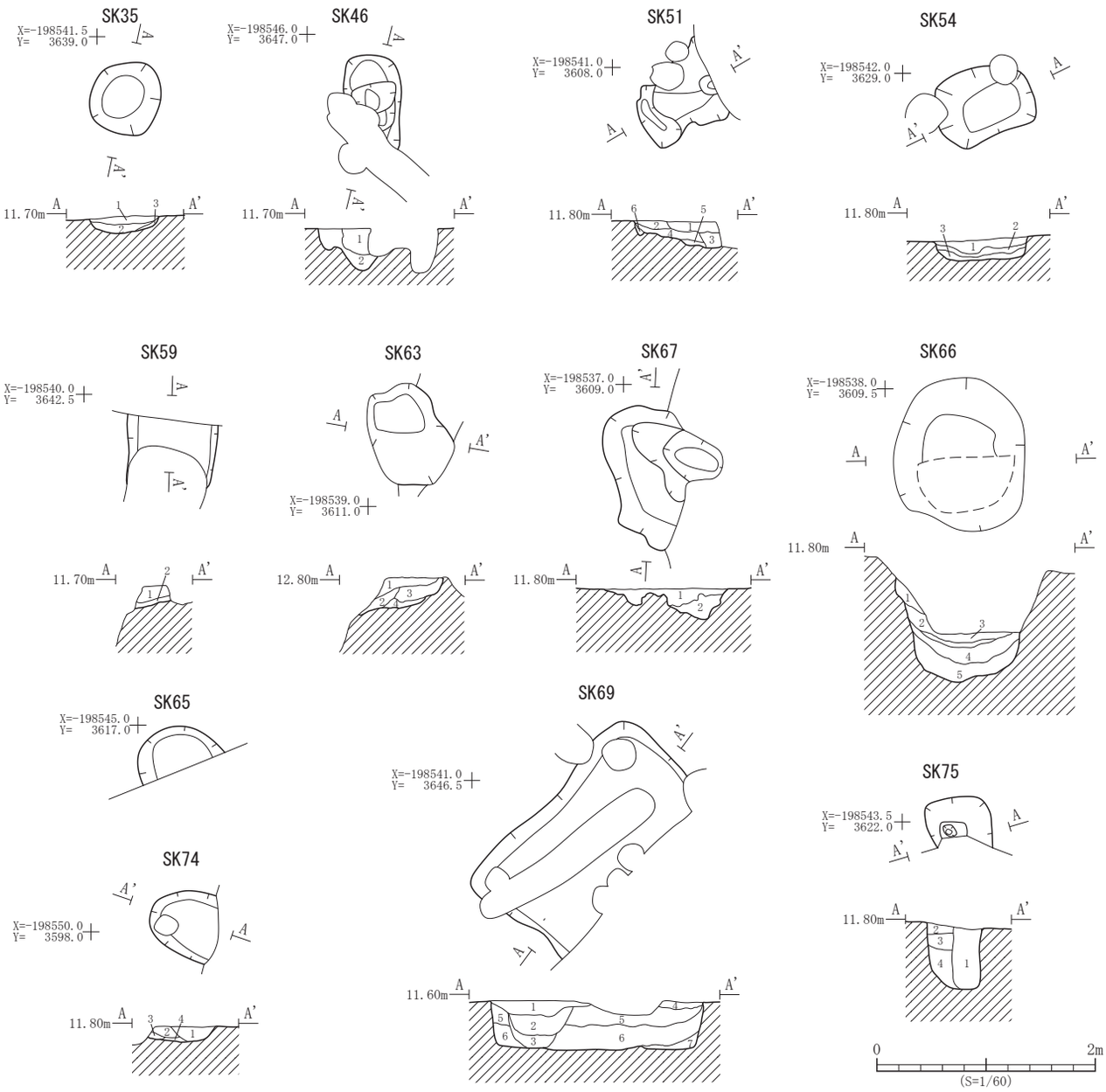
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
炉跡	1	5YR4/6 赤褐色	焼土	
	2	5YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	炭化物、焼土粒を多量含む
	3	5YR3/4 暗赤褐色	シルト	炭化物、焼土粒を少量含む
	4	10YR4/4 褐色	シルト	炭化物、焼土粒を微量含む

第 70 図　SI234 竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-14	5B	SI234	-	土師器	壺	(10.5) × 3.4 × 13.0	ヨコナデ・ヘラミガキ・ヘラケズリ　底部ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラミガキ・指オサエ・ヘラナデ	内外面赤彩。	14 - 7
2	C-15	5B	SI234	床直	土師器	台付小型甕	(11.8) × - × 現 9.4	ヨコナデ	ヨコナデ	内外面摩滅、内外面輪積み痕。	14 - 8

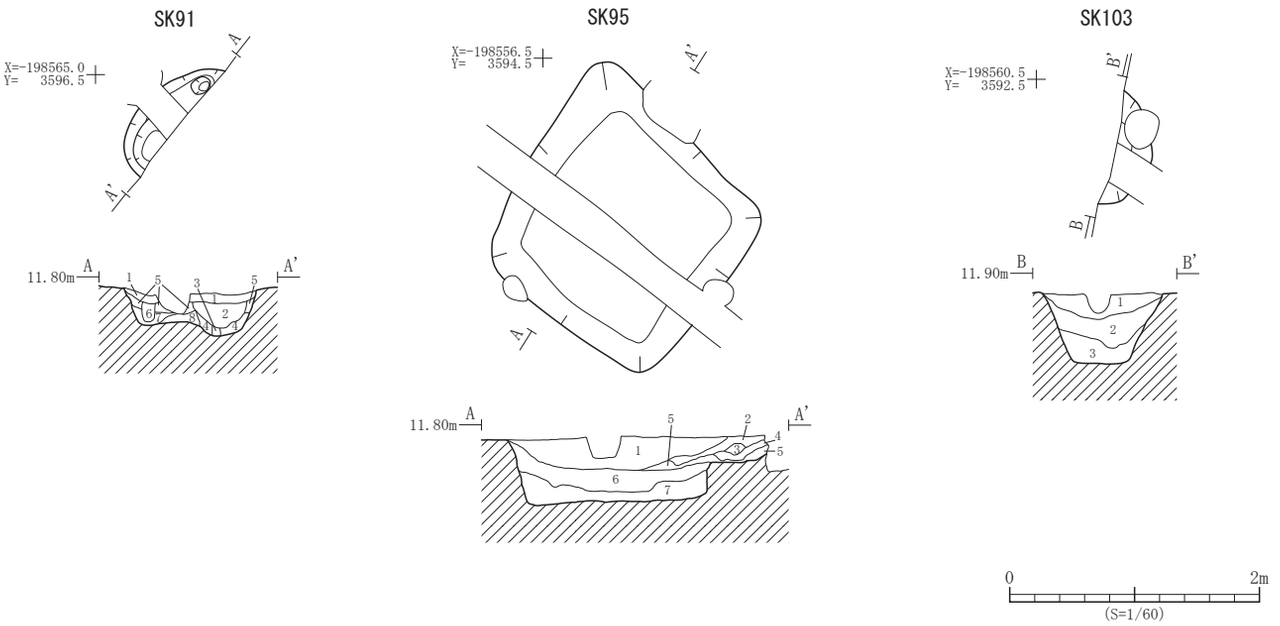
第 71 図　SI234 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK35	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	灰白色粘土ブロックを少量含む
	3	10YR4/8 褐色	粘土質シルト	Ｖ層ブロック主体、
SK46	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを少量含む
SK51	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰白色砂・炭化物・酸化鉄粒を少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物・酸化鉄粒を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	炭化物・焼土粒を少量含む
	4	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	6	10YR3/2 黒褐色	シルト質粘土	
SK54	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	灰白色砂・炭化物を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を多量、黄橙色砂を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK59	1	10YR4/4 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	焼土粒・炭化物を多量含む
SK63	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	マンガン粒、焼土粒を少量含む
	2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	酸化鉄ブロックを少量含む　一部グライ化
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロック・酸化鉄粒を少量含む
	4	10YR3/3 暗褐色	シルト質粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
SK65	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
SK66	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色土との互層

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK66	3	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを多量、黒褐色粘土ブロックを少量含む
	4	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	黒褐色粘土質シルト・にぶい黄褐色砂質シルトとの互層
	5	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト質粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを多量含む
SK67	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土ブロックを斑状に多量含む
SK69	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	浅黄橙色砂・炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	砂質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	4	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	5	10YR4/6 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	6	10YR4/4 褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	7	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
SK74	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄粒を少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む
SK75	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物・マンガン粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	
	4	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロック・酸化鉄粒を少量含む

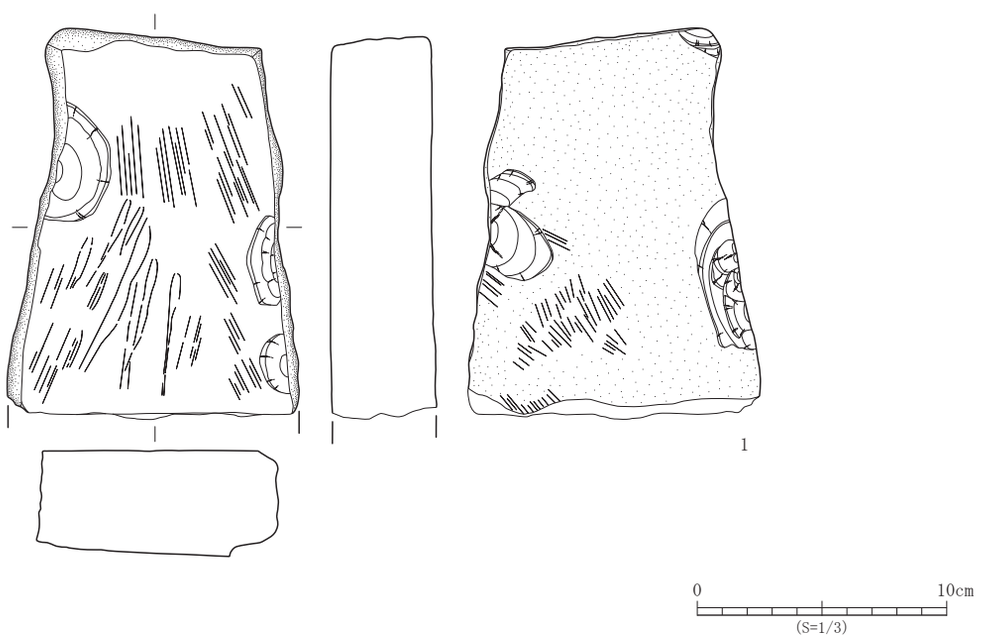
第 72 図　土坑平面図・断面図（1）



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK91	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	4	10YR4/6 褐色	砂質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む
	5	10YR2/3 黒褐色	粘土	炭化物を少量含む
	6	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	7	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	8	10YR4/6 褐色	砂質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを少量含む

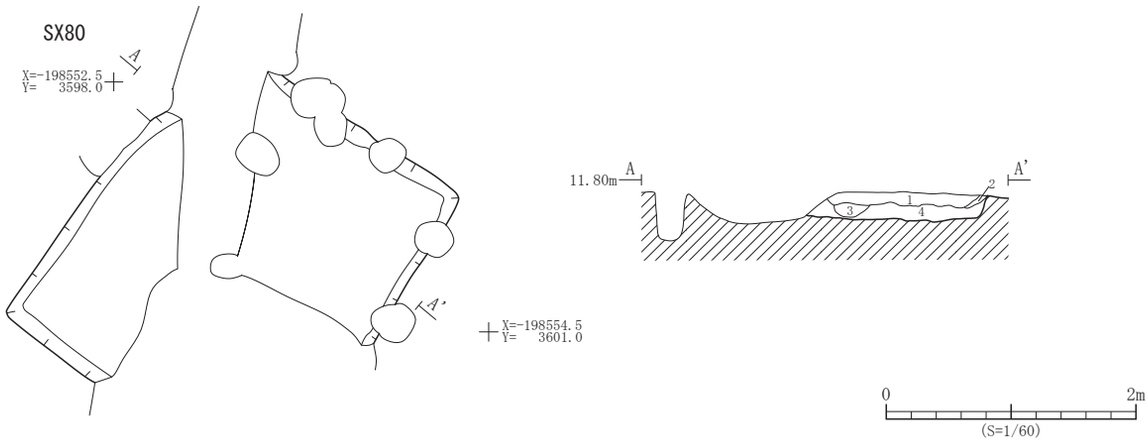
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK95	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	黒褐色シルト質粘土ブロック・にぶい黄褐色粘土ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む
SK103	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・焼土粒を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む

第 73 図　土坑平面図・断面図（2）



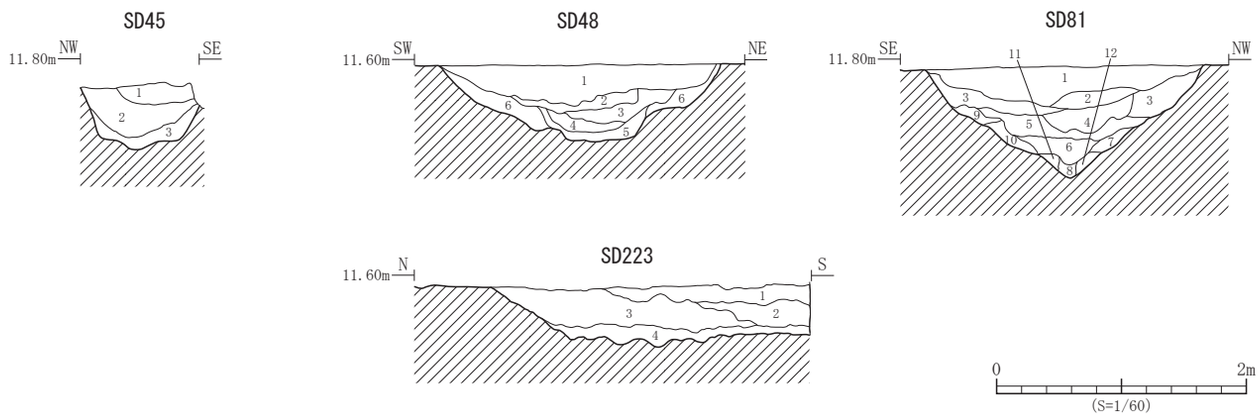
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　　考	写真図版
1	Kd-a-7	5B	SK68	-	石製品	砥石	石英安山岩	15.7 × 11.7 × 4.5　156.0	下部欠損。	14 - 9

第 74 図　SK68 土坑出土遺物



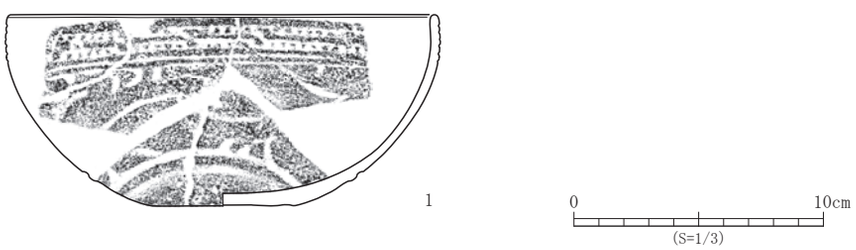
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SX80	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	焼土粒、炭化物を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	マンガン粒を少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロック・炭化物を少量含む

第 75 図　SX80 性格不明遺構平面図・断面図



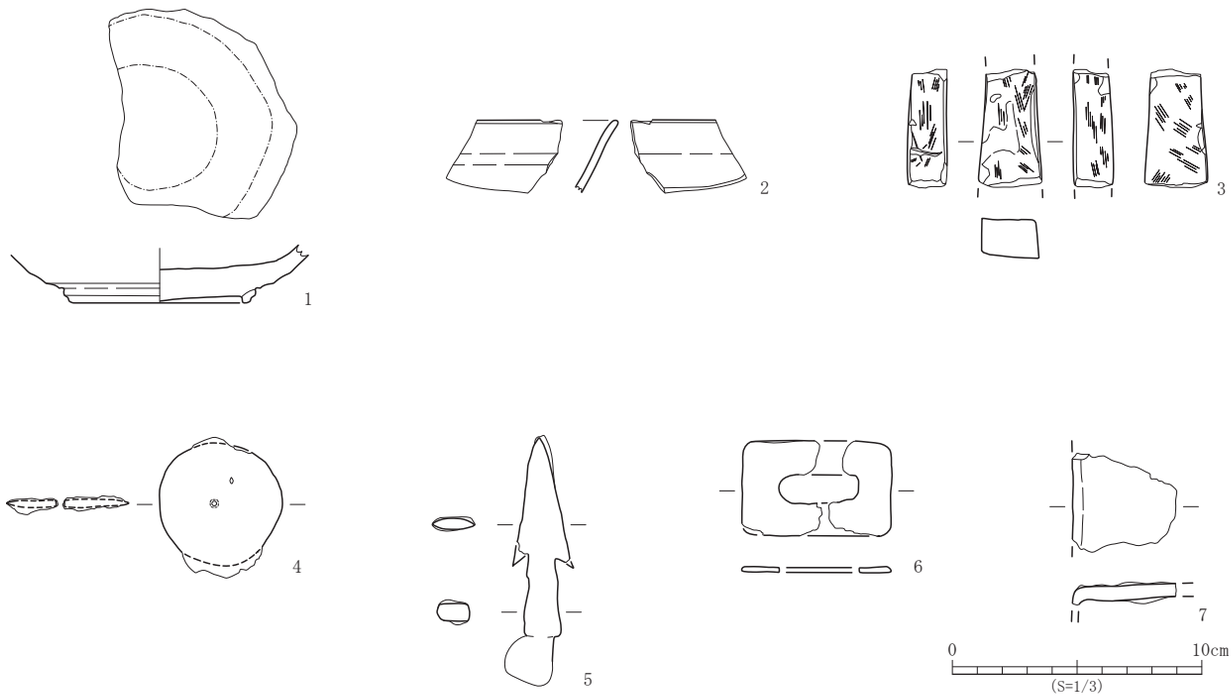
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD45	1	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロック・浅黄橙色砂・炭化物を少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	浅黄橙色砂・炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
SD48	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を少量含む
	4	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を少量含む
	6	10YR4/4 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
SD81	1	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	浅黄橙色砂を微量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を斑状に含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	5	10YR4/2 灰黄褐色	シルト質粘土	黄橙色砂・炭化物を少量含む
	6	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	黄橙色砂を少量含む
	7	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	黄橙色砂・酸化鉄粒を少量含む
	8	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黄橙色砂を少量含む
	10	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	11	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む
	12	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を微量含む
SD223	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	
	2	10YR3/2 黒褐色	粘土	
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	粗砂を少量含む
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	褐色砂ブロック・粗砂を少量含む

第 76 図　溝跡断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-4	5B	SD228	-	縄文土器	浅鉢	口縁～底部－沈線文（羊歯状文）・LR 縄文・擦り消し		14 - 10

第 77 図　SD228 溝跡出土遺物

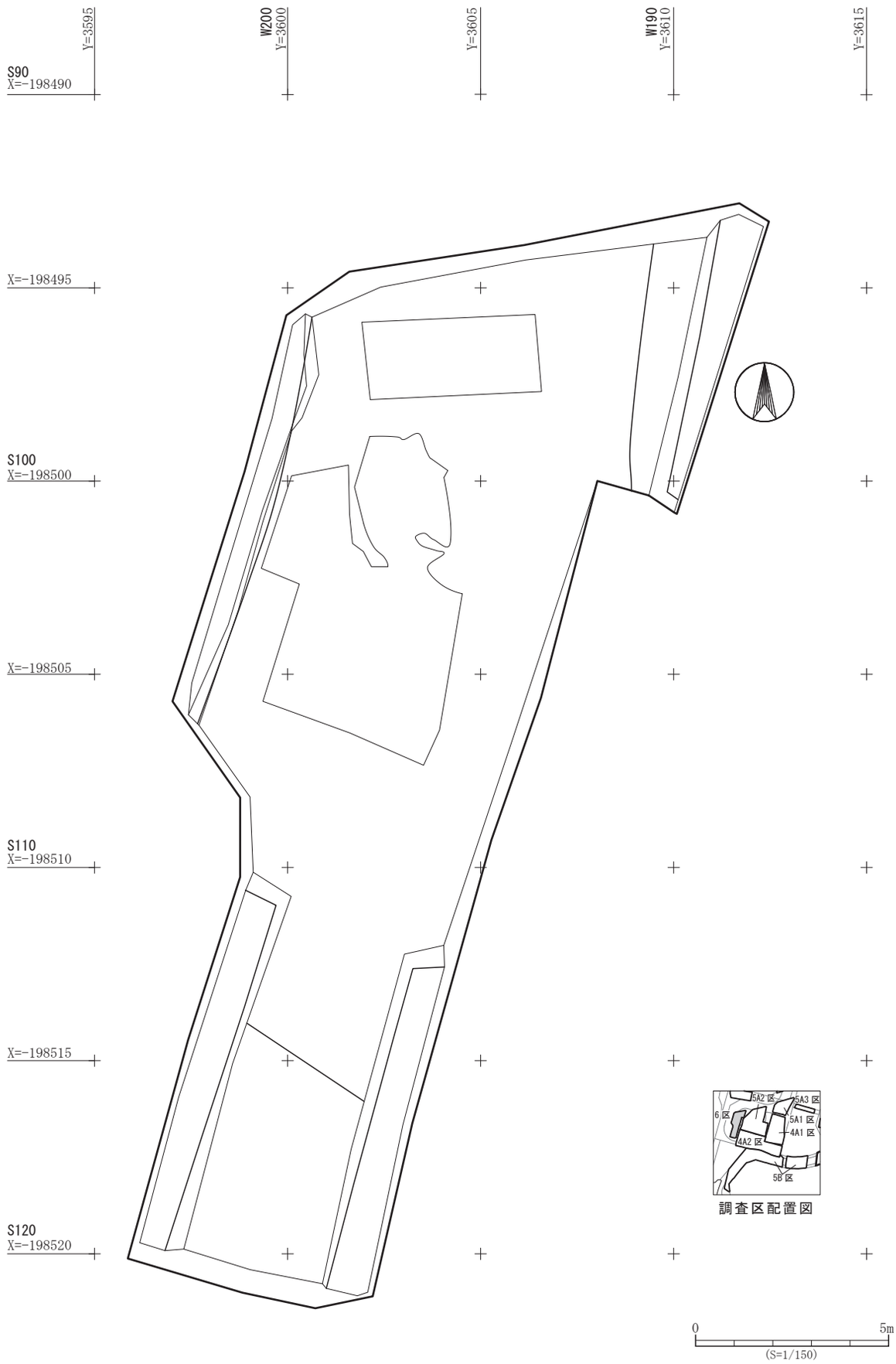


No.	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
1	I-15	5B	カクラン	－	陶器	埦	－×（7.2）×現 2.2	ロクロ　灰釉　内面底部蛇の目釉はぎ	瀬戸・美濃	近世	15 - 3
2	J-1	5B	－	－	青磁	碗	－×－×現 2.9	－	－	－	15 - 1

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
3	Kd-a-4	5B	－	－	石製品	砥石	凝灰岩	（4.7）× 2.5 × 1.6　（35.0）	砥面 4 面。両端部欠損。	15 - 2

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚（cm）	備　考	写真図版
4	N-10	5B	－	－	金属製品	不明	5.0 × 4.8 × 0.2	小孔を有する鉄製円盤。孔は中心から僅かにずれる。紡錘車か。	15 - 4
5	N-11	5B	－	－	金属製品	鉄鏃	現 8.1 × 2.0 × 0.7	鏃身部は長三角形で鋭角の逆刺をもつ。頸部は太く、角関。	15 - 5
6	N-12	5B	－	－	金属製品	不明	現 5.7 × 3.8 × 0.2	二片あり。中心部に長円形の孔を有する長方形の薄い鉄板。	15 - 6
7	N-13	5B	－	－	金属製品	不明	現 4.1 ×現 3.9 × 0.6	鋳造鉄片か。一辺の端部が曲がっている。	15 - 7

第 78 図　遺構外出土遺物



第 79 図　伊古田遺跡 6 区遺構配置図

8. ま　と　め

伊古田遺跡は、仙台市太白区大野田字千刈田・塚田にあり、自然堤防に立地する。標高は12.3m前後である。平成22年度に4A1・4A2区、平成23年度に4A2・5A1・5A2・5A3・5B区、平成24年度に6区の調査を行い、合計面積は約3,145㎡である。各遺構検出面から、古墳時代、古代、中世の遺構群を検出した。

（１）遺構について

1）中世以降の遺構は、基本層Ⅲ層上面で検出した。

5B区　－土坑17基、性格不明遺構2基、溝跡11条、ピット群

2）4A1区SD7溝跡はⅣa1層から掘り込まれていることが確認されている。SD7溝跡を切るSD1溝跡からは中世陶器片が出土し、中世の遺構と思われる。SD4溝跡もSD7溝跡を切ることから、4A1区検出の溝跡7条の内3条は中世の遺構と考えられる。4A1区検出の溝跡7条、小溝状遺構群3群27条は古代から中世にかけての遺構である。

また4A2区Ⅴ層検出の竪穴建物跡6棟は、他の遺構との重複関係、形態、出土遺物などから本来はより上層から掘り込まれた中世の遺構と考えられる。

3）古代の遺構は、基本層Ⅳa2層上面で検出した。

5A1区－竪穴住居跡1軒、河川跡1条、小溝状遺構群3群34条

4）古墳時代から古代の遺構は、基本層Ⅴ層上面で検出した。

4A区　－竪穴住居跡3軒、竪穴建物跡16棟、掘立柱建物跡2棟、土坑16基、河川跡1条、性格不明遺構1基、溝跡16条、小溝状遺構群3群84条（2区）、小溝状遺構46条（1区）、ピット252基

5A1区－掘立柱建物跡1棟、溝跡1条、小溝状遺構群2群21条、ピット群

5A2区－竪穴住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、土坑7基、溝跡23条、小溝状遺構群2群57条、ピット323基

5A3区－河川跡1条、小溝状遺構3条、ピット11基

5B区　－竪穴住居跡6軒、竪穴遺構2基、土坑18基、溝跡9条、小溝状遺構群4群63条、ピット群

（２）遺物について

1）縄文時代

4A2区から晩期の壺、注口土器、5B区から後期の深鉢、晩期の鉢が出土した。

2）弥生時代

4A2区から後期の土器が出土した。

3）古墳時代

5A2区SI92竪穴住居跡、5B区SI52竪穴住居跡、SI234竪穴住居跡から古墳時代前期の遺物が出土した。

4）古　代

4A2区SI159竪穴住居跡、5A1区SI32竪穴住居跡、5B区SI79竪穴住居跡から8世紀後半から9世紀初頭にかけての遺物が出土した。

5A2区SD51溝跡から緑釉陶器の小形の鉢が出土した。

5B区SK16土坑から10世紀後半頃の赤焼土器坏が出土した。

5）中　世

4A1区SI111竪穴建物跡、SD1溝跡からは中世陶器片が出土した。

5B区SD21・22溝跡から12世紀後半から13世紀中葉頃の常滑産の壺や片口鉢、甕が出土した。

6）　近　世

5B区から瀬戸・美濃産の陶器が出土した。

（３）古代の文字関連資料について

伊古田遺跡から、文字に関連した資料として円面硯1点が出土した。4A2区の基本層Ⅴ層上面で検出したSI159から出土した。

第１表　遺構一覧表（1）

4A1 区Ⅳ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD7	W160 ～ 170・S100 ～ 120	N-66°　-W　N-23°　-E	長さ東西［11.2］×幅 0.65 ×深さ 0.4 長さ南北［18.6］×幅 1.10 ×深さ 0.4	U字形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北半	北東－南西	長さ［3.0］～［9.6］×幅 0.30 ～ 0.50	SD8 ～ 14	
Ⅱ群	全面	北西－南東	長さ［3.5］～［16.0］×幅 0.25 ～ 0.55	SD15 ～ 29	
Ⅲ群	北半	北西－南東	長さ［6.1］～［11.8］×幅 0.30 ～ 0.47	SD30 ～ 34	

4A1 区Ⅴ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI35	W150 ～ 160・S120	N-55°　-E	［3.64］×－×壁高 0.2 ～ 0.25	（方形）	
SI36	W170・S110	N-51°　-E	［3.76］×［4.0］×壁高 0.24	（方形）	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK37		N-55°　-E	長軸 88 ×短軸 64 ×深さ－	楕円形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD39	W150 ～ 160・S90 ～ 100	N-43°　-W	長さ［5.55］×幅 0.93 ×深さ 0.37	U字形	

4A2 区Ⅴ層

竪穴住居跡・竪穴建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI86	W160・S130 ～ 140	N-1°　-W	南北 2.62 ×東西 2.58 ×壁高 0.56	隅丸方形	中世
SI108a 期	W170 ～ 180・S120 ～ 130	N-96°　-E	東西 4.06 ×南北 2.73 ×壁高 0.24	隅丸長方形	中世
SI108b 期	W170 ～ 180・S120 ～ 130	N-97°　-E	東西 4.16 ×南北 3.9 ×壁高 0.3 ～ 0.4	隅丸方形	中世
SI109	W170・S120 ～ 130	N-0°	南北 3.0 ×東西 2.84 ×壁高 0.38	隅丸方形	中世
SI110	W170・S130	N-4°　-E	南北 2.95 ×東西 2.94 ×壁高 0.56	隅丸方形	中世
SI111a 期	W160 ～ 170・S120 ～ 130	N-5°　-E	東西 5.1 ×南北 4.7 ×壁高（0.1 ～ 0.3）	隅丸方形	中世
SI111b 期	W160 ～ 170・S120 ～ 130	N-95°　-E	南北 4.7 ×東西 4.4 ×壁高－	正方形	中世
SI111c 期	W160 ～ 170・S120 ～ 130	N-95°　-E	東西 3.8 ×南北 3.1 ×壁高－	隅丸方形	中世
SI158	W170 ～ 180・S120 ～ 130	N-96°　-E	東西 3.6 ×南北 3.4 ×壁高 0.26	隅丸方形	中世
SI159	W180 ～ 190・S120 ～ 130	N-38°　-E	北西～東南 5.9 ×北東～南西 5.8 ×壁高 0.3 ～ 0.4	隅丸方形	8 世紀後半

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK106	W170・S130	N-0°	長軸 64 ×短軸 46 ×深さ－	不整楕円形・－	
SK107	W170・S130	N-25°　-E	長軸 118 ×短軸 50 ×深さ－	不整楕円形・－	
SK140	W160 ～ 170・S130	－	長軸－×短軸－×深さ－	不明・擂り鉢状	
SK153	W170・S130	N-50°　-W	長軸 76 ×短軸［54］×深さ－	不整楕円形・－	
SK157	W170・S130	N-30°　-W	長軸 100 ×短軸 99 ×深さ－	不整楕円形・－	
SK184	W180・S130	N-0°	長軸 66 ×短軸 32 ×深さ－	不整楕円形・－	
SK186	W180・S120	N-4°　-E	長軸 170 ×短軸 130 ×深さ 42	隅丸方形・逆台形	
SK187	W190・S120	N-18°　-E	長軸 130 ×短軸 100 ×深さ－	不整形・－	
SK188	W180・S120	N-38°　-W	長軸 148 ×短軸 125 ×深さ 56	不整形・開いたU字状	
SK190	W190・S130	N-90°	長軸 126 ×短軸 88 ×深さ 72	不整楕円形・ロ－ト形	
SK207	W190・S120	N-44°　-E	長軸 90 ×短軸 64 ×深さ 74	不整形・U字形	
SK212	W200・S120	N-32°　-E	長軸 100 ×短軸 48 ×深さ－	楕円形・－	
SK214	W190・S120	－	長軸－×短軸－×深さ 42	不明・逆台形	

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	柱間数	建物規模（m）	備　考
SB160	W170 ～ 180・S120	N-61°　-W	桁行 3 間×梁行 2 間	桁行総長 7.3 ×梁行総長 4.7	
SB205	W190・S110 ～ 120	N-41°　-E	桁行 3 間×梁行 2 間	桁行総長 5.5 ×梁行総長 3.9	

河川跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SR213	W190 ～ 200・S120	－	長さ－×幅－×深さ－	－	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD139	W160 ～ 170・S120 ～ 130	N-53°　-E	長さ［13.9］×幅 1.8 ～ 2.2 ×深さ 0.67	V字形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	北東－南西	長さ 0.6 ～［9.3］×幅 0.20 ～ 0.42	SD87 ～ 105・SD136・SD137・SD142・SD152・SD155・SD164 ～ 168・SD170・SD171・SD174 ～ 178・SD181・SD185・SD189・SD193 ～ 196	
Ⅱ群	全体	北西－南東	長さ［0.5］～［7.5］×幅 0.18 ～ 0.50	SD113 ～ 119・SD121・SD123・SD125 ～ 130・SD132・SD134・SD151・SD156・SD180・SD183・SD197 ～ 202・SD209 ～ 211	
Ⅲ群	東半	北東－南西	長さ［1.3］～ 3.3 ×幅 0.15 ～ 0.44	SD120・SD122・SD124・SD133・SD135・SD138・SD148 ～ 150・SD179	

第２表　遺構一覧表（2）

5A1 区Ⅳ a2 層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI32	W160・S80 ～ 90	N-29°　-E	南北 2.85 ×東西 2.57 ×壁高 0.45	隅丸長方形	8世紀末葉~9世紀初頭

河川跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SR19	W140 ～ 150・S70 ～ 90	不明	-	-	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	東半	東西	長さ 0.8 ～ 2.4 ×幅 0.15 ～ 0.42	SD1 ～ 11	
Ⅱ群	全体	北東－南西	長さ 3.2 ～［12.2］×幅 0.35 ～ 0.45	SD16 ～ 18・SD23・SD24・SD27・SD29・SD31・SD53・SD56	
Ⅲ群	全体		長さ［2.0］～［11.3］×幅 0.30 ～ 0.45		
Ⅲ a 群		N-60°　-W		SD12 ～ 15・SD21・SD25・SD28・SD30・SD45・SD47・SD55・SD63	
Ⅲ b 群		N-45°　-W		SD20・SD26	

5A1 区Ⅴ層

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	柱間数	建物規模（m）	備　考
SB60	W150・S80	N-33°　-W	桁行 2 間×梁行 2 間	桁行総長 3.15 ×梁行総長 2.78	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD46	W160・S90	N-52°　-W	長さ［5.88］×幅 0.94 ×深さ 0.57	U字形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	北東－南西	長さ［0.8］～［9.3］×幅 0.25 ～ 0.50	SD33・SD34・SD36 ～ 38・SD40・SD61・SD61・SD64	
Ⅱ群	全体	北西－南東	長さ 0.8 ～［4.0］×幅 0.15 ～ 0.40	SD35・SD39・SD41・SD44・SD48・SD50・SD52・SD57 ～ 59・SD65・SD65	

5A2 区Ⅴ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI92	W180・S100	N-53°　-E	北東～南西 8.00 ×北西～南東 7.25 ×壁高 0.4	隅丸方形	4 世紀

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	柱間数	規　模（m）	備　考
SB43	W180・S110	N-58°　-W	桁行 3 間×梁行 1 間	桁行総長 3.95 ×梁行総長 2.70	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK73	W180・S90	N-38°　-E	長軸 138 ×短軸［96］×深さ－	隅丸長方形・-	
SK74	W180・S90 ～ 100	N-37°　-E	長軸 140 ×短軸［72］×深さ－	隅丸方形・-	
SK75	W180・S90 ～ 100	N-62°　-W	長軸［260］×短軸 146 ×深さ 28	隅丸長方形・皿状	
SK76	W180・S100	N-37°　-W	長軸 160 ×短軸 90 ×深さ 46	隅丸長方形・変形U字形	
SK77	W180・S90 ～ 100	N-20°　-E	長軸 13.6 ×短軸［10.6］×深さ－	隅丸方形・不明	
SK90	W180・S100	N-47°　-E	長軸 190 ×短軸 63 ×深さ 46	隅丸長方形・逆台形	
SK91	W180・S100	N-45°　-E	長軸 164 ×短軸 79 ×深さ 46	隅丸長方形・逆台形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD1	W170 ～ 190・S90 ～ 110	N-34°　-E	長さ［26.5］×幅［0.9 ～ 3.65］×深さ 0.26	逆台形	
SD41	W170 ～ 190・S80 ～ 110	走行 N-44°　-E　屈曲 N-19°　-E	長さ［30.15］×幅［0.23 ～ 4.85］×深さ 0.66	逆台形	
SD42	W170 ～ 180・S90	N-57°　-E	長さ［7.02］×幅 1.22 ×深さ 0.32	U字形	
SD45	W170 ～ 180・S80 ～ 90	走行 N-39°　-E　屈曲 N-89°　-E	長さ［7.85］×幅 0.51 ～ 0.90 ×深さ［0.2］	逆台形	
SD56	W190・S90 ～ 110	N-19°　-E	長さ［16.7］×幅 0.95 ～ 1.67 ×深さ 0.17	逆台形	
SD79	W180 ～ 190・S100 ～ 110	N-42°　-E	長さ［16.00］×幅 0.95 ×深さ 0.45	逆台形	
SD93	W180 ～ 190・S100	N-50°　-W	長さ［4.35］×幅 0.65 ×深さ 0.42	U字形	
SD88	W180 ～ 190・S90 ～ 110	N-26°　-E	長さ［24.6］×幅［1.4 ～ 4.0］×深さ 0.5	不整形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	北東－南西	長さ 1.79 ～ 8.34 ×幅 0.23 ～ 5.21	SD16 ～ 20・SD58 ～ 62・SD80・SD81	
Ⅱ群	全体	北西－南東	長さ［0.83］～［11.6］×幅 0.12 ～ 0.52	SD2～8・SD11 ～ 15・SD21 ～ 32・SD34・SD40・SD47 ～ 49・SD51・SD57・SD63・SD65 ～ 72・SD82 ～ 87	

5B 区Ⅲ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK16	W180 ～ 190・S130	N-19°　-W	長軸 122 ×短軸［104］×深さ 32	隅丸方形・箱形	
SK78	W200 ～ 210・S150	N-19°　-E	長軸 150 ×短軸 104 ×深さ 34	-	

性格不明遺構

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SX24	W180・S140	N-18°　-E	長軸 52 ×短軸 38 ×深さ 8	長楕円形・浅い皿形	
SX25	W180・S140	N-60°　-E	長軸 74 ×短軸 68 ×深さ 14	歪な隅丸方形・開いたU字形	

第３表　遺構一覧表（3）

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD21	W190・S130 ～ 140	N-17°　-E	長さ［14.15］× 0.7 ～ 3.1 幅×深さ 1.04	逆台形	
SD22	W190 ～ 200・S130 ～ 150	N-3°　-E	長さ［14.85］×幅 1.4 ～ 2.15 ×深さ 0.6	逆台形	
SD23	W200 ～ 210・S130 ～ 160	N-18°　-E	長さ［25.7］×幅 0.75 ～ 1.6 ×深さ 0.25	U字形	
SD76	W210・S170	N-32°　-E	長さ［1.08］×幅［0.3］×深さ 0.2	U字形	

5B 区Ⅴ層
竪穴住居跡・竪穴遺構

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI52	W170 ～ 180・S130	N-37°　-W	南北 2.35 ×東西［2.25］×壁高 0.11	隅丸方形	4 世紀
SI53	W170・S130	N-42°　-E	南北［2.56］×東西 2.50 ×壁高 -	隅丸方形	
SI60	W160・S140	N-28°　-W	南北 4.80 ×東西 4.16 ×壁高 0.19	隅丸方形	
SI61	W180・S130 ～ 140	N-43°　-W	東西 4.41 ×南北 4.35 ×壁高 0.18	隅丸方形	
SI79	W210・S160 ～ 170	N-36°　-E	東西［3.85］×南北 3.28 ×壁高 0.50	隅丸方形	8 世紀後半
SI83	W210・S170	N-68°　-E	東西［2.30］×南北［1.82］×壁高 0.55	隅丸方形	
SI102	W200 ～ 210・S140 ～ 150	N-28°　-E	南北 3.60 ×東西 3.50 ×壁高 -	隅丸方形	
SI234	W140・S140	N-20°　-W	東西 3.25 ×南北 2.90 ×壁高 0.30	隅丸方形	4 世紀

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK35	W170・S140	N-12°　-E	長軸 100 ×短軸 96 ×深さ 26	楕円形・U字形	
SK46	W160・S140	N-90°	長軸［104］×短軸 98 ×深さ 56	不整楕円形・不整形	
SK51	W200・S130 ～ 140	N-60°　-E	長軸［75］×短軸 55 ×深さ 25	不整形	
SK54	W170 ～ 180・S140	N-68°　-E	長軸 90 ×短軸 65 ×深さ 18	不整楕円形・U字形	
SK59	W160・S140	N-88°　-W	長軸 80 ×短軸 31 ×深さ 18	不整形	
SK63	W190・S130	N-25°　-W	長軸 94 ×短軸 69 ×深さ 28	不整楕円形	
SK65	W190・S140	N-67°　-E	長軸［78］×短軸［40］×深さ -	-	
SK66	W190 ～ 200・S130	N-90°	長軸 141 ×短軸 120 ×深さ 115	不整楕円形・V字形	
SK67	W200・S130	N-3°　-E	長軸 122 ×短軸 109 ×深さ 28	不整形・-	
SK69	W160・S140	N-37°　-E	長軸 198 ×短軸［115］×深さ 45	不整長方形・コの字形	
SK74	W210・S140 ～ 150	N-70°　-W	長軸［65］×短軸 65 ×深さ 12	楕円形・逆台形	
SK75	W180・S140	N-83°　-E	長軸 60 ×短軸［39］×深さ 55	不整楕円形・U字形	
SK91	W210・S160	N-40°　-E	長軸 104 ×短軸［32］×深さ 31	不整楕円形・不整U字形	
SK95	W210・S150	N-32°　-E	長軸［213］×短軸 185 ×深さ 51	不整隅丸方形・不整コの字形	
SK103	W210・S160	N-13°　-E	長軸 82 ×短軸［29］×深さ 55	不整楕円形・逆台形	

性格不明遺構

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SX80	W200 ～ 210・S150	N-39°　-E	長軸［275］×短軸［238］×深さ 24	不整形・U字形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD45	W160・S140	N-43°　-E	長さ［5.04］×幅 1.26 ×深さ 0.52	逆台形	
SD48	W170 ～ 180・S130 ～ 140	N-37°　-W	長さ［11.72］×幅 2.60 ×深さ 0.62	逆台形もしくはV字形	
SD81	W210・S170	N-47°　-E	長さ［2.75］×幅 2.48 ×深さ 90	V字形	
SD223	W130・S150	N-51°　-E	長さ［2.86］×幅［1.40］×深さ 0.50	逆台形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北半	北東 - 南西	長さ［0.7］～［3.5］×幅 0.22 ～ 0.41	SD29 ～ 31・SD38・SD55・SD56・SD71・SD192	
Ⅱ群	東区全体	南北	長さ［3.9］～［11.5］×幅 0.25 ～ 0.60	SD207 ～ 215・SD224・SD225	
Ⅲ群	南西部 - 東部 - 東区全面	北西 - 南東	長さ［1.3］～［9.2］×幅 0.20 ～ 0.34	SD28・SD32 ～ 34・SD39・SD41 ～ 43・SD47・SD72・SD82・SD85 ～ 90・SD92 ～ 94・SD96・SD98 ～ 101・SD201 ～ 205・SD217 ～ 222	
Ⅳ群	東区中央	東西	長さ［2.7］～ 7.2 ×幅 0.13 ～ 0.28	SD226 ～ 233	

伊古田遺跡写真図版

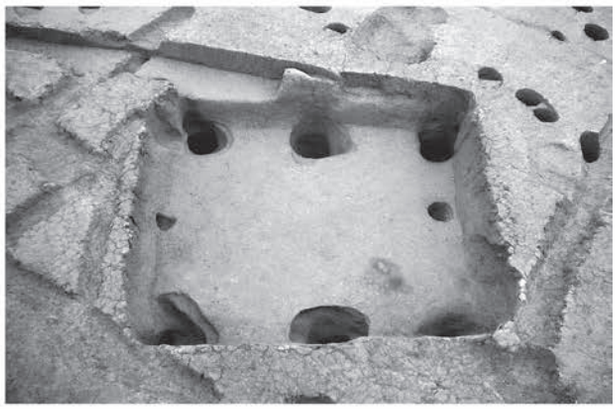
4A 区１区Ⅳ層調査区全景（南より）

4A 区１区Ⅳ層 SD7 断面（東より）

4A 区１区Ⅴ層 調査区北側（西より）

4A 区１区Ⅴ層 SI35 東壁断面（西より）

4A 区１区Ⅴ層 SI36（南より）



4A 区２区Ⅴ層 SI86（北より）

4A 区２区Ⅴ層 SI86 床面炭灰層検出状況（東より）

4A 区２区Ⅴ層 SI86 床面炭灰層断面（東より）

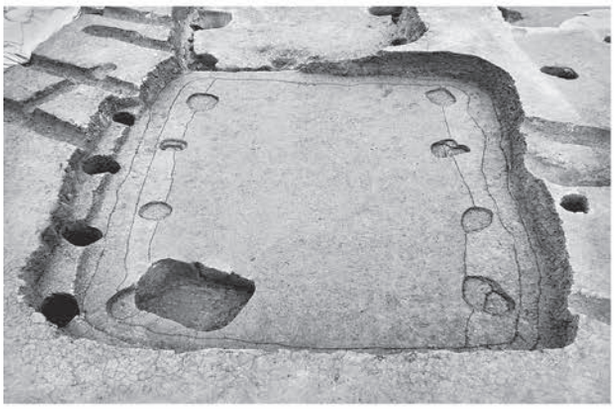
写真図版１　伊古田遺跡（1）

4A 区２区Ⅴ層 調査区東側（西より）

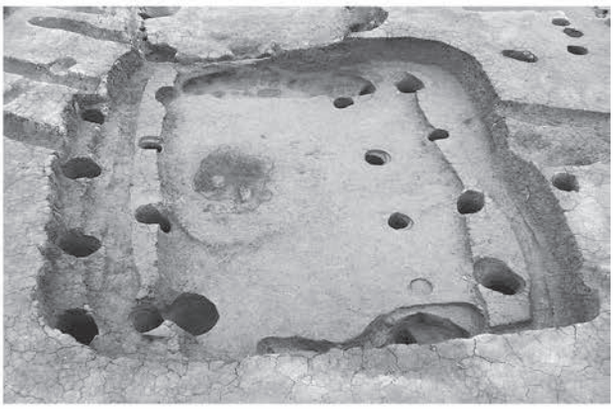
4A 区２区Ⅴ層 調査区西側（東より）

写真図版２　伊古田遺跡（2）

4A 区２区Ⅴ層 調査区東側（北より）



4A 区２区Ⅴ層 SI108a 期（西より）



4A 区２区Ⅴ層 SI108b 期（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI108b 期床面炭灰層検出状況（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI108b 期床面炭灰層断面（東より）

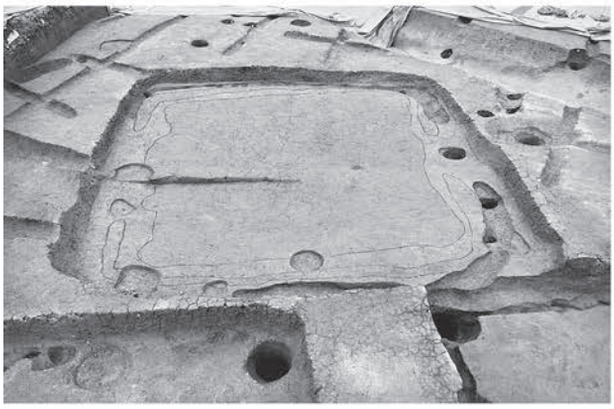
写真図版３　伊古田遺跡（3）

4A 区２区Ⅴ層 SI109（西より）

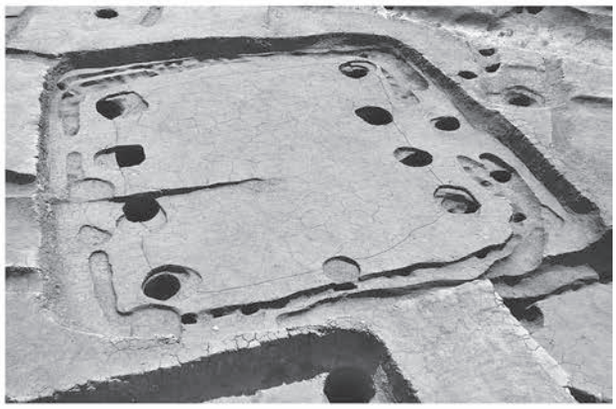
4A 区２区Ⅴ層 SI109 床面炭灰層検出状況（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI110 完掘（南より）

4A 区２区Ⅴ層 SI110 床面炭灰層検出状況（西より）



4A 区２区Ⅴ層 SI111a 期（西より）

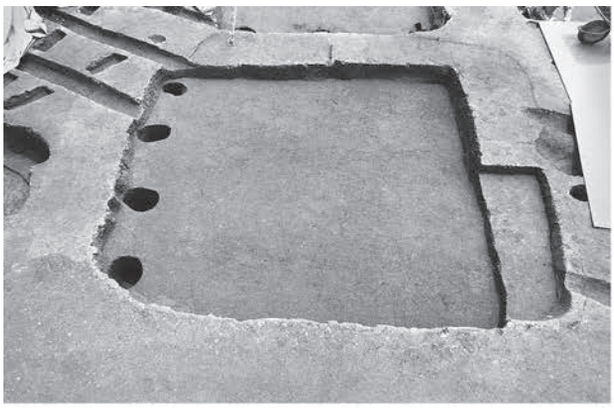


4A 区２区Ⅴ層 SI111b 期（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI111c 期（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI111c 期床面炭灰層検出状況（西より）

写真図版４　伊古田遺跡（4）



4A 区２区Ⅴ層 SI158（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SI159（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SB160（西より）

4A 区２区Ⅴ層 SB205（北東より）

4A 区２区Ⅴ層 SD139（北東より）

5A1 区Ⅳ a2 層 SI32 検出状況（西より）

5A1 区Ⅳ a2 層 SI32（南より）

5A1 区Ⅳ a2 層 SI32 煙出しピット断面（南西より）

写真図版５　伊古田遺跡（5）

5A1 区Ⅳ a2 層 SD1 ～ 11 小溝状遺構群（南より）

5A1 区Ⅳ a2 層 SR19 北壁断面（南より）

5A1 区Ⅴ層 調査区全景（南より）

5A1 区Ⅴ層 SB60（南東より）

5A1 区Ⅴ層 SD46（東より）

5A2 区Ⅴ層 調査区東側（南より）

5A2 区Ⅴ層 調査区北側（南西より）

5A2 区Ⅴ層 SI92（南西より）

写真図版６　伊古田遺跡（6）

5A2 区Ⅴ層 SB43（北西より）

5A2 区Ⅴ層 SD41・79（南より）

5A3 区Ⅴ層 調査区東側（南西より）

5B 区Ⅲ層 調査区西側（北より）

5B 区Ⅲ層 調査区中央（北より）

5B 区Ⅲ層 SK16（西より）

5B 区Ⅲ層 SX24 断面（南より）

5B 区Ⅲ層 SX25 断面（北より）

写真図版７　伊古田遺跡（7）

5B 区Ⅴ層 調査区東側（西より）

5B 区Ⅴ層 調査区西側、SK95 付近（北西より）

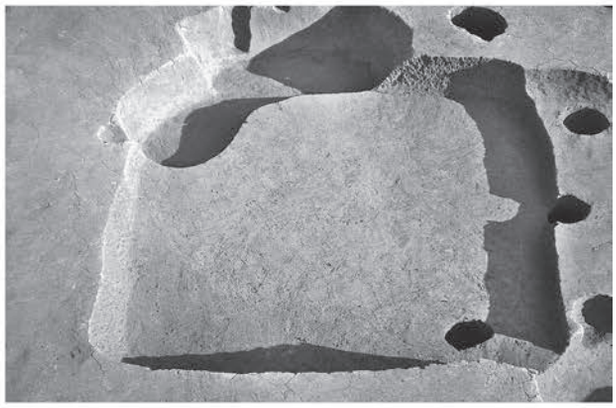
5B 区Ⅴ層 調査区西側、SX80 付近（西より）

5B 区Ⅴ層 調査区中央（北より）

5B 区Ⅴ層 調査区中央（北東より）

5B 区Ⅴ層 調査区中央東側（北より）

5B 区Ⅴ層 SI52（南東より）



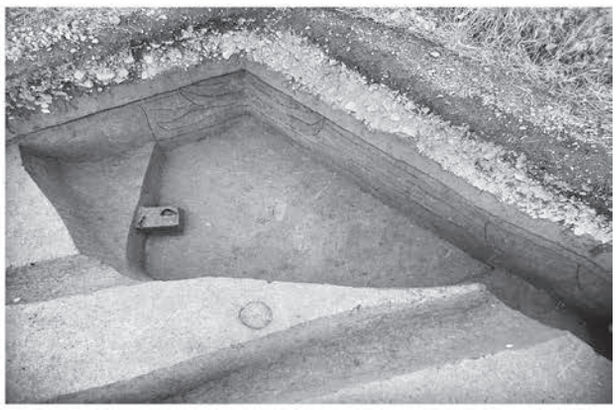
5B 区Ⅴ層 SI53（北西より）

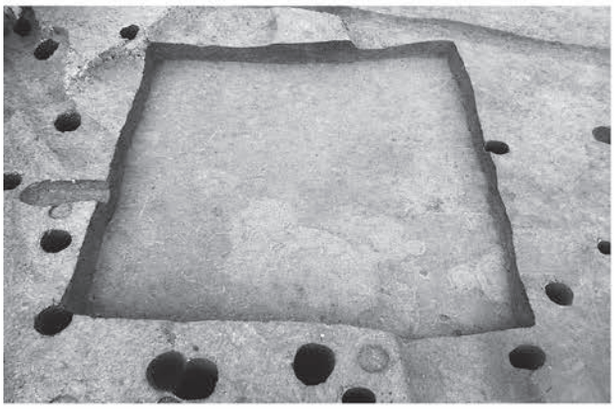
写真図版８　伊古田遺跡（8）

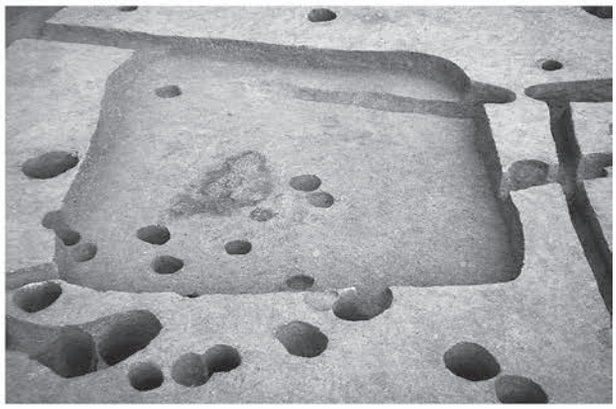
5B 区Ⅴ層 SI60（南西より）

5B 区Ⅴ層 SI61（南東より）

5B 区Ⅴ層 SI79（南西より）


5B 区Ⅴ層 SI83（北東より）

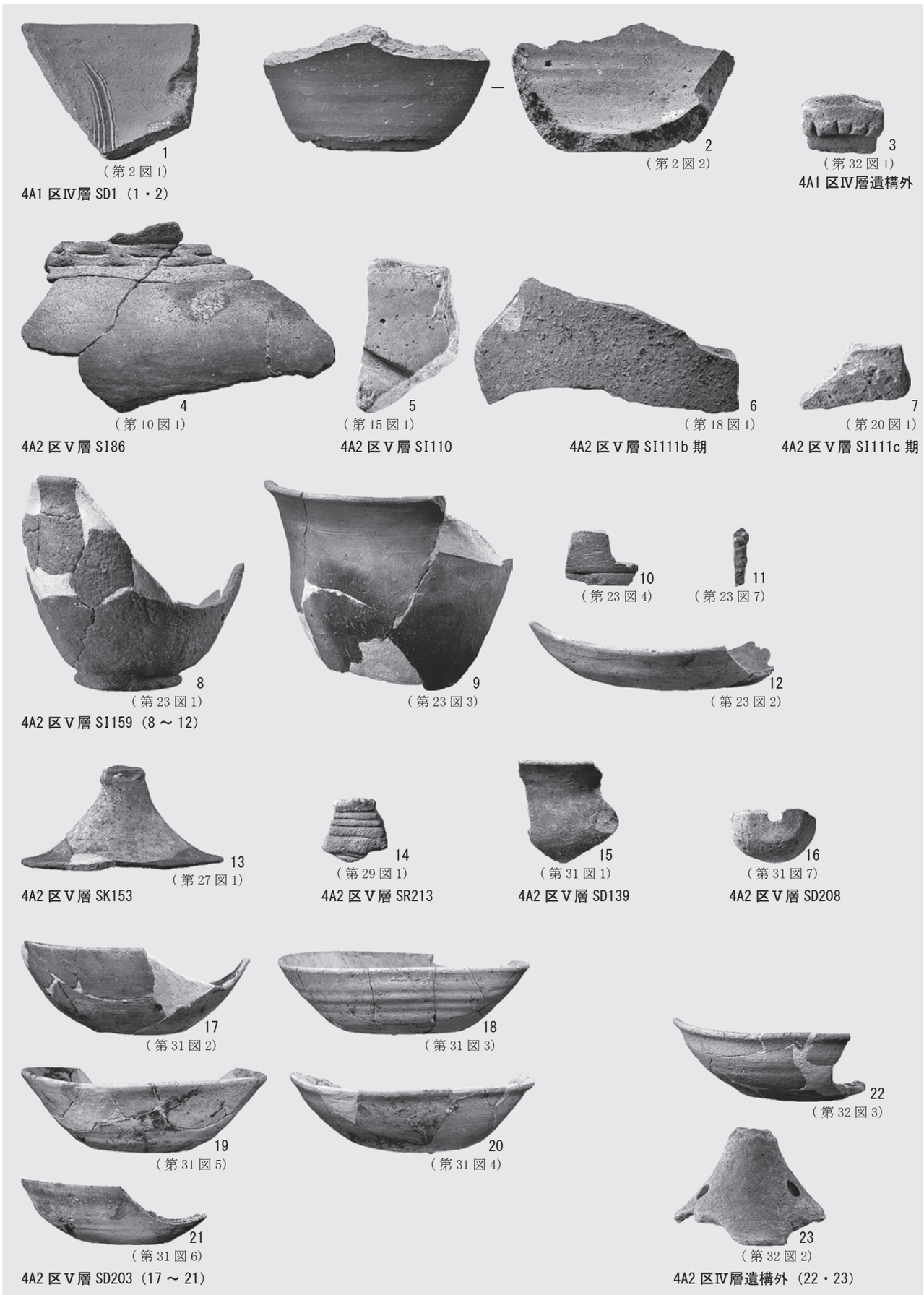

5B 区Ⅴ層 SI102（南西より）


5B 区Ⅴ層 SI234（南西より）

5B 区Ⅴ層 SK95（南東より）

5B 区Ⅴ層 SD81 断面（北より）

写真図版９　伊古田遺跡（9）

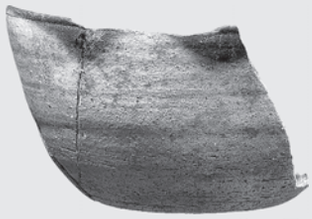


写真図版 10　伊古田遺跡出土遺物（1）

1
（第 36 図 1）

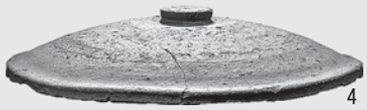
2
（第 35 図 1）

5
（第 36 図 2）


3
（第 35 図 2）

6
（第 36 図 4）

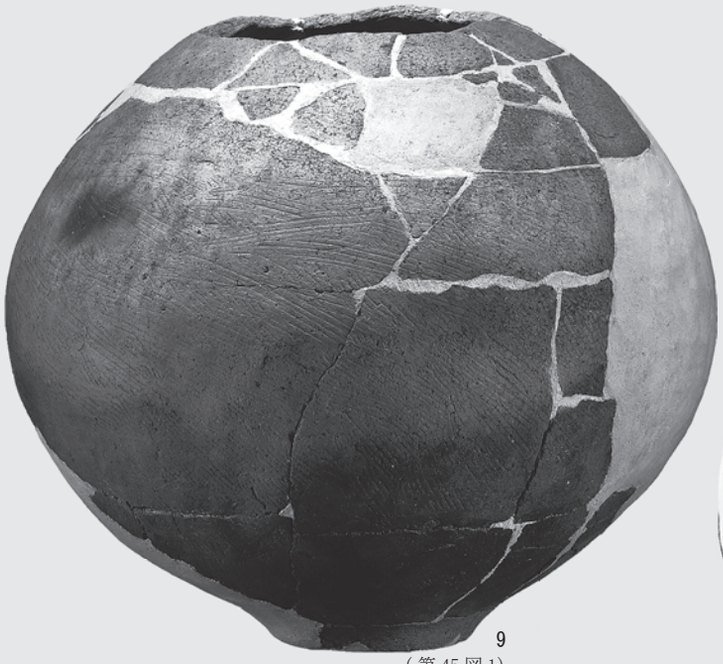
7
（第 36 図 3）


4
（第 35 図 3）

5A1 区Ⅳ a2 層 SI32（1 ～ 7）

8
（第 38 図 1）

5A1 区Ⅳ a2 層遺構外


9
（第 45 図 1）

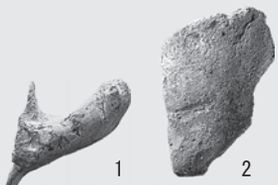
5A2 区Ⅴ層 SI92

10
（第 50 図 5）

11
（第 49 図 1）

5A2 区Ⅴ層 SD51（10・11）

写真図版 11　伊古田遺跡出土遺物（2）



（第 50 図 1）　（第 50 図 8）

5A2 区Ⅴ層 SD41（1・2）

（第 50 図 10）

（第 50 図 11）

（第 50 図 2）

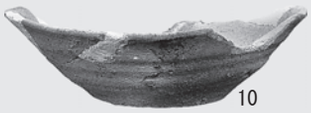
（第 50 図 6）

（第 50 図 7）

（第 50 図 9）

（第 49 図 2）

（第 50 図 4）



（第 50 図 3）

5A2 区Ⅴ層 SD88（3 ～ 11）

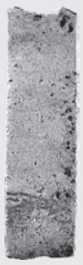
（第 51 図 1）

5A2 区Ⅴ層 P285

（第 51 図 2）

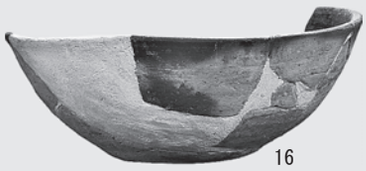
（第 51 図 3）

5A2 区不明層（13・14）



（第 55 図 5）

5B 区Ⅲ層 SK15



（第 55 図 3）

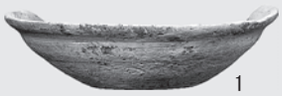
5B 区Ⅲ層 SK17

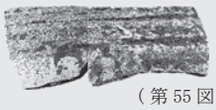
（第 58 図 1）

（第 58 図 9）

5B 区Ⅲ層 SD23（17・18）

写真図版 12　伊古田遺跡出土遺物（3）

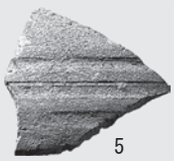

1
（第 55 図 1）

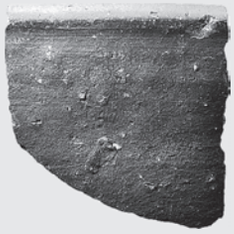

2
（第 55 図 2）

3
（第 55 図 6）

4
（第 55 図 4）

5B 区Ⅲ層 SK16（1 ～ 4）

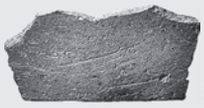

5
（第 58 図 5）

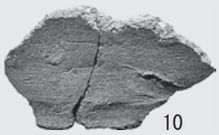

6
（第 58 図 10）

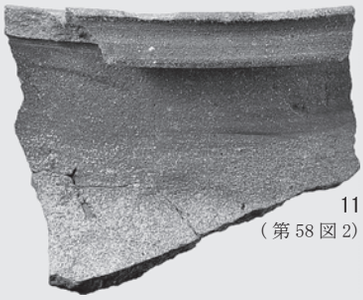
7
（第 58 図 8）

8
（第 58 図 12）

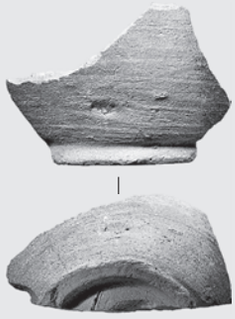
5B 区Ⅲ層 SD21（5 ～ 8）


9
（第 58 図 7）


10
（第 58 図 4）


11
（第 58 図 2）

12
（第 58 図 6）


13
（第 58 図 3）

5B 区Ⅲ層 SD22（9 ～ 13）

14
（第 61 図 1）

5B 区Ⅴ層 SI52

15
（第 58 図 11）

5B 区Ⅲ層 P90

16
（第 67 図 2）

17
（第 67 図 1）

5B 区Ⅴ層 SI79（16・17）

写真図版 13　伊古田遺跡出土遺物（4）

1（第 23 図 10）　2（第 23 図 8）　3（第 23 図 9）　4（第 23 図 5）　5（第 23 図 6）

5B 区Ⅴ層 SI159（1 ～ 5）

6（第 64 図 1）

5B 区Ⅴ層 SI60-P5

7（第 71 図 1）

8（第 71 図 2）

5B 区Ⅴ層 SI234（7・8）

9（第 74 図 1）

5B 区Ⅴ層 SK68

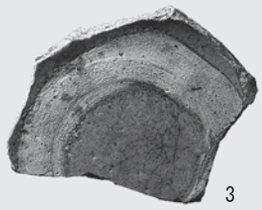
10（第 77 図 1）

5B 区Ⅴ層 SD228

写真図版 14　伊古田遺跡出土遺物（5）

1
（第 78 図 2）

2
（第 78 図 3）


3
（第 78 図 1）

4
（第 78 図 4）

5
（第 78 図 5）

6
（第 78 図 6）

7
（第 78 図 7）

5B 区不明層

写真図版 15　伊古田遺跡出土遺物（6）

第５節　大野田古墳群

1．調査要項

(1) 遺 跡 名：大野田古墳群（宮城県遺跡登録番号 01361）
(2) 所 在 地：仙台市太白区大野田字王ノ檀・千刈田・竹松・宮・宮脇
(3) 調査面積：約 3,585 ㎡
　・平成22年度：約1,252㎡（15A・15B・15C・15D区）
　・平成23年度：約1,751㎡（16A1・16A2・16A3・16B・16C・16D・16E区）
　・平成24年度：約582㎡（17A・16A1西・17B区）
(4) 調査主体：仙台市教育委員会
(5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
(6) 担当職員
　・平成22年度：平間亮輔・及川謙作
　　（派遣調査員：蝦名　純・田口雄一・菊地　豊／㈱三協技術）
　・平成23年度：平間亮輔・川本剛史
　　（派遣調査員：長林　大・竹内俊之・蝦名　純／国際文化財㈱）
　・平成24年度：佐藤　洋・平間亮輔
　　（派遣調査員：菊地　豊／㈱三協技術）
(7) 調査期間
（野外調査）・平成22年度：平成22年4月26日～平成23年6月17日
　・平成23年度：平成23年6月22日～平成24年3月16日
　・平成24年度：平成24年5月7日～10月26日

2．15A区の調査

基本層Ｖ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、掘立柱建物跡4棟、土坑7基、性格不明遺構4基、溝跡20条、小溝状遺構群6群126条、ピット240基を検出した。

なお、調査区北東端部で検出したSK79土坑は、東側に隣接する16B区1区で検出したSI64竪穴住居跡の一部である。

（１）Ｖ層検出の遺構と遺物（第１～11図・写真図版１・2）

SB10掘立柱建物跡・SD18・77・94溝跡（第2・3図）

調査区南東側E40～50・N20グリッドで検出した。SD125溝跡、小溝状遺構群Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ群と重複し、いずれよりも新しい。南側は調査区外へ延びる。主軸方向はN-86°-Eである。全体の規模は桁行3間(総長7.7m、各芯々距離は2.50～2.58m)、梁行2間(各芯々距離は2.9～3.05m)以上の側柱建物である。柱穴掘り方は長辺104～140cm、短辺70～80cmの隅丸長方形を呈し、残存する深さは46～80cmを測る。すべての柱穴で抜き取り痕が認められる。抜き取り痕の下面には径14～32cmの柱痕跡が確認された。

SD18・77・94溝跡は掘立柱建物跡のそれぞれ北側・西側・東側を区画し、一連の遺構と考えられる。

SD18溝跡の主軸方向はN-85°-Eである。検出長7.35m、幅52cmを測る。断面形は逆台形を呈し、堆積土は2層に分けられ、深さは35cmである。SD77溝跡の主軸方向はN-5°-Wである。検出長6.2m、幅68cmを測る。断面形は逆台形を呈し、堆積土は3層に分けられ、深さ45cmである。SD94溝跡の主軸方向はN-8°-Wである。検出長は3.85m、幅70cmを測る。断面形は擂鉢状を呈し、堆積土は3層に分けられ、深さ30cmである。

SB133掘立柱建物跡、SD36・117・140溝跡（第6・7図、写真図版1）

調査区南側中央E20・N10～20グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ群と重複しいずれより新しい。主軸方向はN-80°-Wである。全体の規模は桁行5間（総長13.24m、各芯々距離は1.5～1.8m）、梁行2間（各芯々距離は2.2～2.4m）の東西棟の側柱建物跡で、東西の2面に廂が付いていたものと考えられる。柱穴は全部で19基検出し

た。身舎の柱穴掘り方は一辺75～85cmの隅丸方形を呈し、廂の柱穴掘り方は径50～60cmの楕円形あるいは隅丸方形を呈する。P10以外は概ね円形の柱痕跡が確認され、径14～22cmである。

SD36・117・140溝跡は本掘立柱建物跡のそれぞれ東側・北側・西側を区画し、一連の遺構と考えられる。

SD36溝跡の主軸方向はN-0°である。検出長2.5m、溝幅35cmを測り、ごく浅い掘り込みである。SD117溝跡の主軸方向はN-82°-Wである。検出長13.8m、幅52cmを測る。堆積土は2層に分けられ、断面形はU字形を呈し、深さは28cmである。SD140溝跡の主軸方向はN-3°-Eである。検出長6.24m、幅48cmを測り、ごく浅い掘り込みである。大野田古墳群14B区の調査でⅣ層の北西側端部で検出したP226は本掘立柱建物跡の南東端の柱穴に相当すると考えられ、SD36溝跡の南側に連続すると考えられるSD97溝跡も検出した〔仙台市教委　2017〕。

SK80a土坑（第8～10図、写真図版1・11）

調査区北側中央部E30～40・N30グリッドで検出した。長軸方向はN-81°-Wである。小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡、SK80b土坑と重複しいずれよりも新しい。平面形は不整な楕円形を呈し、規模は東西315cm、南北250cm以上である。断面形は開いたU字形を呈し、深さは45cmを測る。堆積土は5層に分けられ、自然堆積である。

遺物はSK80b土坑出土遺物と区別されておらず、全てSK80土坑出土遺物として報告する。ロクロ土師器・須恵器の坏が出土した。体部外面に「方」と墨書された土師器坏と須恵器坏がそれぞれ2点出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。

SK80b土坑（第8～10図、写真図版1・11）

調査区北側中央部E30・N30グリッド、調査区壁際で検出した。長軸方向は不明である。小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡、SK80a土坑と重複し小溝状遺構群、SB82掘立柱建物跡より新しく、SK80a土坑より古い。

規模は不明であるが南側で東西2.5m以上、南北2.0m以上ある。断面形は舟底形を呈し、深さは40cmである。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

SK83土坑（第8・10図、写真図版2・11）

調査区中央部N30・E30グリッドで検出した。長軸方向はN-8°-Eである。平面形は不整な楕円形を呈し、規模は長軸112cm、短軸102cmを測る。断面形は開いたU字形を呈し、深さは20cmである。堆積土は2層に分けられる。

遺物は1層からロクロ土師器・須恵器の坏、2層から体部外面に「方」と墨書されたロクロ土師器坏が須恵器坏などと共に出土した。時期は9世紀後半頃と考えられる。

SD125溝跡（第11図）

調査区東側E40～50・N20～30グリッドで検出した。SB10掘立柱建物跡・ピット群と重複しいずれよりも古い。主軸方向はN-13°-Wである。南北方向に延び、六反田遺跡6B3区SD53溝跡、大野田古墳群14B区SD92溝跡と連続する可能性がある〔仙台市教委　2017〕。検出長は11.2m、幅1.3～2.0mを測る。断面形は開いたU字形を呈し、深さは30cmである。堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。

（２）遺構外出土の遺物（第 12 図・写真図版 11・12）

Ⅳ層から体部外面に墨書が認められる土師器の坏などが出土した。時期は9世紀後半頃のものが多い。

3．15B区の調査

Ⅲ層上面（中世以降の遺構検出面）において、溝跡3条を検出した。

（１）Ⅲ層検出の遺構と遺物（第 13・14 図・写真図版 2）

SD1・2・3溝跡（第13・14図、写真図版2）

SD1・2・3溝跡はW-10～30・E170～180グリッドで検出した。重複しており、数度にわたって掘り直されたものと考えられ、新しい方からSD1・2・3溝跡となる。主軸方向は、南西側がN-74～75°-E、北東側がN-58～60°-Eである。検出長は18m、幅は82～98cmを測る。断面形はSD1溝跡が逆台形、SD2・3溝跡はU字形を呈し、最も深いSD2溝跡は深さ72cmを測る。SD1・2溝跡の堆積土中には灰白色火山灰が含まれる。

堆積土中から古代の遺物が出土している。

4．15C 区の調査

調査区は2地区に分けられ、西から1・2区と呼称した。

Ⅳ層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡3条を検出した。Ⅴ層上面では、土坑6基、溝跡15条、小溝状遺構群1群27条、ピット234基を検出した。

なお、15C2区Ⅴ層検出の調査区中央を東西に横断するSD30溝跡は大野田官衙遺跡の南側区画溝跡であることが判明している。

（１）Ⅳ層検出の遺構と遺物（第 16 図）

15C2区検出のSD31・32・33溝跡は、調査区東側で検出した小溝状遺構群の一部と考えられる東西方向の溝跡である。

（２）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 15・17・18 図・写真図版 2・3）

SD30溝跡（第17・18図・写真図版2）

調査区中央E280～300・S30グリッドで検出した。SD64～69溝跡、小溝状遺構群Ⅰ群と重複し、本溝跡が古い。主軸方向はN-89°-Wである。大野田官衙遺跡の南側区画溝であり、東側延長上には大野田古墳群8A区SD421溝跡がある〔仙台市教委　2011〕。検出長は21.4m、幅2.76～3.72mを測る。断面形は逆台形を呈し、深さは1.24mである。堆積土は11層に分けられ、4層中に灰白色火山灰粒を多く含む。

遺物は土師器片が少量出土したのみである。

SD71溝跡付近のピット群、SD27溝跡付近のピット群（第17図・写真図版2）

SD71溝跡付近のピット群はC2区南側で検出した。SD71溝跡と重複しピット群が新しい。C1区北側検出のSD27溝跡付近のピット群も同様である。これらピット群は大野田古墳群、5A区SA257・258柵列、SA1・2柱列跡の東側端部にあり連続する遺構の可能性がある〔仙台市教委　2005・2011〕。ピット群の配列はSA257・258柵列、SA1・2柱列跡に比べ規則性が弱いが、X座標-198.440付近に位置し、ほぼ東西方向に180m以上の延長があり、さらに西側に延びる。大野田官衙遺跡の南側区画溝の南側10～20mに位置していることから、官衙関連の遺構と考えられる。

5．15D区の調査

Ⅴ層上面において、古墳1基（38号墳）、ピット18基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 19 ～ 21 図・写真図版 3・12）

大野田38号墳（第20・21図・写真図版3・12）

調査区北東側W20～30・S20グリッド及び、南側W20～30・S40グリッドで周溝の一部を検出した。本古墳は大野田古墳群12A区で調査され、周溝の東側を検出した。径24m程の円墳と推定され、埴輪を有する古墳である。南側で周溝底面までの深さは60cmを測る。堆積土は5層に分けられ、自然堆積である。

基部に3条のヘラ記号を持つ円筒埴輪片が出土した〔仙台市教委　2017〕。

6．16A1区の調査

調査区は2地区に分けられ、それぞれ南・北区と呼称した。

Ⅴ層上面において、古墳1基（33号墳）、小溝状遺構群1群15条、ピット約110基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 22・25 図・写真図版 3・12）

大野田33号墳（第25図・写真図版4・12）

1・2区の調査区東側W30～40・S90～110グリッドで周溝の西側を検出した。本古墳は、大野田古墳群12A区で調査され、周溝東側を検出した。推定径24m程の円墳と考えられる。周溝幅は2.86～3.64m、12A区の調査では底面までの深さは50cmを測り、堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。埴輪を有する古墳であることが確認されている〔仙台市教委　2017〕。

周溝内から弥生土器が出土した。基本層Ⅳ層中から朝顔形埴輪片などが出土した。これらの埴輪片はその出土位置から、小溝状遺構群、SD16溝跡出土の朝顔形埴輪と共に本古墳に伴っていたものと考えられる。埴輪には間隔の狭い2条の凸帯を有するものがあり、朝顔形埴輪の肩部片もしくは形象埴輪の台座部分の可能性がある。同様の破片は大

野田古墳群では1A区の大野田10号墳で出土した〔仙台市教委　2000a〕。

（２）遺構外出土の遺物（第 28 図・写真図版 12）

Ⅳ層から大野田33号墳に伴うものと考えられる朝顔形埴輪片の他、縄文・弥生土器が出土した。

7．16A1西区の調査

Ⅱb層上面（中世～近世の遺構検出面）において、小溝状遺構群25条、ピット7基を検出した。Ⅲa層上面（古代～中世の遺構検出面）では、小溝状遺構群3条、ピット37基を検出した。Ⅳa層上面では、小溝状遺構群29条、Ⅳb層上面では、小溝状遺構群3群29条、性格不明遺構1基、ピット70基を検出した。Ⅴa層上面にでは土坑1基、ピット42基を検出した。Ⅵc層上面では、溝跡2条を検出した。Ⅶ層上面では、ピット3基を検出した。ここではⅣb層上面とⅦ層上面の遺構を掲載し、その他の面の遺構については写真図版3・4に掲載している。

（１）Ⅳｂ層検出の遺構と遺物（第 23 図・写真図版 4）

小溝状遺構群3群29条を検出した。調査区北東側で最も新しい、南北方向のⅠ群5条を検出した。Ⅰ群より古い、北西・南東方向のⅡ群22条を調査区全域で検出した。北東側でⅡ群より古い、南北方向のⅢ群2条を検出した。

（２）Ⅶ層検出の遺構と遺物（第 24 図・写真図版 4）

南西側の深掘り区で東側へ傾斜する埋没谷地形を確認し、縄文時代と考えられるピット3基を検出した。

8．16A2区の調査

調査区は2地区に分けられ、それぞれ南・北区と呼称した。

Ⅴ層上面において、土坑1基、小溝状遺構群3群52条、ピット50基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 29・30 図・写真図版 4・5・12）

小溝状遺構群3群52条を検出した。最も新しいⅠ群9条は調査区全域で検出し、主軸方向はN-10°-Eである。Ⅱ群21条は調査区北側で検出し、Ⅰ群より古い。主軸方向はN-41～59°-Wである。Ⅲ群22条は最も古く調査区全域で検出した。Ⅲ群内には新旧関係があり、新しい方からⅢa群4条・Ⅲb群5条・Ⅲc群13条に分けられ主軸方向はそれぞれN-10°-W、N-30°- W、N-10°-W、である。

Ⅱ群SD26溝跡内から5世紀後半頃と考えられる、非ロクロ土師器の壺が出土した。

9．16A3区の調査

Ⅴ層上面において、土坑5基、小溝状遺構群3群23条、ピット群を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 31・32 図・写真図版 5）

SK11土坑（第32図）

調査区北側W50・S130グリッドで検出した。小溝状遺構群Ⅰ群SD2溝跡に北側を削平されているが、平面形は楕円形を呈するものと思われ、規模は長軸55cm、短軸28cm以上である。底面は一部ピット状に深くなり、深さは55cmを測る。堆積土は2層に分けられ、自然堆積である。遺物は出土しなかった。

10．16B区の調査

調査区は2地区に分けられ、西から1・2区と呼称した。

Ⅴ層上面において、竪穴住居跡1軒、土坑3基、溝跡3条、小溝状遺構群2群142条、ピット群を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 33 ～ 37 図、写真図版 5・6・13）

1区 SI64竪穴住居跡（第35・36図、写真図版5・13）

［位置］調査区北西側E50・N30グリッドで検出した。

［重複関係］小溝状遺構群と重複し本住居跡が古い。西側の15A区で検出したSK79土坑は本住居跡の一部である。

［規模・形態］北側は調査区外へ延びるが、隅丸方形を呈すると思われ、規模は東西6.2ｍを測る。

［主軸方向］N-16°-E

［堆積土］堆積土は5層に分けられ、1～4層が堆積土、5層が掘り方埋土である。

［壁面］床面から外傾して立ち上がる。壁高は最大23cmを測る。
［柱穴］床面南東側でピットを1基検出した。
［床面］ほぼ平坦で、掘り方を2～5cm程埋め戻して床面としているが、部分的には掘り込んだ面をそのまま床面としている。
［炉跡］炉跡の可能性がある焼土範囲が認められる。
［周溝］南東側のピット付近、北東コーナー付近は途切れるが、ほぼ全周する。
［掘り方］部分的に認められる。
［出土遺物］非ロクロ土師器の甕や小形壺が出土した。時期は古墳時代前期4世紀代と考えられる。

（２）遺構外出土の遺物（第 38 図・写真図版 13）

Ⅳ層から弥生時代中・後期土器や古代の土師器が出土した。

11．16C区の調査

調査区は2地区に分けられ、北から1・2区と呼称した。

Ｖ層上面において、古墳3基（1・2・30号墳）、小溝状遺構群2群7条、ピット20基を検出した。

（１）Ｖ層検出の遺構と遺物（第 39 ～ 46 図・写真図版 6・7・13・14）

大野田1号墳（第41～43図・写真図版6・13）

1区南側E30・S80～90グリッドで周溝の南西側を検出した。本古墳は1971年に市道拡幅のため1次調査、1981年に大野田コミュニティーセンター建設予定地内で第2次調査が行われた〔仙台市教委 1983・1987b〕。

前回の調査では周溝南側の一部を検出し、墳丘の積土がわずかに残存していた。これまでの調査から径22m前後の円墳と推定される。周溝幅は3.15mを測る。断面形は逆台形を呈し、周溝底面までの深さは65cmを測る。堆積土は2層に分けられ、自然堆積と考えられる。

周溝内から朝顔形埴輪が出土した。朝顔形埴輪の肩部には外面調整に2次調整の横ハケを有するものがあり、時期は5世紀後半代と考えられる。

大野田2号墳（第44・45図・写真図版7・14）

1区南側E130・S90グリッドで周溝の北側の一部、2区中央部S100・E140グリッドで周溝の東側の一部を検出した。大野田古墳群11A・B区でそれぞれ周溝の南東側と南西側の一部を検出した〔仙台市教委　2017〕。

これまでの調査から径25～27mの円墳と推定される。周溝幅は3.3mを測る。断面形は皿形を呈し、周溝底面までの深さは50cmを測る。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

周溝内から朝顔形埴輪が出土した。

大野田30号墳（第46図・写真図版7）

2区東側E150・S100グリッドで周溝の西側の一部を検出した。大野田古墳群11A区で調査され、墳丘積土が残存し、主体部を含む大部分が調査され、埴輪を有する古墳であることが確認されている。西側には2号墳の周溝が近接する〔仙台市教委　2017〕。これまでの調査から径22mの円墳と推定される。今回の調査で周溝西側端部を検出した。

（２）遺構外出土の遺物（第 47 図・写真図版 14）

2区Ⅲ層から縄文時代後期後半の深鉢形土器が出土した。

12．16D区の調査

Ⅲ層上面において、掘立柱建物跡1棟、土坑7基、性格不明遺構2基、溝跡2条、ピット148基を検出した。Ⅳ層上面では、溝跡4条、ピット2基を検出した。Ｖ層上面において、小溝状遺構群1群5条、ピット83基を検出した。

（１）Ⅲ層検出の遺構と遺物（第 48 ～ 51 図・写真図版 7）

SB23 掘立柱建物跡（第 49 図・写真図版 7）

調査区東側中央部E280～300・S240～250グリッドで検出した。SX9性格不明遺構と重複し本掘立柱建物跡が古い。北西側は調査区外へ延びる。主軸方向はN-85°-Wの東西棟である。全体の規模は桁行5間、総長11.8m、梁行4間、総長7.4mの建物跡である。柱穴掘り方は長辺42～62cm、短辺36～50cmの楕円形を呈し、残存する深さは30～60cmを測る。P1・2・9・10で柱痕跡を確認している。堆積土はP10を除いて単層である。遺物は確認されなかった。

（２）Ⅳ層検出の遺構と遺物（第 52・53 図・写真図版 8）

SD13・14溝跡（第52・53図・写真図版8）

SD13・14溝跡は調査区東側中央部E290～300・S250～260グリッドで検出した。主軸方向はSD13溝跡がN-89°-W、SD14溝跡がN-90°でほぼ東西方向に平行して検出した。検出長はSD13溝跡が4.48m、SD14溝跡は4.43m、幅はSD13溝跡が59cm、SD14溝跡は72cm、断面形は逆台形を呈し、深さはSD13溝跡が40cm、SD14溝跡は11cmである。堆積土はSD13溝跡が3層に分けられ、1層は掘り直しの可能性がある。SD14溝跡は単層である。

（３）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 54 図・写真図版 8）

小溝状遺構群Ⅰ群は調査区北東側で南北方向に5条検出した。

13．16E区の調査

Ⅴ層上面において、小溝状遺構3条、ピット2基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（ 第 55 図・写真図版 8・9）

小溝状遺構群と考えられる小溝は調査区中央南側に東西方向の1条、撹乱を挟んで南側に南北方向の小溝1条、南北方向の小溝に削平される東西方向の小溝1条を検出した。

14．17A区の調査

Ⅴ層上面において、竪穴住居跡3軒、溝跡4条、小溝状遺構群3群34条、ピット194基を検出した。C層上面（深堀区、基本層に該当しない縄文時代の遺構検出面）において、竪穴住居跡1軒、土坑5基、ピット10基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 56 ～ 61 図、写真図版 9・14）

SI35竪穴住居跡（第58・59図、写真図版9・14）

［位置］調査区中央W110・S90グリッドで検出した。

［重複関係］SD19溝跡、ピット群と重複し本住居跡が古い。

［規模・形態］規模は東西3.92m、南北3.46mを測り、隅丸方形を呈する。

［主軸方向］N-28°-W

［堆積土］堆積土は19層に分けられ、1～11層が堆積土、12・13層が炉跡堆積土、14～19層が掘り方埋土である。

［壁面］床面から垂直に立ち上がる。壁高は30cmを測る。

［柱穴］底面でピットを8基検出した。

［その他の施設］南東側で貯蔵穴を検出した。

［床面］掘り方埋土上面を床面としている。ほぼ平坦である。床面上に焼土を含む炭化物範囲が認められる。

［炉跡］中央北側で検出した。

［周溝］西側で一部途切れるがほぼ全周する。

［掘り方］中央部が浅く、四隅が深く掘り込まれる。

［出土遺物］非ロクロ土師器の甕が出土した。時期は古墳時代と考えられる。

SD20溝跡（第56・61図・写真図版9・14）

SD20溝跡は調査区北側W110・S70～90グリッドで検出した。主軸方向はN-39°-Eである。検出長は11.05m、溝幅は1.63m、断面形は擂鉢形を呈し、深さは52cmを測る。堆積土は3層に分けられ、3層下部に粗砂が認められ、流水があったものと考えられる。これらの特徴は伊古田遺跡5B区SD48溝跡でも認められ、連続する溝跡の可能性があり、六反田遺跡7F1南区のSD20・21溝跡に連続する可能性がある。また伊古田遺跡1区SD5溝跡、2A区SD1溝跡に連続する遺構の可能性がある〔仙台市教委　2013a〕。堆積土1層中から青白磁の輪花皿の口縁部片が出土した。

（２）仮Ｃ層（縄文時代の遺構確認面）検出の遺構と遺物（ 第 62・63・65 図・写真図版 10）

SI41竪穴住居跡（第63図、写真図版10）

［位置］調査区東側深掘り区W100～110・S80～90グリッドで検出した。

［重複関係］ピット群と重複し、2基のピットより新しく1基のピットより古い。

［規模・形態］規模は東西3.5m、南北2.9mを測り、不整楕円形を呈する。

［主軸方向］長軸方向を基準としN-64°-Wである。
［堆積土］堆積土は5層に分けられ、1～4層が堆積土、5層が周溝堆積土である。掘り方は認められない。
［壁面］床面から緩やかに立ち上がる。壁高は37cmを測る。
［柱穴］床面でピットを14基検出した。
［床面］掘り込んだ面を直接床面とし、ほぼ平坦である。床面上に焼土を含む炭化物範囲が2ヶ所認められる。
［炉跡］明確な炉跡は検出されなかった。
［周溝］北東側の一部のみで検出した。
［出土遺物］縄文時代の遺構と考えられるが、遺物は検出時に土器片1点が出土したのみで時期は不明である。

（３）遺構外出土の遺物（第 64 図・写真図版 14）

Ⅰ層から古墳時代前期の台付甕が出土した。

15．17B区の調査

Ⅴ層上面において、土坑4基、小溝状遺構群3群24条、ピット38基を検出した。Ⅷc層上面（縄文時代後期後半の遺構検出面）では、土坑2基、性格不明遺構1基を検出した。

（１）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 66 ～ 68 図・写真図版 10・14）

小溝状遺構群は3群24条を検出した。重複関係から最も新しいⅠ群5条は調査区全域に広がり、主軸方向はN-5°-W～ N-5°-Eのほぼ南北方向である。Ⅱ群3条は調査区南東部で検出し、Ⅰ群より古い。主軸方向はN-47～63°-Eで北東・南西方向である。Ⅲ群16条はⅠ・Ⅱ群より古く、N-50～65°-Wの北西・南東方向である。遺物は土師器片、縄文土器片などの細片が出土した。

（２）Ⅷｃ層検出の遺構と遺物（第 69 ～ 72 図・写真図版 10・14・15）

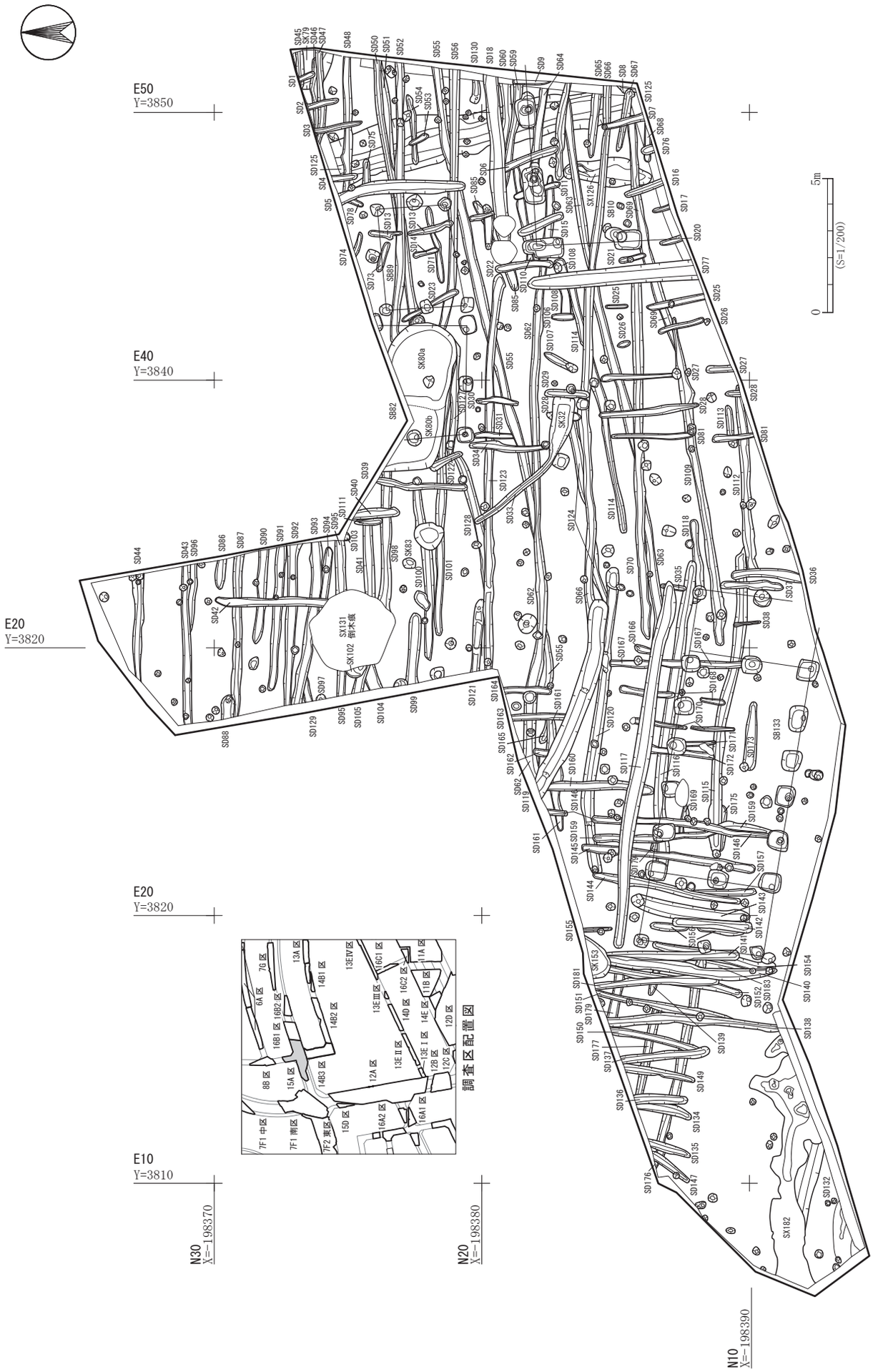
SX29性格不明遺構（第70・71図・写真図版10・14）

調査区南側W110・S130グリッドで検出した。平面形は楕円形を呈するものと思われ、規模は長軸518cm、短軸302cmを測り、主軸方向はN-69°-Wである。断面形は皿状を呈し、深さは20cmを測る。堆積土は3層に分けられる。

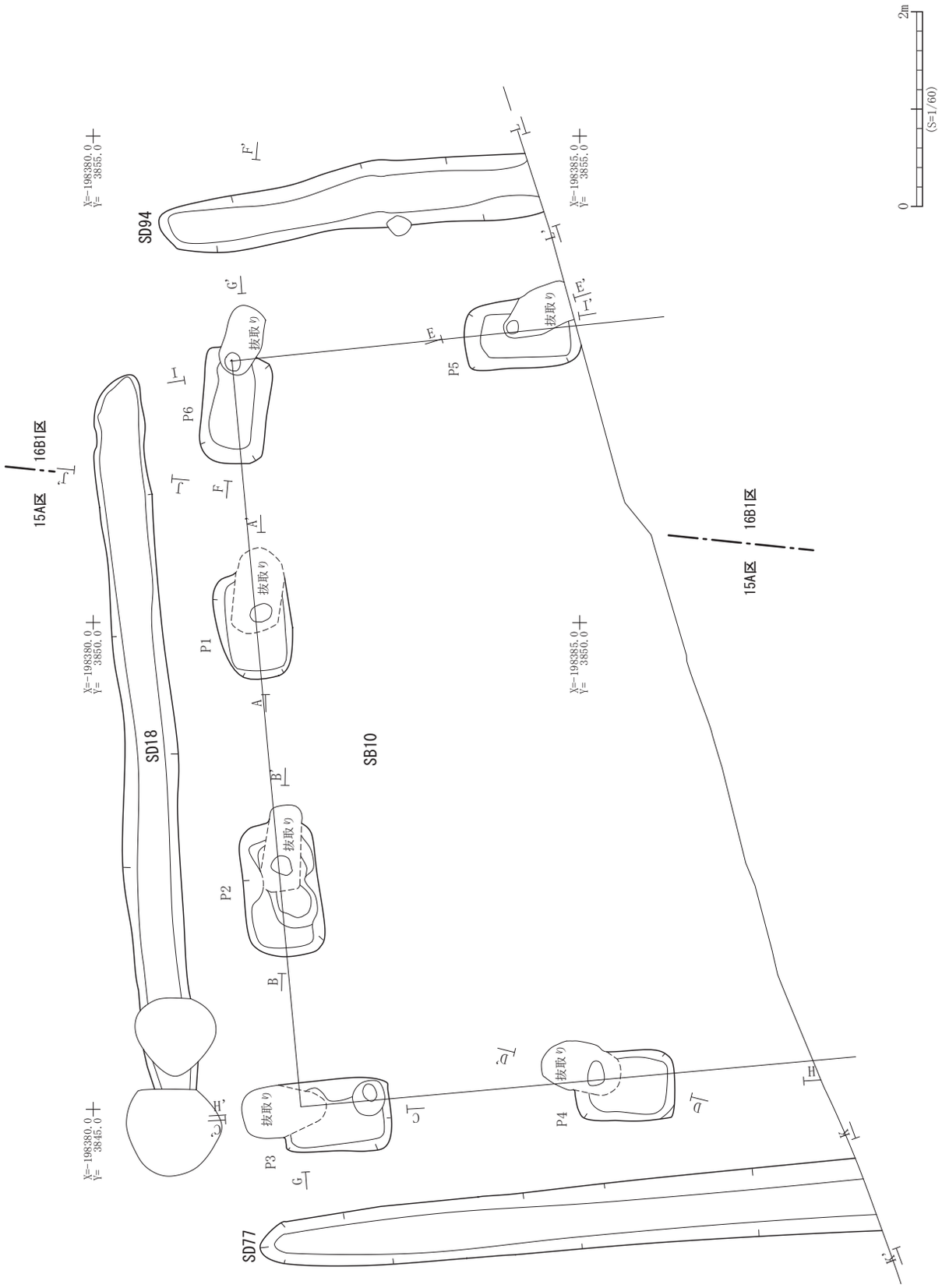
遺物は堆積土から縄文時代後期中葉宝ヶ峯式後半頃の遺物が出土した。

（３）遺構外出土の遺物（第 73 図・写真図版 15）

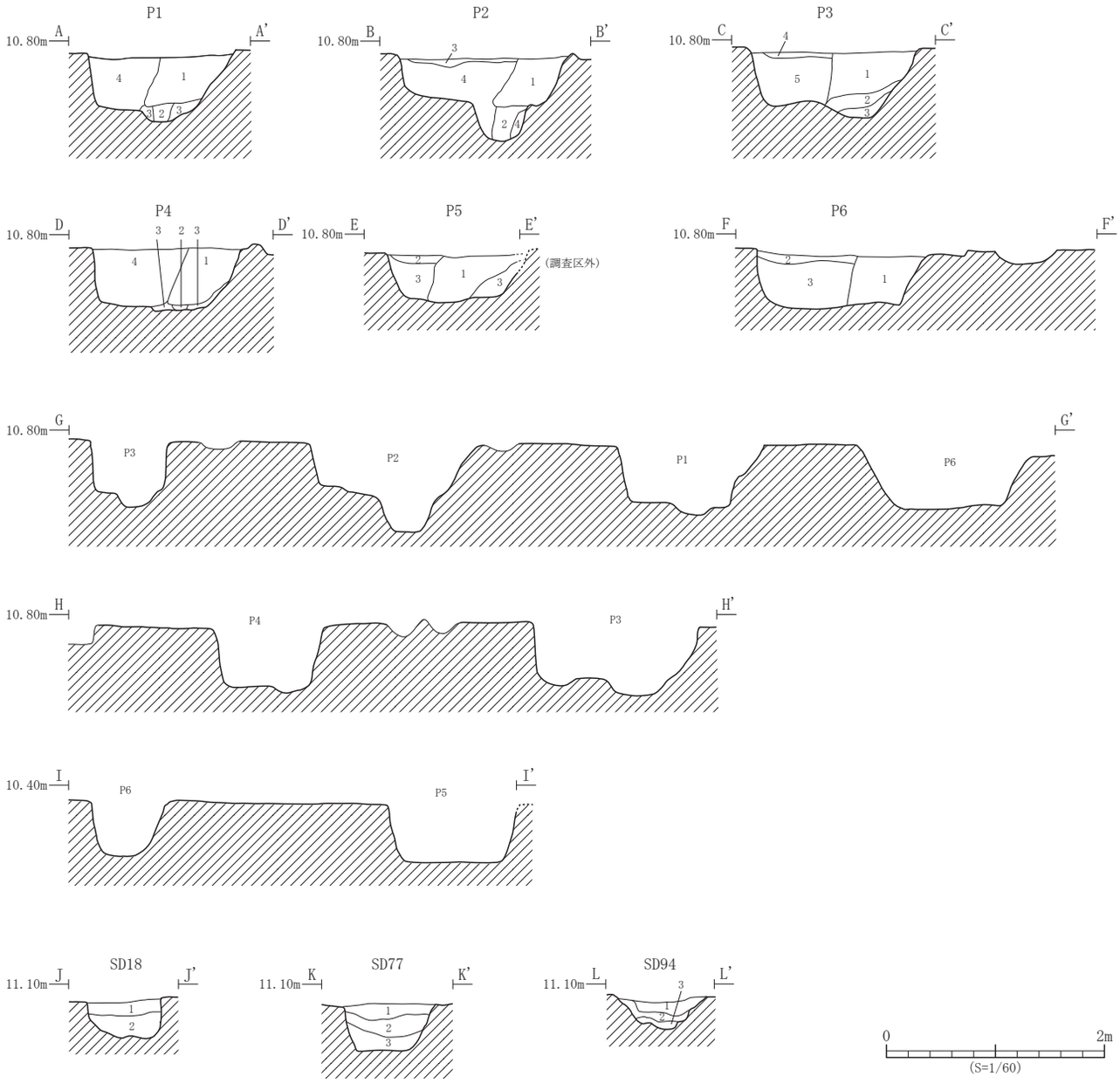
Ⅷc層は縄文時代後期の遺物包含層で縄文土器片と石器の剥片十数点が出土した。Ⅷd層からは縄文時代後期と考えられる底部を焼成後打ち欠いた深鉢と打製石器の石錐が出土した。



第１図　大野田古墳群 15A 区Ⅴ層遺構配置図



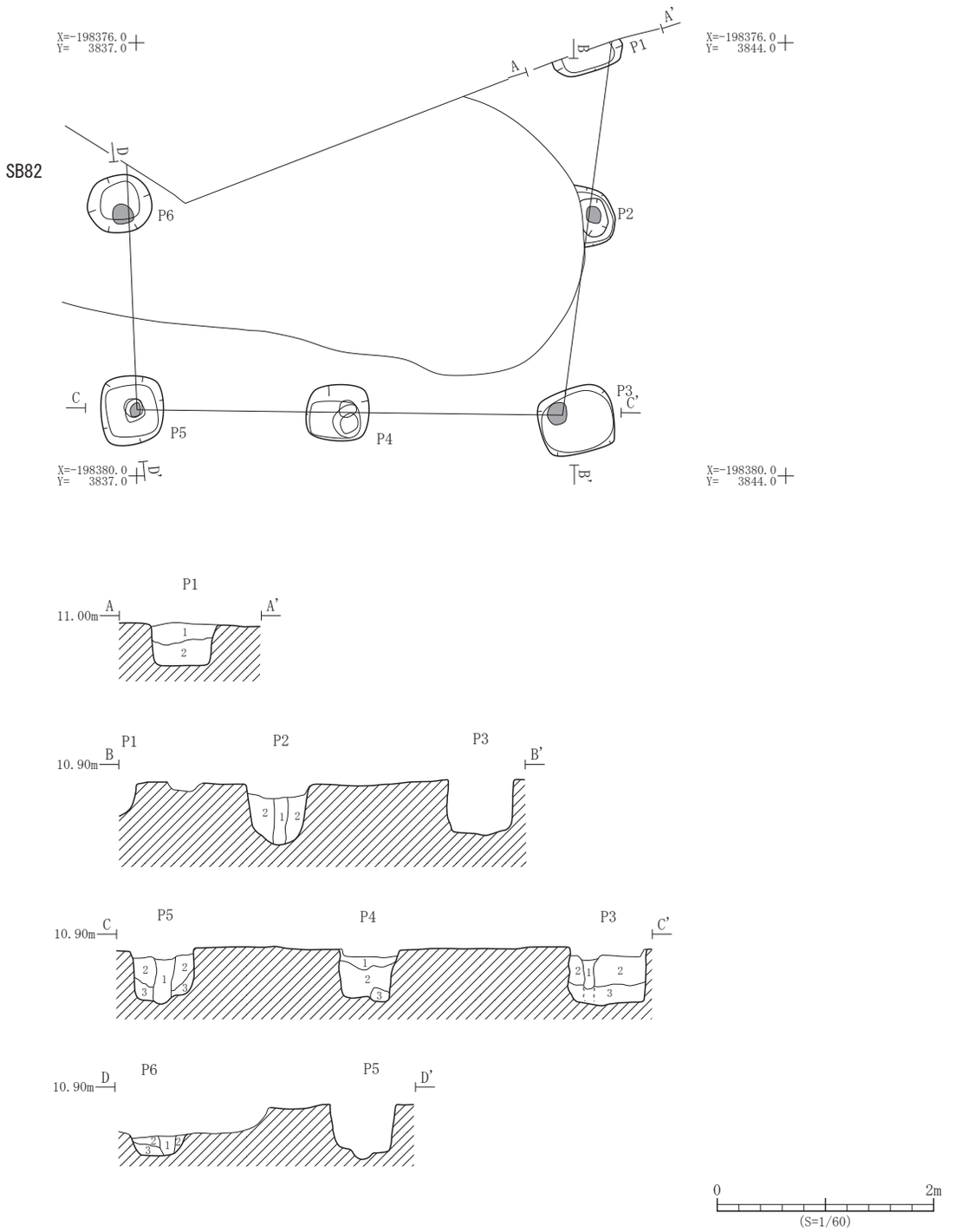
第 2 図　SB10 掘立柱建物跡　SD18・77・94 溝跡平面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB10 P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを斑状に含む　抜き取り痕
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロックを斑状に多量含む　掘り方
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土ブロックを斑状に多量含む　掘り方
P2	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	抜き取り痕
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを多量含む　掘り方
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に多量含む　掘り方
P3	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	焼土粒・Ⅴ層ブロックを少量含む　抜き取り痕
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	柱痕
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを斑状に多量含む　掘り方
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロックを斑状に微量含む　掘り方
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土質シルトブロックを斑状に多量含む　掘り方

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に含む　抜き取り痕
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	にぶい黄褐色シルトを多量含む　柱痕
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを斑状に少量含む　掘り方
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	掘り方
P5	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・Ⅴ層小ブロックを斑状に多量含む　抜き取り痕
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層小ブロックを多量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土	黒褐色粘土質シルトブロックを斑状に多量含む
P6	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルト小ブロックを斑状に多量、Ⅴ層小ブロックを少量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土	黒褐色粘土質シルトブロックを斑状に多量含む
SD18	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	灰褐色粘土粒を多量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量含む
SD77	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	マンガン粒を多量、炭化物を微量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	炭化物を微量含む
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土	Ⅴ層粒、Ⅴ層ブロックを多量含む
SD94	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物・Ⅴ層ブロックを少量含む
	3	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量含む

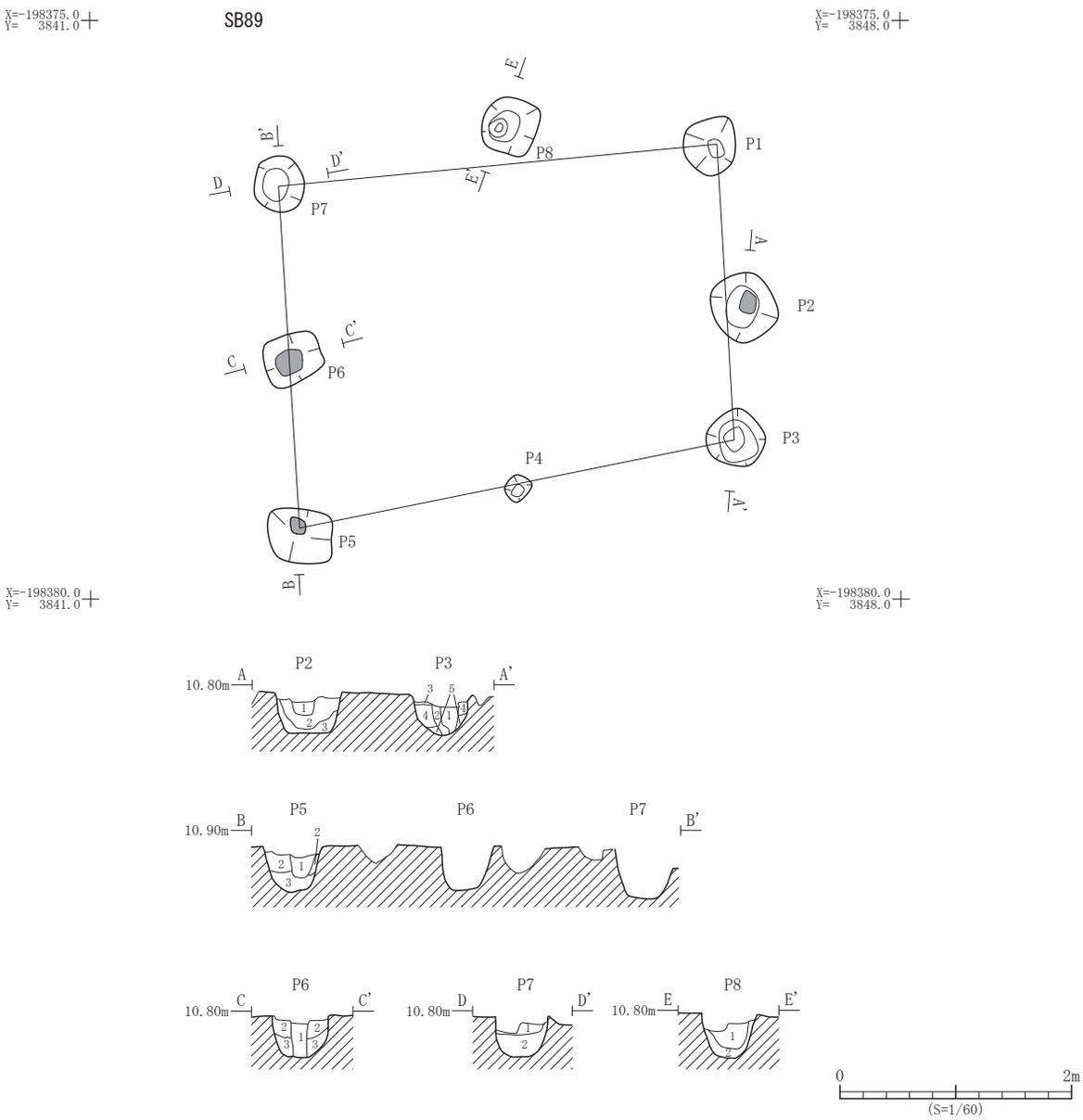
第３図　SB10 掘立柱建物跡　SD18・77・94 溝跡断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB82	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P1	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを微量含む
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
P3	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを微量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P4	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	
P5	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを微量含む
P6	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・酸化鉄を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを微量含む

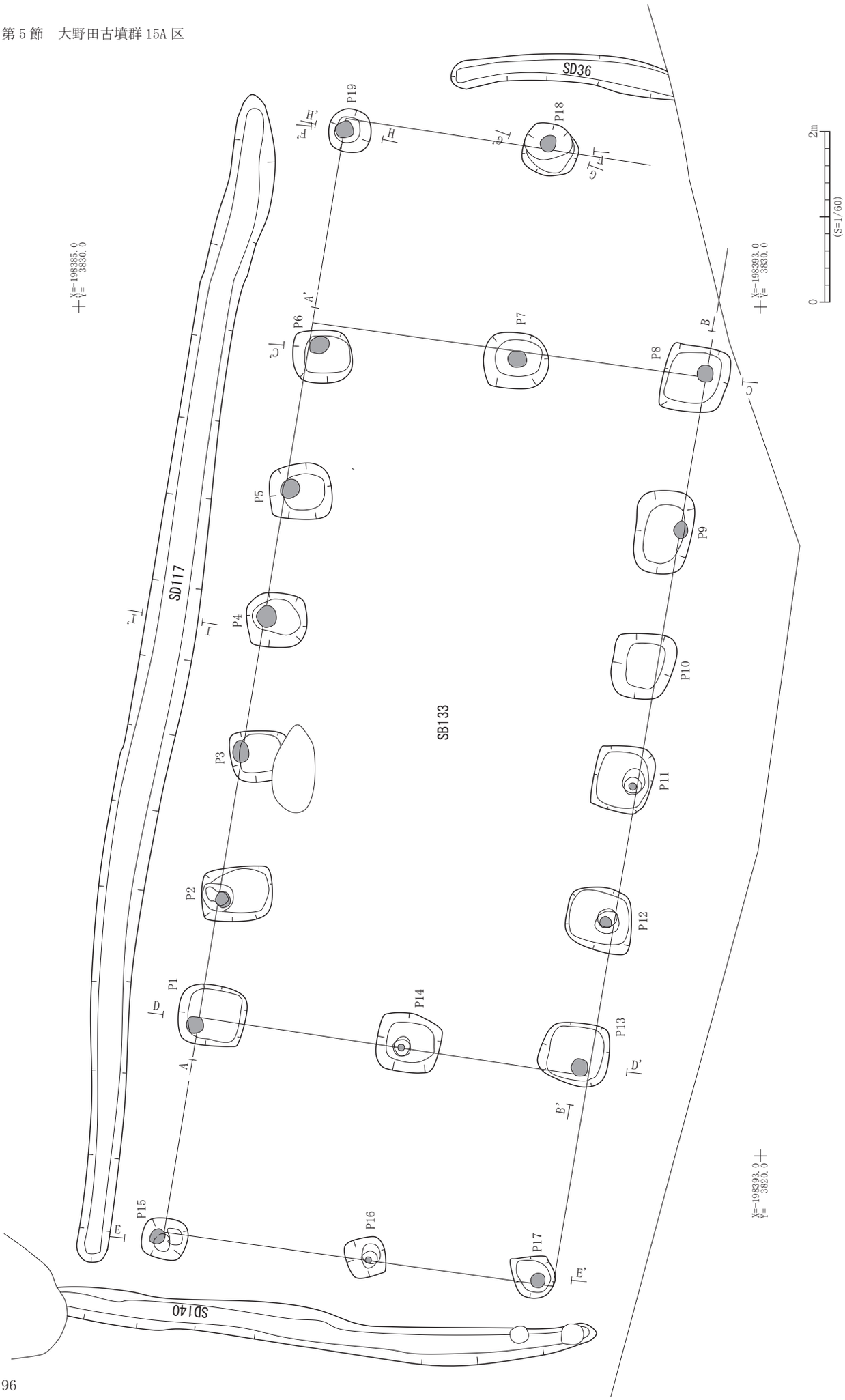
第 4 図　SB82 掘立柱建物跡平面図・断面図



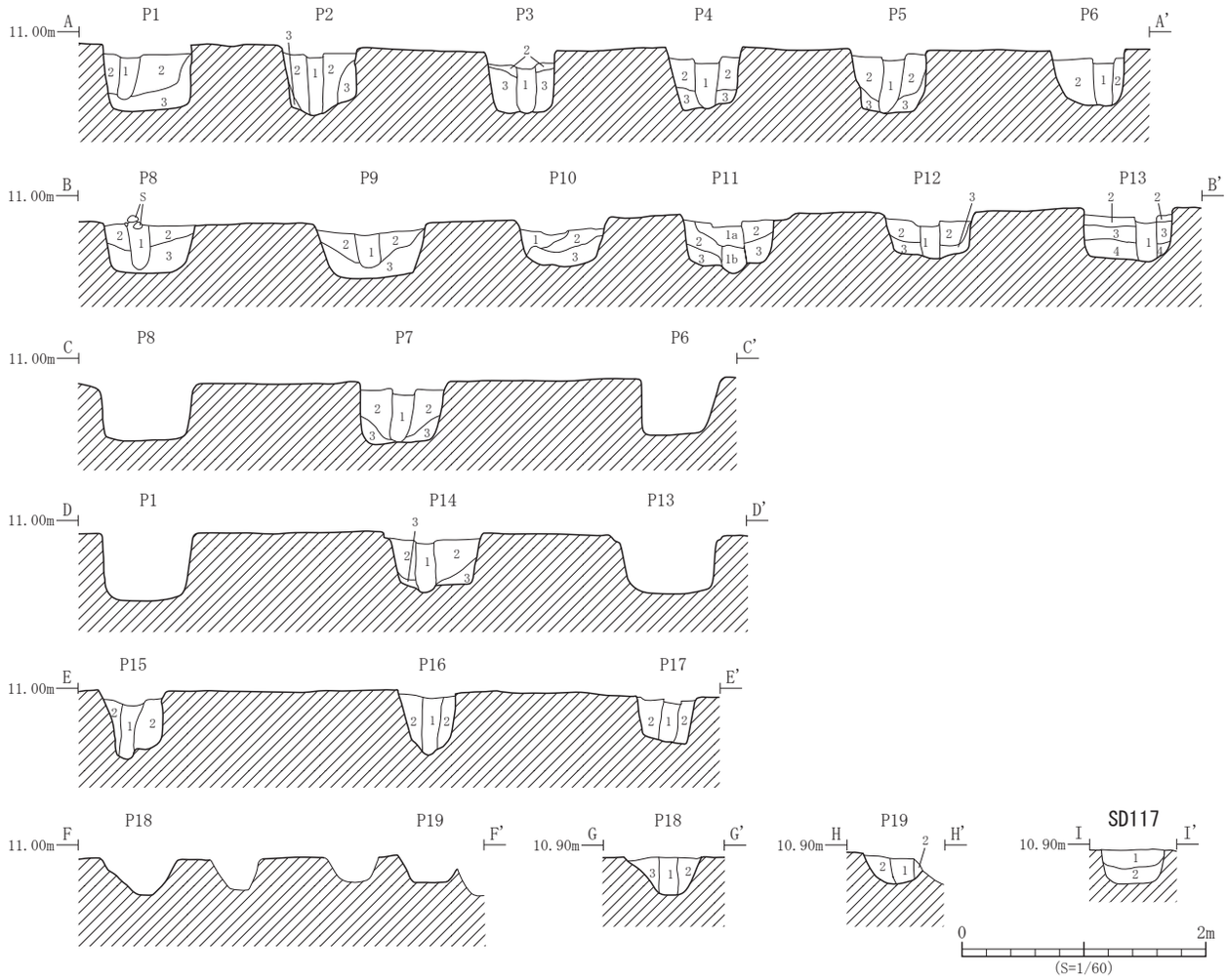
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB89 P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に含む　柱痕
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	褐灰色粘土を少量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	褐灰色粘土を少量含む
	4	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P5	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ｖ層ブロックを少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	3	10YR5/6 黄褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを微量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P6	1	10YR4/1 褐灰色	粘土	にぶい黄褐色粘土を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	
P7	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルトブロック・黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土質シルトを少量含む
P8	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土質シルトブロック・褐色シルトブロックを斑状に含む
	2	10YR5/4 にぶい黄褐色	粘土質シルト	褐灰色粘土質シルトを少量含む

第５図　SB89 掘立柱建物跡平面図・断面図



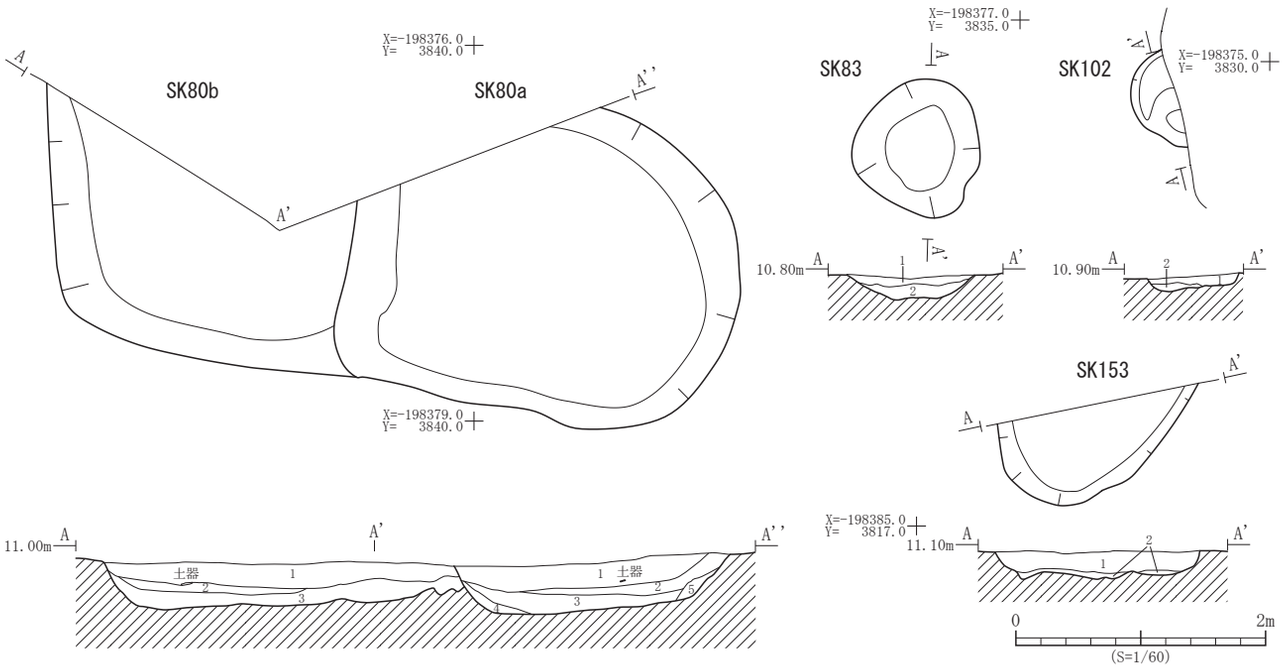
第 6 図　SB133 掘立柱建物跡　SD36・117・140 溝跡平面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SB133 P1	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P2	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P3	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P4	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロック多量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P5	1	10YR7/4 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土との互層　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P6	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
P7	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを多量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P8	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P9	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P10	1	10YR4/1 褐灰色	粘土	Ⅴ層ブロック多量含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロックを多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P11	1a	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロック多量含む
	1b	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P12	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P13	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量、上部に自然礫を含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを多量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを斑状に多量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	褐灰色粘土ブロックを少量含む
P14	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	3	10YR5/6 黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック少量含む
P15	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
P16	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
P17	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
P18	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
	3	10YR5/6 黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロック少量含む
P19	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒を少量含む　柱痕
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	Ⅴ層ブロック・灰黄褐色粘土ブロックを斑状に含む
SD117	1	10YR4/1 褐灰色	粘土	炭化物、酸化鉄を少量含む
	2	10YR4/6 褐色	粘土	褐灰色粘土ブロックを多量含む

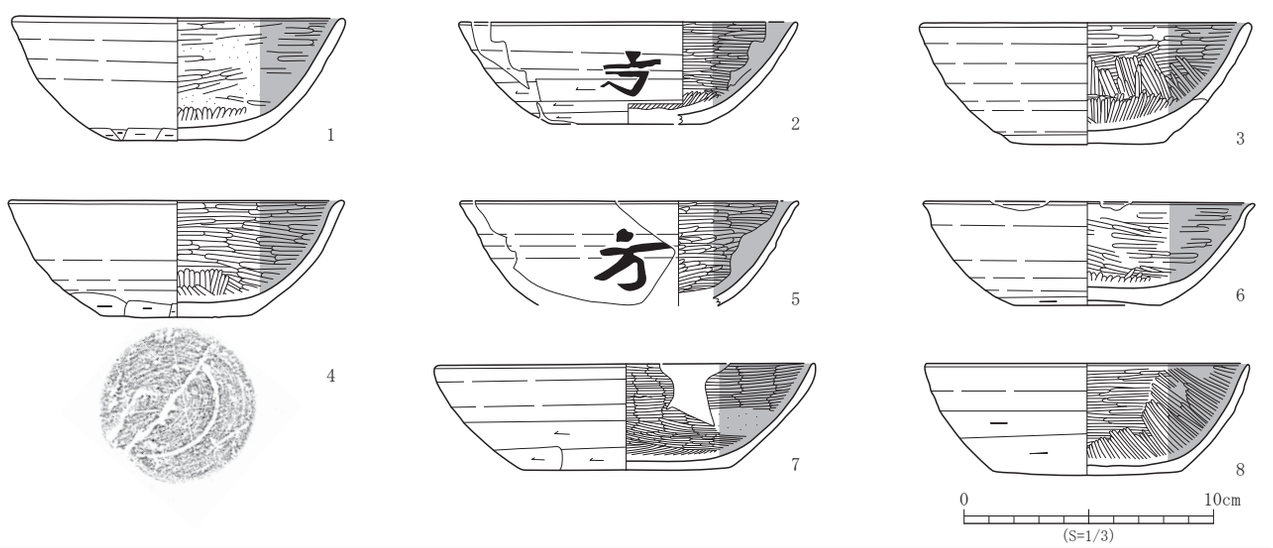
第７図　SB133 掘立柱建物跡　SD117 溝跡断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK80a	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	Ⅴ層粒・炭化物・焼土粒を多量含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土	炭化物・焼土粒を少量含む
	3	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	Ⅴ層粒・炭化物を少量含む
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土を多量含む
	5	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	にぶい黄褐色粘土を多量含む
SK80b	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	Ⅴ層粒、炭化物、焼土粒を多量含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土	
	3	10YR4/1 褐灰色	粘土	Ⅴ層粒を多量、下部に酸化鉄を多量含む

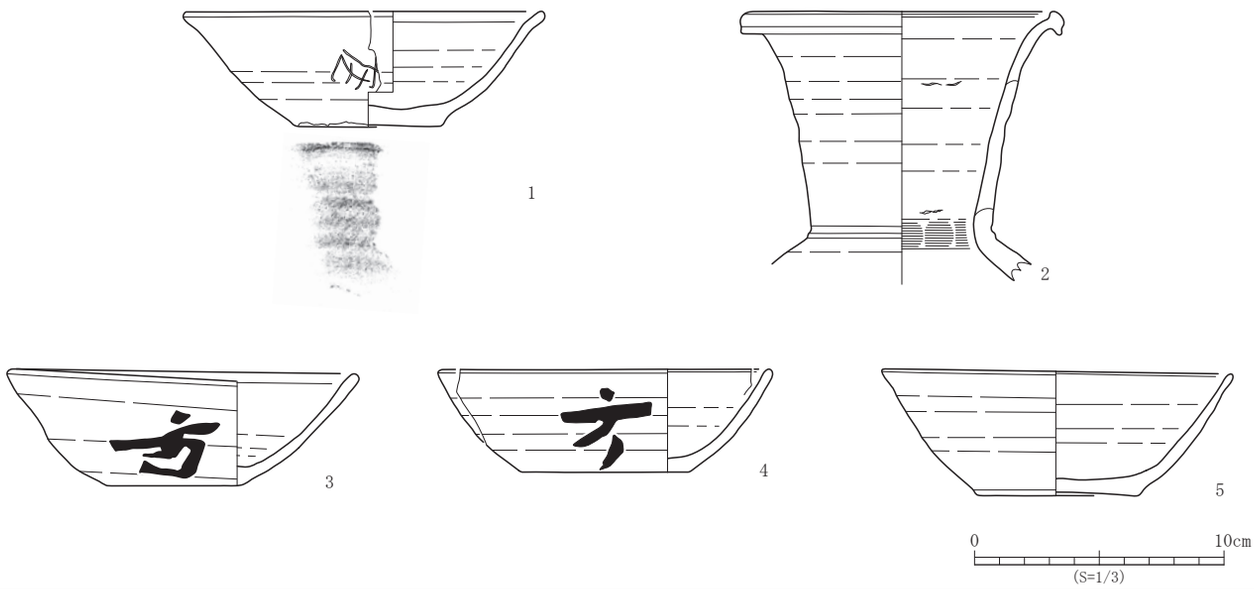
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK83	1	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	礫を含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	にぶい黄褐色粘土ブロックを多量含む
SK102	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	Ⅴ層粒を多量、炭化物を少量含む
SK153	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	炭化物・焼土粒・砂を少量、Ⅴ層ブロックを多量含む
	2	10YR6/1 褐灰色	粘土	灰黄褐色粘土粒・焼土粒を多量含む

第８図　土坑平面図・断面図



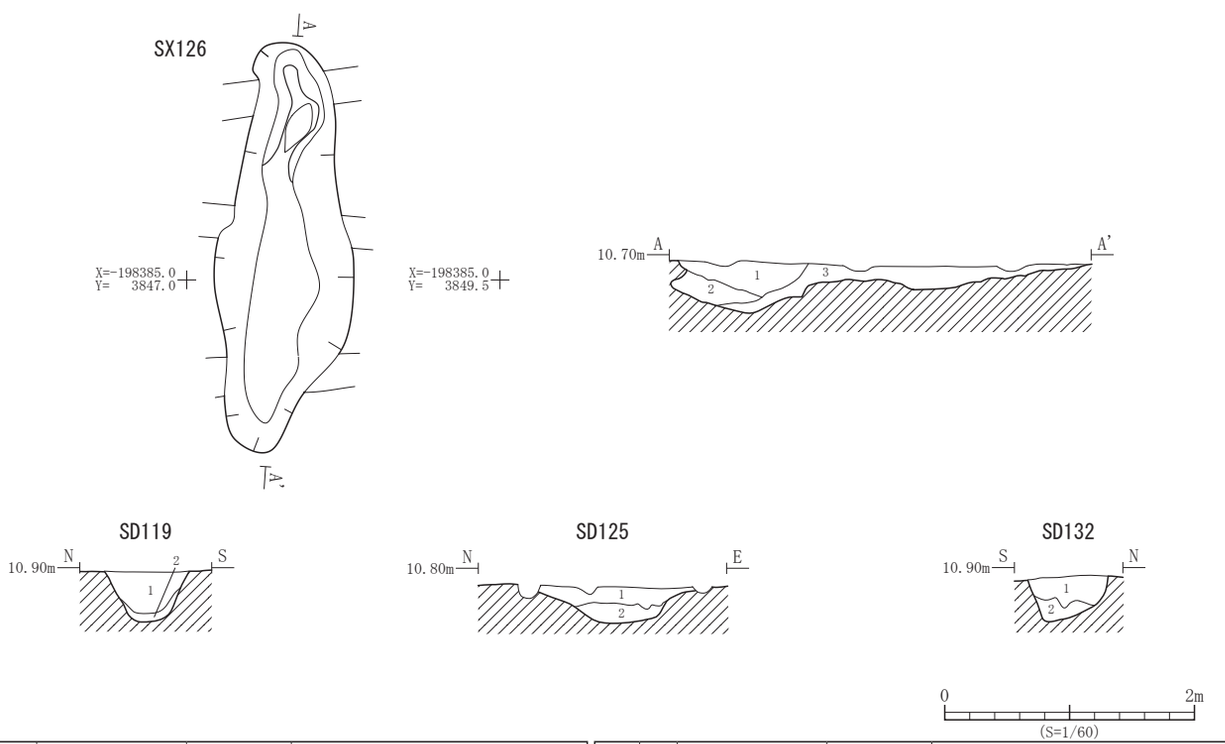
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-5	15A	SK80	－	土師器	坏	13.4 × 5.3 × 5.0	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理		11 - 2
2	D-6	15A	SK80	－	土師器	坏	13.6 × 6.4 × 4.1	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	墨書「方」、体外・正位。	11 - 3
3	D-7	15A	SK80	－	土師器	坏	13.4 × 6.1 × 4.9	ロクロナデ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理	内面輪積み痕。	11 - 4
4	D-4	15A	SK80	－	土師器	坏	13.5 × 6.0 × 4.7	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理	外面底部ヘラ記号。	11 - 1
5	D-10	15A	SK80	－	土師器	坏	(13.6) × － × 現 4.2	ロクロナデ	ヘラミガキ・黒色処理	墨書「方」、体外・正位。	11 - 5
6	D-9	15A	SK83	検出面	土師器	坏	13.3 × 5.9 × 4.2	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理		11 - 11
7	D-12	15A	SK80	－	土師器	坏	(15.3) × (8.3) × 4.3	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	内面摩滅。	11 - 6
8	D-13	15A	SK80	－	土師器	坏	13.0 × 7.6 × 4.5	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	内面底部ヘラ記号。	11 - 7

第９図　土坑出土遺物（1）



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	E-2	15A	SK80	－	須恵器	坏	14.5 × 6.0 × 4.6	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	焼成前刻書「□」、体外。	11 - 9
2	E-7	15A	SK80	－	須恵器	壺	13.0 × － ×現 10.8	ロクロナデ	ロクロナデ・指ナデ	外面自然釉付着、内面輪積み痕。	11 - 10
3	E-1	15A	SK80	－	須恵器	坏	14.1 × 5.6 × 4.7	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	墨書「方」、体外・正位。	11 - 8
4	E-3	15A	SK83	検出面	須恵器	坏	(13.4) × (6.4) × 4.1	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	墨書「方」、体外・正位。	11 - 12
5	E-6	15A	SK83	検出面	須恵器	坏	14.1 × 6.5 × 5.1	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		11 - 13

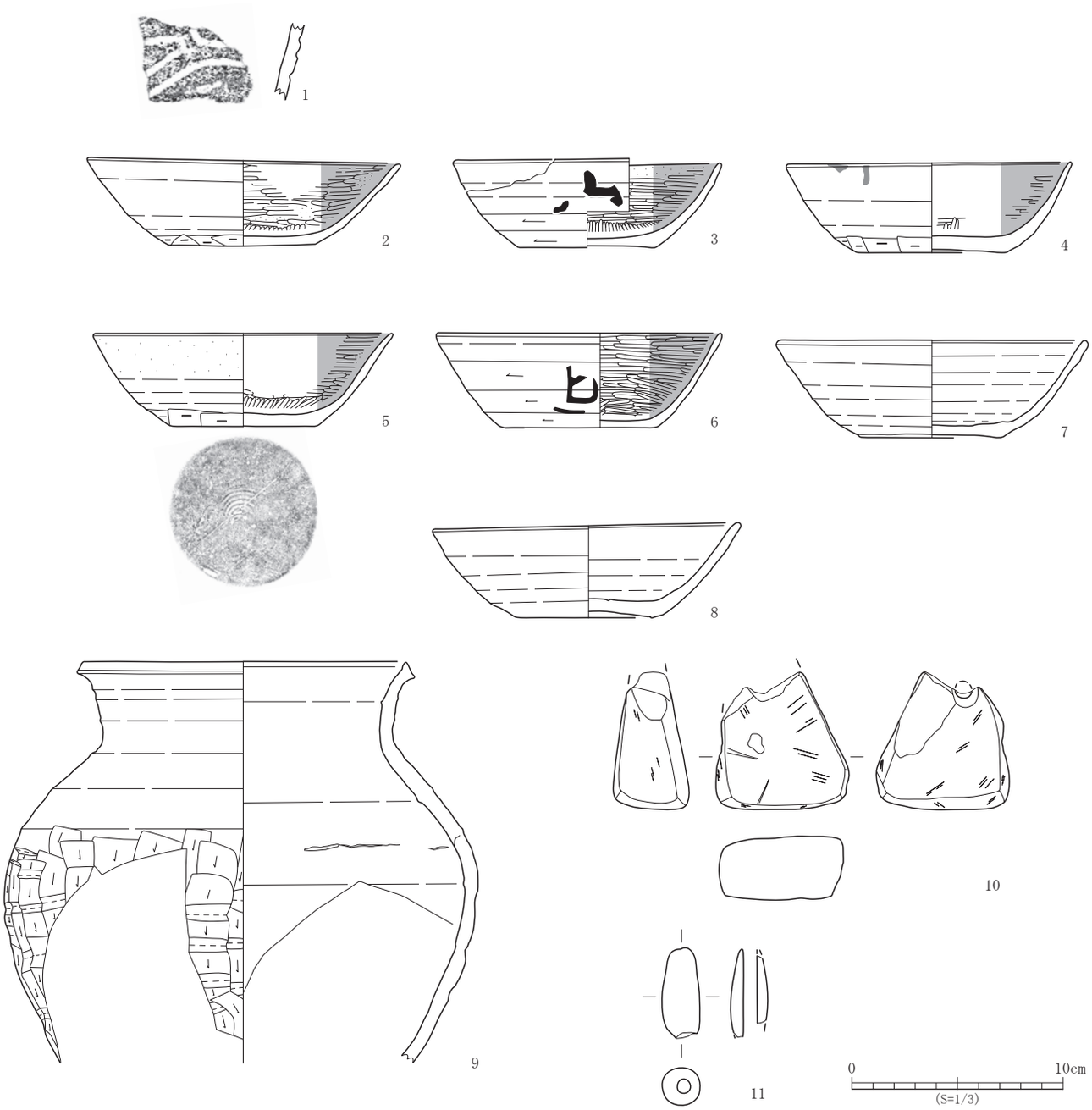
第 10 図　土坑出土遺物（2）



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SX126	1	10YR4/1 褐灰色	粘土質シルト	褐灰色粘土質シルトブロックを多量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐灰色粘土質シルトブロックを少量含む
	3	10YR5/1 褐灰色	粘土	酸化鉄を多量含む
SD119	1	10YR4/1 褐灰色	粘土	炭化物を多量、焼土粒・Ｖ層粒を少量含む
	2	10YR4/1 褐灰色	粘土	Ｖ層ブロックを多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SD125	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐灰色ブロック・砂・炭化物を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐灰色ブロック、砂を少量含む
SD132	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	

第 11 図　SX126 性格不明遺構平面図・断面図　SD119・125・132 溝跡断面図

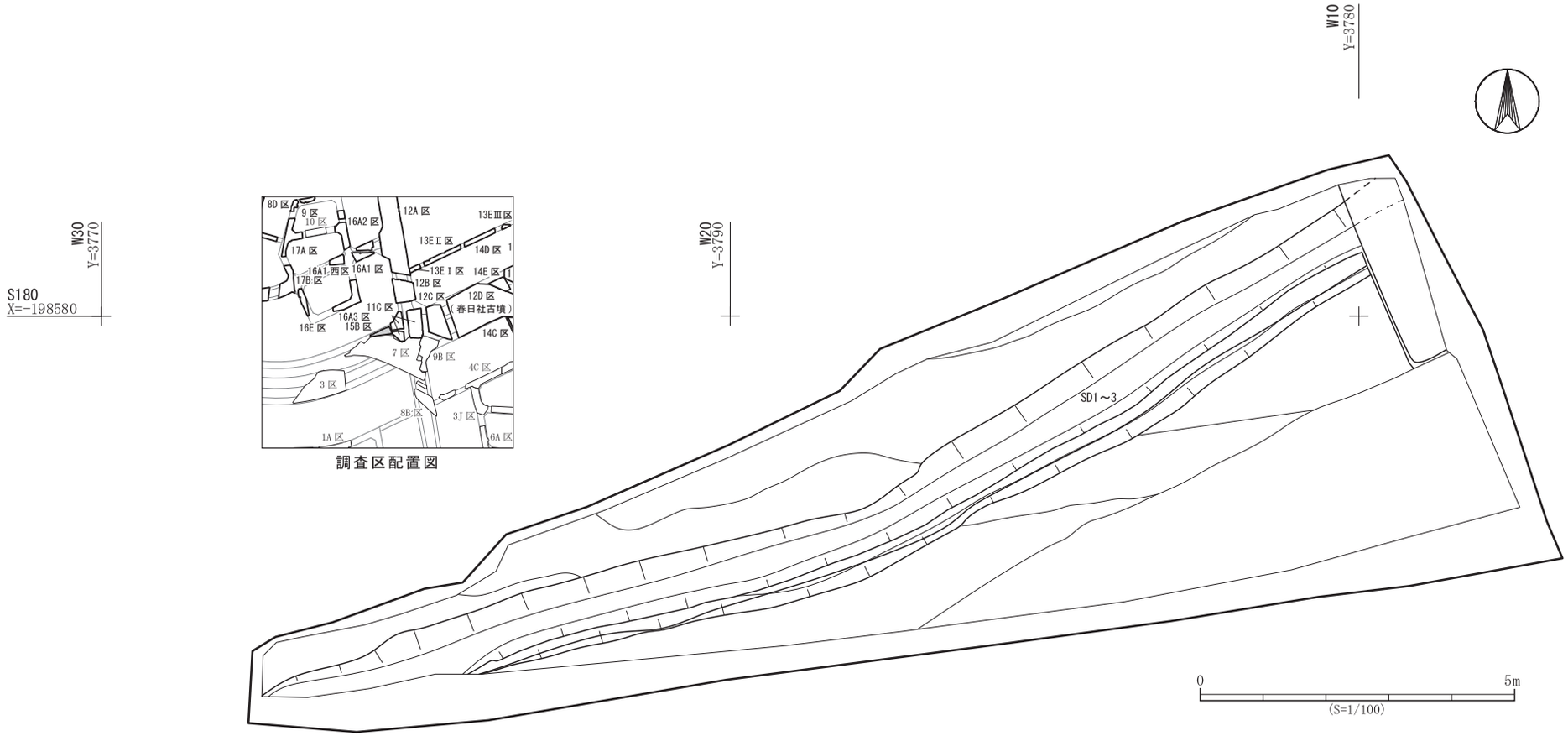


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-1	15A	－	Ⅳ	縄文土器	深鉢	胴部－沈線文		11 - 21
11	P-1	15A	－	Ⅳ	土製品	土錘	(4.3) × 1.8 × 1.8 cm　(10.6)g、孔径 0.6 cm		12 - 3

No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
2	D-1	15A	－	Ⅳ	土師器	坏	14.9 × 6.9 × 4.2	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	内面摩滅。	11 - 14
3	D-2	15A	－	Ⅳ	土師器	坏	12.8 × 6.5 × 4.2	ロクロナデ　体部下端回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	墨書「□」、体外。	11 - 16
4	D-3	15A	－	Ⅳ	土師器	坏	13.5 × 7.3 × 4.3	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	外面タール状物質付着。	11 - 17
5	D-8	15A	－	Ⅳ	土師器	坏	14.2 × 7.0 × 4.4	ロクロナデ　体部下端手持ちヘラケズリ　底部回転糸切り→手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	内外面摩滅。	11 - 15
6	D-11	15A	－	Ⅳ	土師器	坏	(13.5) × (7.0) × 4.5	ロクロナデ　体部回転ヘラケズリ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	墨書「□」、体外。	11 - 20
7	E-4	15A	－	Ⅳ	須恵器	坏	(14.8) × 6.8 × 4.6	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		11 - 19
8	E-5	15A	－	Ⅳ	須恵器	坏	14.6 × 7.0 × 4.5	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	外面被熱。	11 - 18
9	E-8	15A	－	Ⅳ	須恵器	壺	(16.0) × － ×現 19.0	ロクロナデ・ヘラケズリ	ロクロナデ		12 - 1

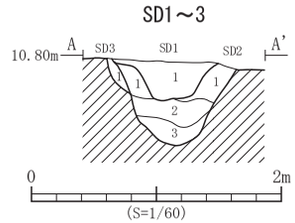
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
10	Kd-k-1	15A	－	Ⅳ	石製品	浮子	軽石	(6.5) × 6.3 × 3.6　(43.1)		12 - 2

第 12 図　Ⅳ層遺構外出土遺物



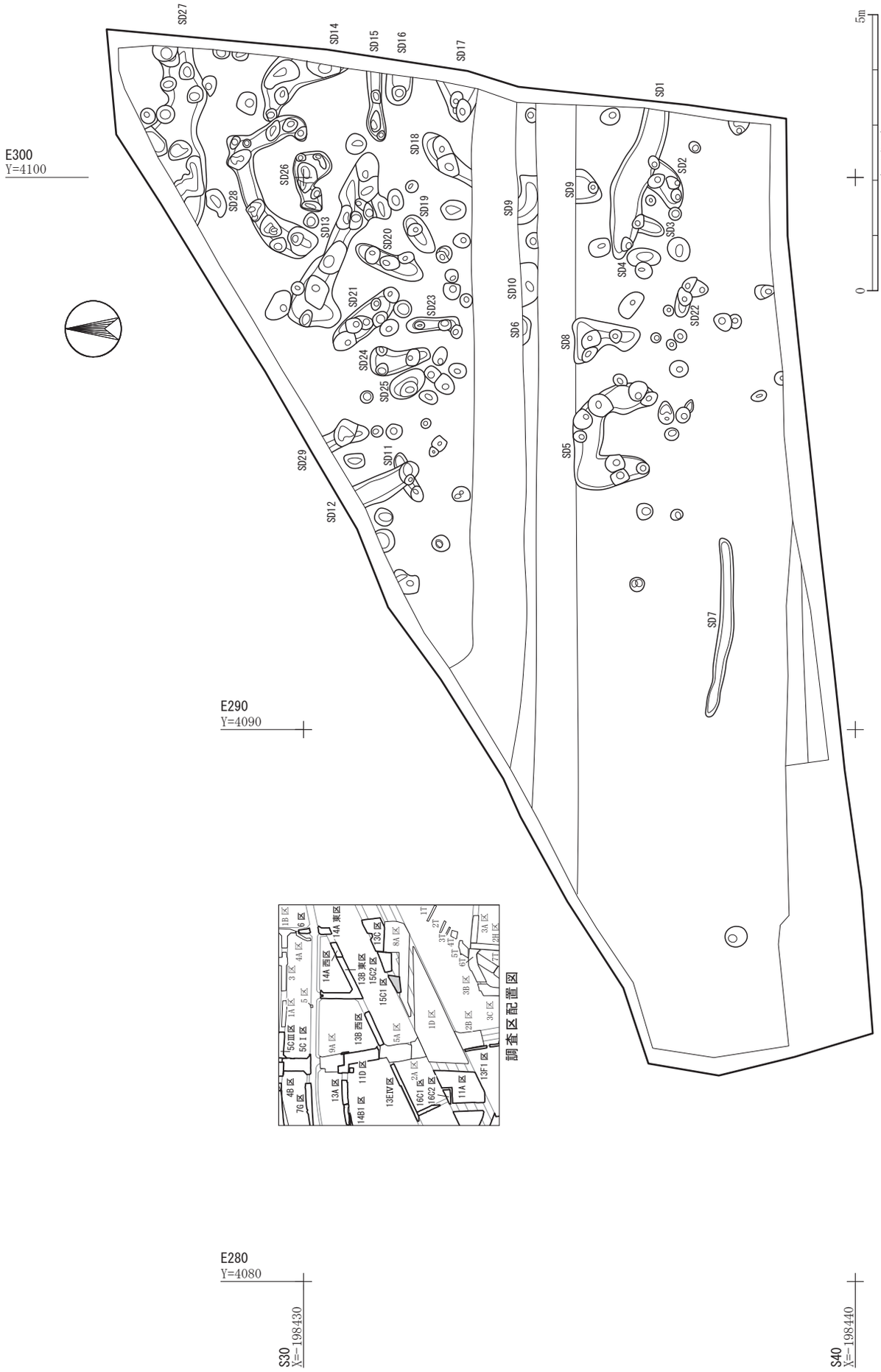
調査区配置図

第 13 図　大野田古墳群 15B 区Ⅲ層遺構配置図

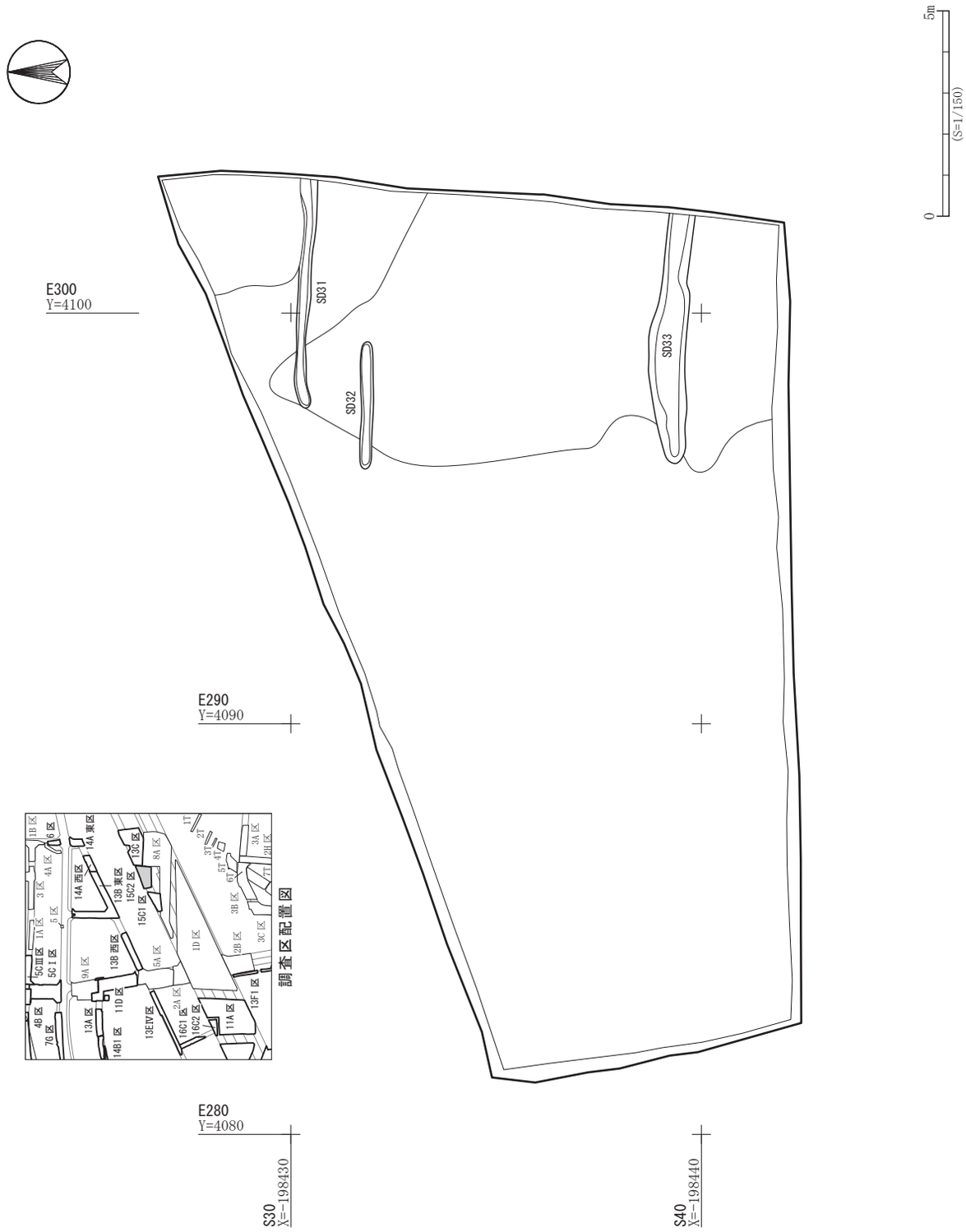


第 14 図　SD1 ～ 3 溝跡断面図

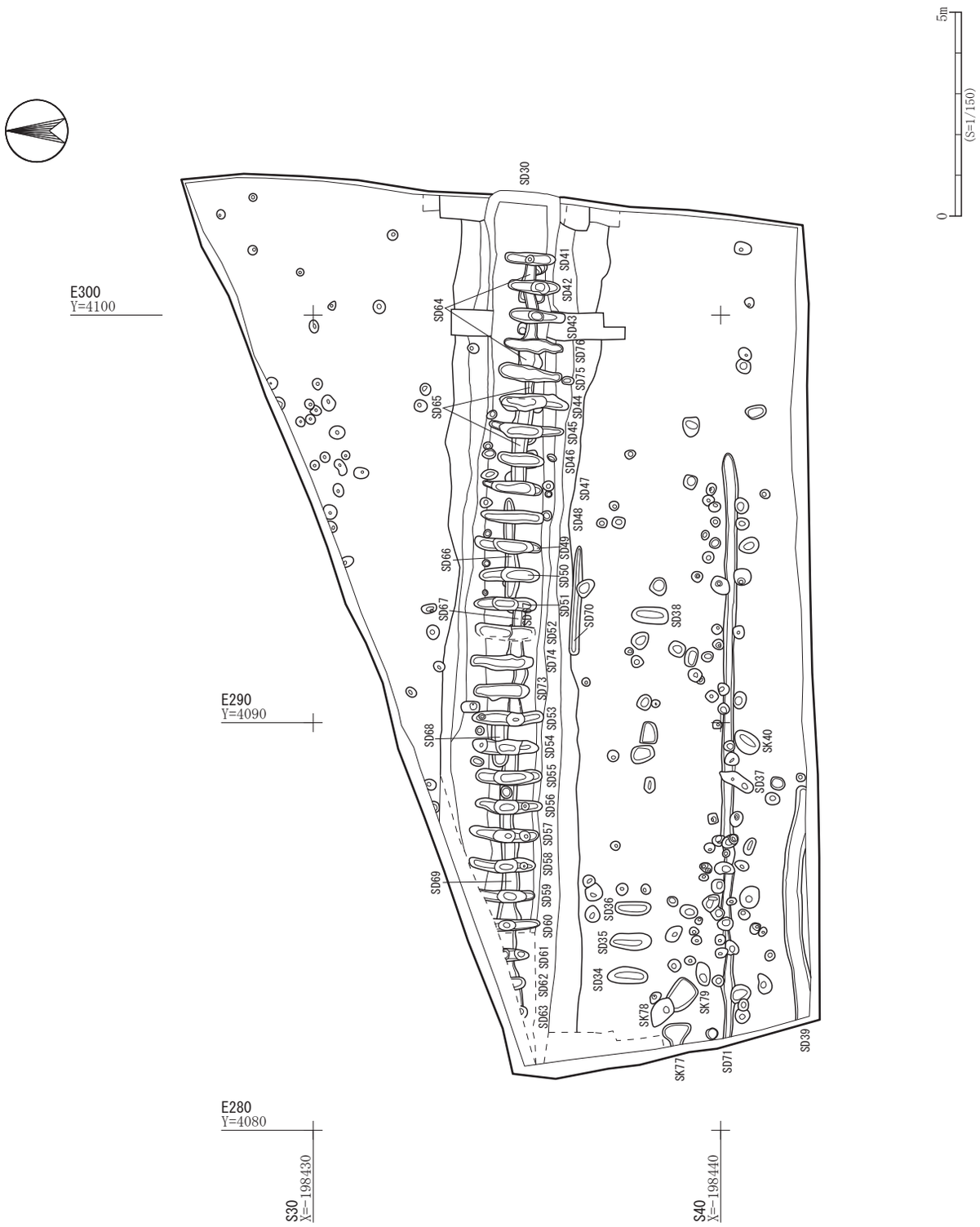
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD1	1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰を少量、砂・酸化鉄を斑状に含む
SD2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰ブロックを少量、酸化鉄粒を斑状に含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰・酸化鉄粒を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄を斑状に含む
SD3	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	酸化鉄・砂を斑状に含む



第 15 図　大野田古墳群 15C1 区Ⅴ層遺構配置図

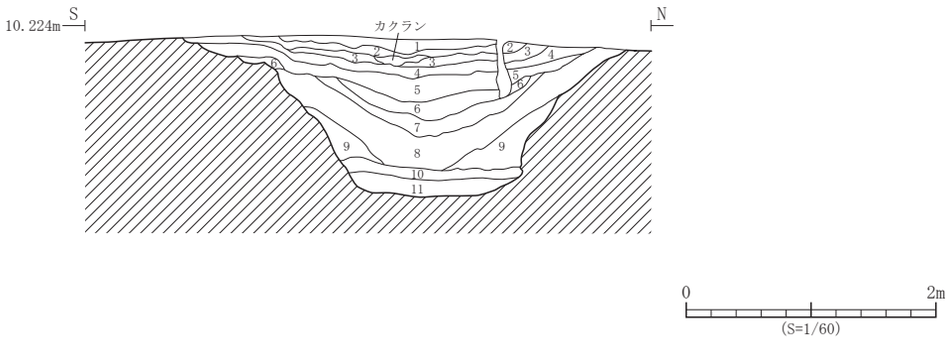


第 16 図　大野田古墳群 15C2 区Ⅳ層遺構配置図



第 17 図　大野田古墳群 15C2 区 V 層遺構配置図

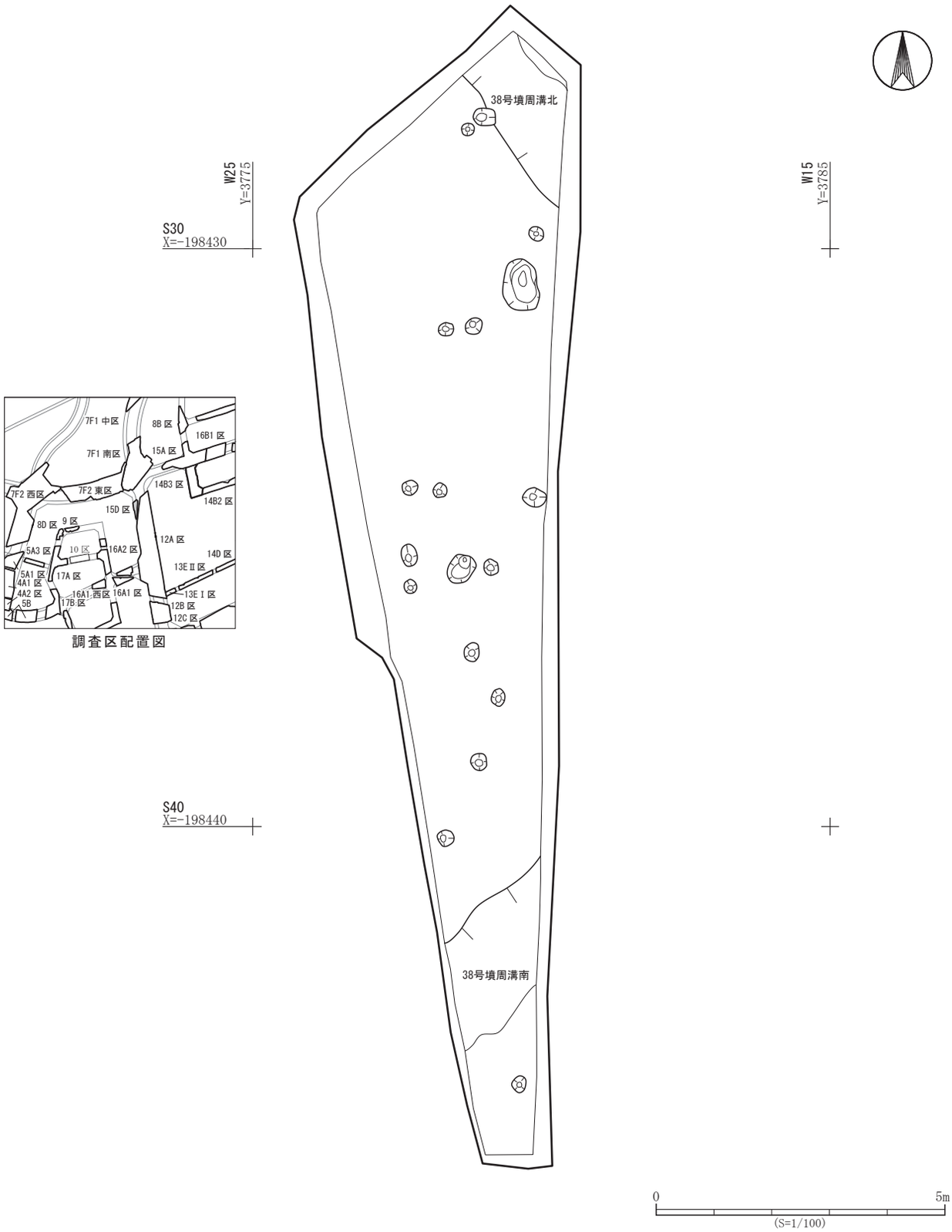
SD30



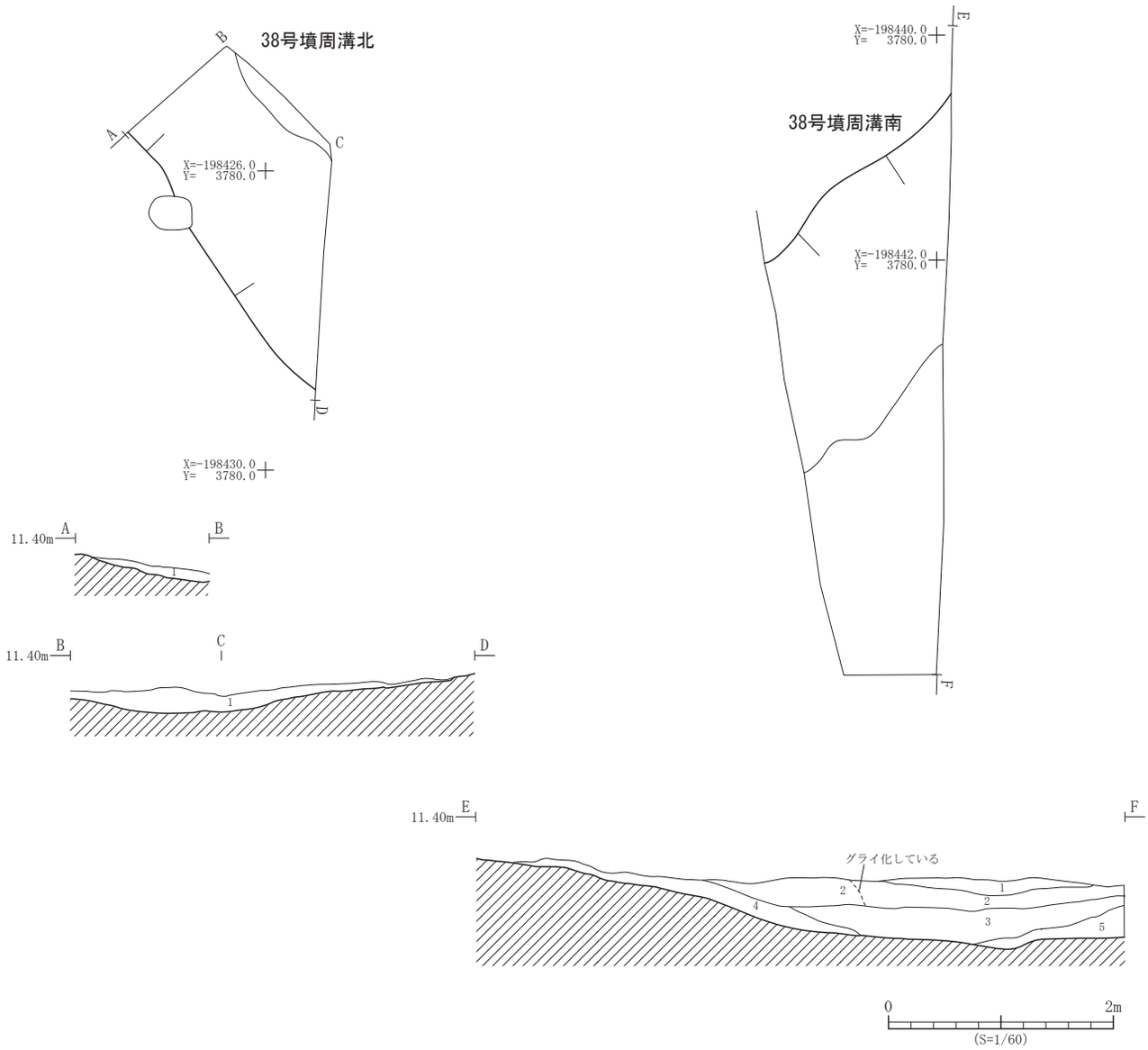
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD30	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む
	2	10YR5/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物を微量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト質粘土	マンガン粒を多量、酸化鉄を斑状に少量含む
	4	10YR5/3 にぶい黄褐色	粘土	灰白色火山灰粒を多量、炭化物を微量含む（基本層Ⅲｂ層の流入土と推定）
	5	10YR3/3 暗褐色	粘土	砂粒を少量含む（基本層Ⅳａ層の流入土と推定）

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD30	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを斑状に少量含む
	7	10YR3/2 黒褐色	粘土	にぶい黄褐色細砂ブロックを少量含む
	8	10YR3/2 黒褐色	粘土	砂粒を少量含む
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	細砂	暗褐色粘土ブロックを斑状に多量含む
	10	10YR3/2 黒褐色	粘土	砂粒、小礫を少量含む
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	粗砂	暗褐色粘土ブロックを多量含む

第 18 図　SD30 溝跡断面図



第 19 図　大野田古墳群 15D 区Ⅴ層遺構配置図



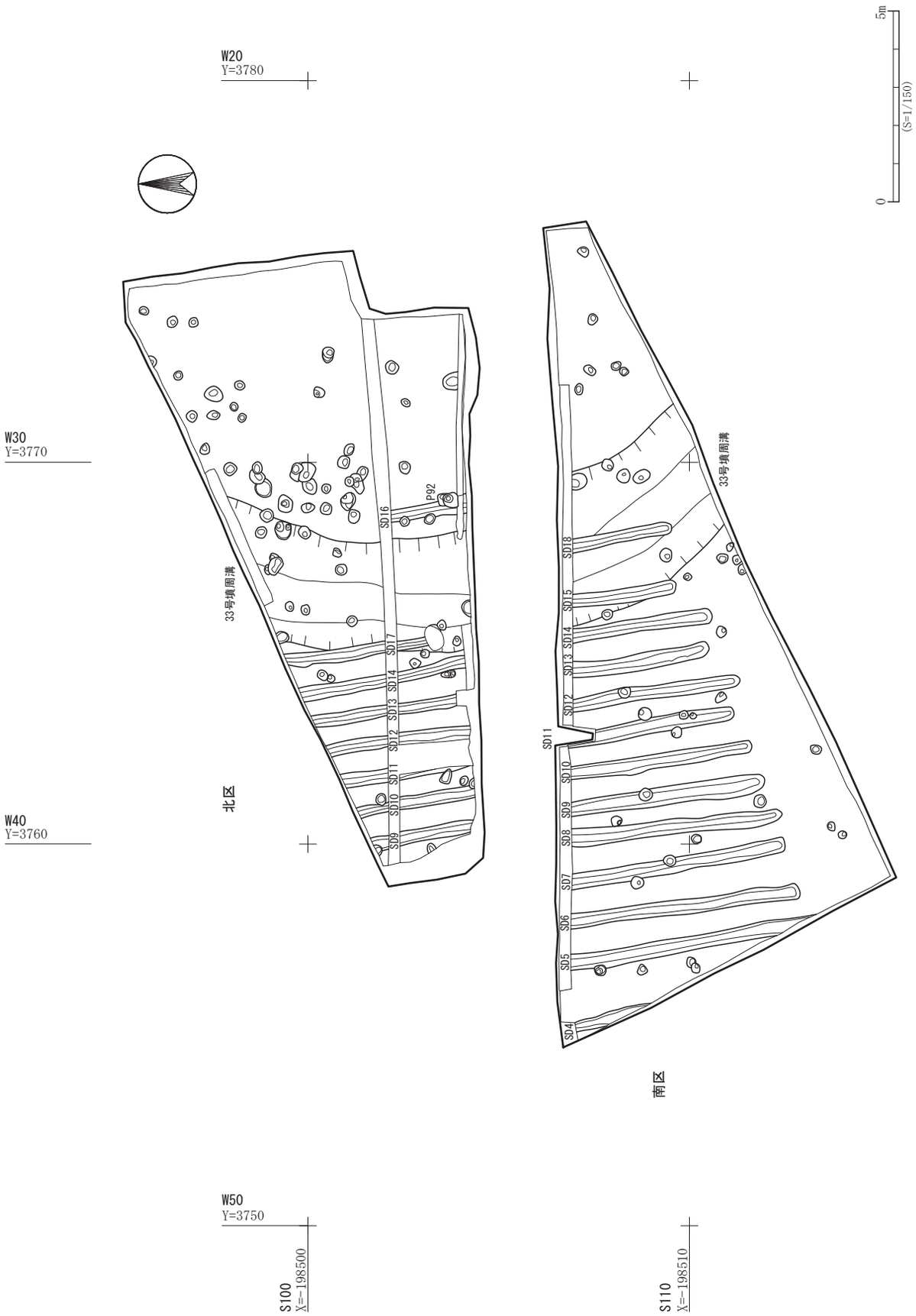
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
北	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	下部にＶ層粒・Ｖ層ブロックを多量含む
南	1	5Y4/1 灰色	粘土	焼土粒を微量含む
	2	5Y3/1 オリーブ黒色	粘土	にぶい黄褐色砂ブロックを少量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
南	3	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	
	4	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色粘土ブロックを多量含む

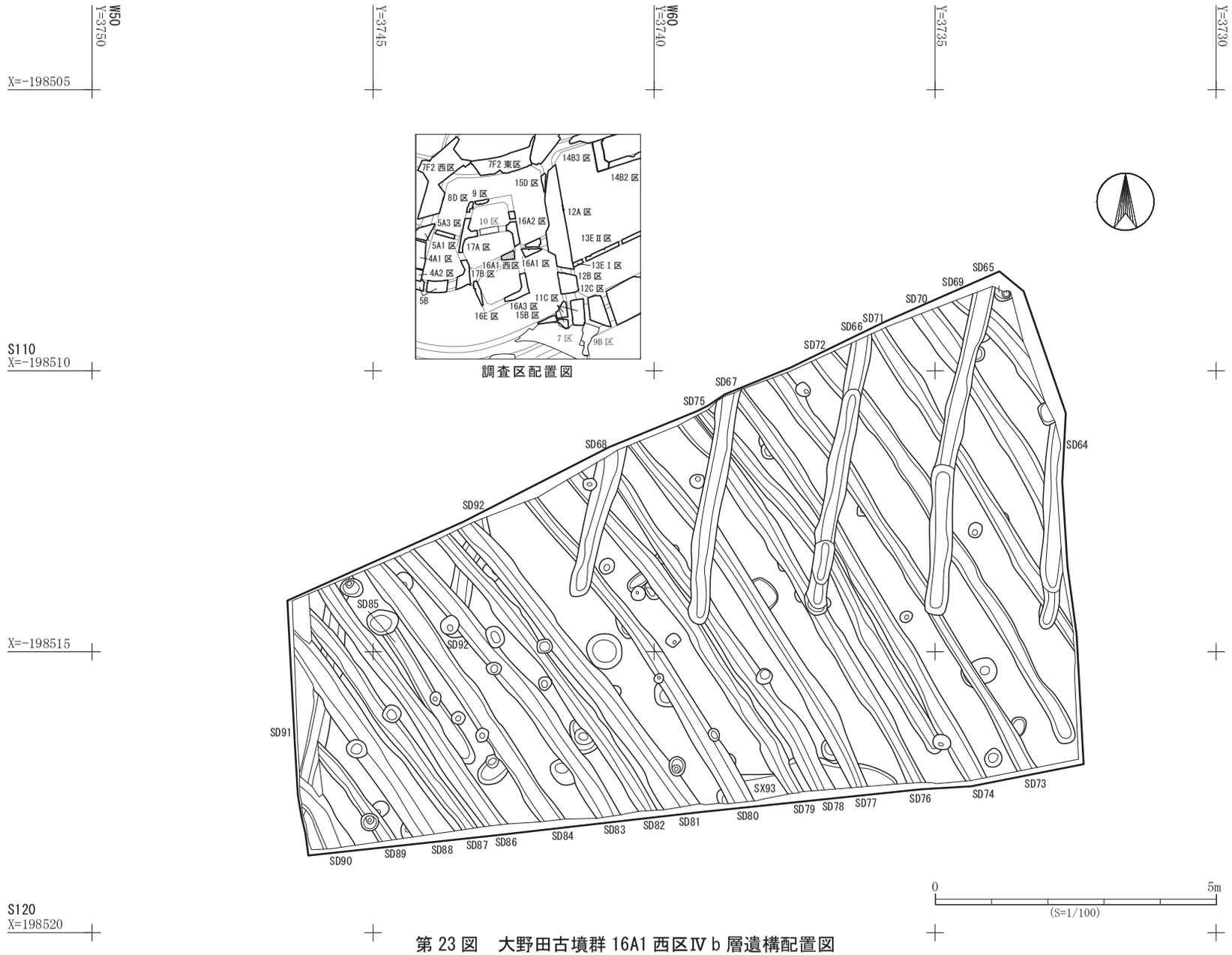
第 20 図　38 号墳周溝平面図・断面図

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	S-1	15D	38 号墳周溝	－	埴輪	円筒	－×－×現 3.4	タテハケメ・ヘラ記号（3 条）	ハクリ	基部棒状圧痕。 色調　橙色系。	12－4

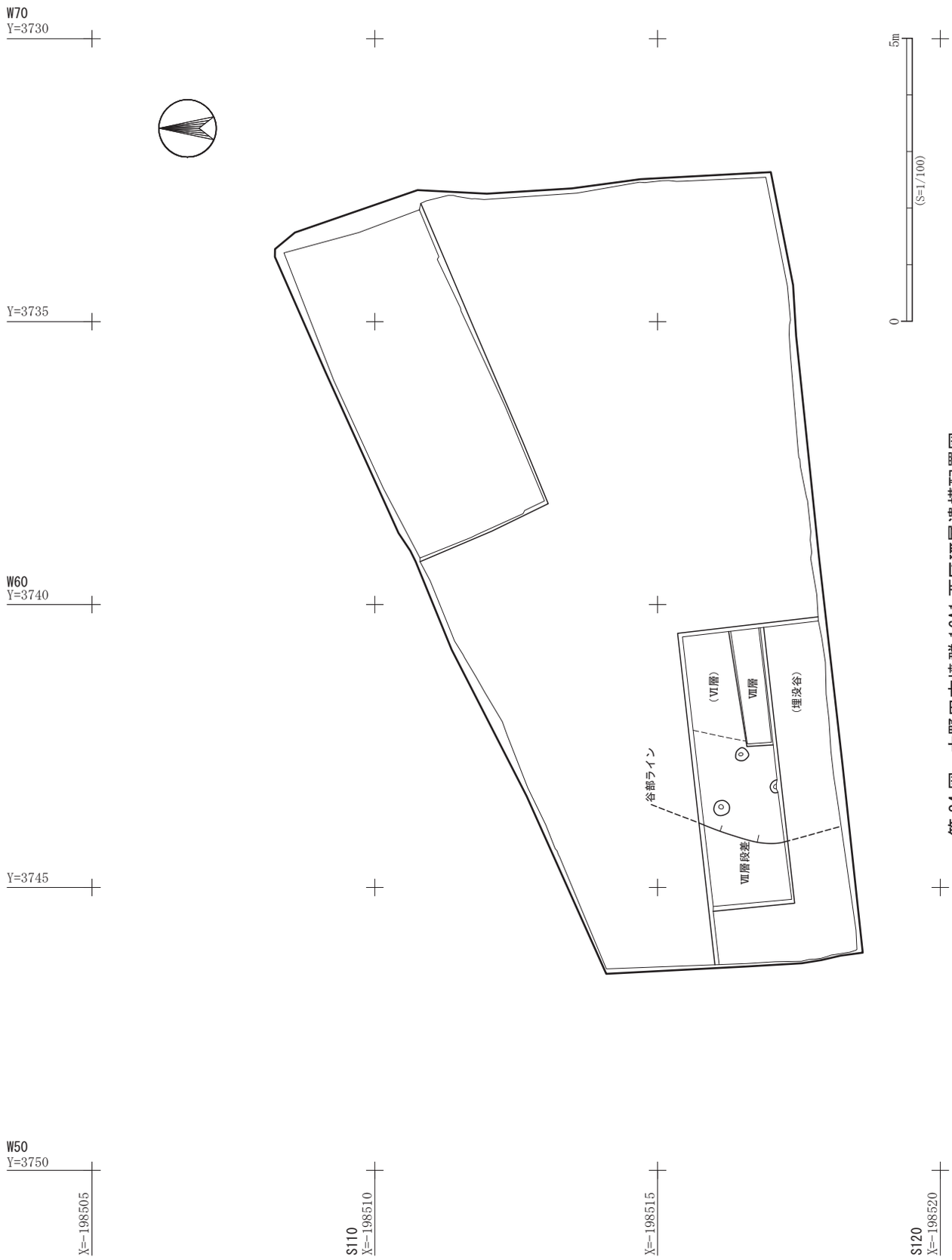
第 21 図　38 号墳周溝出土遺物



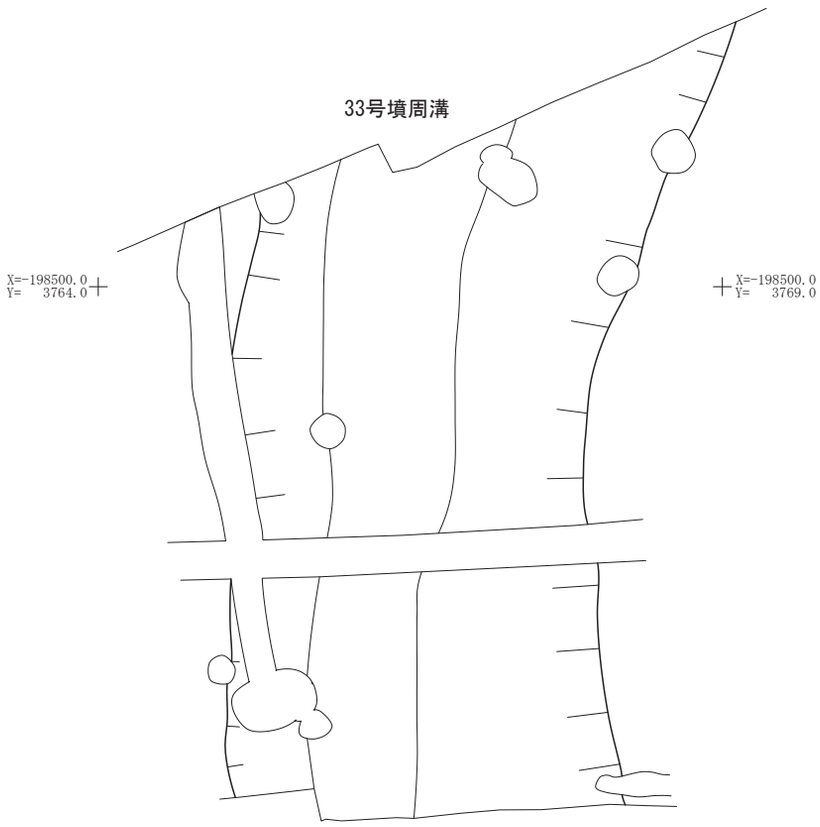
第 22 図　大野田古墳群 16A1 区Ⅴ層遺構配置図

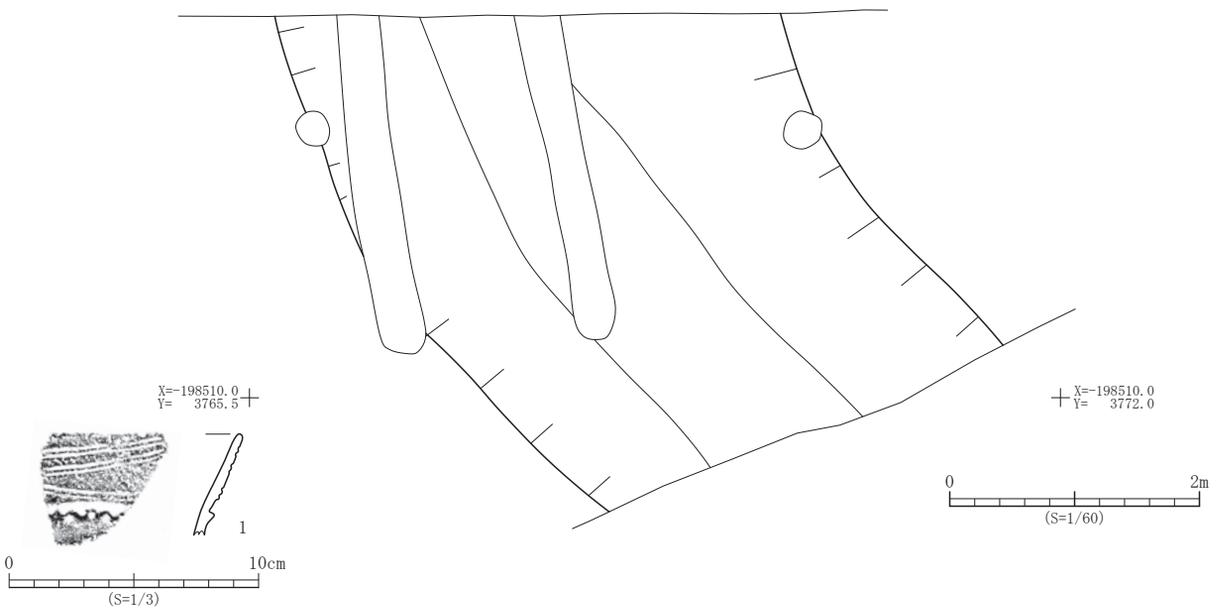


第 23 図　大野田古墳群 16A1 西区Ⅳ b 層遺構配置図



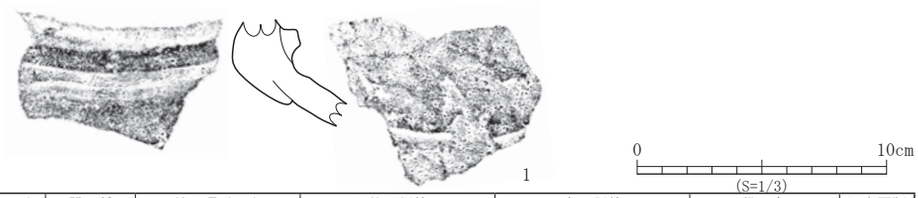
第 24 図　大野田古墳群 16A1 西区Ⅶ層遺構配置図





No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	B-2	16A1 北	33 号墳周溝	4	弥生土器	甕？	外面口縁部－沈線文・浮線文・交互刺突文・RL 縄文　内面－ナデ	波状口縁、B-1 と同一個体か。	12 - 7

第 25 図　33 号墳周溝平面図・出土遺物

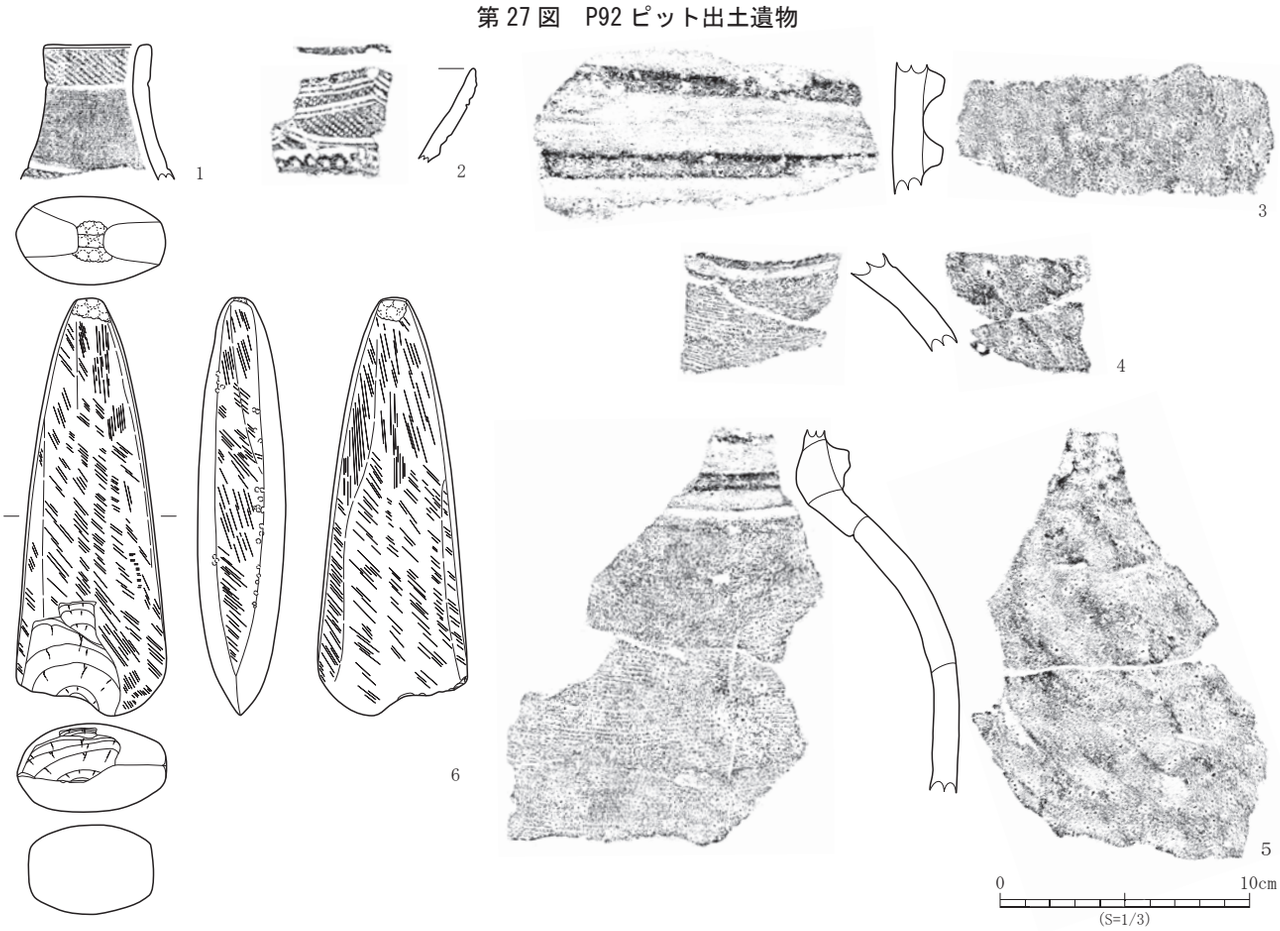


No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	S-5	16A1 北	SD16	－	埴輪	朝顔	－×－×現 4.3 凸帯幅上 0.7 下 1.6、高さ 0.7	ハケメ・ヨコナデ	ナデ	頸部凸帯。 色調 橙色系。	12 - 8

第 26 図　SD16 溝跡出土遺物

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-3	16A1	P92	1	縄文土器	深鉢	口縁～胴部－沈線文・貼り瘤・RL 縄文・磨り消し		12 - 5

第 27 図　P92 ピット出土遺物

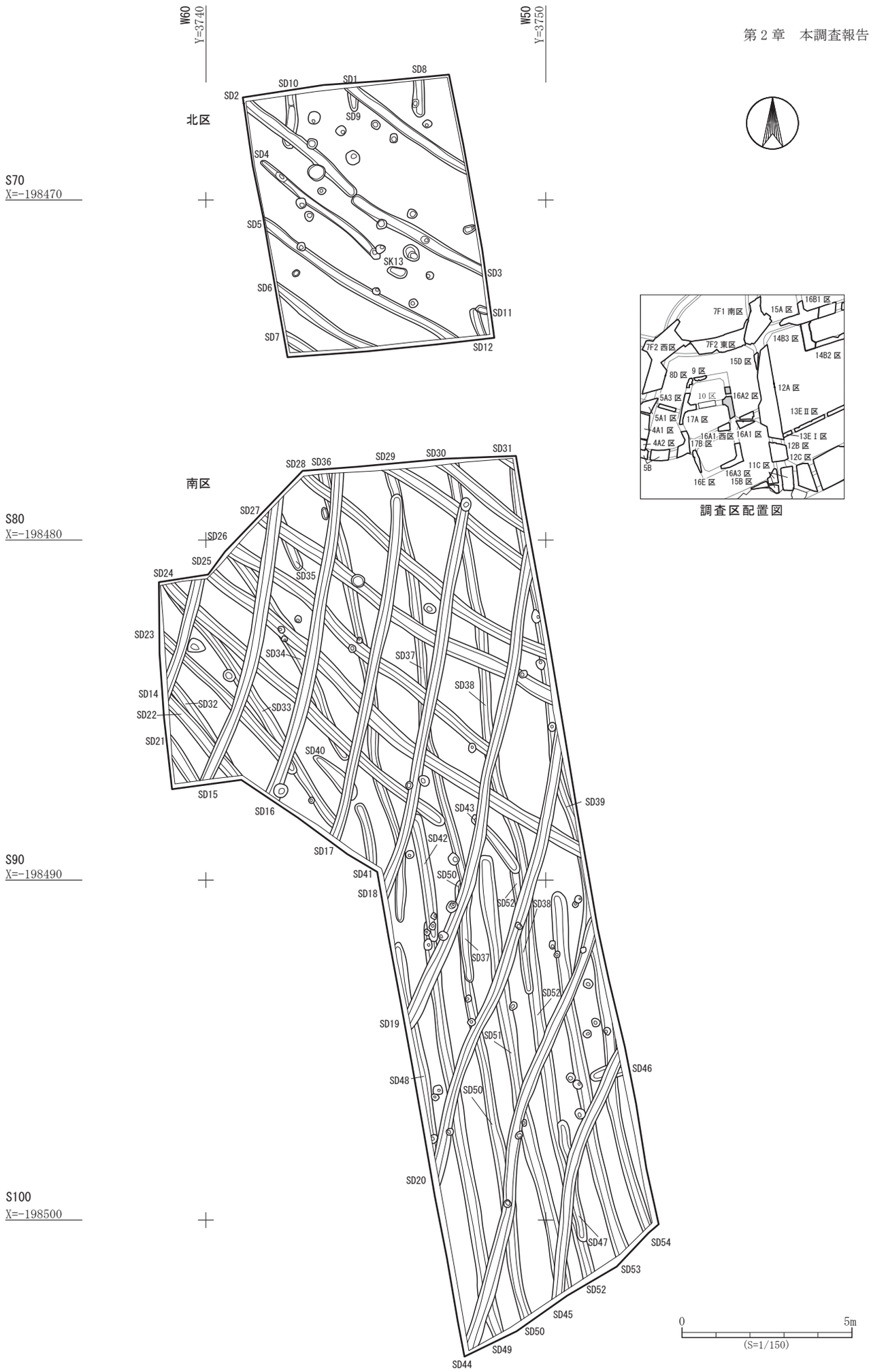


No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-2	16A1	－	Ⅳ	縄文土器	壺	口縁部－沈線文・RL 縄文（0 段多条）・磨り消し		12 - 6
2	B-1	16A1 北	－	Ⅳ	弥生土器	甕？	外面口縁部－沈線文・浮線文・交互刺突文・口唇部刻み目・汲頂部押圧・RL 縄文　内面－ナデ	波状口縁。	12 - 10

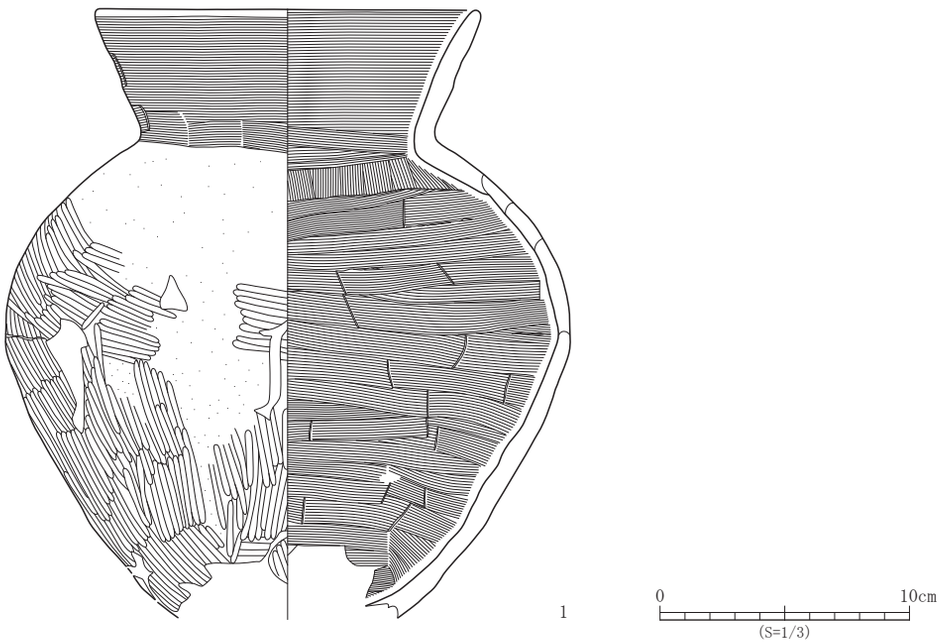
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
3	S-2	16A1 北	－	Ⅳ	埴輪	朝顔の肩部直下	－×－×現 5.3 ①凸帯幅上 0.7 下 1.9、高さ 0.8 ②凸帯幅上 0.6 下 1.8、高さ 0.8	ナデ	ナデ	①筒部凸帯。	12 - 9
4	S-4	16A1 北	－	Ⅳ	埴輪	朝顔	－×－×現 3.9	ヨコハケメ・ヨコナデ	ナデ	色調 橙色系。	12 - 11
5	S-3	16A1 北	－	Ⅳ	埴輪	朝顔	－×－×現 14.6 凸帯幅上 0.6 下 2.0、高さ 0.8	ヨコハケメ・ヨコナデ	ナデ（ナナメ）	頸部凸帯。 色調 橙色系。	12 - 12

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
6	Kb-a-1	16A1 南	－	Ⅳ	磨製石器	磨製石器	ホルンフェルス	(16.7) × 6.0 × 3.5　(467.9)		12 - 13

第 28 図　Ⅳ層遺構外出土遺物

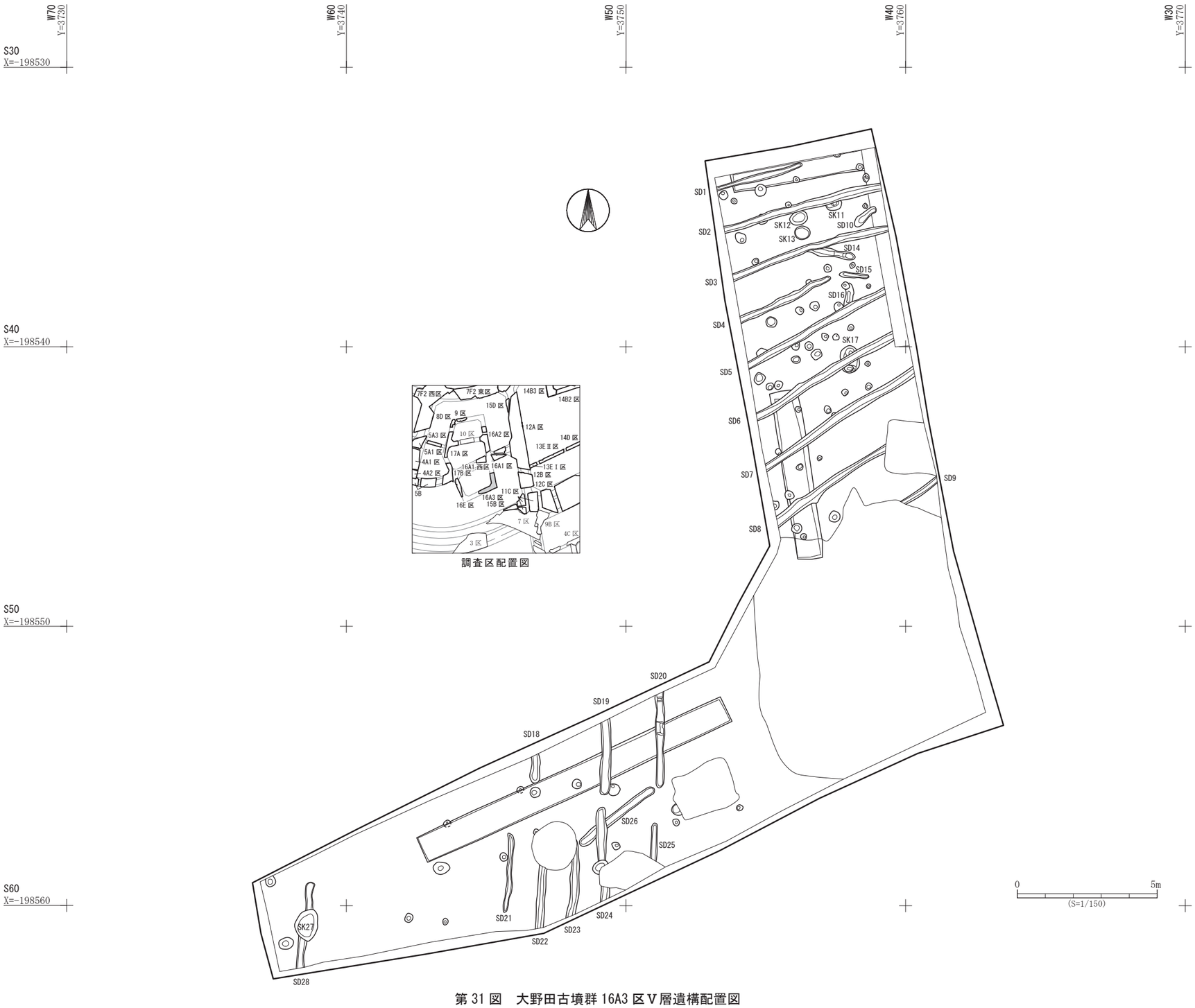


第 29 図　大野田古墳群 16A2 区Ⅴ層遺構配置図



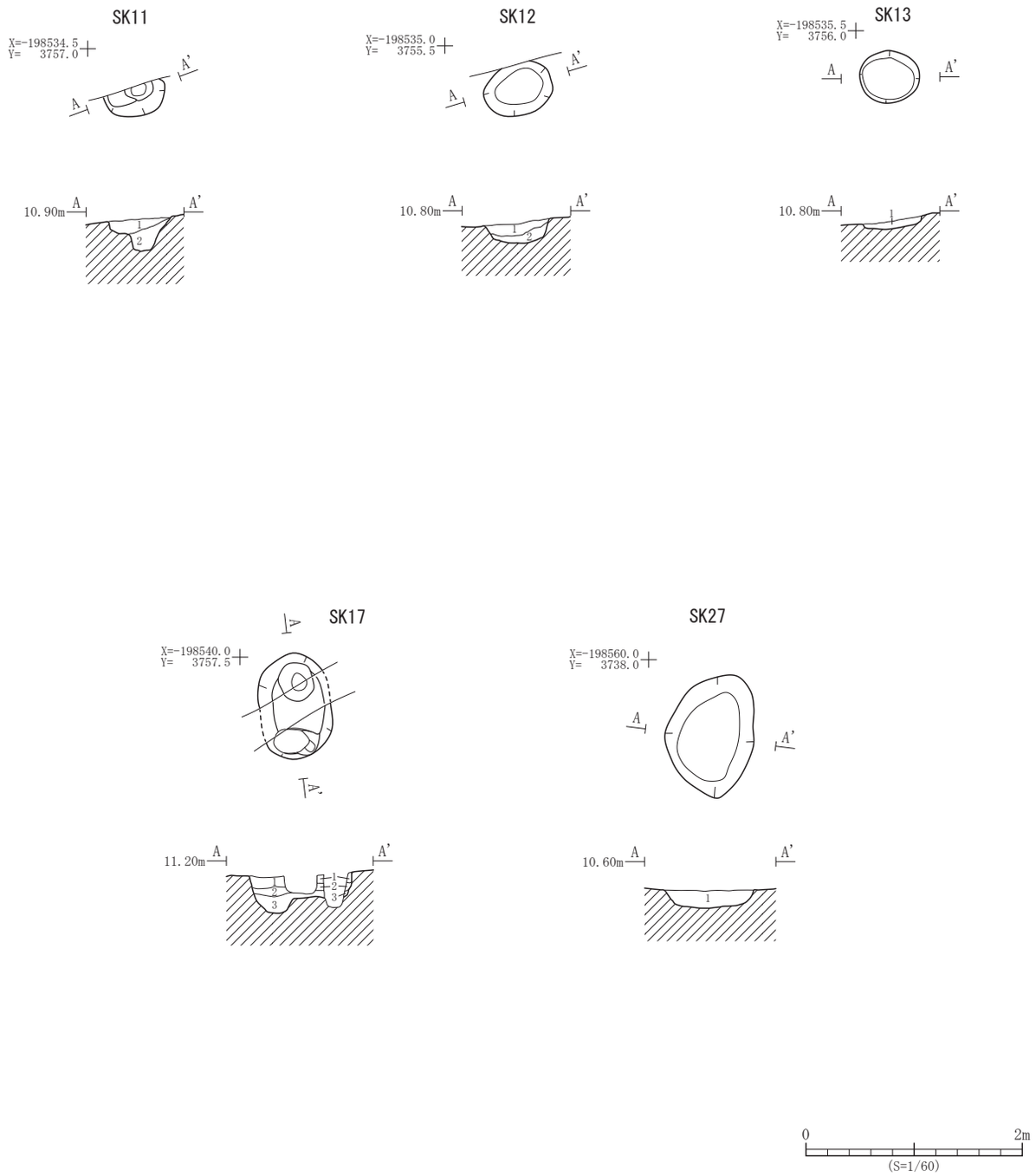
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-1	16A2	SD26	－	土師器	壺	(15.4) ×－×現 24.4	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ		12 - 14

第 30 図　SD26 溝跡出土遺物



調査区配置図

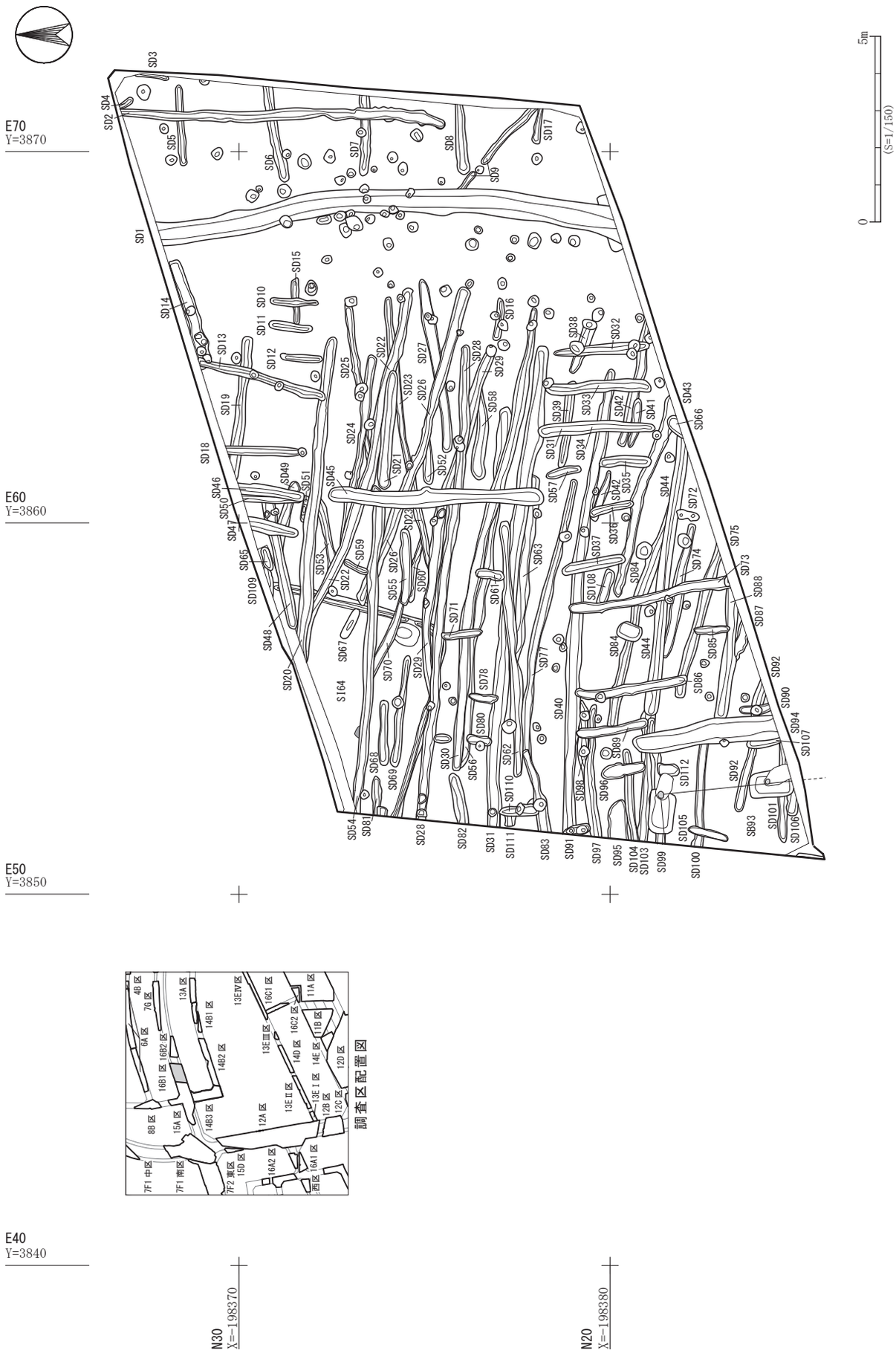
第 31 図　大野田古墳群 16A3 区Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK11	1	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトブロックを多量含む
	2	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルト、粗砂を少量含む
SK12	1	10YR4/1　褐灰色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、マンガン粒、炭化物を少量含む
	2	10YR5/1 褐灰色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトを少量含む

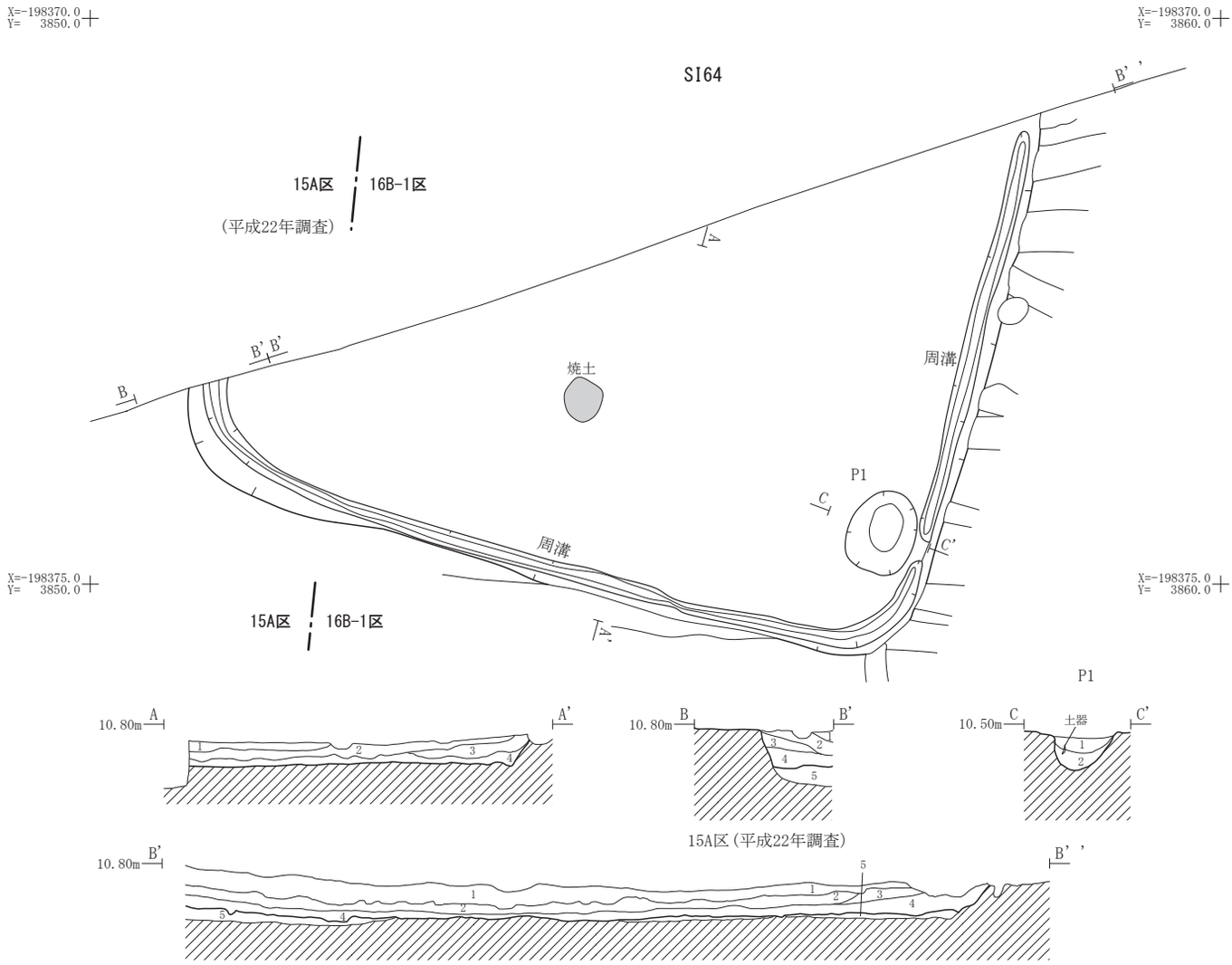
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK13	1	10YR4/1　褐灰色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロック、マンガン粒、炭化物を少量含む
SK17	1	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトを多量含む
	2	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルを少量含む
	3	10YR3/3　暗褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土質シルトを多量含む
SK27	1	10YR3/1　黒褐色	粘土質シルト	灰黄褐色粘土質シルトブロックを少量含む

第 32 図　土坑平面図・断面図



第 33 図　大野田古墳群 16B1 区Ⅴ層遺構配置図

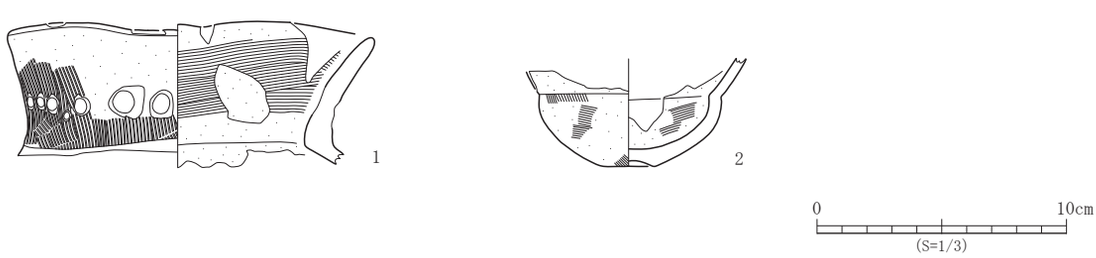
第34図　大野田古墳群 16B2 区Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI64	1	10YR3/2 黒褐色	粘土	V層粒を少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	炭化物を少量含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量、V層ブロックを微量含む
	4	10YR3/2 黒褐色	粘土	壁際に炭化物・焼土小ブロックを多量、褐色粘土質シルトを少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	黒褐色粘土質シルト大ブロックを斑状に含む掘り方

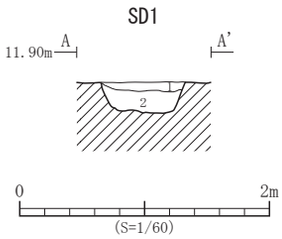
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P1	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	壁際に炭化物を多量を含む
	2	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	炭化物を微量含む

第 35 図　SI64 竪穴住居跡平面図・断面図



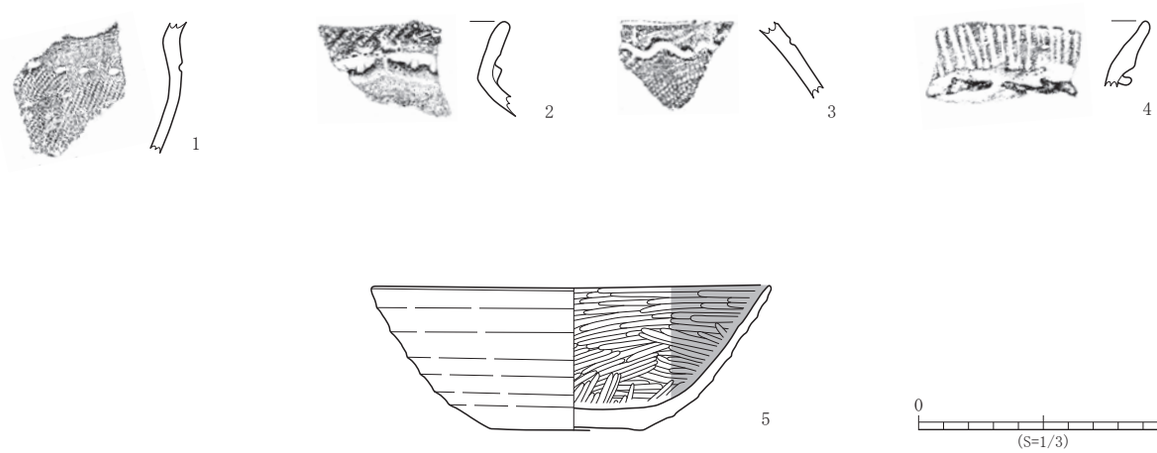
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-3	16B1	SI64	床直	土師器	壺	14.7×－×現 5.8	ハケメ	ヘラナデ	外面頸部に粘土粒状のものを貼り付けた痕跡。	13 - 1
2	C-4	16B1	SI64	－	土師器	小型壺	－×2.0×現 4.3	ヘラナデ	ヘラナデ		13 - 2

第 36 図　SI64 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD1	1	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む
	2	10YR3/2　黒褐色	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量含む

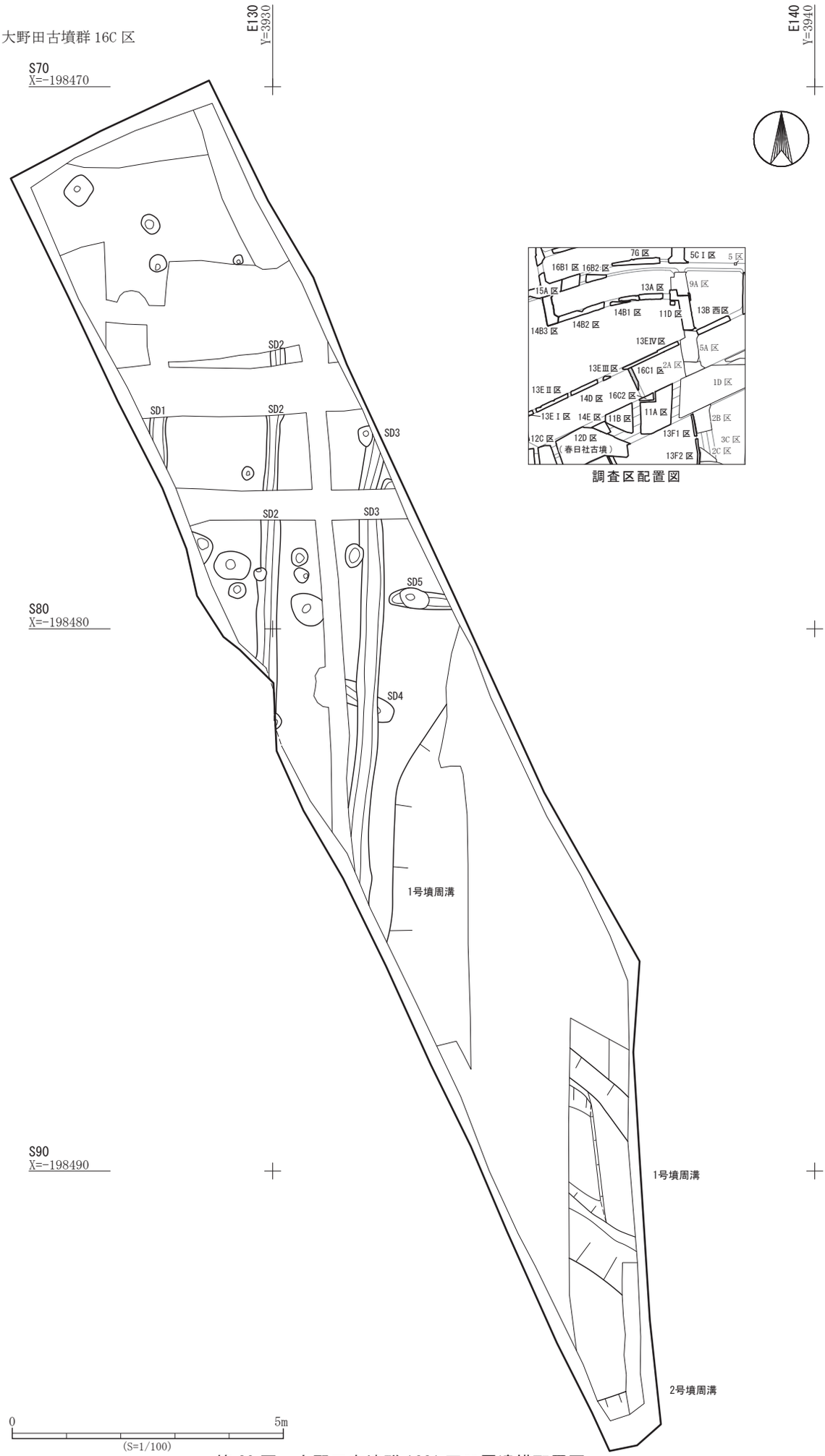
第 37 図　SD1 溝跡断面図



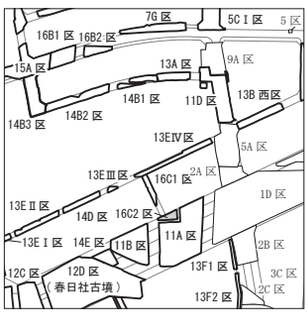
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	B-3	16B1	－	Ⅳ	弥生土器	甕	外面頸部－ヨコナデ　体部上半－刺突文・LR 縄文		13 - 4
2	B-4	16B1	－	Ⅳ	弥生土器	壺	外面口縁～頸部－浮線文・LR 縄文　内面－ナデ		13 - 5
3	B-5	16B1	－	Ⅳ	弥生土器	甕？	外面体部上半－波状沈線文・LR 縄文　内面－ナデ		13 - 6
4	B-6	16B2	－	Ⅳ	弥生土器	甕	外面口縁部－沈線文（スリット文）・浮線文（上部刺突・下部押圧） 内面－ナデ		13 - 8

No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
5	D-14	16B1	－	Ⅳ	土師器	坏	(16.0) × 6.2 × 5.8	ロクロナデ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理		13 - 7

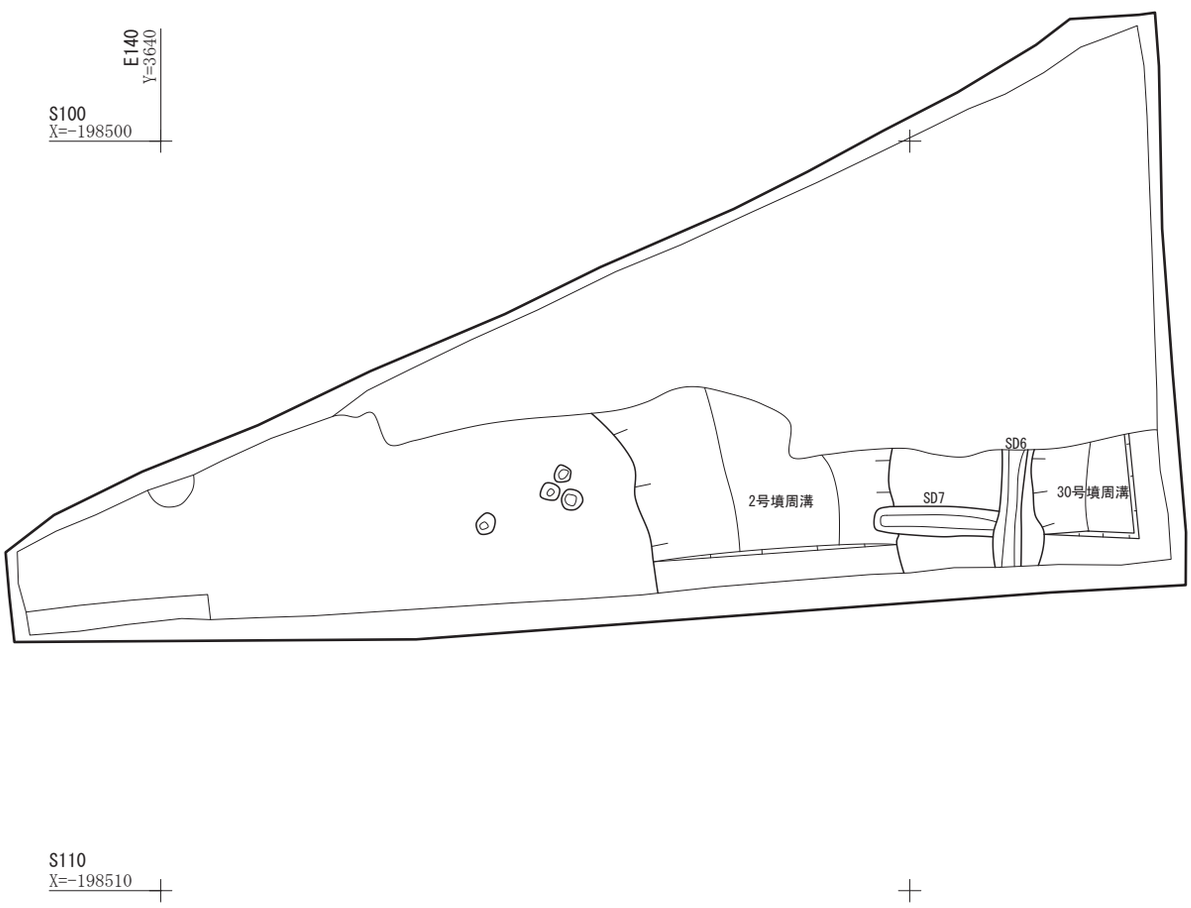
第 38 図　Ⅳ層遺構外出土遺物



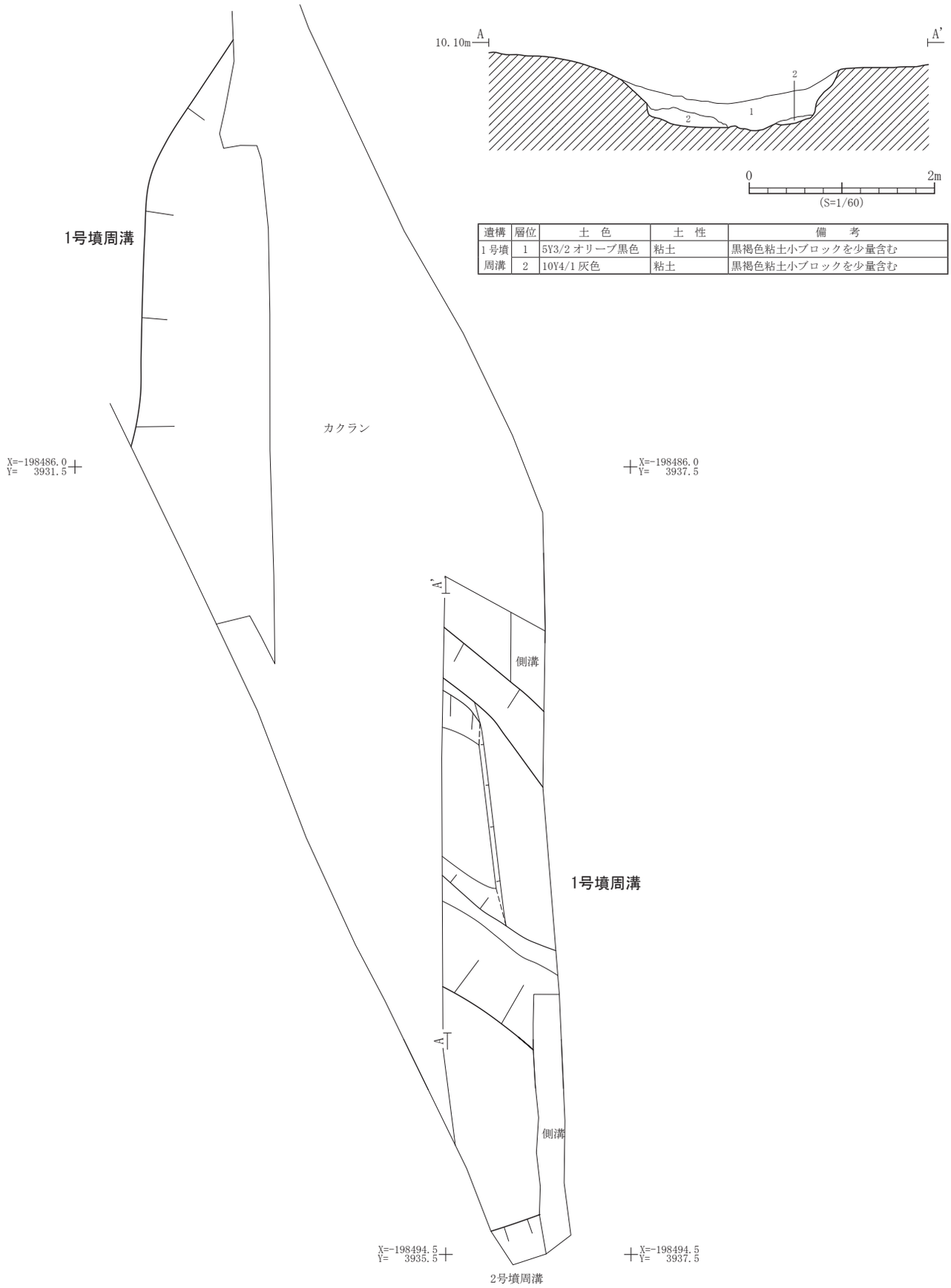
第 39 図　大野田古墳群 16C1 区Ⅴ層遺構配置図



調査区配置図

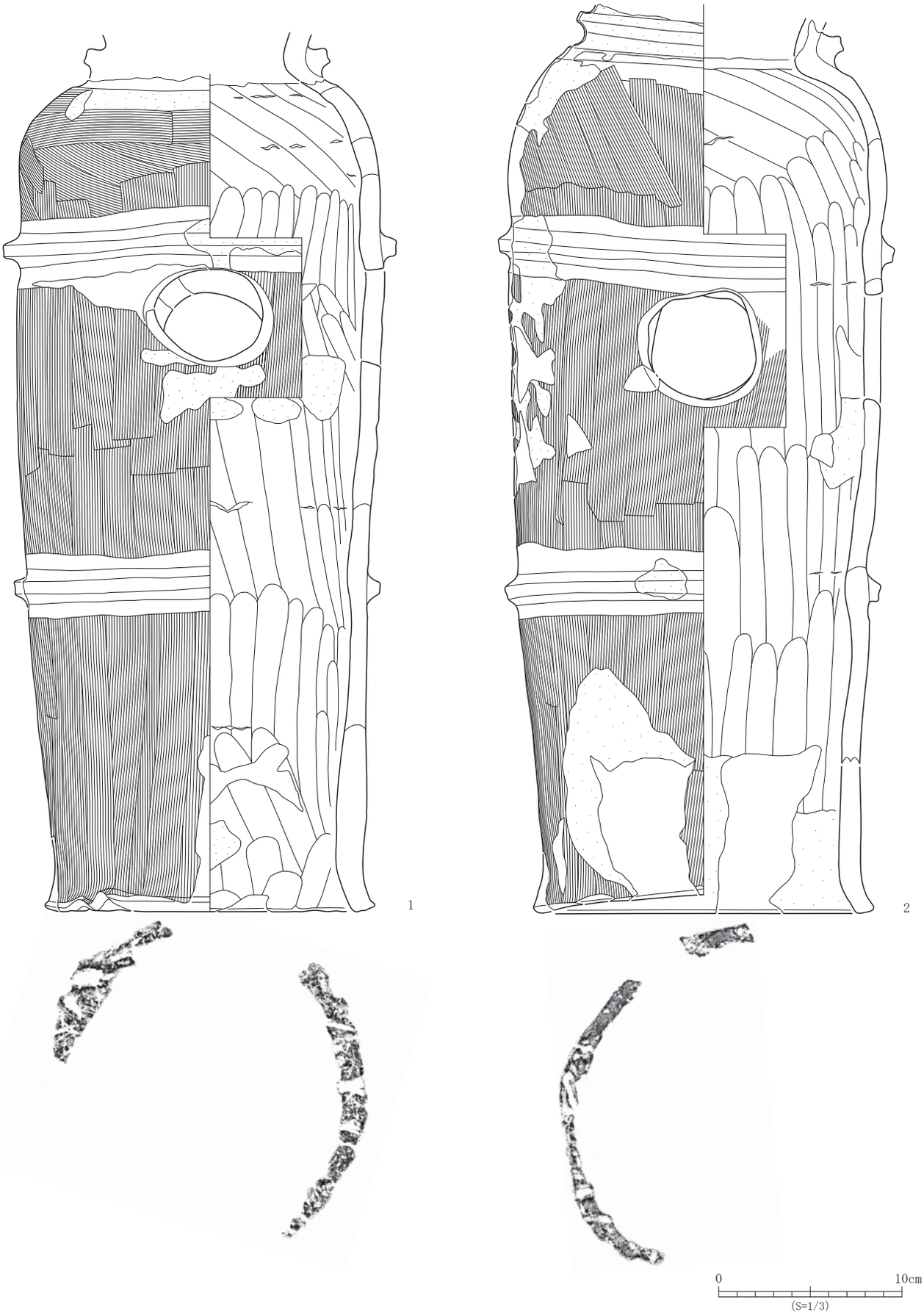


第 40 図　大野田古墳群 16C2 区Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
1 号墳	1	5Y3/2 オリーブ黒色	粘土	黒褐色粘土小ブロックを少量含む
周溝	2	10Y4/1 灰色	粘土	黒褐色粘土小ブロックを少量含む

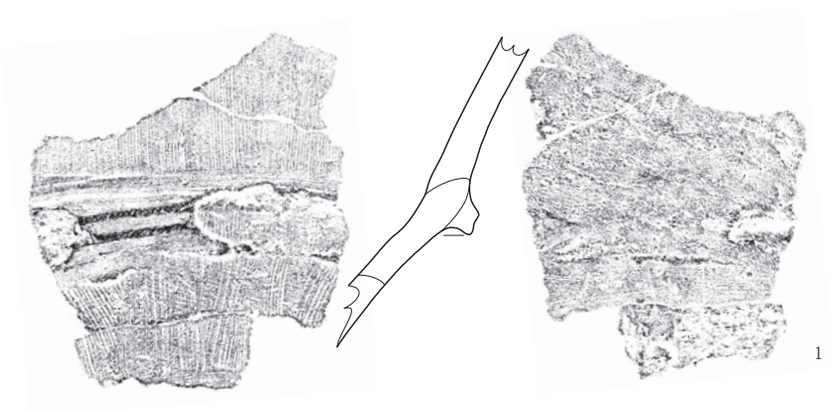
第 41 図　1 号墳周溝平面図・断面図



第 42 図　１号墳周溝出土遺物（1）

1 号墳周溝出土遺物観察表

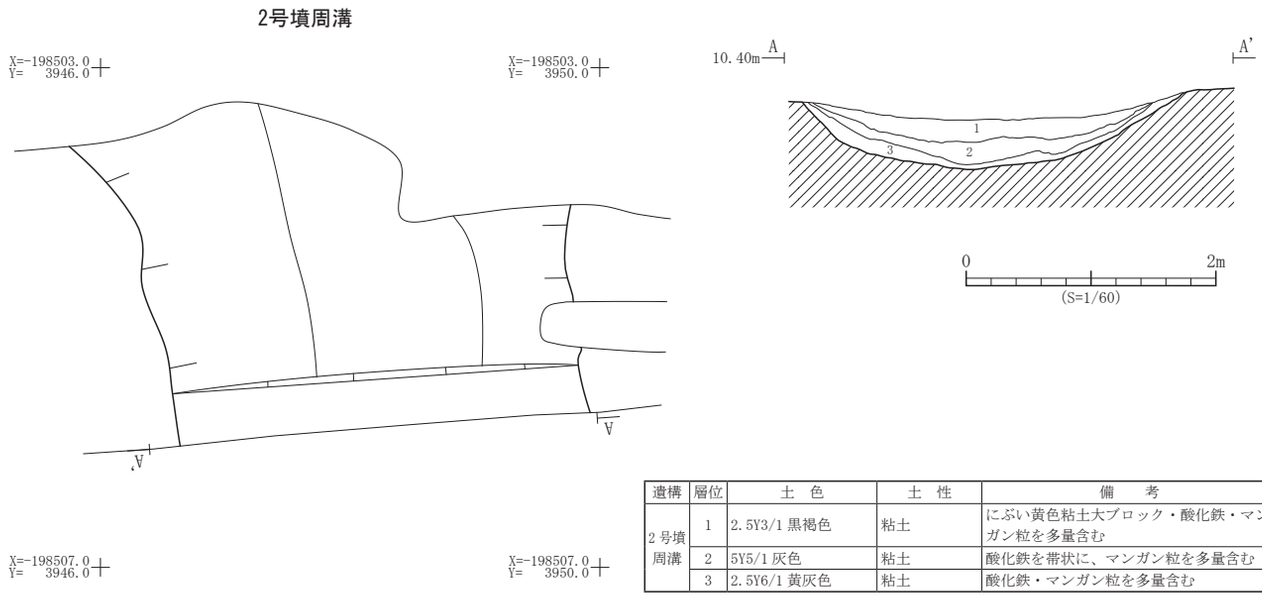
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	S-6	16C1	1 号墳周溝	-	埴輪	朝顔	-×（18.0）×現 45.5 ①凸帯幅上 0.6 下 1.8、高さ 0.7 ②凸帯幅上 0.8 下 2.0、高さ 0.8	タテハケメ・ヨコナデ　肩部不定方向ハケメ	ナデ	①筒部凸帯。 ②筒部凸帯。 基部棒状圧痕。 透し楕円形、2 孔 1 対。 色調 橙色系。	13 - 9
2	S-7	16C1	1 号墳周溝	-	埴輪	朝顔	-×（18.6）×現 49.5 ①凸帯幅上 0.8 下 1.6、高さ 0.6 ②凸帯幅上 0.7 下 1.9、高さ 0.7 ③凸帯幅上 0.8 下 2.1、高さ 1.4	タテハケメ・ヨコナデ　肩部 タテハケメ・ナナメハケメ	ナデ	①筒部凸帯。 ②筒部凸帯。 ③筒部凸帯。 基部棒状圧痕。 透し円形、2 孔 1 対。 色調 橙色系。	13 - 11



0　10cm
(S=1/3)

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	S-8	16C1	1 号墳周溝	-	埴輪	朝顔	-×-×現 12.5 凸帯幅上 0.9 下 2.1 高さ 0.8	タテハケメ→ヨコナデ	ナデ	屈曲部凸帯。 色調 橙色系。	13 - 10

第 43 図　1 号墳周溝出土遺物（2）

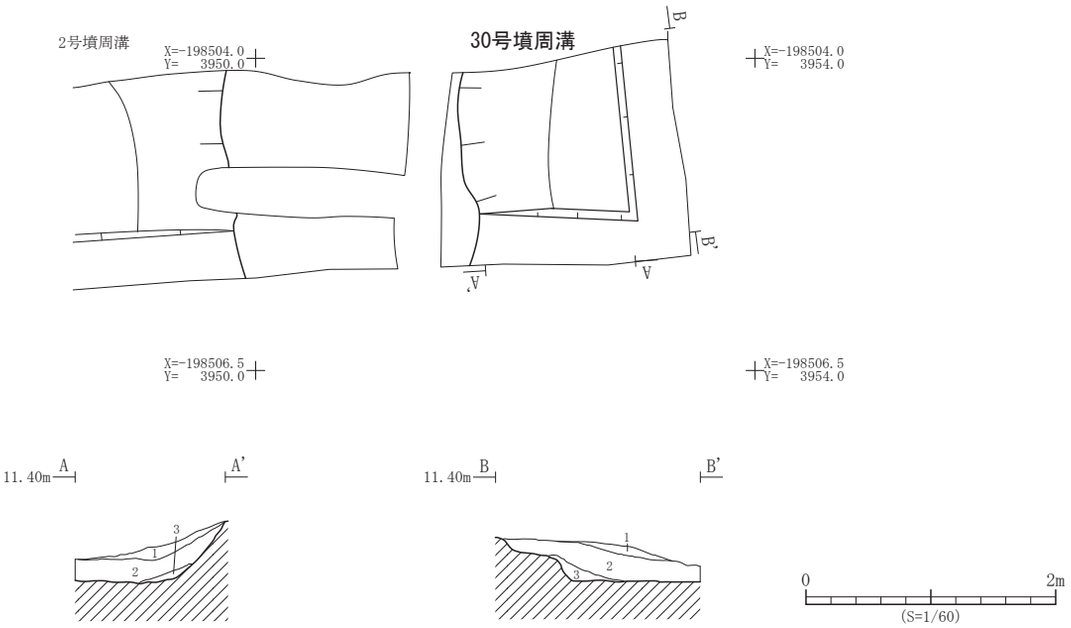


遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
2号墳周溝	1	2.5Y3/1 黒褐色	粘土	にぶい黄色粘土大ブロック・酸化鉄・マンガン粒を多量含む
	2	5Y5/1 灰色	粘土	酸化鉄を帯状に、マンガン粒を多量含む
	3	2.5Y6/1 黄灰色	粘土	酸化鉄・マンガン粒を多量含む

第 44 図　2 号墳周溝平面図・断面図

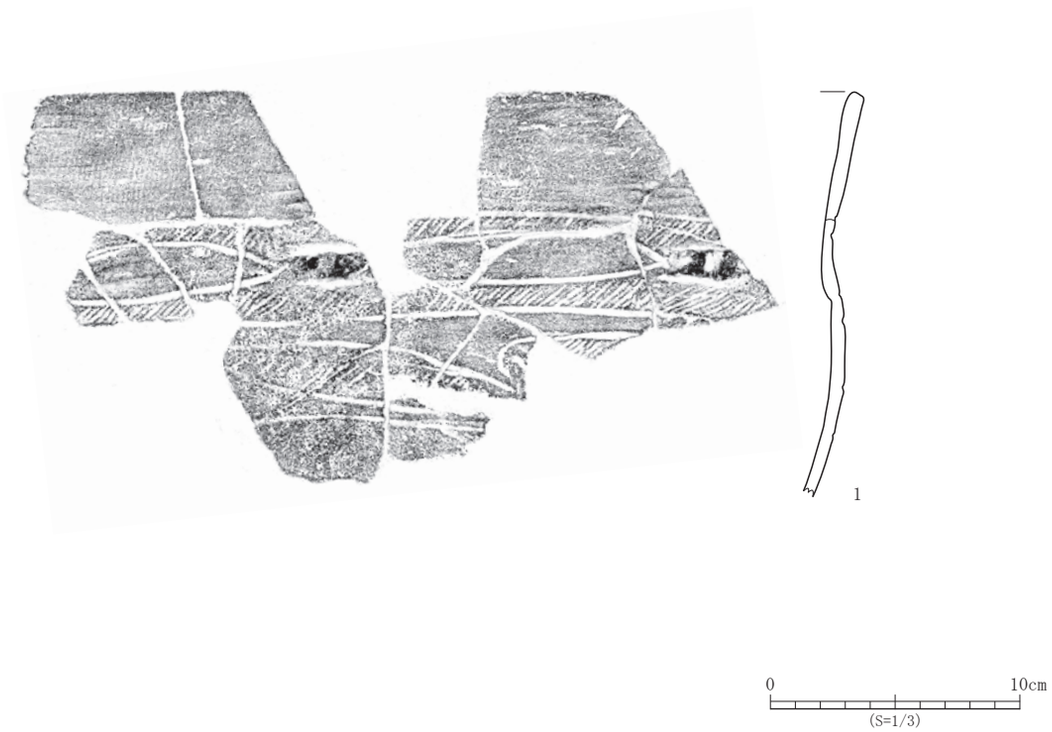
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	法　量（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	S-10	16C2	2 号墳周溝	－	埴輪	朝顔	－×－×現 14.3	タテハケメ・ヨコナデ	ヨコハケメ・ナナメハケメ・ナデ　凸帯内面ヨコナデ	頸部凸帯・屈曲部凸帯剥落。 色調 橙色～淡橙色。	14 - 2
2	S-9	16C2	2 号墳周溝	－	埴輪	朝顔	－×－×現 14.8 凸帯幅上 0.9 下 2.1、高さ 0.7	タテハケメ・ヨコナデ　肩部ヨコハケメ	ナデ	筒部凸帯。 透し一部残存。 ヨコハケメ部分に赤彩痕あり。 色調 淡橙色系。	14 - 1

第 45 図　2 号墳周溝出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
30号墳周溝	1	2.5Y3/1 黒褐色	粘土質シルト	酸化鉄・マンガン粒を多量含む
	2	5Y5/1 灰色	粘土	酸化鉄・マンガン粒・下層に砂を多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	酸化鉄・マンガン粒を少量含む

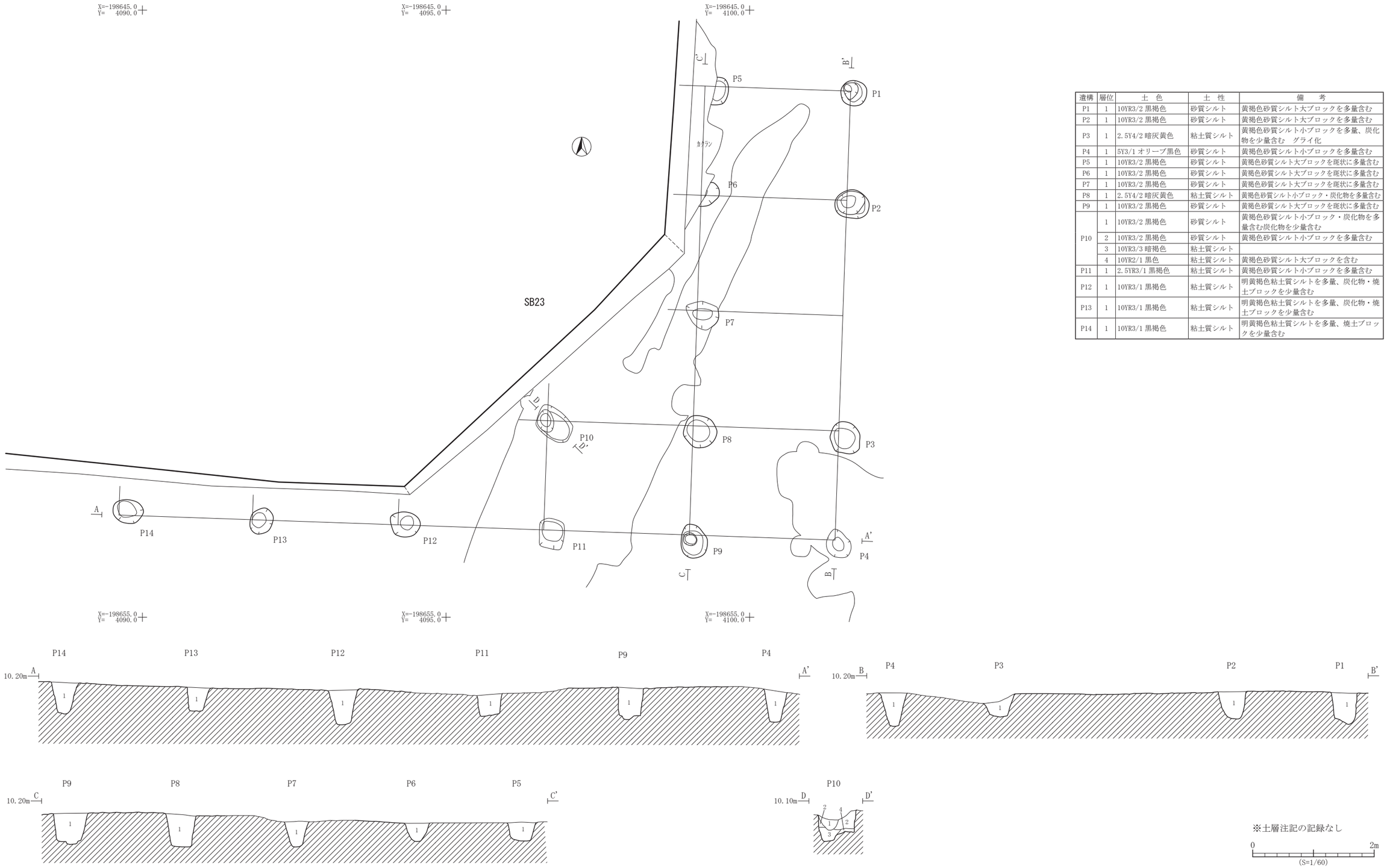
第 46 図　30 号墳周溝平面図・断面図



No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-4	16C2	－	Ⅲ	縄文土器	深鉢	口縁～胴部－沈線文・貼り瘤・LR 縄文・磨り消し		14－3

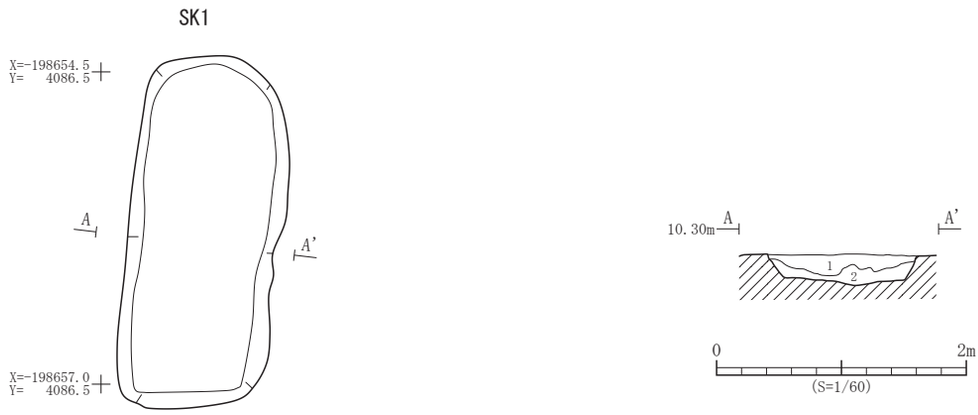
第 47 図　Ⅲ層遺構外出土遺物

第 48 図　大野田古墳群 16D 区Ⅲ層遺構配置図



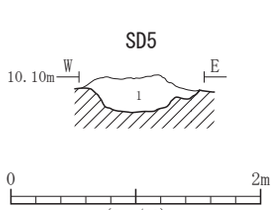
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P1	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを多量含む
P2	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを多量含む
P3	1	2.5Y4/2 暗灰黄色	粘土質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロックを多量、炭化物を少量含む　グライ化
P4	1	5Y3/1 オリーブ黒色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロックを多量含む
P5	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを斑状に多量含む
P6	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを斑状に多量含む
P7	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを斑状に多量含む
P8	1	2.5Y4/2 暗灰黄色	粘土質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロック・炭化物を多量含む
P9	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを斑状に多量含む
P10	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロック・炭化物を多量含む炭化物を少量含む
	2	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロックを多量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	
	4	10YR2/1 黒色	粘土質シルト	黄褐色砂質シルト大ブロックを含む
P11	1	2.5YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロックを多量含む
P12	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	明黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物・焼土ブロックを少量含む
P13	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	明黄褐色粘土質シルトを多量、炭化物・焼土ブロックを少量含む
P14	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	明黄褐色粘土質シルトを多量、焼土ブロックを少量含む

第 49 図　SB23 掘立柱建物跡平面図・断面図



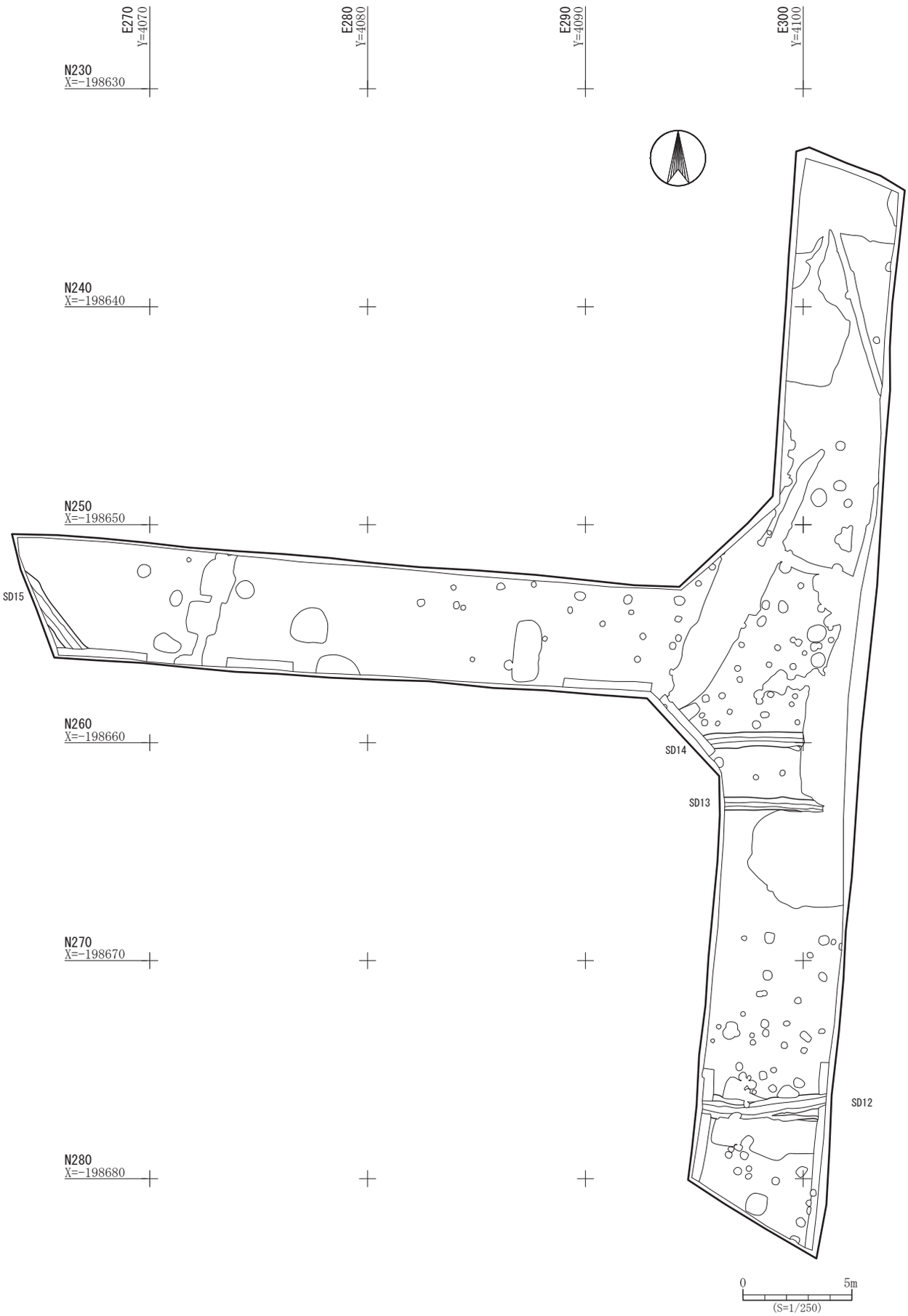
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK1	1	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層ブロックを少量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	Ⅲ層ブロックを多量含む

第 50 図　SK1 土坑平面図・断面図

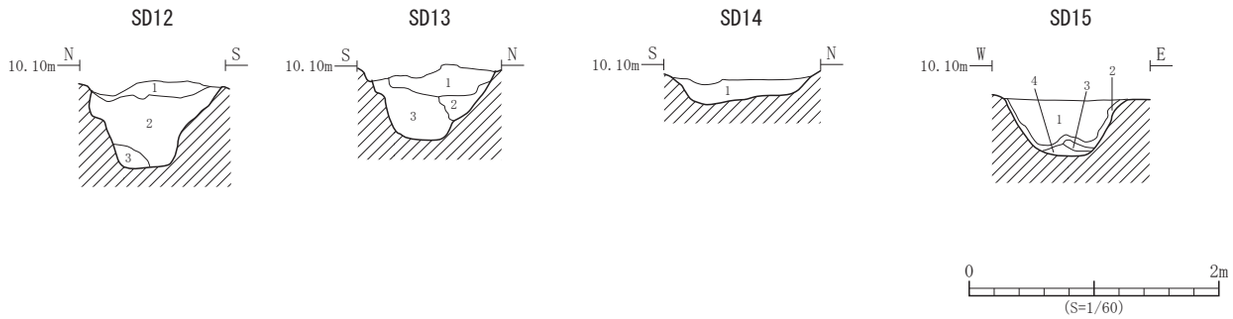


遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD5	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	黄褐色砂質シルト小ブロックを多量含む

第 51 図　SD5 溝跡断面図



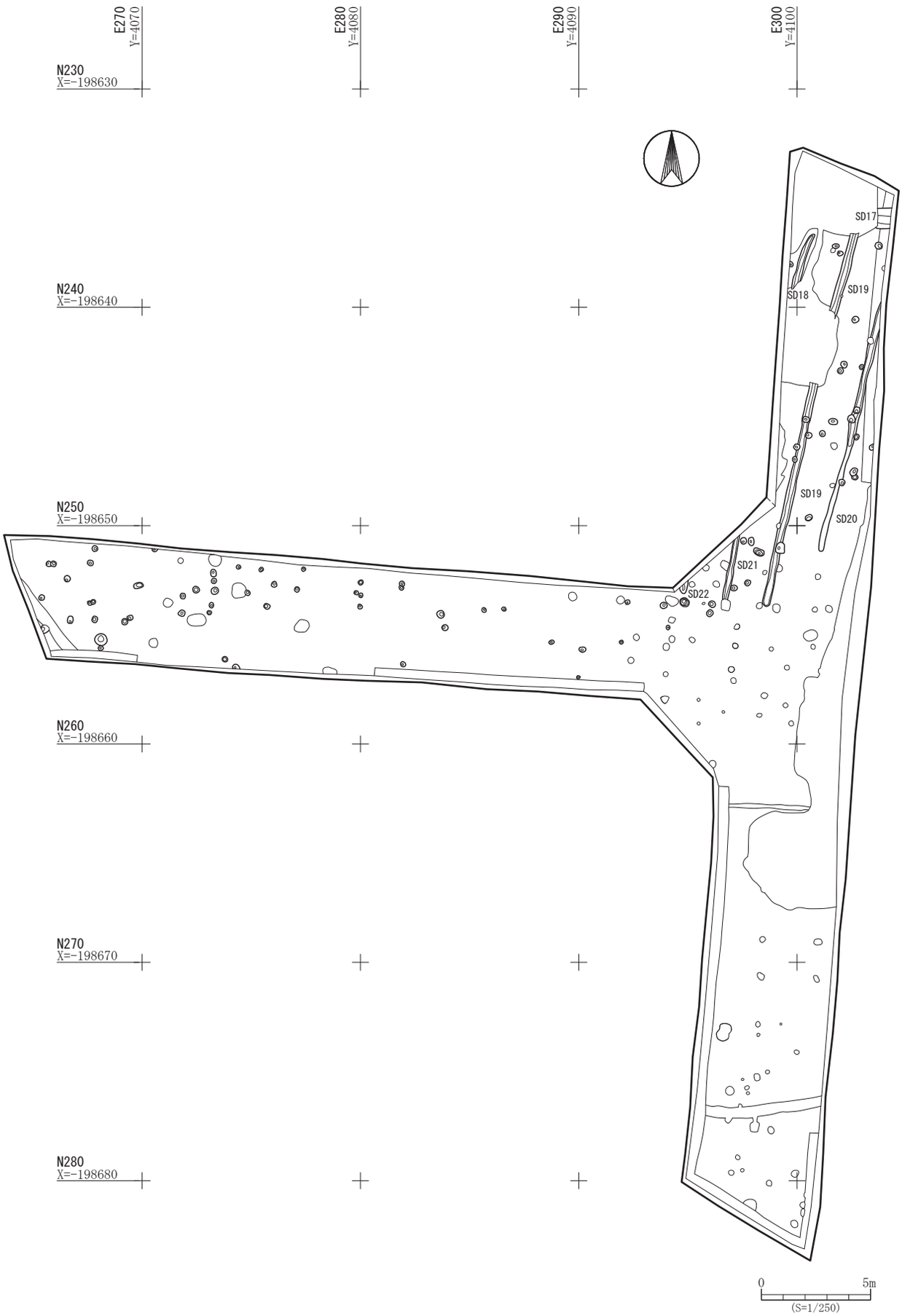
第 52 図　大野田古墳群 16D 区Ⅳ層遺構配置図



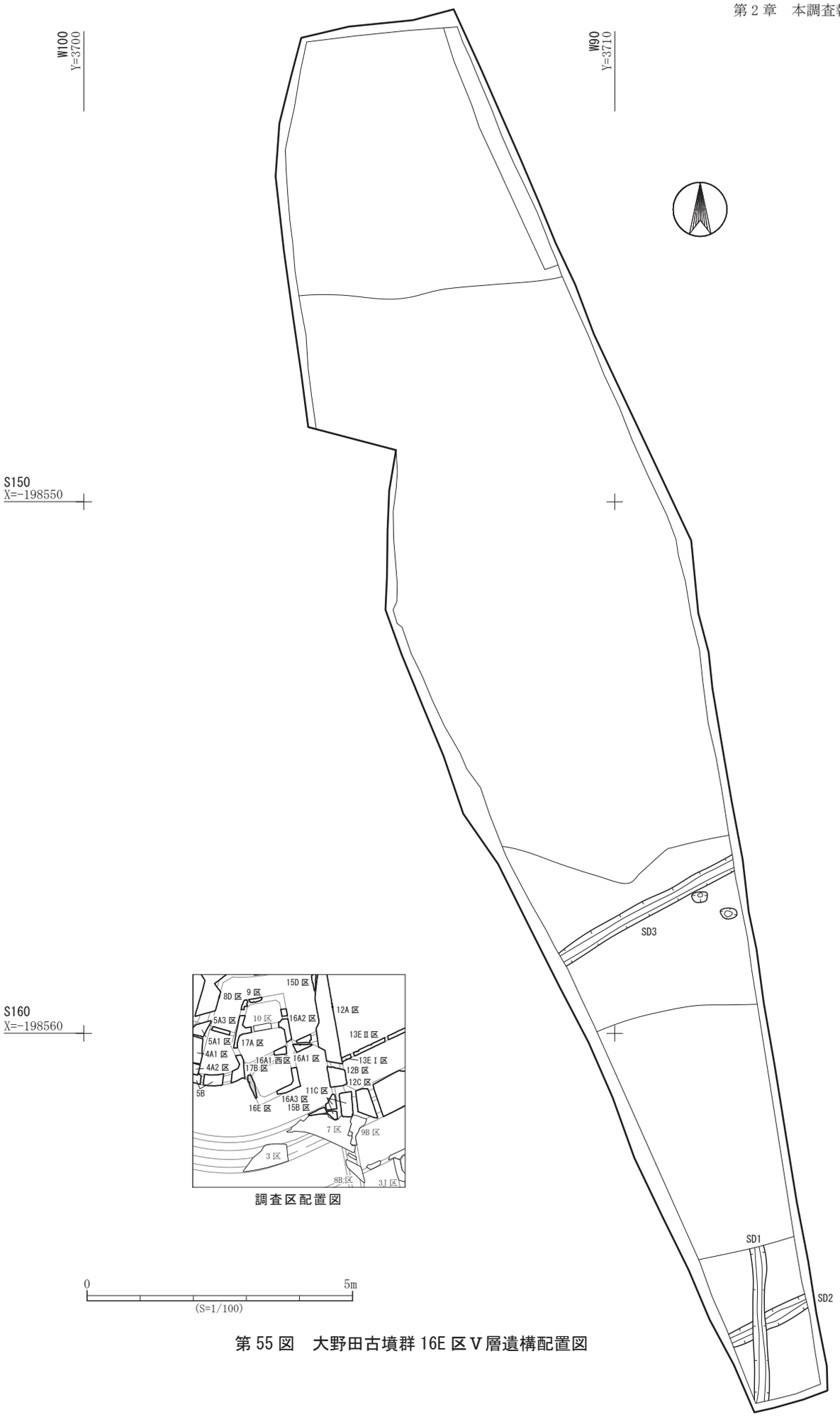
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD12	1	10YR4/6 褐色	砂質シルト	灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む
	2	10YR5/2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む
SD13	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	細砂を少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	
	3	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	酸化鉄を多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD14	1	10YR4/6 褐色	砂質シルト	下部に灰黄褐色砂質シルト大ブロックを少量含む
SD15	1	10YR5/1 褐灰色	砂質シルト	赤褐色粗砂を多量、褐灰色粘土ブロックを含む
	2	2.5YR5/6 明赤褐色	砂質シルト	酸化鉄集積層
	3	10YR3/2 黒褐色	粘土質シルト	Ⅳ層ブロックを多量含む
	4	10YR5/2 灰黄褐色	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量含む

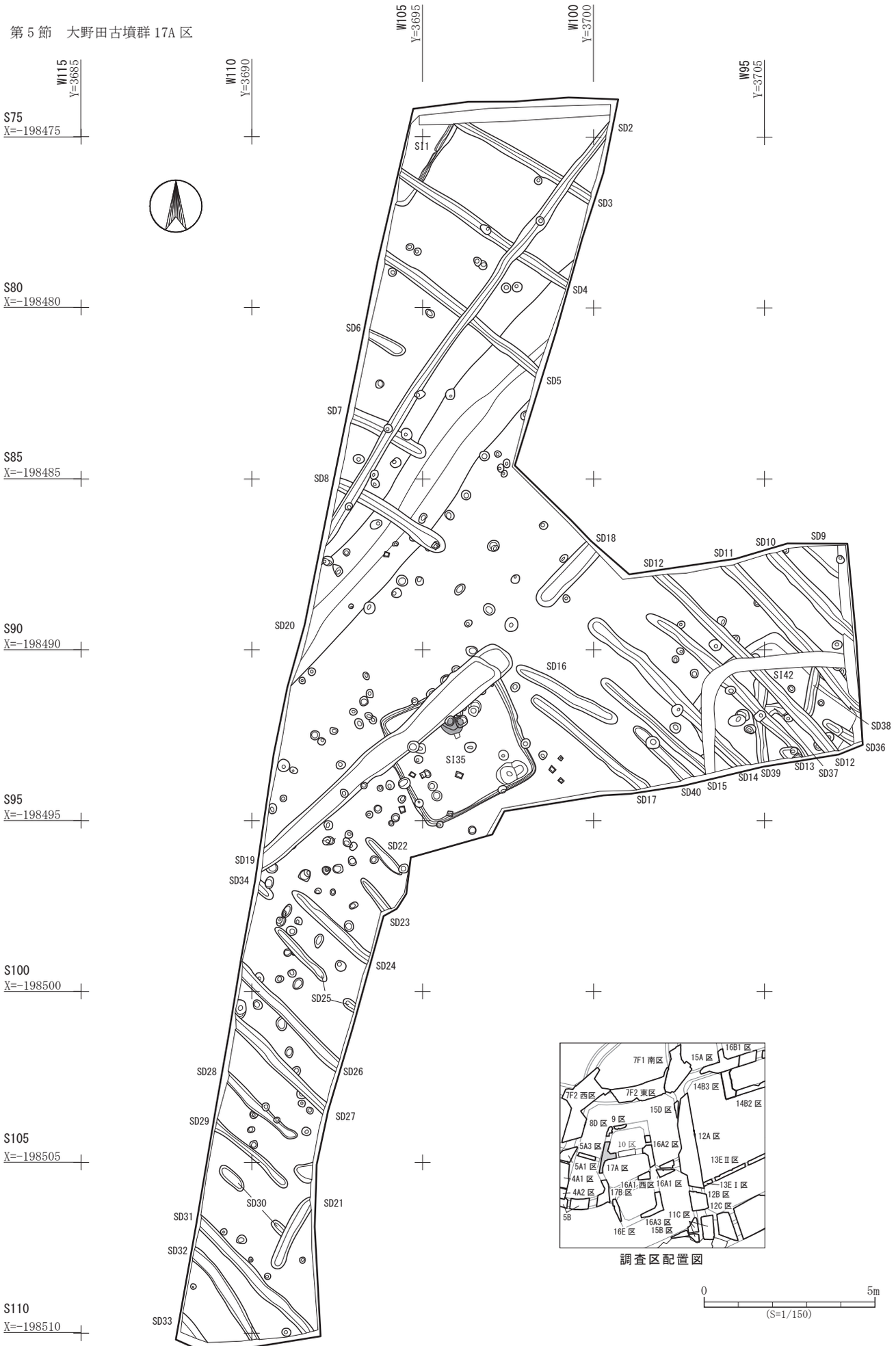
第 53 図　SD12 ～ 15 溝跡断面図



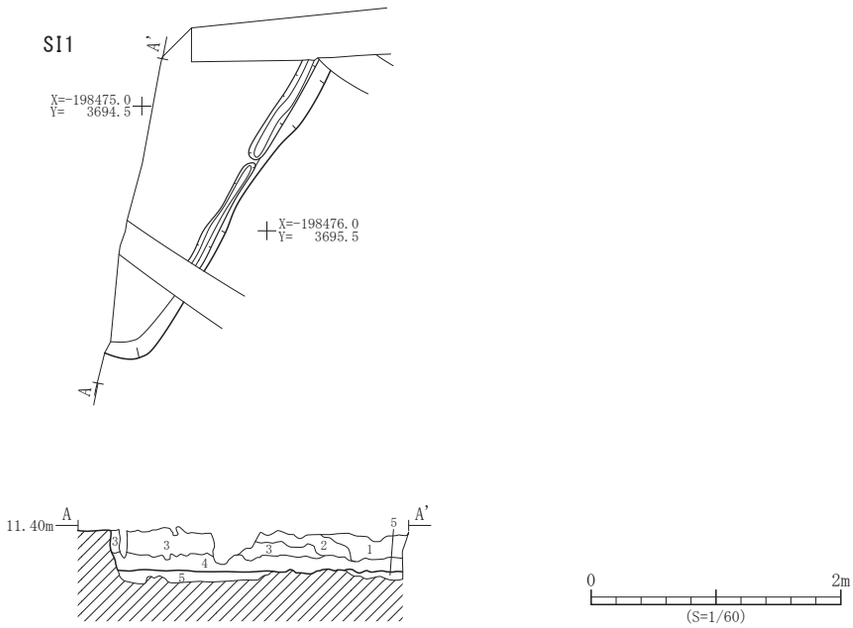
第 54 図　大野田古墳群 16D 区Ⅴ層遺構配置図



第 55 図　大野田古墳群 16E 区Ⅴ層遺構配置図



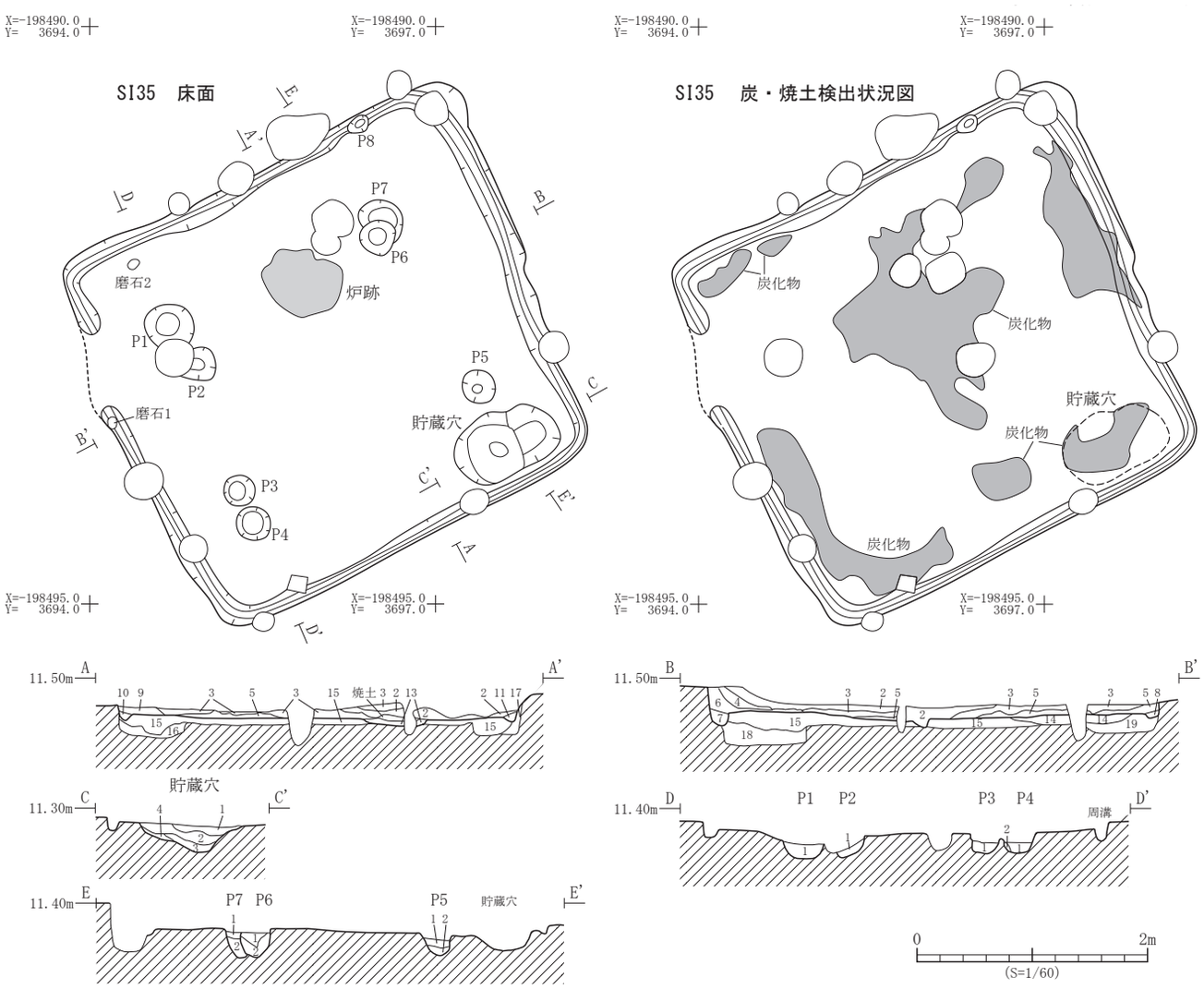
第 56 図　大野田古墳群 17A 区Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色シルトブロックを多量、灰黄褐色粘土・炭化物を少量含む
	3	10YR3/4 暗褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI1	4	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	黄褐色シルト質粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土	暗褐色粘土ブロックを少量含む　掘り方

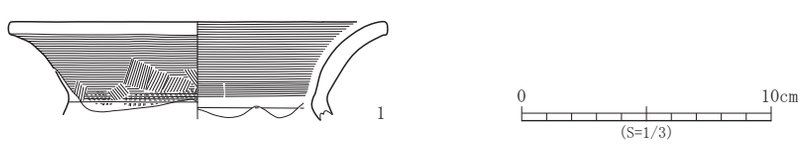
第 57 図　SI1 竪穴住居跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI35	1	10YR4/6 褐色	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・炉跡付近に焼土粒を微量含む
	3	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物を少量含む
	4	7.5YR3/3 暗褐色	シルト	焼土ブロックを層状に少量含む
	5	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
	6	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
	7	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む　周溝
	8	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	周溝
	9	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	細砂を含む
	10	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	周溝
	11	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む　周溝
	12	5YR4/8 赤褐色	シルト	焼土　炉跡内
	13	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物を微量含む　炉跡内
	14	10YR4/4 褐色	シルト	細砂を含む　掘り方
	15	10YR4/4 褐色	シルト	14 層よりやや暗い　掘り方
	16	10YR4/4 褐色	砂質シルト	掘り方
	17	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	掘り方
	18	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	暗褐色粘土ブロック・炭化物を微量含む　掘り方
	19	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	細砂、炭化物を微量含む　掘り方

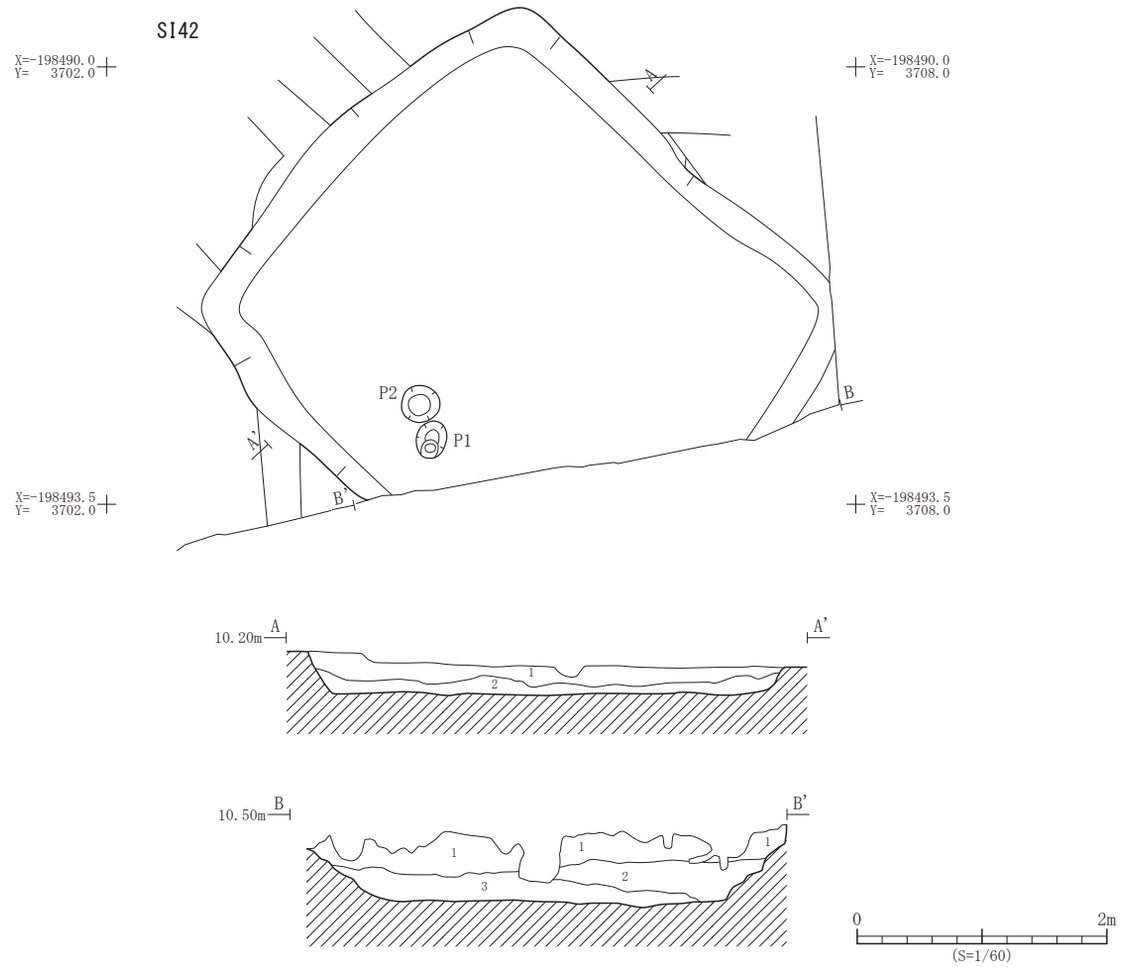
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物微を量含む
P3	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
P4	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂質シルト	
P5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	2.5Y4/4 オリーブ褐色	砂質シルト	
P6	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土粒を微量含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
P7	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	黄褐色シルトブロック、焼土粒を微量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	
貯蔵穴	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土粒を微量含む
	2	10YR4/4 褐色	シルト	細砂を含む
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	
	4	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	

第 58 図　SI35 竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-5	17A	SI35- 貯蔵穴	2	土師器	甕	(15.2) × - ×現 3.9	ヨコナデ・ヘラナデ・ハケメ	ヨコナデ・ヘラナデ		14 - 5

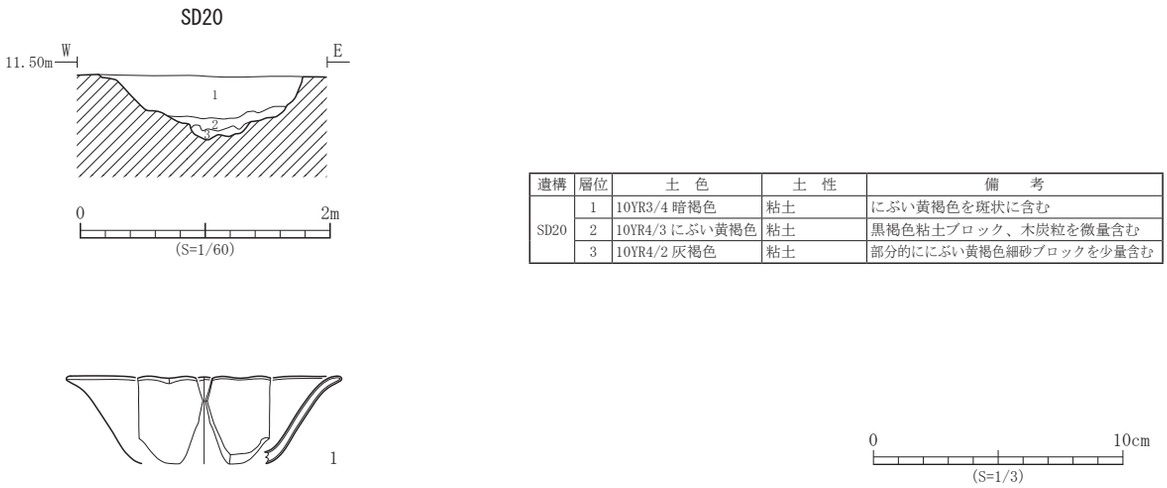
第 59 図　SI35 竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI42	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	Ｖ層に類似
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	１層よりやや暗い
	3	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	炭化物を微量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P1	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	細砂、黄褐色粘土ブロックを微量含む
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黄褐色粘土ブロックを少量、炭化物を微量含む

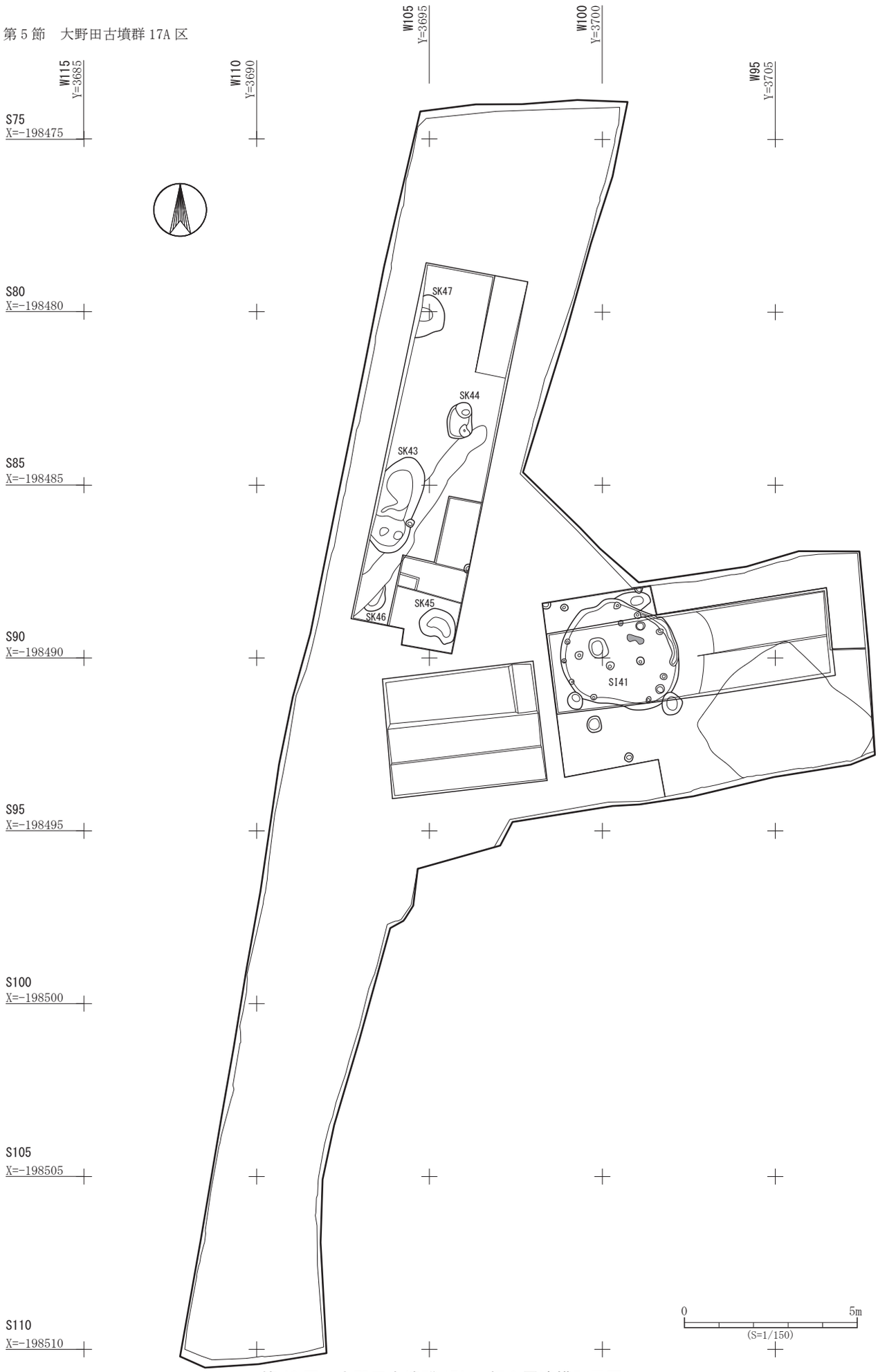
第 60 図　SI42 竪穴住居跡平面図・断面図



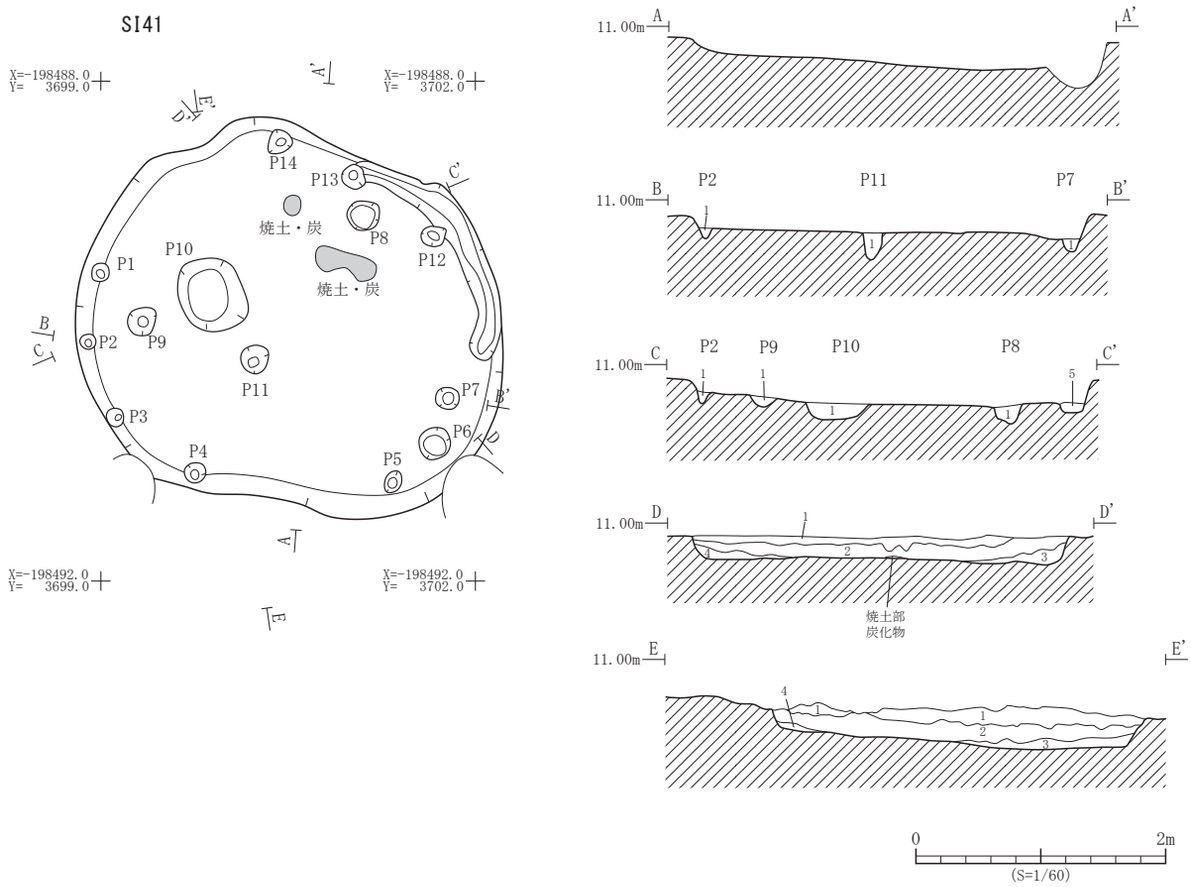
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD20	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	にぶい黄褐色を斑状に含む
	2	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土	黒褐色粘土ブロック、木炭粒を微量含む
	3	10YR4/2 灰褐色	粘土	部分的ににぶい黄褐色細砂ブロックを少量含む

No.	登録番号	区	遺構名	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	特　徴	産　地	時　期	写真図版
1	J-1	17A	SD20	1	青白磁	輪花皿	(11.0) × － × (3.5)	－	－	11世紀後半～12世紀	14 - 4

第 61 図　SD20 溝跡断面図・出土遺物



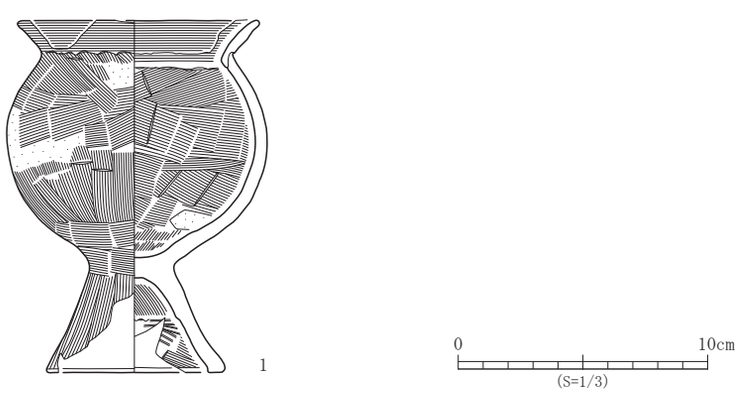
第 62 図　大野田古墳群 17A 区仮 C 層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SI41	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を少量、礫を微量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を多量、一部焼土粒を含む
	3	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	細砂を含む
	4	10YR4/6 褐色	細砂	
	5	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む　周溝
P1	1	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
P2	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
P3	1	10YR4/4 褐色	シルト	
P4	1	10YR4/6 褐色	砂質シルト	
P5	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	

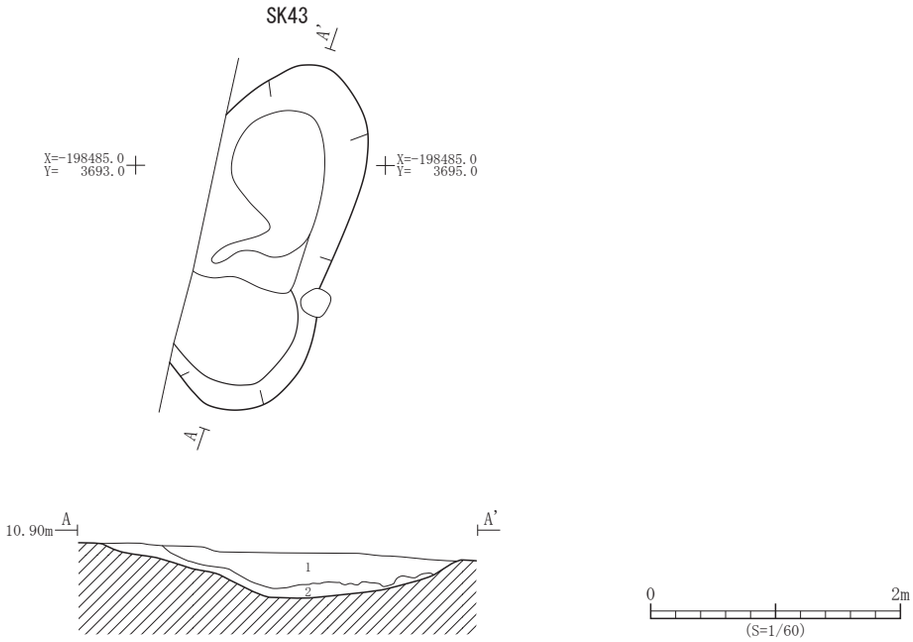
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
P6	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	
P7	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	
P8	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物を微量、細砂を含む
P9	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	シルト	炭化物を微量含む
P10	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物・細砂、礫を微量含む
P11	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物を微量含む
P12	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
P13	1	10YR4/4 褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む
P14	1	10YR4/3 にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む

第 63 図　SI41 竪穴住居跡平面図・断面図



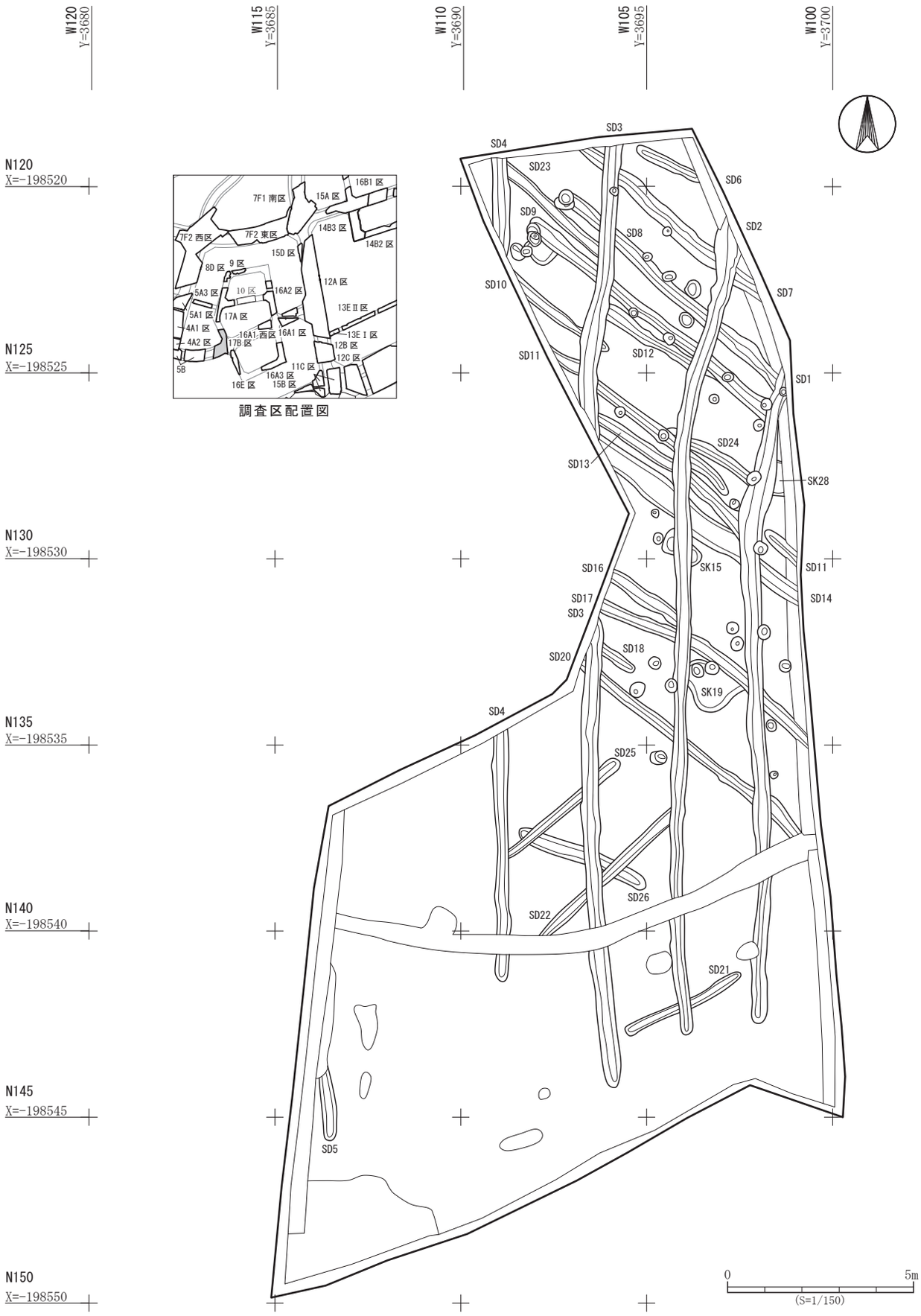
No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-6	17A	－	Ⅰ	土師器	台付甕	(9.7) × 7.2 × 14.1	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ・ハケメ		14 - 6

第 64 図　Ⅰ層遺構外出土遺物

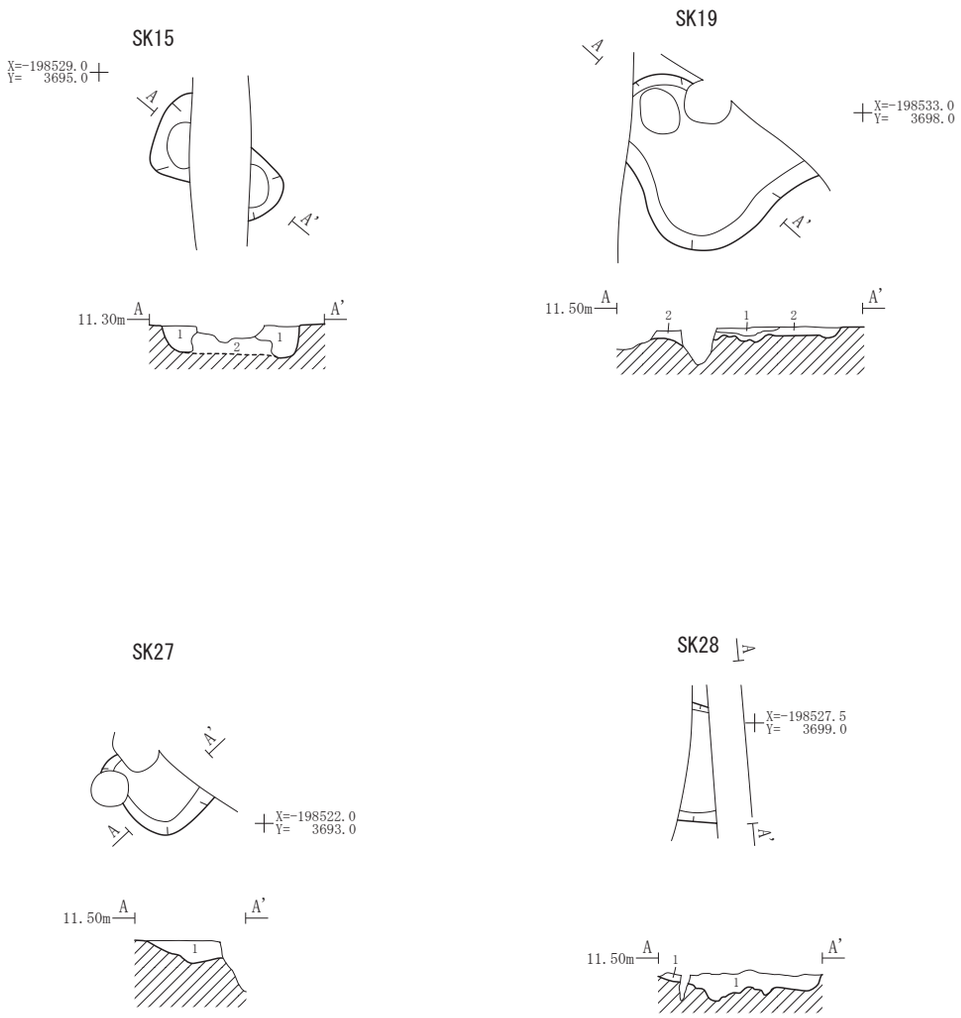


遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK43	1	10YR4/4 褐色	粘土	褐色砂質シルトを斑状に多量含む
	2	10YR4/6 褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む

第 65 図　SK43 土坑平面図・断面図



第 66 図　大野田古墳群 17B 区Ⅴ層遺構配置図



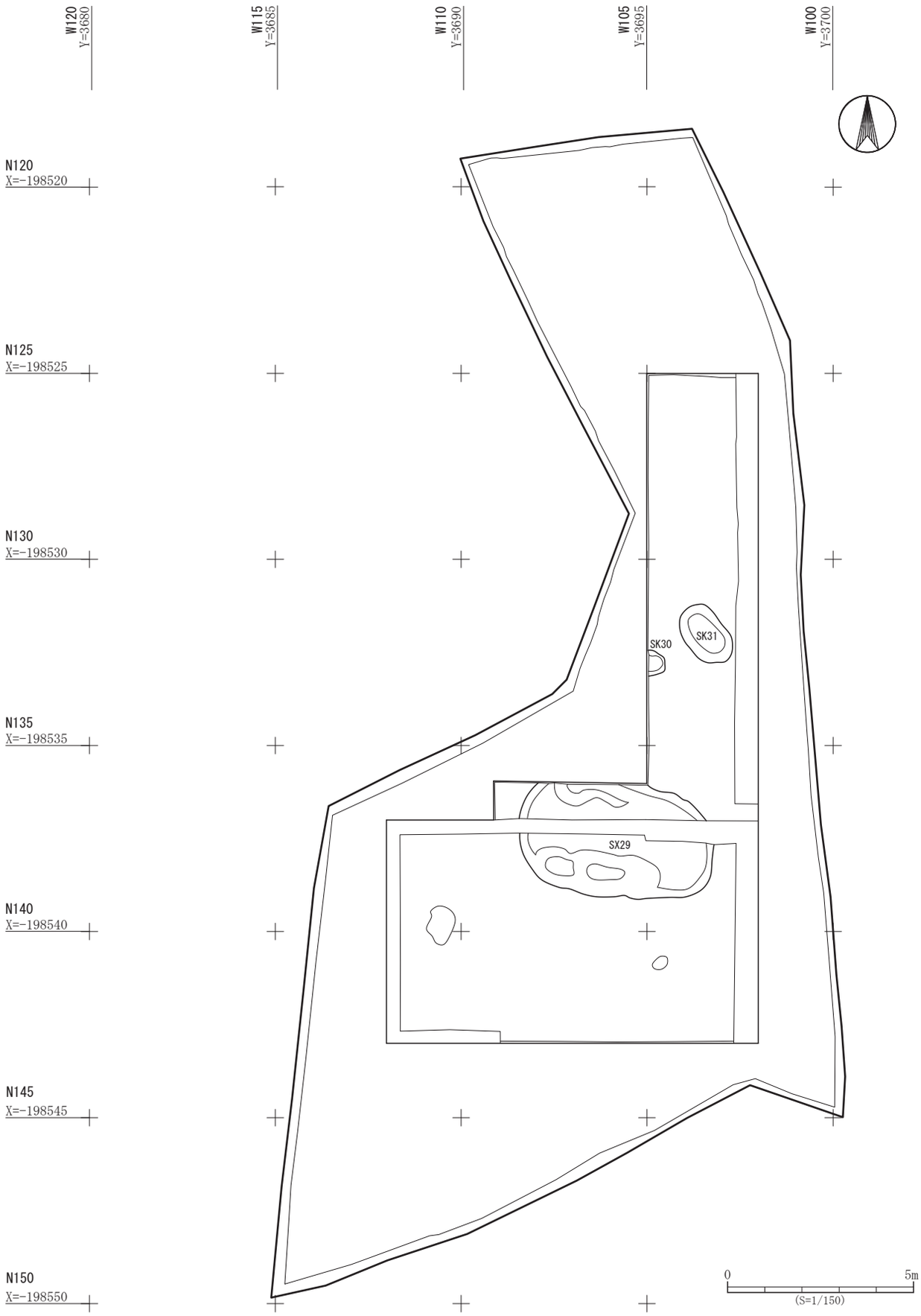
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK15	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR4/4 褐色	粘土	灰黄褐色粘土ブロックを少量含む
SK19	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を多量含む

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK27	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む
SK28	1	10YR3/4 暗褐色	粘土	褐色粘土ブロックを少量含む

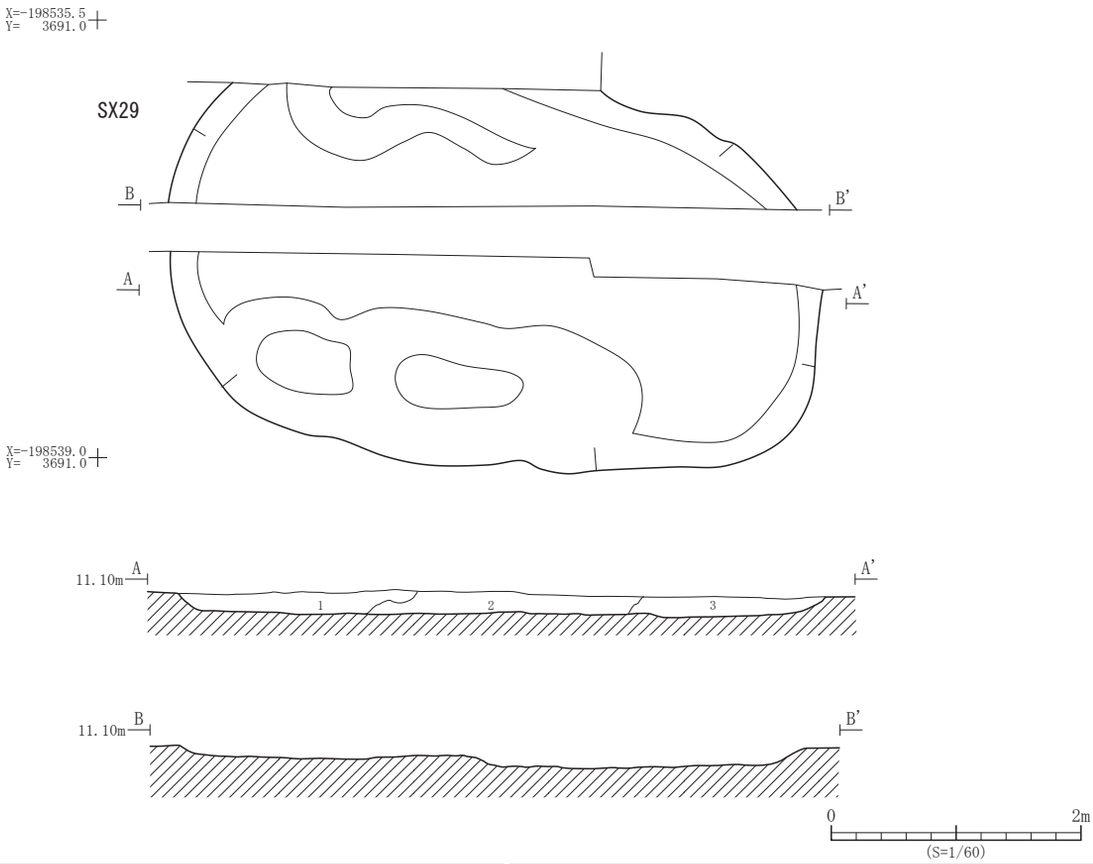
第 67 図　土坑平面図・断面図

No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高（cm）	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-7	17B	SD14	－	土師器	器台	－×－×現 3.6	ヨコナデ・ヘラナデ	ヘラナデ		14 - 7

第 68 図　SD14 溝跡出土遺物



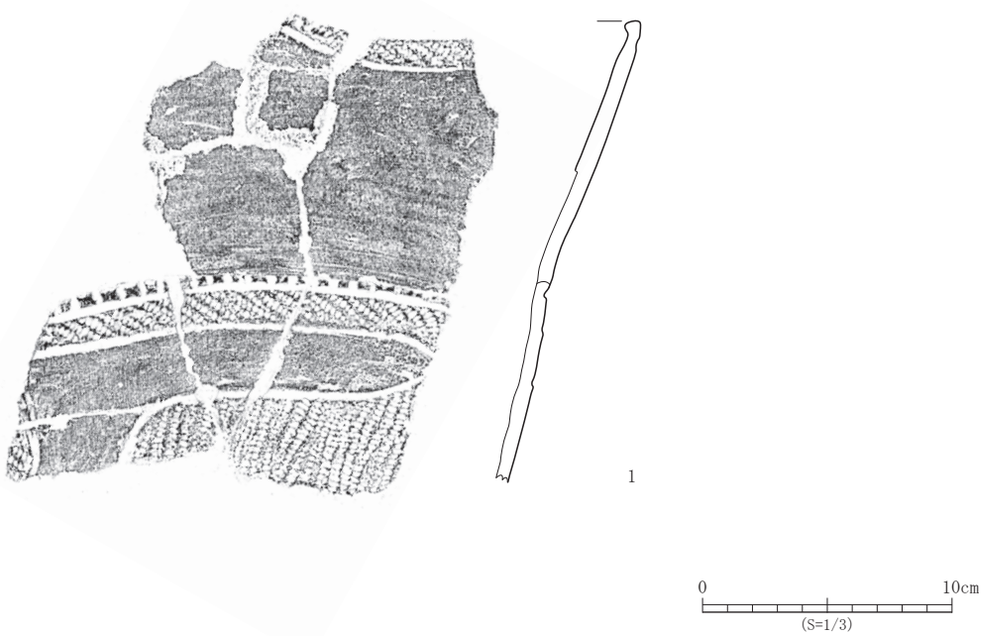
第 69 図　大野田古墳群 17B 区Ⅷc 層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SX29	1	10YR4/4 褐色	シルト質砂	褐色粘土ブロックを少量含む
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト質砂	礫を少量含む

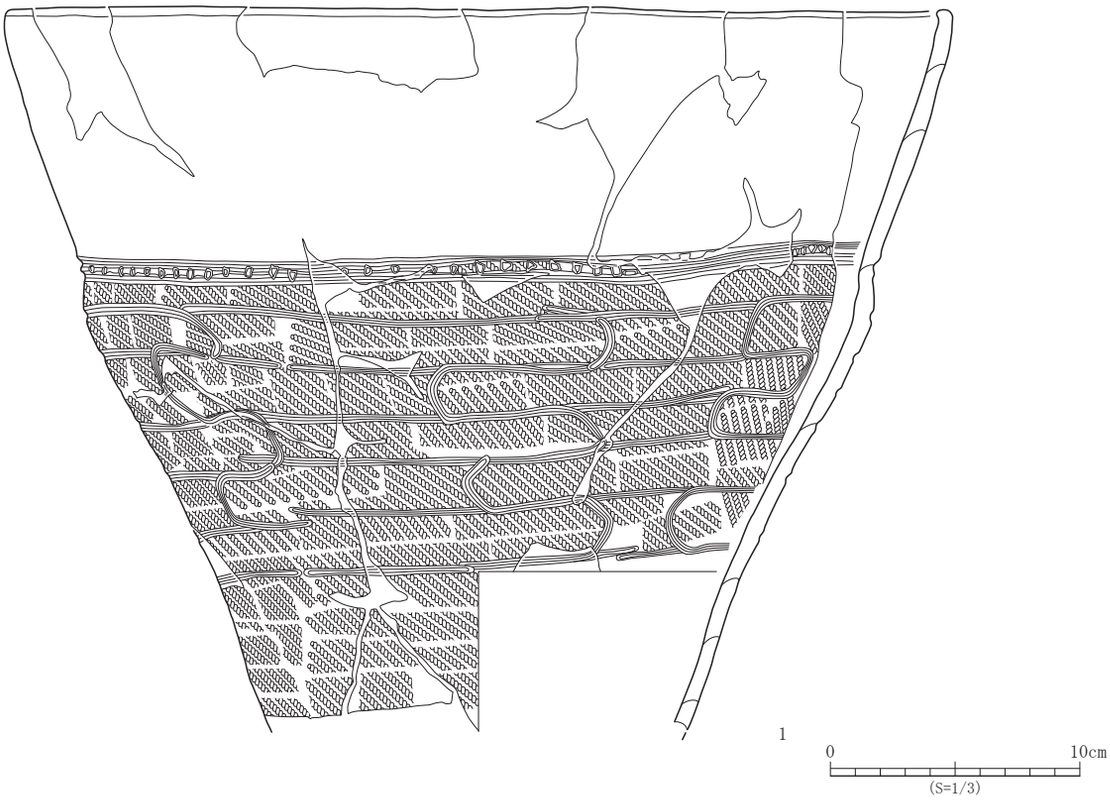
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SX29	3	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	褐色シルト質砂ブロックを少量含む

第 70 図　SX29 性格不明遺構平面図・断面図



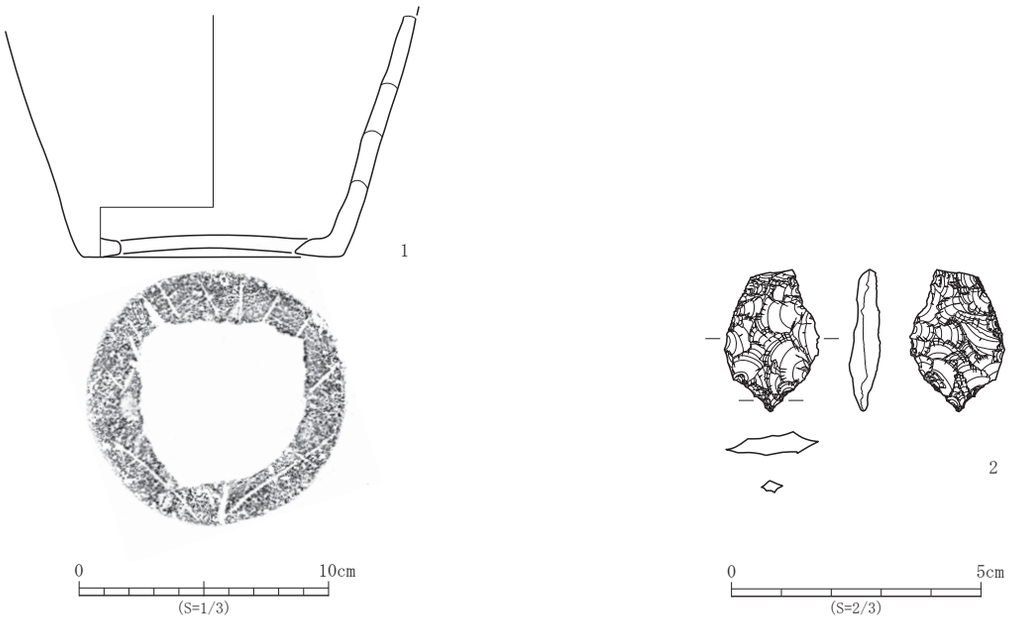
No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-6	17B	SX29	－	縄文土器	深鉢	口縁～胴部－波状口縁・沈線文・LR 縄文・RL 縄文・磨り消し	接合部刻み目。	14－8

第 71 図　SX29 性格不明遺構出土遺物



No.	登録番号	区	出土遺構	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-5	17B	SK30	－	縄文土器	深鉢	口縁～胴部－沈線文・刺突文・RL 縄文		15－1

第 72 図　SK30 土坑出土遺物



No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	文　様　等	備　考	写真図版
1	A-7	17B	－	Ⅷd	縄文土器	深鉢	底部－木葉痕	底部打ち欠き。	-

No.	登録番号	区	グリッド	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
2	Ka-c2-1	17B	－	Ⅷd	打製石器	石錐	鉄石英	2.8 × 1.9 × 0.6　2.6	つまみ付き。	15－2

第 73 図　Ⅷd 層遺構外出土遺物

16. ま　と　め

大野田古墳群は、仙台市太白区大野田字王ノ檀・千刈田・竹松・宮・宮脇にあり、自然堤防に立地する。標高は10.8～12.8ｍほどである。平成22年度に15A・15B・15C・15D区、平成23年度に16A1・16A2・16A3・16B・16C・16D・16E区、平成24年度に17A・16A1西・17B区の調査を行い、合計面積は約3,585㎡である。各遺構検出面から、縄文時代、古墳時代、古代、中世の遺構群を検出した。

（１）遺構について

1）古代から中世以降の遺構は、基本層Ⅱb層（16A1西区）及びⅢ層上面で検出した。

15B区　－溝跡3条

16A1区　－溝跡3条、ピット2基

16A1西区－小溝状遺構25条、ピット7基（Ⅱb層上面）

16A1西区－小溝状遺構3条、ピット37基

16D区　－掘立柱建物跡1棟、土坑7基、性格不明遺構2基、溝跡2条、ピット148基

2）古代の遺構は、基本層Ⅳ層で検出した。

15C区　－溝跡3条（Ⅳ層上面）

16A1西区－小溝状遺構群3群29条、性格不明遺構1基、ピット70基（Ⅳb層上面）

16D区　－溝跡4条、ピット2基（Ⅳ層上面）

3）古墳時代から古代の遺構は、基本層Ⅴ層上面で検出した。

15A区　－掘立柱建物跡4棟、土坑7基、性格不明遺構4基、溝跡20条、小溝状遺構群6群126条、ピット240基

15C区　－土坑6基、溝跡15条、小溝状遺構群1群27条、ピット234基、この内SD30溝跡は大野田官衙遺跡の南側区画溝である。

15D区　－古墳1基（38号墳）、ピット18基

16A1区　－古墳1基（33号墳）、小溝状遺構群1群15条、ピット約110基

16A1西区－土坑1基、ピット42基（Ⅴa層上面）

16A2区　－土坑1基、小溝状遺構群3群52条、ピット50基

16A3区　－土坑5基、小溝状遺構群3群23条、ピット群

16B区　－竪穴住居跡1軒、土坑3基、溝跡3条、小溝状遺構群2群142条、ピット群

16C区　－古墳3基（1・2・30号墳）、小溝状遺構群2群7条、ピット20基

16D区　－小溝状遺構群1群5条、ピット83基

16E区　－小溝状遺構3条、ピット2基

17A区　－竪穴住居跡3軒、溝跡4条、小溝状遺構群3群34条、ピット194基

17B区　－土坑4基、小溝状遺構群3群24条、ピット38基

4）縄文時代の遺構は、基本層Ⅵc・Ⅶ・Ⅷ層及び仮C層で検出した。Ⅵc・Ⅶ層上面は時期不詳、Ⅷc層上面は後期中葉宝ケ峯式後半の時期である。仮C層は、17A区の深掘区で確認されたもので、基本層には該当しない遺構検出面である。時期を特定できる遺物の出土はない。

16A1西区－溝跡2条（Ⅵc層上面）

16A1西区－ピット3基（Ⅶ層上面）

17B区　－土坑2基、性格不明遺構1基（Ⅷc層上面）

17A区　－竪穴住居跡1軒、土坑5基、ピット10基（仮C層上面）

（２）遺物について

大野田古墳群からは主に古墳時代から古代の遺物が出土した。

1）縄文時代

後期中葉の宝ヶ峯式土器、後期後半の金剛寺式土器が少量出土した。

2）弥生時代

16A1区から後期前半天王山式前半期の土器、16B1区から中期中葉土器や天王山式土器が出土した。

3）古墳時代

16B1区SI64竪穴住居跡から前期の遺物が出土した。

大野田1・2・38号墳から中期後半の円筒埴輪や朝顔形埴輪が出土した。

大野田1・2号墳出土埴輪は、円筒・朝顔形埴輪共に富沢窯跡系列の基本資料となっており、大野田2号墳（2a段階）から1号墳（2b段階）への変遷が考えられている〔仙台市教委　1983・1987b〕。1号墳出土の朝顔形埴輪の肩部の横ハケ調整は、富沢埴輪編年の2a期とされる指標である。円筒埴輪凸帯の特徴も大野田2号墳と同様のものがあることから、1号墳は2a期から2b期へ移行する過渡的な段階と考えられ、時期は5世紀代後半と考えられる。大野田古墳群では大野田8号墳で2b期の円筒・朝顔形埴輪が出土した〔仙台市教委　2000b〕。

4）古　代

15A区のSK80・83土坑から9世紀後半頃の土師器や須恵器坏が出土し、墨書土器がやや多く含まれる。

5）中　世

17A区SD20溝跡内から青白磁、輪花碗が出土した。

（３）古代の文字資料について

大野田古墳群からは、文字資料として墨書土器6点、刻書土器1点が出土した。いずれも9世紀後半代の遺物と考えられる。すべて15A区から見つかっており、基本層Ⅳ層とⅤ層上面で検出した遺構（SK80・83土坑）から出土した。

墨書土器のうち文字が判読できたものは4点あり、いずれも坏の体部外面に「方」の一文字が墨書されている。1点だけ出土した刻書土器については、坏の体部外面に焼成前に刻まれたと考えられる細線による記号状のものが見て取れるが、文字としては判読できなかった。

Ⅳ層から出土した判読不明の墨書土器2点を除き、ほかはすべてⅤ層上面の遺構から出土した。SK80土坑からは「方」と記された墨書土器3点と判読不明の刻書土器1点、SK83土坑からは同じく「方」と記された墨書土器1点が出土した。SK80土坑とSK83土坑は約2m離れて東西に隣接している。

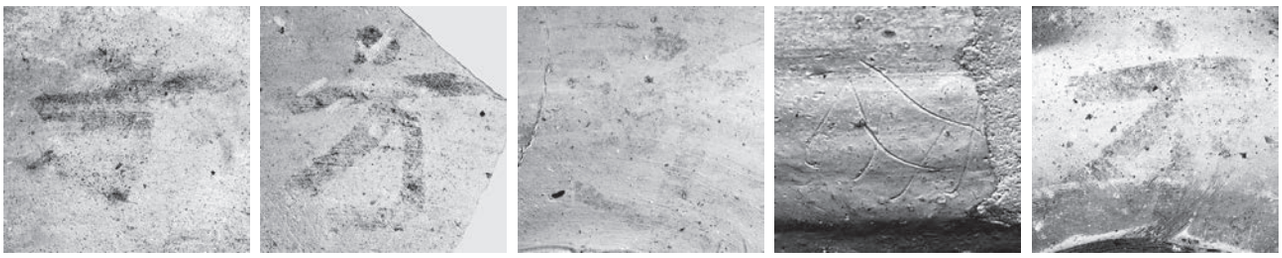
東北地方において「方」の一文字が記された文字資料の出土例は、これまでに墨書土器や刻書土器として14点確認されている〔青森県史編さん古代部会　2008〕。その内訳は、岩手県1点、宮城県4点、秋田県2点、福島県7点である。宮城県では、多賀城市の市川橋遺跡から「方」と記された墨書土器が4点出土しているほか、関連性は不明であるが「方方」と記された墨書土器も1点出土している。

なお、第3節で報告した六反田遺跡の7E区と7F1中区からも「方」と記された墨書土器がそれぞれ1点ずつ出土した。大野田古墳群15A区からは、7E区は北へ約85m、7F1中区は北西へ約65m離れた位置にあり、両地区とも比較的近い位置関係にある。

大野田古墳群出土の墨書土器・刻書土器一覧表

図番号	登録番号	種　別	器　種	区	層	出土地点	記銘部位	方　向	記銘方法	釈　文	備　考
第 12-3 図	D-2	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅳ		体部外面		墨書	「□」	
第 12-6 図	D-11	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅳ		体部外面		墨書	「□」	
第 9-2 図	D-6	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第 9-5 図	D-10	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第 10-3 図	E-1	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
第 10-1 図	E-2	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面		焼成前刻書	「□」	
第 10-4 図	E-3	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK83	体部外面	正位	墨書	「方」	

第 74 図　大野田古墳群出土の文字資料（1）



D-6　D-10　E-1　E-2　E-3

第 75 図　大野田古墳群出土の文字資料（2）

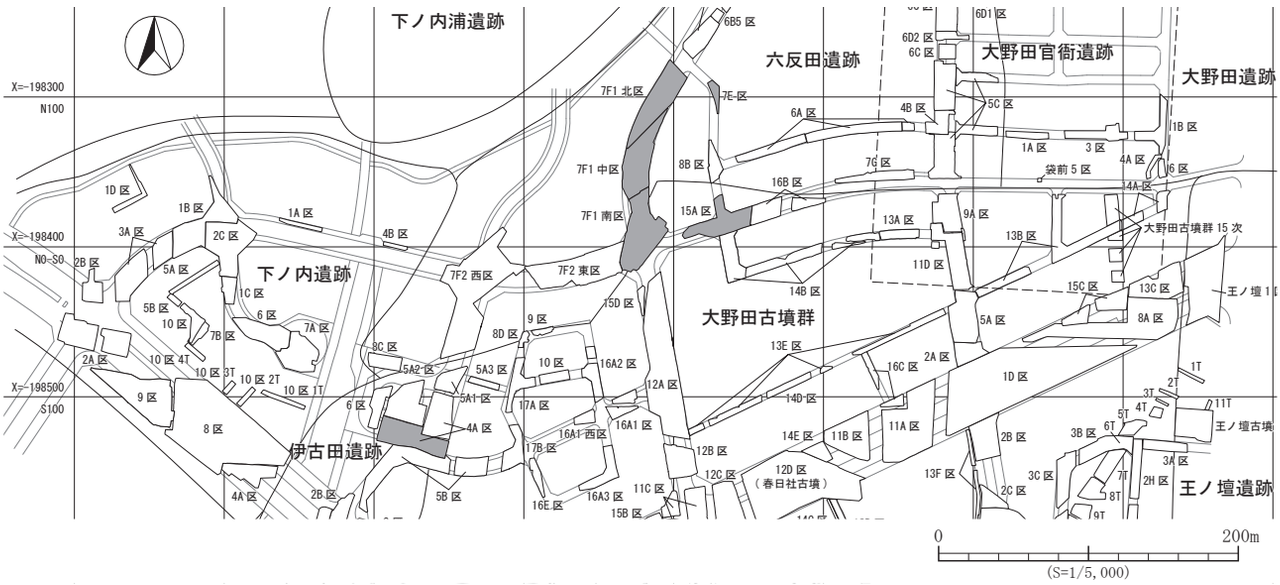
（４）六反田遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群出土の文字関連資料について

本書で報告した古代の文字関連資料は、六反田遺跡7E区（墨書土器2点）・7F1北区（墨書土器9点、円面硯7点）・7F1中区（墨書土器1点）・7F1南区（刻書土器1点）、伊古田遺跡4A区（円面硯1点）、大野田古墳群15A区（墨書土器6点、刻書土器1点）から出土した。いずれも9世紀後半代を中心とする時期の遺物と考えられる。

このうち南西側にやや離れて位置する伊古田遺跡4A区を除き、六反田遺跡7E区・7F1北区・7F1中区・7F1南区、大野田古墳群15A区の5地区は近接している。文字関連資料28点のうち27点はこの5地区からの出土であり、中でも、六反田遺跡7F1北区からの出土がもっとも多く全体の約57％を占める。

判読できた文字は「取」と「方」の二つで、いずれも前述した5地区から出土した。全体として出土量は少ないが、「取」は六反田遺跡7F1北区、「方」は大野田古墳群15A区を中心に分布する傾向がみえる。

また、このほかに近隣では平成18年度に調査が行われた六反田遺跡3A区からも円面硯が1点出土している〔仙台市教委　2017〕。推定底径27.4cmの大形品で、概ね8世紀代の遺物と考えられる。大野田官衙遺跡の北西側約80ｍの地点から出土しており、同遺跡との関連性が窺われる。



六反田遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群出土の文字関連資料一覧表

遺跡名	図番号	登録番号	種　別	器　種	区	層	出土地点	記銘部位	方　向	記銘方法	釈　文	備　考
六反田遺跡	第 48-1 図	D-10	ロクロ土師器	坏	7E	Ⅳ	SK3	体部外面	正位	墨書	「方」	
六反田遺跡	第 50-1 図	D-8	ロクロ土師器	坏	7E	Ⅳ	SD16	底部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 97-4 図	D-44	ロクロ土師器	坏	7F1 北	Ⅳ		体部外面	逆位ヵ	墨書	「取ヵ」	
六反田遺跡	第 97-5 図	D-45	ロクロ土師器	坏	7F1 北	Ⅳ		体部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 63-7 図	E-49	須恵器	坏	7F1 北	Ⅴ	SI45	底部外面		墨書	「取」	
六反田遺跡	第 63-8 図	E-50	須恵器	坏	7F1 北	Ⅴ	SI45	底部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 61-1 図	D-12	ロクロ土師器	坏	7F1 北	Ⅴ	SI45-P11	体部外面	横位	墨書	「取」	
六反田遺跡	第 61-4 図	D-21	ロクロ土師器	坏	7F1 北	Ⅴ	SI45A	体部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 62-2 図	E-24	須恵器	坏	7F1 北	Ⅴ	SI45A	体部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 91-4 図	D-24	ロクロ土師器	坏	7F1 北	Ⅴ	SK51	体部外面	正位	墨書	「取」	
六反田遺跡	第 91-10 図	E-29	須恵器	坏	7F1 北	Ⅴ	SK115	底部外面		墨書	「□」	
六反田遺跡	第 107-4 図	D-56	ロクロ土師器	坏	7F1 中	Ⅴ	SX6	体部外面	逆位	墨書	「方」	
六反田遺跡	第 120-1 図	D-57	ロクロ土師器	坏	7F1 南	Ⅴ	SK6	底部外面		焼成前刻書	「取」	
六反田遺跡	第 98-5 図	E-16	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅳ						
六反田遺跡	第 98-4 図	E-17	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅳ						
六反田遺跡	第 98-6 図	E-18	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅳ						
六反田遺跡	第 97-9 図	E-43	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅳ						
六反田遺跡	第 98-2 図	E-48	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅳ						
六反田遺跡	第 92-1 図	E-41	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅴ	SX104					
六反田遺跡	第 92-2 図	E-42	須恵器	円面硯	7F1 北	Ⅴ	SX104					
伊古田遺跡	第 23-14 図	E-6	須恵器	円面硯	4A2 区	Ⅴ	SI159					
大野田古墳群	第 12-3 図	D-2	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅳ		体部外面		墨書	「□」	
大野田古墳群	第 12-6 図	D-11	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅳ		体部外面		墨書	「□」	
大野田古墳群	第 9-2 図	D-6	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第 9-5 図	D-10	ロクロ土師器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第 10-3 図	E-1	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面	正位	墨書	「方」	
大野田古墳群	第 10-1 図	E-2	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK80	体部外面		焼成前刻書	「□」	
大野田古墳群	第 10-4 図	E-3	須恵器	坏	15A	Ⅴ	SK83	体部外面	正位	墨書	「方」	

第 76 図　古代の文字関連資料が出土した遺跡と地区

第１表　遺構一覧表（1）

15A 区Ⅴ層

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	柱間数	建物規模（m）	備　考
SB10	E40 ～ 50・N20	N-86°-E	桁行３間×梁行２間	桁行総長 7.70 ×梁行総長［3.1］	
SB82	E30 ～ 40・N30	N-0°	桁行２間×梁行２間	桁行総長 3.9 ×梁行総長 3.5	
SB89	E40・N30	N-4°-W	桁行２間×梁行２間	桁行総長 3.8 ×梁行総長［2.5 ～ 3.0］	
SB133	E20・N10 ～ 20	N-80°-W	桁行５間×梁行２間	桁行総長 13.24 ×梁行総長 4.6	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK80a	E30 ～ 40・N30	N-81°-W	長軸 315 ×短軸［250］×深さ 45	不整な楕円形・開いたＵ字形	
SK80b	E30・N30	-	長軸－×短軸－×深さ 40	-・舟底形	
SK83	E30・N30	N-8°-E	長軸 112 ×短軸 102 ×深さ 20	不整なな楕円形・開いたＵ字形	
SK102	E20・N30	N-17°-W	大野田古墳群	-・開いたＵ字形	
SK153	E10・N20	N-79°-E	長軸 165 ×短軸［76］×深さ 23	不明・逆台形	

性格不明遺構

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SX126	E40・N20	N-4°-E	長軸 328 ×短軸 70 ～ 110 ×深さ 42	不定形な楕円形・不整形	
SX182	E0 ～ 10・N10	N-90°	長軸［842］×短軸［56 ～ 194］×深さ 10	不整形・逆台形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD18	E40 ～ 50・N20	N-85°-E	長さ［7.35］×幅 0.52 ×深さ 0.35	逆台形	
SD77	E40・N20	N-5°-W	長さ［6.2］×幅 0.68 ×深さ 0.45	逆台形	
SD36	E30・N20	N-0°	長さ［2.5］×幅 0.35 ×深さ－	-	
SD117	E10 ～ 30・N20	N-82°-W	長さ 13.8 ×幅 0.52 ×深さ 0.28	Ｕ字形	
SD140	E10・N10 ～ 20	N-3°-E	長さ［6.24］×幅 0.48 ×深さ－	-	
SD119	E20 ～ 30・N20	N-64°-W N-84°-W	長さ［7.5］×幅 0.7 ×深さ 0.4	開いたＵ字形	
SD125	E40 ～ 50・N20 ～ 30	N-13°-W	長さ［11.2］×幅 1.3 ～ 2.0 ×深さ 0.3	開いたＵ字形	
SD132	E0 ～ 10・N10	N-78°-W	長さ［3.3］×幅［0.78］×深さ 0.35	逆台形	
SD94	E50・N20	N-8°-W	長さ［3.85］×幅 0.7 ×深さ 0.3	擂り鉢状	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	西半	南北	長さ［1.06］～［6.33］×幅 0.15 ～ 0.47	SD35・SD37・SD38・SD135 ～ 138・SD141・SD142・SD144 ～ 146・SD155・SD160・SD162 ～ 164・SD166 ～ 168・SD170 ～ 172・SD181	
Ⅱ群	東半	南北	長さ 0.50 ～ 3.76 ×幅 0.15 ～ 0.34	SD1 ～ 4・SD6・SD7・SD11・SD13・SD14・SD16・SD17・SD20 ～ 23・SD25 ～ 31・SD34・SD39・SD40・SD53・SD76・SD81・SD106・SD107・SD111・SD122	
Ⅲ群	西半	南北	長さ［1.64］～［6.55］×幅 0.23 ～ 0.34	SD134・SD147・SD149・SD150 ～ 152・SD154・SD156・SD157・SD159	
Ⅳ群	東半	東西やや北東－南西	長さ［1.12］～［22.12］×幅 0.26 ～ 0.44	SD15・SD43 ～ 45・SD47・SD48・SD52・SD59・SD62・SD64 ～ 68・SD70・SD87・SD89・SD92・SD95・SD98	
Ⅴ群	西半	東西	長さ［0.97］～ 11.27 ×幅 0.29 ～ 0.43	SD88・SD99・SD105・SD115・SD116・SD120・SD121・SD161・SD169・SD173・SD176・SD177・SD179	
Ⅵ群	東半	東西	長さ［0.91］～ 24.49 ×幅 0.17 ～ 0.42	SD41・SD46・SD50・SD51・SD54・SD55・SD60・SD63・SD69・SD71・SD75・SD85・SD86・SD90・SD91・SD93・SD100・SD110・SD112・SD114・SD118・SD124・SD127・SD128	

15B 区Ⅲ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD1	W10 ～ 30・S170 ～ 180	-	長さ－×幅－×深さ 0.34	逆台形	
SD2	W10 ～ 30・S170 ～ 180	N-74°-E N-60°-E	長さ［18.5］×幅 0.7 ～ 1.05 ×深さ 0.72	Ｕ字形	
SD3	W10 ～ 30・S170 ～ 180	N-75°-E N-58°-E	長さ［15.80］×幅 0.22 ～ 0.5 ×深さ 0.33	Ｕ字形	

15C2 区Ⅴ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD30	E280 ～ 300・S30	N-89°-W	長さ［21.4］×幅 2.76 ～ 3.72 ×深さ 1.24	逆台形	大野田官衙区画溝

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	中央	南北	長さ［0.2］～［1.8］×幅 0.15 ～ 0.40	SD41 ～ 63・SD73 ～ 76	

15D 区Ⅴ層

古墳

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
38 号墳（北）	W20 ～ 30・S20	-	-	（円墳）・皿状	5 世紀後半
38 号墳（南）	W20 ～ 30・S40	-	-	（円墳）・皿状	5 世紀後半

16A1 西区Ⅳｂ層

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	南北	長さ［2.8］～［5.9］×幅 0.40 ～ 0.46	SD64 ～ 68	
Ⅱ群	全体	北西－南東	長さ［1.5］～［8.2］×幅 0.30 ～ 0.56	SD69 ～ 90	
Ⅲ群	西半	南北	長さ［2.1］～［4.2］×幅 0.36 ～ 0.40	SD91・SD92	

第２表　遺構一覧表（2）

16A1 区Ⅴ層

古墳

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	備　考
33 号墳	W30 ～ 40・S90 ～ 110	-	周溝幅 2.86 ～ 3.64 ×深さ -	（円墳）・不明	5 世紀後半

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	西半	南北	長さ [2.0] ～ [5.8] ×幅 0.30 ～ 0.40	SD4 ～ 18	

16A2 区Ⅴ層

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	北東 - 南西	長さ [3.4] ～ [14.3] ×幅 0.30 ～ 0.45	SD14 ～ 20・SD44・SD45	
Ⅱ群	北半	北西 - 南東	長さ 1.7 ～ [13.5] ×幅 0.25 ～ 0.55	SD1 ～ 7・SD11・SD21 ～ 31・SD40・SD43	
Ⅲ群	全体		長さ [0.8] ～ [15.6] ×幅 0.27 ～ 0.50		
Ⅲ a 群		N-10°　-W		SD36 ～ 39	
Ⅲ b 群		N-30°　-W		SD32 ～ 35・SD41	
Ⅲ c 群		N-10°　-W		SD8 ～ 10・SD12・SD42・SD47 ～ 54	

16A3 区Ⅴ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK11	W50・S130	N-76°　-E	長軸 55 ×短軸 [28] ×深さ 55	楕円形・不整逆台形	
SK12	W50・S130	N-73°　-E	長軸 64 ×短軸 40 ×深さ 22	楕円形・逆台形	
SK13	W50・S130	N-90°	長軸 54 ×短軸 48 ×深さ 12	楕円形・皿形	
SK17	W50・S130 ～ 140	N-6°　-W	長軸 98 ×短軸 54 ×深さ 35	楕円形・不整形	
SK27	W70・S160	N-20°　-E	長軸 108 ×短軸 80 ×深さ 15	不整楕円形・皿形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北半	北東 - 南西	長さ [1.5] ～ [6.3] ×幅 0.13 ～ 0.36	SD1 ～ 9	
Ⅱ群	南半	南北	長さ [1.0] ～ [3.3] ×幅 0.17 ～ 0.41	SD18 ～ 25・SD28	
Ⅲ群	北部 - 南部	不定	長さ 0.8 ～ 3.3 ×幅 0.15 ～ 0.29	SD10・SD14 ～ 16・SD26	

16B1 区Ⅴ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI64(SK79)	E50・N30	N-16°　-E	南北 [4.2] ×東西 [6.2] ×壁高 [0.23]	（隅丸方形）	4 世紀

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD1	E60・N20 ～ 40	N-11°　-W　N-6°　-E	長さ [12.4] ×幅 0.7 ×深さ 0.25	逆台形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	南北	長さ 0.6 ～ [8.7] ×幅 0.15 ～ 0.54	SD2 ～ 4・SD9 ～ 13・SD18・SD32 ～ 37・SD45 ～ 47・SD50・SD57・SD59・SD61・SD66・SD71 ～ 73・SD78・SD80・SD85・SD86・SD89 ～ 91・SD96・SD105・SD107・SD110・SD112	
Ⅱ群	全体		長さ [0.3] ～ [13.1] ×幅 0.14 ～ 0.48		
Ⅱ a 群		N-85°　-W		SD19 ～ 21・SD28・SD31・SD40・SD44・SD54・SD88・SD103	
Ⅱ b 群		N-80°　～ 88°　-E		SD81 ～ 83・SD97・SD99・SD100・SD104	
Ⅱ c 群		N-75°　～ 80°　-W		SD22・SD26・SD29・SD30・SD75・SD77・SD84・SD92・SD101	
Ⅱ d 群		N-80°　～ 90°　-E		SD15・SD23・SD25・SD27・SD38・SD39・SD58	
Ⅱ e 群		N-75°　～ 86°　-E		SD5 ～ 8・SD17	
Ⅱ f 群		-		SD14・SD16・SD24・SD41 ～ 43・SD48・SD49・SD51 ～ 53・SD55・SD56・SD60・SD62・SD63・SD65・SD67 ～ 70・SD74・SD87・SD98・SD106・SD108・SD109・SD111	

16B2 区Ⅴ層

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体		長さ [1.32] ～ [7.91] ×幅 0.17 ～ 0.45		
Ⅰ a 群		N-5°　-E		SD116・SD121・SD127・SD131・SD135・SD137・SD139・SD142・SD144・SD146・SD149	
Ⅰ b 群		N-0°　～ 3°　-W		SD113 ～ 115・SD117 ～ 120・SD122 ～ 126・SD128 ～ 130・SD132 ～ 134・SD136・SD138・SD140・SD141・SD143・SD145・SD147・SD148	

16C1 区Ⅴ層

古墳

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	備　考
1 号墳	E30・S80 ～ 90	-	周溝幅 [3.15] ×深さ 0.65	（円墳）・逆台形	
2 号墳	E130・S90	-	周溝幅 [3.3] ×深さ 0.50	（円墳）・皿形	

第３表　遺構一覧表（3）

16C2 区Ⅴ層

古墳

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	備　考
２号墳					
30 号墳	E150・S100				

16C1・2 区Ⅴ層

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北部－南部	南北	長さ［0.8］～［7.9］×幅 0.23 ～ 0.43	SD1 ～ 3・SD6	
Ⅱ群	北部－南部	東西	長さ［1.0］～［1.6］×幅 0.37 ～ 0.40	SD4・SD5・SD7	

16D 区Ⅲ層

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	柱間数	建物規模（m）	備　考
SB23	E280 ～ 300・S240 ～ 250	N-85°　-W	桁行５間×梁行４間	桁行総長 11.80 ×梁行総長 7.40	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK1	E280・S250	N-5°　-E	長軸 285 ×短軸 124 ×深さ 25	隅丸長方形・逆台形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD5	E300・S230 ～ 240	N-16°　-W	長さ［7.75］×幅 0.3 ～ 0.43 ×深さ 0.28	逆台形	

16D 区Ⅳ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD12	E290 ～ 300・S270	N-88°　-E	長さ［5.65］×幅 1.10 ×深さ 0.46	逆台形	
SD13	E290 ～ 300・S260	N-89°　-W	長さ［4.48］×幅 0.59 ×深さ 0.40	逆台形	
SD14	E290 ～ 300・S250 ～ 260	N-90°	長さ［4.43］×幅 0.72 ×深さ 0.11	逆台形	
SD15	E260・S250	N-38°　-W	長さ［3.15］×幅 0.75 ×深さ 0.30	逆台形	

16D 区Ⅴ層

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北半	南北	長さ［0.4］～［17.5］×幅 0.15 ～ 0.43	SD18 ～ 22	

17A 区Ⅴ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI1	W110・S80	－	－×－×0.34	－	
SI35	W110・S90	N-28°　-W	3.92 × 3.46 × 0.3	隅丸方形	
SI42	W100・S80 ～ 90	N-47°　-W	東西 4.15 ×南北 3.8 × 0.66	（方形）	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD20	W110・S70 ～ 90	N-39°　-E	長さ［11.05］×幅 1.63 ×深さ 0.52	擂り鉢形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	北部－南部	北東－南西	長さ［2.2］～［14.2］×幅 0.29 ～ 0.39	SD2・SD21	
Ⅱ群	全体	北西－南東	長さ［0.5］～［7.2］×幅 0.19 ～ 0.49	SD3 ～ 17・SD22 ～ 34・SD36・SD40	
Ⅲ群	東半	南北	長さ［1.4］～［2.3］×幅 0.19 ～ 0.49	SD38・SD39	

17A 区仮Ｃ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方向	規　模（m）	平面形	備　考
SI41	W100 ～ 110・S80 ～ 90	N-64°　-W	東西 3.5 ×南北 2.9 ×壁高 0.37	不整楕円形	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK43	W110・S80	N-18°　-E	長軸 286 ×短軸［113］×深さ 44	（楕円形）・皿形	

17B 区Ⅴ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK15	W110・S120 ～ 130	N-52°　-W	長軸［114］×短軸－×深さ 26	不整形・不明	
SK19	W110・S130	N-17°　-W	長軸 147 ×短軸［124］×深さ 14	不整形・不明	
SK27	W110・S120	N-43°　-W	長軸 80 ×短軸 54 ×深さ 18	不整形・不明	
SK28	W110・S120	－	長軸－×短軸－×深さ 26	不整形・不整形	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	全体	南北	長さ［1.8］～［21.5］×幅 0.30 ～ 0.75	SD1 ～ 5	
Ⅱ群	南半	北西－南東	長さ［3.5］～［5.0］×幅 0.10 ～ 0.20	SD21・SD22・SD25	
Ⅲ群	全体	北東－南西	長さ［1.0］～［8.1］×幅 0.25 ～ 0.70	SD6 ～ 14・SD16 ～ 18・SD20・SD23・SD24・SD26	

17B 区Ⅷｃ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK30	W110・S130	N-90°	長軸 68 ×短軸［44］×深さ－	不整形・不明	
SK31	W110・S130	N-38°　-W	長軸 176 ×短軸 107 ×深さ－	楕円形・不明	

性格不明遺構

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SX29	W110・S130	N-69°　-W	長軸 518 ×短軸 302 ×深さ 20	楕円形・皿形	

大野田古墳群写真図版

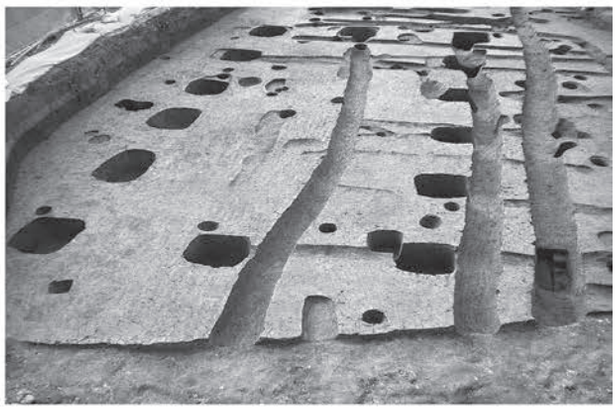
15A 区Ｖ層 調査区西側（東より）

15A 区Ｖ層 調査区東側（西より）

15A 区Ｖ層 調査区北側（南より）

15A 区Ｖ層 SB82（西より）

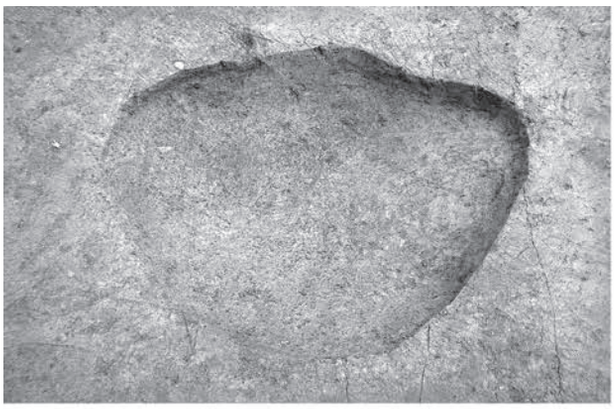
15A 区Ｖ層 SB89（北より）


15A 区Ｖ層 SB133（東より）

15A 区Ｖ層 SK80a（南より）

15A 区Ｖ層 SK80a 遺物出土状況（西より）

写真図版１　大野田古墳群（1）



15A 区Ⅴ層 SK83（西より）

15A 区Ⅴ層 SK83 遺物出土状況（東より）

15A 区Ⅴ層 SK153（西より）

15A 区Ⅴ層 SD117・119（東より）

15B 区Ⅲ層 調査区全景、SD1 ～ 3（東より）

15C 区２区Ⅴ層 調査区全景（西より）

15C 区２区Ⅴ層 SD30 断面（東より）

15C 区２区Ⅴ層 小溝状遺構群検出状況（西より）

写真図版２　大野田古墳群（2）

15C 区２区Ⅴ層 小溝状遺構群（東より）

15D 区Ⅴ層 調査区全景（南より）

15D 区Ⅴ層 38 号墳周溝南側断面（北西より）

15D 区Ⅴ層 38 号墳周溝北側断面（南より）

16A1 区南・北区Ⅴ層 調査区全景（東より）

16A1 区南区Ⅴ層 小溝状遺構群（東より）

16A1 区北区Ⅴ層 小溝状遺構群（東より）

16A1 西区Ⅱｂ層 調査区全景（東より）

写真図版３　大野田古墳群（3）

16A1 西区Ⅲａ層 調査区全景（北東より）

16A1 西区Ⅳａ層 調査区全景（北東より）

16A1 西区Ⅴｂ層 調査区全景（北東より）

16A1 西区Ⅴａ層 調査区全景（北東より）

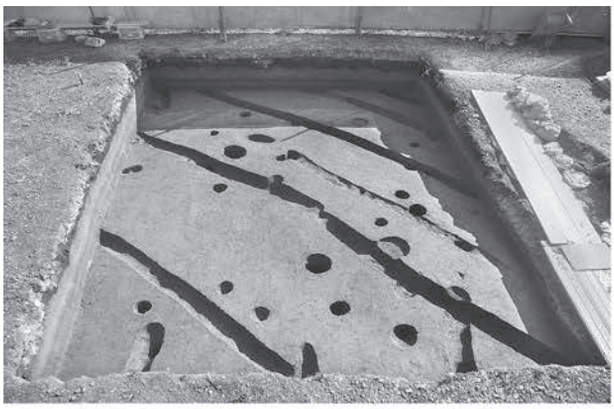
16A1 西区Ⅴａ層 調査区西側（北より）

16A1 西区Ⅵｃ層 SD95・96（西より）

16A1 西区Ⅶ層 調査区全景（東より）

16A2 区南区Ⅴ層 調査区全景（北より）

写真図版４　大野田古墳群（4）



16A2 区北区Ⅴ層 調査区全景（北より）

16A3 区Ⅴ層 調査区南側（東より）

16A3 区Ⅴ層 調査区北側（北より）

16B 区１区Ⅴ層 調査区全景、右下 SB93、SD94・95（西より）

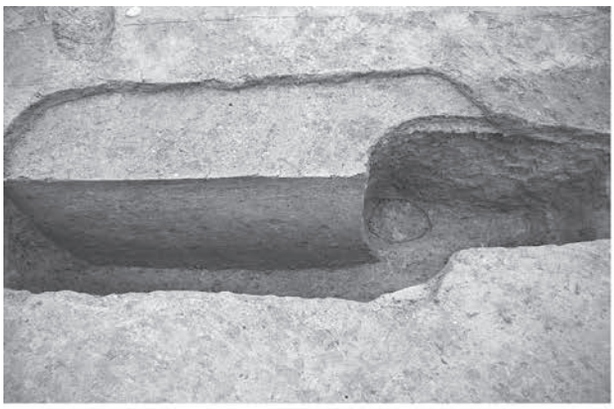
16B 区１区Ⅴ層 調査区東側、SD1・2 付近（南より）

16B 区１区Ⅴ層 SI64（南より）

16B 区１区Ⅴ層 SB93、SD94・95（西より）

16B 区１区Ⅴ層 SB93_P1 検出状況（西より）

写真図版５　大野田古墳群（5）



16B 区１区Ⅴ層 SB93_P1 柱抜き取り痕（南より）

16B 区１区Ⅴ層 SB93_P2（西より）

16B 区１区Ⅴ層 SB93_P2 柱抜き取り痕（西より）

16B 区２区Ⅴ層 調査区全景（西より）

16C 区１区Ⅴ層 調査区全景（北より）

16C 区１区Ⅴ層 １号墳周溝（南より）

16C 区１区Ⅴ層 １号墳周溝遺物出土状況（西より）

16C 区２区Ⅴ層 調査区全景（西より）

写真図版６　大野田古墳群（6）

16C 区２区Ⅴ層 ２号墳周溝（北より）

16C 区２区Ⅴ層 30 号墳周溝（北より）

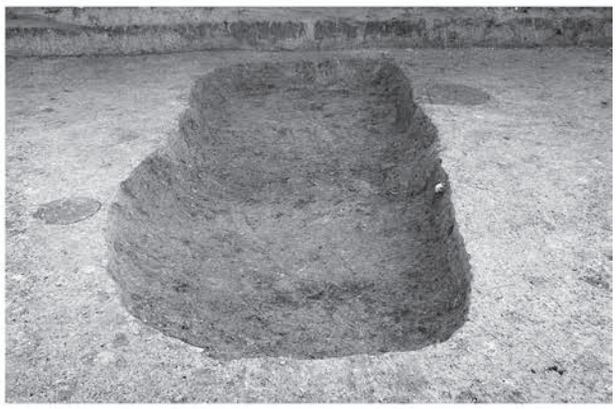
16D 区Ⅲ層 調査区西側（東より）

16D 区Ⅲ層 調査区中央（南より）

16D 区Ⅲ層 調査区南側（北より）

16D 区Ⅲ層 調査区北側（南より）

16D 区Ⅲ層 SB23（南より）

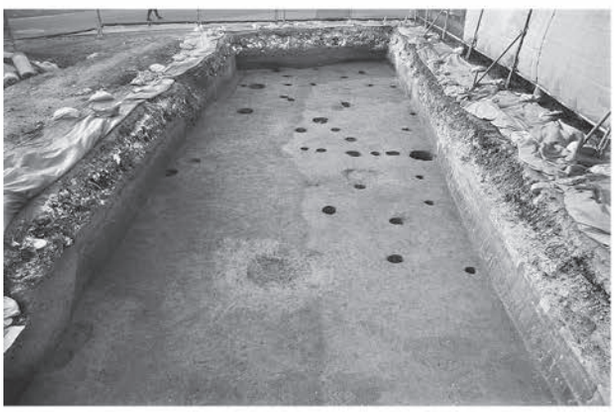


16D 区Ⅲ層 SK1（北より）

写真図版７　大野田古墳群（7）

16D 区Ⅳ層 SD12（西より）

16D 区Ⅳ層 SD13・14（東より）



16D 区Ⅴ層 調査区西側（東より）

16D 区Ⅴ層 調査区中央（東より）

16D 区Ⅴ層 調査区南側（北より）

16D 区Ⅴ層 調査区北側（南より）

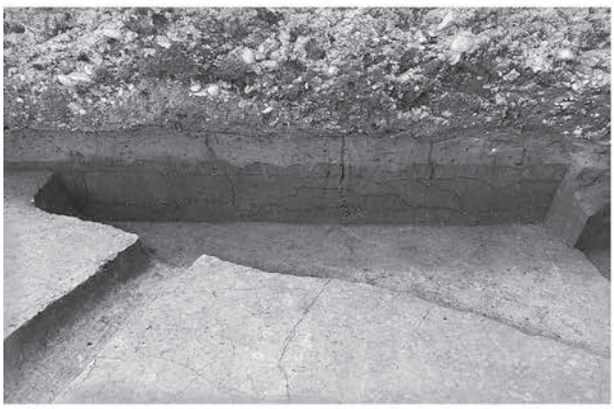
16E 区Ⅴ層 SD1・2（南東より）

16E 区Ⅴ層 SD2 断面（西より）

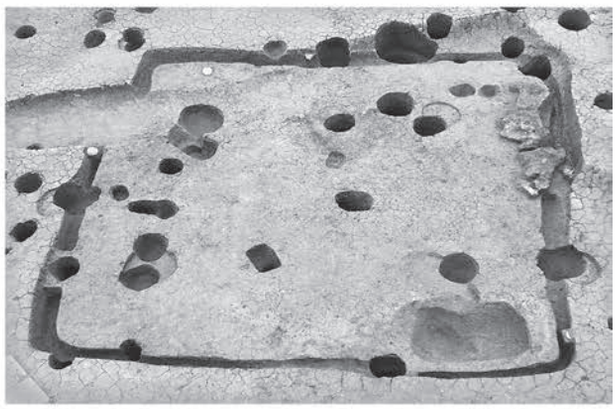
写真図版８　大野田古墳群（8）

16E 区Ⅴ層 SD3、P1・2（西より）

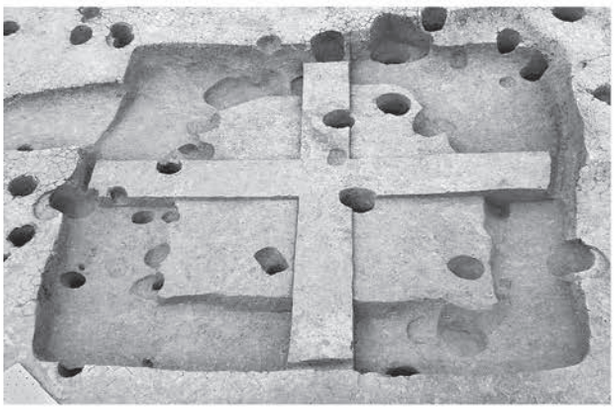
17A 区Ⅴ層 調査区南側（北より）



17A 区Ⅴ層 SI1（東より）



17A 区Ⅴ層 SI35（南東より）



17A 区Ⅴ層 SI35 掘り方（南東より）

17A 区Ⅴ層 SI35 炉（南より）

17A 区Ⅴ層 SI42（北より）

17A 区Ⅴ層 SD20（南西より）

写真図版９　大野田古墳群（9）

17A 区仮 C 層 SI41 ピット（南より）

17A 区仮 C 層 SK43 ～ 46（北より）

17A 区仮 C 層 SK47（東より）

17B 区Ⅴ層 調査区全景（南より）

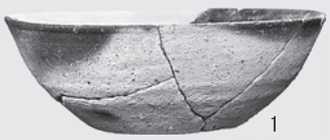
17B 区Ⅴ層 SK19（南より）

17B 区Ⅷｃ層 調査区全景（南より）

17B 区Ⅷｃ層 SK31（西より）

17B 区Ⅷｃ層 SX29（南より）

写真図版 10　大野田古墳群（10）


1
（第 9 図 4）

2
（第 9 図 1）

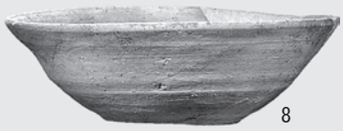
3
（第 9 図 2）

4
（第 9 図 3）

5
（第 9 図 5）

6
（第 9 図 7）

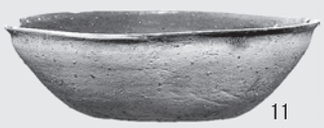
7
（第 9 図 8）


8
（第 10 図 3）

9
（第 10 図 1）

10
（第 10 図 2）

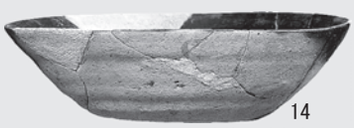
15A 区Ⅴ層 SK80（1 ～ 10）

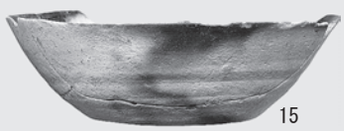

11
（第 9 図 6）

12
（第 10 図 4）

13
（第 10 図 5）

15A 区Ⅴ層 SK83（11 ～ 13）


14
（第 12 図 2）


15
（第 12 図 5）

16
（第 12 図 3）

17
（第 12 図 4）

18
（第 12 図 8）

19
（第 12 図 7）

20
（第 12 図 6）

21
（第 12 図 1）

15A 区Ⅳ層遺構外（14 ～ 21）

写真図版 11　大野田古墳群出土遺物（1）

1
（第 12 図 9）

2
（第 12 図 10）

3
（第 12 図 11）

15A 区Ⅳ層遺構外（1 ～ 3）

4
（第 21 図 1）

15D 区Ⅴ層 38 号墳周溝

5
（第 27 図 1）

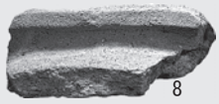
16A1 区Ⅴ層 P92

6
（第 28 図 1）

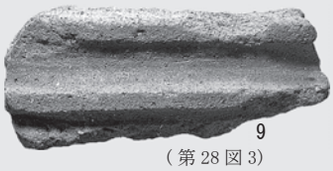
16A1 区Ⅳ層遺構外

7
（第 25 図 1）

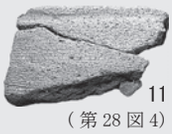
16A1 北区Ⅴ層 33 号墳周溝


8
（第 26 図 1）

16A1 北区Ⅴ層 SD16


9
（第 28 図 3）

10
（第 28 図 2）


11
（第 28 図 4）

12
（第 28 図 5）

16A1 北区Ⅳ層遺構外（9 ～ 12）

13
（第 28 図 6）

16A1 南区Ⅳ層遺構外

14
（第 30 図 1）

16A2 区Ⅴ層 SD26

写真図版 12　大野田古墳群出土遺物（2）

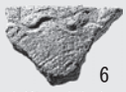
1
（第 36 図 1）

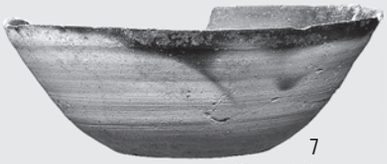
2
（第 36 図 2）

16B1 区Ⅴ層 SI64（1・2）

4
（第 38 図 1）

5
（第 38 図 2）


6
（第 38 図 3）


7
（第 38 図 5）

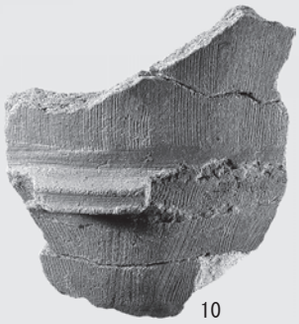
16B1 区Ⅳ層遺構外（4 ～ 7）

8
（第 38 図 4）

16B2 区Ⅳ層遺構外

9
（第 42 図 1）

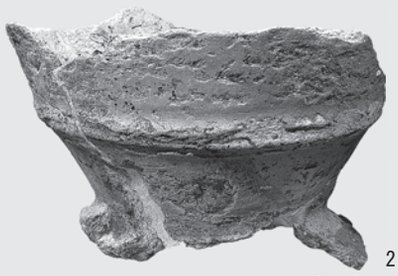
11
（第 42 図 2）


10
（第 43 図 1）

16C1 区Ⅴ層 1 号墳周溝（9 ～ 11）

写真図版 13　大野田古墳群出土遺物（3）

1
（第 45 図 2）



2
（第 45 図 1）

16C2 区Ⅴ層 2 号墳周溝（1・2）

3
（第 47 図 1）

16C2 区Ⅲ層遺構外

4
（第 61 図 1）

17A 区Ⅴ層 SD20

5
（第 59 図 1）

17A 区Ⅴ層 SD35

6
（第 64 図 1）

17A 区Ⅰ層遺構外

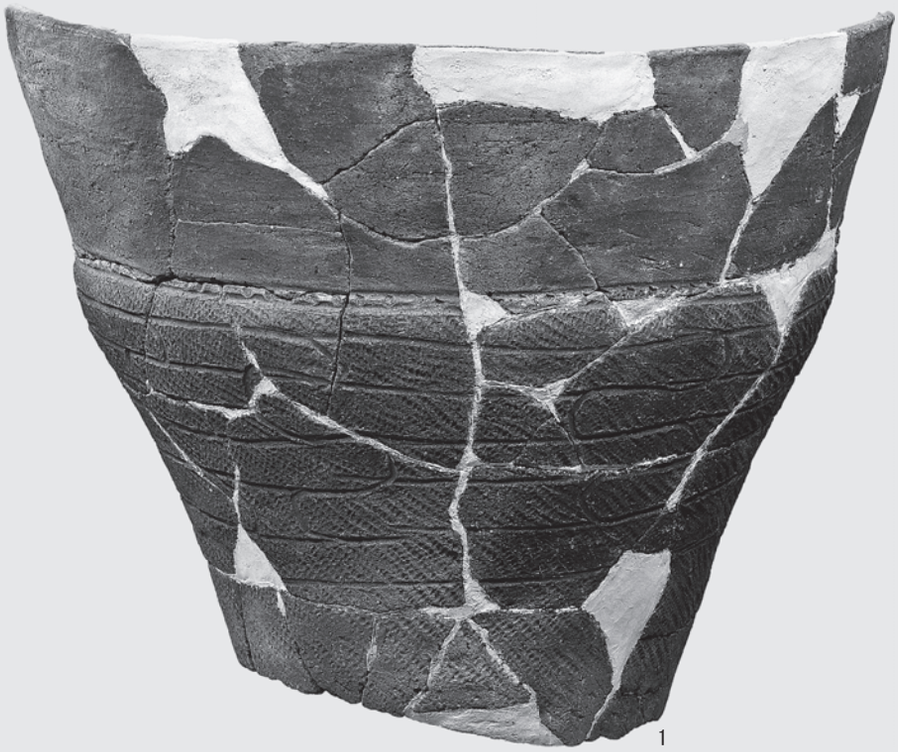
7
（第 68 図 1）

17B 区Ⅴ層 SD14

8
（第 71 図 1）

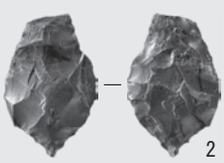
17B 区Ⅷc 層 SX29

写真図版 14　大野田古墳群出土遺物（4）



1
（第 72 図 1）

17B 区Ⅷ c 層 SK30



2
（第 73 図 2）

17B 区Ⅷ d 層遺構外

写真図版 15　大野田古墳群出土遺物（5）

第６節　袋前遺跡

1．調査要項

(1) 遺 跡 名：袋前遺跡（宮城県遺跡登録番号 01439）

(2) 所 在 地：仙台市太白区大野田字袋前

(3) 調査面積：約 48 ㎡

・平成22年度：約48㎡（6区）

(4) 調査主体：仙台市教育委員会

(5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課

(6) 担当職員

・平成22年度：平間亮輔

（派遣調査員：菊地　豊／㈱三協技術）

(7) 調査期間

（野外調査）・平成22年度：平成22年10月20日～11月8日

2．6区の調査

基本層Ｖ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、土坑1基、性格不明遺構1基、小溝状遺構群1群2条、ピット45基を検出した。

（１）Ｖ層検出の遺構と遺物（第１図）

小溝状遺構群（第1図）

調査区北側で検出した。ピット群、SD1溝跡と重複し本小溝状遺構群が古い。南北方向の2条である。

遺物は土師器・須恵器片が出土した。

3．ま　と　め

袋前遺跡は、仙台市太白区大野田字袋前にあり、自然堤防に立地する。標高は11.3m前後である。平成22年度に6区の調査を行なった。合計面積は約48㎡である。各遺構検出面から、古墳時代から古代の遺構群を検出した。

（１）遺構について

1）古墳時代から古代の遺構は、基本層Ｖ層上面で検出した。

6区－土坑1基、性格不明遺構1基、小溝状遺構群1群、ピット45基

（２）遺物について

袋前遺跡からは基本層Ｖ層からわずかに出土した。

1）古墳時代から古代と考えられる土師器・須恵器片が基本層Ｖ層の小溝状遺構群とピット群内から出土した。

第１表　遺構一覧表

6区Ｖ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SK5	E320・N60	N-89°-W	長軸 200 ×短軸 50 ×深さ 10	長楕円形・-	

性格不明遺構

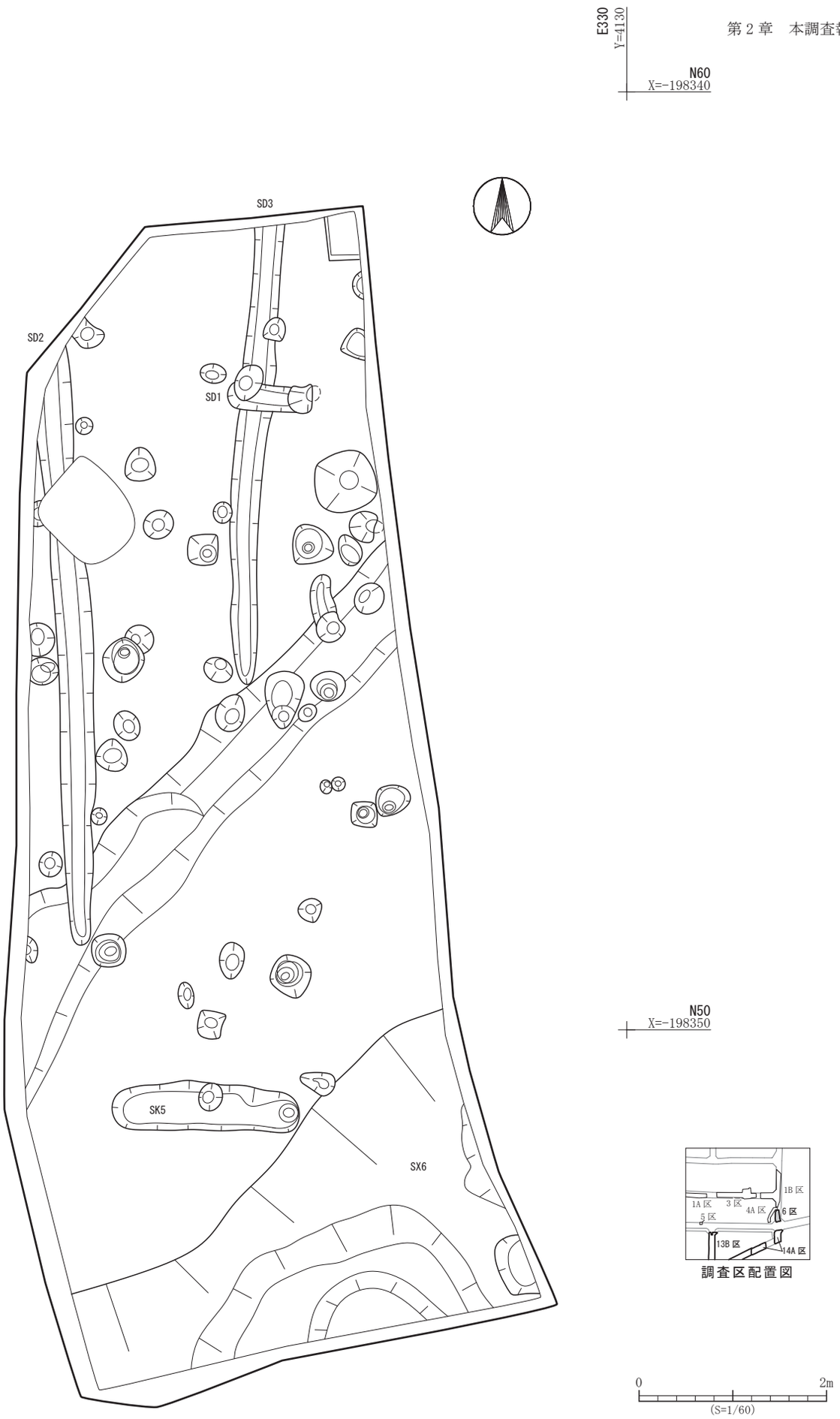
遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	備　考
SX6	E320・N50 ～ 60	-	長軸［480］×短軸［320］×深さ 20	不整形・-	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD1	E320・N60	-	長さ 0.85 ×幅 0.3 ×深さ -	-	

小溝状遺構群

小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ｉ群	北半	南北	長さ［4.9］～［6.0］×幅 0.32 ～ 0.38	SD2・SD3	



第１図　袋前遺跡６区Ⅴ層遺構配置図

第７節　伊古田Ｂ遺跡

1．調査要項

(1) 遺 跡 名：伊古田Ｂ遺跡（宮城県遺跡登録番号 01480）
(2) 所 在 地：仙台市太白区大野田字皿屋敷
(3) 調査面積：約 142 ㎡
　　・平成22年度：約142㎡（5区）
(4) 調査主体：仙台市教育委員会
(5) 調査担当：仙台市教育委員会文化財課
(6) 担当職員
　　・平成22年度：川本剛史
(7) 調査期間
（野外調査）・平成22年度：平成22年8月18日～9月8日

2．5区の調査

調査区は2地区に分かれ、それぞれ東・西区と呼称した。

基本層Ⅳa層上面（古代の遺構検出面）において、溝跡2条を検出した。Ⅳb層上面では、溝跡3条、小溝状遺構群1群10条を検出した。Ⅴ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）では、ピット25基を検出した。

（１）Ⅳａ層検出の遺構と遺物（第１・２図、写真図版 1）

SD2溝跡（第2図、写真図版1）

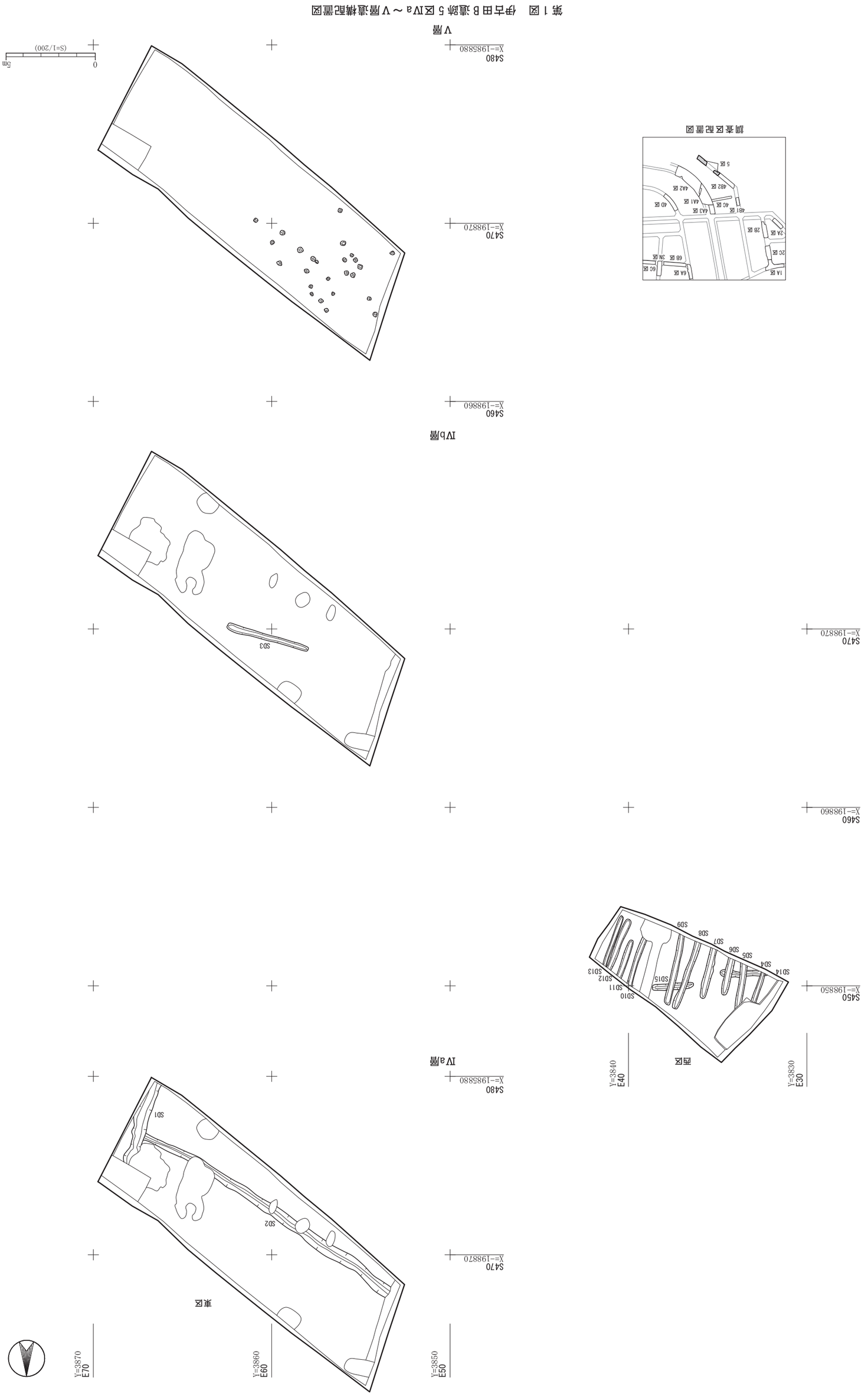
東区調査区中央E50～60・S460～470グリッドで検出した。SD1溝跡と重複し本溝跡が古い。主軸方向はN-58°-Wである。検出長は16.26m、溝幅は86cmである。断面形は逆台形を呈し、深さ40cmである。堆積土は3層に分けられ、自然堆積である。

（２）Ⅳｂ層検出の遺構と遺物（第１図、写真図版 1）

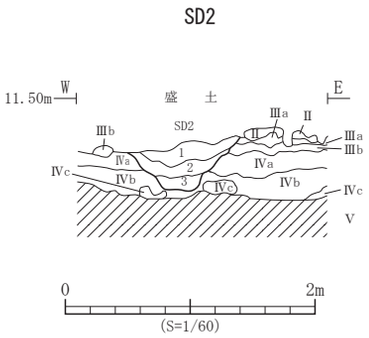
西区で南北方向の小溝状遺構群Ⅰ群10条を検出した。東西方向のSD14・15溝跡より新しい。小溝状遺構群は断面観察からⅣa層も切っておりⅢb層から掘り込まれていることが確認されている。

（３）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第１図、写真図版 1）

東区西側でピット25基を検出した。いずれも小ピットで規則性はない。



第１図　伊古田Ｂ遺跡５区IVa～Ⅴ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD2	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	褐色シルトブロックを少量含む
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	褐灰色粘土ブロック、にぶい黄褐色シルトブロックを少量含む

第２図　SD2 溝跡断面図

3. ま　と　め

伊古田B遺跡は、仙台市太白区大野田字皿屋敷にあり、自然堤防に立地する。標高は11.9m前後である。平成22年度に5区の調査を行った。合計面積は約142㎡である。各遺構検出面から、古墳時代、古代の遺構群を検出した。

（１）遺構について

1）古代の遺構は、基本層Ⅳa・Ⅳｂ層上面で検出した。

5区－溝跡2条（Ⅳa層上面）

5区－溝跡3条、小溝状遺構群Ⅰ群（Ⅳb層上面）、西区の小溝状遺構群Ⅰ群10条はⅢｂ層から掘り込まれていることが確認され、古代末葉から中世にかけての遺構と考えられる。

3）古墳時代から古代の遺構は基本層Ｖ層上面でピット25基を検出した。

（２）遺物について

伊古田B遺跡からは基本層Ⅳa・Ⅳｂ・Ｖ層からわずかに土器片が出土した。

1）古墳時代から古代と思われる土器片が基本層Ⅳa・Ⅳｂ・Ｖ層などからわずかに出土した。

第１表　遺構一覧表

5区Ⅳａ層
溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD1	E60・S470	N-19°　-E	長さ［4.8］×幅［0.86］×深さ－	－	
SD2	E50 ～ 60・S460 ～ 470	N-58°　-W	長さ［16.26］×幅 0.86 ×深さ 0.4	逆台形	

5区Ⅳｂ層
溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	断面形	備　考
SD3	E50 ～ 60・S460	N-75°　-W	長さ 4.8 ×幅 0.3 ×深さ－	－	
SD14	E30・S450	N-89°　-E	長さ［3.8］×幅［0.4］×深さ－	－	
SD15	E30・S450	N-89°　-E	長さ 2.5 ×幅 0.4 ×深さ－	－	

小溝状遺構群

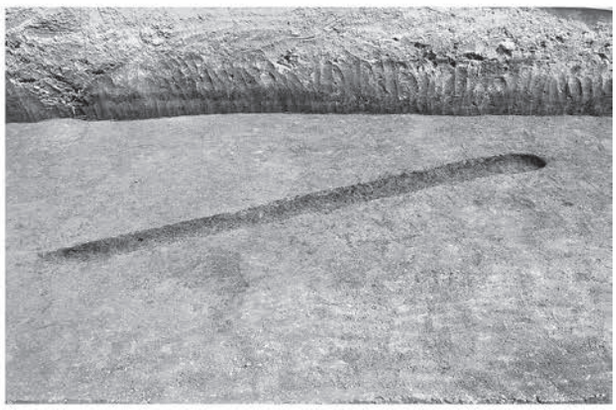
小溝状遺構群	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	遺構番号	備　考
Ⅰ群	西区全体	南北	長さ［1.7］～［4.0］×幅 0.20 ～ 0.45	SD4 ～ 13	

伊古田Ｂ遺跡写真図版

5 区東区Ⅳ a 層 調査区全景（北西より）

5 区東区Ⅳ a 層 SD1（北より）

5 区東区Ⅳ a 層 SD1 検出状況（北より）



5 区東区Ⅳ b 層 SD3（南西より）

5 区東区Ⅴ層 調査区西側（北西より）

5 区西区Ⅳ b 層 調査区全景（北西より）

5 区西区Ⅳ b 層 調査区遺構検出状況（西より）

5 区西区Ⅳ b 層 小溝状遺構群断面（北より）

写真図版１　伊古田 B 遺跡

第3章　総　　括

第1節　富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡の調査成果

本事業に伴う本発掘調査は、平成7年度から平成25年度にかけて実施した。全部で14遺跡、183箇所の調査区で本発掘調査を行い、本書を含め6冊の発掘調査報告書を刊行した。

以下、本事業区域内の発掘調査にもとづいた時代ごとの概要をとりまとめてみたい。

1．縄文時代

本事業区域内で最も古い時代の遺物は、中期前半から中葉の土器である。下ノ内遺跡1B区Ⅺ層を中心に、口縁部に縄文原体側面圧痕を施す中期前半大木7b式古段階の深鉢形土器と大木8b式の深鉢形土器が出土した。該期の遺構は検出されなかった〔仙台市教委　2011〕。

中期末葉では、大木10式期の竪穴住居跡を下ノ内遺跡2C区Ⅻ層で2軒、8区Ⅸ層で7軒、9区Ⅸ層で1軒検出された〔仙台市教委　2011・2013・2017〕。竪穴住居跡の炉跡は9区の土器埋設炉を除き、他は複式炉である。2C区SI227・8区SI180竪穴住居跡の2軒は敷石住居である。2C区SI227・8区SI169竪穴住居跡の出土遺物には、口縁部や胴部に小突起や刺突文が認められる土器があり、大木10式でも最も新しい時期の段階と考えられ、後期初頭への移行期と考えられる。埋設土器遺構についても同時期と考えられ、2C区Ⅺ層で5基、4B区Ⅶ層で1基、8区Ⅸ層で3基検出された。8区Ⅷ層では同時期の遺物包含層が検出された。

後期初頭から前半にかけての遺構は、六反田遺跡7F2東・西区Ⅷ層を中心とした範囲で、竪穴住居跡9軒、掘立柱建物跡4棟、埋設土器遺構6基が検出された。竪穴住居跡の炉跡は地床炉、土器埋設炉、石囲炉である。当該時期の遺物包含層から大木10式から漸移変化した方形区画文や刺突文を施す土器群、綱取Ⅰ式後半からⅡ式前半にかけての土器群、門前系の土器群が出土し、後期前半には綱取Ⅱ式前半の土器が主体になる〔仙台市教委　2017〕。

後期中葉初頭では、下ノ内遺跡8区Ⅶ層で、埋設土器遺構、炉跡、土坑などが検出され、同じく7A区・8区Ⅵ層で当該期の遺物包含層が検出された。遺物包含層はほぼ後期中葉初頭の遺物で構成され、土器は後期中葉宝ヶ峯式土器へと移行する直前段階のものであり、打製石器には接合資料も見られる。また、下ノ内遺跡7A区Ⅶ層で集石が検出され、下部に土坑が検出された。詳細は不明であるが、各々関係する可能性がある。

後期中葉では、大野田古墳群2H区Ⅷ層から宝ヶ峯式前後の土器・土製品が出土した。土製品には土偶が見られる。

後期後半から晩期については、六反田遺跡5次調査（1A・1B・1C深堀区）Ⅵ層及び旧河川等から金剛寺式土器、大洞式土器が出土している〔仙台市教委　2000〕。

以上のように縄文時代の遺構、遺物は、本事業地域内の北西部、下ノ内遺跡、六反田遺跡を中心に検出されており、他の地域では僅かに見られるのみであるが、地下鉄南北線の発掘調査で、伊古田遺跡から後期中葉の遺物包含層が検出され、旧笊川以北の下ノ内浦遺跡では後期前半の遺物包含層と配石遺構群が検出されている。さらに本事業地東に隣接する大野田遺跡、王ノ壇遺跡で後期前半及び中葉の祭記遺構、遺物包含層が検出されている。このことから、本事業地及び周辺地域は縄文時代中期末葉から後期後葉にかけて集落の変遷をたどることが可能な地域であると考えられる。

2．弥生時代

遺構は検出されていない。古墳時代以降の遺構などから中・後期の土器、土製の紡錘車、アメリカ式石鏃、石庖丁が出土した。土器は中期後半から後期の土器が主体である。

3．古墳時代

前　期

4世紀の竪穴住居跡を検出した。4世紀前半頃の遺物は、大野田古墳群14A区SI48竪穴住居跡、六反田遺跡7F2西区SI7竪穴住居跡で出土した〔仙台市教委　2017〕。4世紀後半から末葉頃の遺物は、大野田古墳群2I区SI89竪

穴住居跡、大野田古墳群12A区SI46・47・53竪穴住居跡、12D区SI36竪穴住居跡などで出土した〔仙台市教委　2000・2017〕。2I区SI89竪穴住居跡からは竪櫛が出土している。六反田遺跡8C区では4世紀後半から末葉頃の区画溝を検出した〔仙台市教委　2017〕。前期の竪穴住居跡は、本事業区域南側の下ノ内遺跡・伊古田遺跡・大野田古墳群を中心に検出されている。

古墳は検出されていない。

中　期

5世紀前半の竪穴住居跡・古墳は共に検出されていない。

5世紀後半の竪穴住居跡を検出した。

5世紀後半頃の遺物は、下ノ内遺跡1B区SI51・52竪穴住居跡、8区SI104竪穴住居跡、六反田遺跡4A区SI20、5A区SI1竪穴住居跡、六反田遺跡8C区SI4竪穴住居跡などで出土した〔仙台市教委　2011・2013・2017〕。下ノ内遺跡1B区SI51竪穴住居跡からは、陶邑編年Ⅰ型式の4～5段階頃と考えられる須恵器甕と蓋が出土している。該期の竪穴住居跡は、本事業区域西側の下ノ内遺跡・六反田遺跡を中心に検出されている。

古墳は、春日社古墳、鳥居塚古墳、王ノ壇古墳、五反田古墳、大野田1～3号墳、10～26号墳、28～39号墳を検出した〔仙台市教委　1983・1987・2000・2011・2017〕。なお、大野田4・5～9・27号墳は〔仙台市教委　1987・1999・2000〕で報告されている。墳形は、鳥居塚古墳が前方後円墳、他は円墳と考えられる。規模は、春日社古墳が径46ｍ、鳥居塚古墳が長さ37ｍ、他は径31ｍ以下である。春日社古墳の第2主体部からは革盾と鉄鏃、鉄矛が出土した。埴輪を持つ古墳が多く、埴輪を持たないと考えられる古墳は3・6・7・9・12・16～20・39号墳で、径15ｍ未満の小円墳が多い。形象埴輪は、春日社古墳・鳥居塚古墳・10・11・33・37号墳で出土している。

後　期

6世紀から7世紀中葉にかけての竪穴住居跡は検出されていない。

後期と考えられる木棺墓を7基検出した。大野田1号木棺墓の棺内からは人骨と礫が出土した〔仙台市教委　2000〕。大野田古墳群9A区では2基並んだ状態で検出した。SK446木棺墓では、袋状掘り込み内から6世紀中葉頃の土師器甕・坏、須恵器短頸壺が、棺内から鉄鏃・刀子が出土した。SK475木棺墓の棺内からは刀子、不明鉄製品が出土した。袋状掘り込みの有無は新しい時期の遺構との重複により不明である〔仙台市教委　2011〕。大野田古墳群12A区SK42木棺墓では副葬品などは出土していない〔仙台市教委　2017〕。六反田遺跡7F1南区SK9木棺墓では、袋状掘り込み内から6世紀中葉頃の土師器壺・坏が、棺内からは銅鏡・管玉・ガラス小玉・小礫が出土した〔仙台市教委　2017〕。六反田遺跡7F2東区SK3木棺墓の棺内からは管玉とガラス小玉が出土した〔仙台市教委　2017〕。六反田遺跡7F2東区SK147木棺墓では副葬品などは出土していない〔仙台市教委　2017〕。このほか六反田遺跡1次調査では五反田木棺墓とともに石棺墓が検出されている〔仙台市教委　1981〕。

ほかに県内では加美町（旧宮崎町）米泉館跡で木棺の痕跡を残す土壙墓が3基検出されている。その内1基は袋状掘り込みを有している〔宮崎町教委　1996〕。この袋状掘り込みは、北海道や東北北部の文化の影響と考えられ、本事業区域内の六反田遺跡・大野田古墳群の検出例が最も南のものである。

4. 古　代

本事業区域の北東側約1.5㎞に位置する郡山遺跡では、7世紀中葉頃にⅠ期官衙が成立し、7世紀末葉頃に成立するⅡ期官衙は多賀城以前の陸奥国府と考えられている。また、西台畑遺跡や長町駅東遺跡では、7世紀前半から8世紀にかけて周囲に区画溝を伴う官衙造営に関わる集落跡が検出されている〔仙台市教委　2008・2010〕。

大野田官衙遺跡は、郡山Ⅱ期官衙とほぼ同時期、7世紀末葉から8世紀初頭頃成立し、8世紀第2四半期には廃絶していたものと考えられている〔仙台市教委　2011〕。官衙施設は、区画溝と側柱の掘立柱建物跡3棟、総柱の掘立柱建物跡2棟を検出した。官衙区画溝内に位置する六反田遺跡2B区SK180土坑から8世紀第2四半期以前と考えられる平瓦が出土した〔仙台市教委　2017〕。官衙北側区画溝の西側延長上で六反田遺跡6A区SD1溝跡を検出した〔仙台市教委　2017〕。官衙西側区画溝の西側で区画溝の可能性がある六反田遺跡6A区SD32溝跡、6B3区SD53溝跡、大野田古墳群15A区SD125溝跡を検出した〔仙台市教委　2017〕。これらにより、官衙区画の西側に溝により区画され

た地区が存在する可能性が考えられる。

本事業区域内でも、7世紀後半以降の竪穴住居跡が多く検出されている。王ノ壇遺跡1次調査SI201竪穴住居跡の出土遺物は7世紀第3四半後半から第4四半期前半頃と推定されている〔仙台市教委　2000〕。大野田官衙期頃の竪穴住居跡としては、官衙の南西側に位置する下ノ内遺跡2C区SI208・209・210・212、9区SI2・8・16・19・29竪穴住居跡、西側に位置する六反田遺跡7F2東区SI140竪穴住居跡などが検出された〔仙台市教委　2011・2017〕。下ノ内遺跡9区SD13溝跡からは、口縁部付近に2条の沈線を施す東北北部系の土師器甕が出土した。本来は、この溝跡に切られたSI16竪穴住居跡の遺物と考えられる。その後、8世紀前半以降、10世紀にかけて集落は継続して営まれ、8世紀末葉以降、ロクロ土師器の普及と共に集落は拡大する。六反田遺跡7E区SK3土坑、7F1北区SI45竪穴住居跡、SK51土坑、7F1中区SX6性格不明遺構、大野田古墳群15A区SK80・83土坑から「方」・「取」と書かれた9世紀後半頃の墨書土器が出土した〔仙台市教委　2017〕。大野田古墳群15A区で9世紀頃と考えられる周囲を小溝で区画するSB10・133掘立柱建物跡を検出した〔仙台市教委　2017〕。六反田遺跡4A区SK4土坑からは、10世紀前半頃の土師器や赤焼土器が多量に出土しており、一括廃棄されたものと考えられる〔仙台市教委　2017〕。六反田遺跡6B3区で埋設土器遺構を検出した。赤焼土器高台坏を逆位で据え、高台内に赤焼土器小皿を正位で据えている。時期は10世紀末葉前後と考えられる〔仙台市教委　2017〕。古代の竪穴住居跡は、古墳が分布する範囲を除き、本事業区域のほぼ全域で検出された。

生産跡では主に小溝状遺構群を検出した。

5．中　世

王ノ壇遺跡では、武士の屋敷跡を通過する主要道路跡2条、枝道3条を検出した。いずれの道路も両側に側溝を有する。主要道路は両側溝間が2.8～4.2ｍあり、使用年代は13世紀後半から14世紀前半と推定され、「奥大道」の可能性が指摘されている〔仙台市教委　2000〕。伊古田遺跡4A2区で竪穴建物跡6棟を検出した。遺物はほとんど出土していない〔仙台市教委　2017〕。伊古田遺跡5B区SD21・22溝跡から12世紀後半から13世紀中葉にかけての常滑製品が出土した〔仙台市教委　2017〕。元袋遺跡1区でSK19・130火葬遺構を検出した〔仙台市教委　2017〕。

6．近　世

元袋遺跡1区では屋敷跡の堀跡と考えられるSD1溝跡を検出し、下駄などの木製品、編組製品が出土した〔仙台市教委　2017〕。大野田古墳群7区Ⅳ層検出のSB382掘立柱建物跡の柱穴から内面に「小麦」「小豆」と墨書された近世かわらけが出土した。SK378・381土坑からは寛永通宝が出土した。新寛永通宝を伴うことから18世紀以降の墓壙と考えられる〔仙台市教委　2011〕。

第2節　小溝状遺構群と性格不明遺構について

本事業区域内のほぼ全域で小溝状遺構群を検出した。検出面は、主にⅣ・Ⅴ層上面で、一部、Ⅲ層あるいはⅥ層上面でも検出されている。

小溝状遺構群は、上端幅0.30～0.40ｍ、深さ0.15～0.20ｍほどの細長い溝が、1.50ｍ前後の間隔で複数条平行して掘られるものである。本事業区域内ではほとんどの地区にあり、複数回重複するなど濃密な分布が見られる。

いずれも調査区が狭小で全体が把握できるものはほとんどないが、大野田官衙遺跡と大野田古墳群付近で検出した小溝状遺構群は、東西南北の方位を意識して小溝もほぼ等間隔で整然と掘削されているものが多いのに対して、下ノ内遺跡と伊古田遺跡付近で検出した小溝状遺構群は、主軸方向、小溝の長さ・間隔など全体としてやや雑然とした印象のものが多い。時期がわかるような遺物の出土はないが、本事業区域内では、遺構の重複関係から概ね8～9世紀の時期と考えられる。

また、小溝状遺構群とは別に、性格不明遺構と呼称した平行して群をなす溝状の遺構群が大野田官衙遺跡の北側からまとまって検出されている。

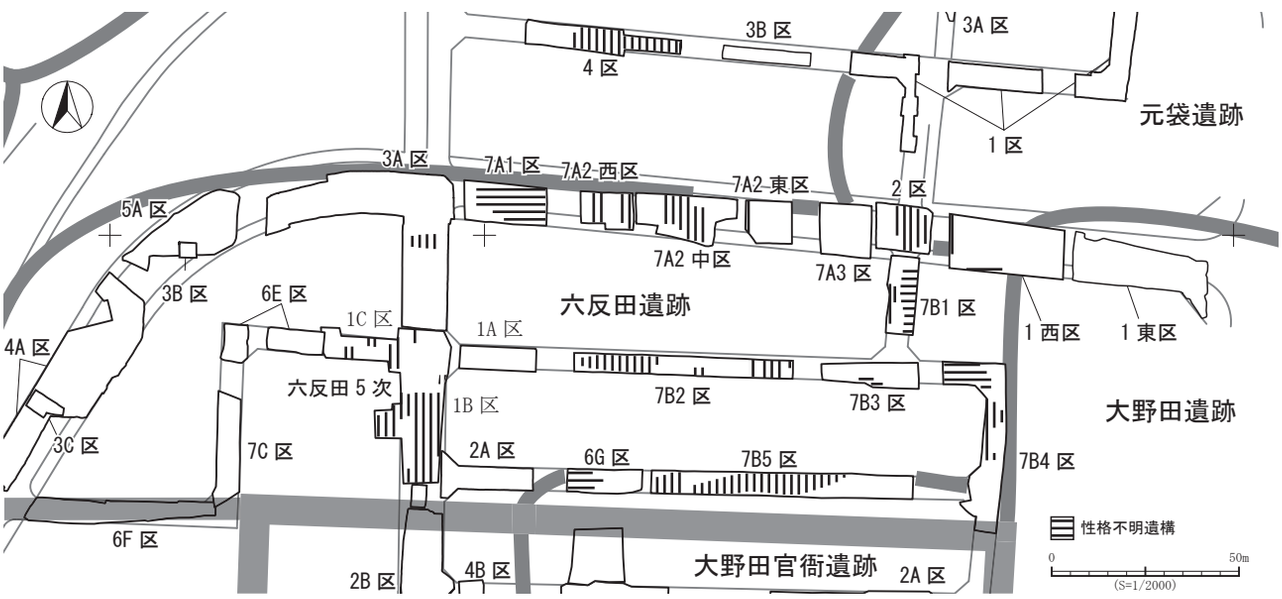
本事業区域内で検出した性格不明遺構のうち、ここで述べる性格不明遺構は、上端幅0.50～1.00ｍ、深さ0.10

～ 0.70 mほどの不整形な溝状の掘り込みが、1.50 m前後の間隔で複数条平行して掘られるものである。底面は凹凸が著しくピット状の落ち込みが多く見られ、平面形も不整形で列状はなすもののピットが帯状に連続したような不連続な箇所も見受けられる。小溝状遺構群に類似した遺構であるが、明らかに規模や形状が異なる。溝状に延びる方向は東西方向と南北方向の二つが確認できるが、性格不明遺構同士が重複する状況は見られない。元袋遺跡４区（第２章第２節第３図、写真図版１）や六反田遺跡 7B5 区（第２章第３節第 32 図、写真図版６）で検出されたものが、ここで述べる性格不明遺構の典型的な遺構形状を示すものである。

同遺構の存在が確認されているのは、大野田官衙遺跡の北辺区画溝の北側に位置する大野田遺跡１区西区、元袋遺跡２・４区、六反田遺跡５次調査（1A・1B・1C 区）、3A 区、6G 区、7A1 区、7A2 西・中・東区、7B1・2・3・4 区、7B2・3・4・5 区で、一部の例外を除き、いずれもＶ層上面で検出した〔仙台市教委　2000・2013・2017〕。本事業区域内における同遺構の分布は、大野田官衙遺跡の北側、東西約 2.0km、南北約 1.4km という限られた範囲に限定される。

性格不明遺構の時期を示すような遺物の出土はほとんどないが、六反田遺跡 7B3 区の SX36 性格不明遺構からは８世紀前半頃の須恵器坏が出土している〔仙台市教委　2017〕。遺構の重複関係を見ると、同遺構より新しいものとして六反田遺跡 1B 区 SI111 竪穴住居跡（8 世紀中葉頃）が、同遺構より古いものとして六反田遺跡 1B 区 SX49 竪穴遺構（8 世紀前葉）があり〔仙台市教委　2000〕、これら性格不明遺構は８世紀第２四半期頃のものと考えられる。

性格不明遺構の性格については、遺構の形状から畑など耕作に伴うものである可能性を想定しておきたいが、判断材料に乏しく現状では判定できない。



第１図　性格不明遺構の分布模式図

第３節　木棺墓出土の管玉・ガラス小玉について

本事業関係遺跡の調査では、本書掲載の六反田遺跡7F1南区、7F2東区より6世紀中頃と考えられる木棺墓2基から副葬品として管玉（15点）とガラス小玉（81点）が出土した。その内訳は、7F1南区SK9木棺墓から管玉10点（欠損1点含む）、ガラス小玉9点、7F2東区SK3木棺墓から管玉6点、ガラス小玉79点とその破片少量である。ここでは、管玉とガラス小玉について肉眼による観察結果をまとめることとする。

1．管玉について

出土した管玉はすべて碧玉製で片側穿孔である。片面の孔はほぼ中央にあって径が広く（以下、上面）、もう片面の孔は中心からずれて径が狭い（以下、下面）ことから、上面から穿孔したものと考えられる。また、下面の孔の端部にごく浅い皿状を呈する窪みを持つ個体が両遺構ともに半数以上確認されており、意図的に加工されたものと推

測される。県内では、加美町（旧宮崎町）の米泉館跡の出土品に同様の窪みを持つ類例がみられる〔宮崎町教委1995〕。上・下面の外縁部には使用によると思われる摩滅が確認される。

近隣からは、未製品や砥石、粗割の際にでる剥片などが出土していないことから搬入品と考えられる。

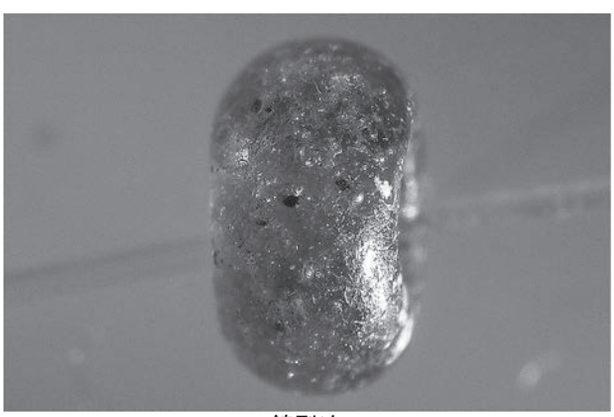
2. ガラス小玉について

（1）観察方法

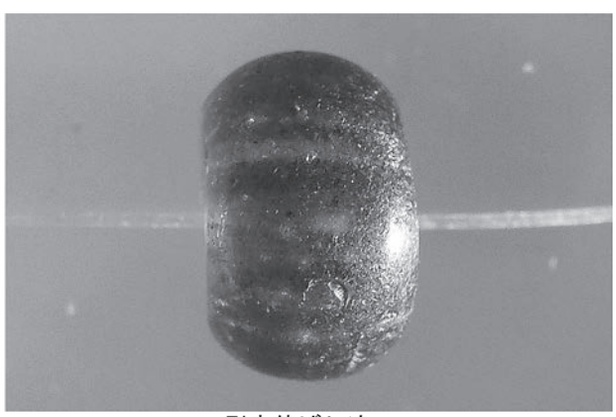
ガラス小玉の大きさ、色調、透明度、製作技法の判別は肉眼観察で行った。大きさは、最大径と厚さをデジタルノギスを用いて計測した。ガラス小玉の色調は、青・青緑・緑の3種類で、青は半透明と不透明とに細分した。

製作技法については、ガラス小玉内で確認される気泡の配置、不純物・亀裂の有無、孔壁面の凹凸をガラス小玉に光を透過させて観察した。

ガラス小玉の製作技法は、これまでに鋳型法、引き伸ばし法、巻き付け法などが知られる。鋳型法は、粘土に多数の凹みをあけて芯棒を中心に置いたものを鋳型として、材料となる細かく砕いたガラス片を詰めて鋳型ごと加熱する技法で、溶解が十分でない場合、気泡が不規則になることや、色のムラ、孔壁面の凹凸、突起、亀裂が多数みられる。引き伸ばし法は、加熱して軟化させたガラスを別に用意した管の先につけて引き伸ばし、一旦、細いガラスの管を製作し、それを輪切りに切り離して小玉を製作する技法である。ガラスを引き伸ばした際、孔に平行する気泡の列がガラス内に生成される。孔壁面は平滑となる。また、切り離し後、再度加熱することによって丸味を帯びた小玉とする場合がある。巻き付け法は、細い棒に軟化させたガラスを1個ずつ巻き付けていく技法で、気泡が孔の周囲を回る気泡の列が生成される。ガラス小玉は、以上の3種の技法を想定して観察を行った。



鋳型法



引き伸ばし法

第2図　ガラス小玉の製作技法（倍率不同）

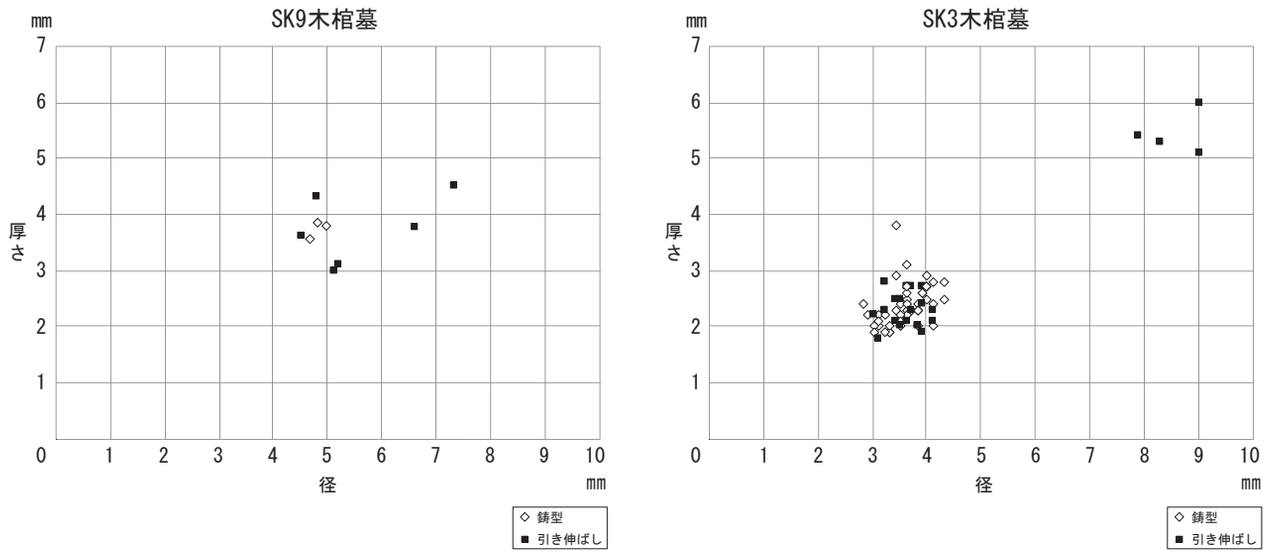
（2）観察結果

色調は、SK9木棺墓出土のガラス小玉は、青7点（半透明5点、不透明2点）、青緑1点、緑1点、SK3木棺墓出土のガラス小玉は、青54点（半透明52点、不透明2点）、青緑12点、緑6点であった。

ガラス小玉の大きさ、製作技法を出土した遺構別に示したのが第3図である。

製作技法は、SK9木棺墓が鋳型法3点、引き伸ばし法6点、SK3木棺墓が鋳型法46点、引き伸ばし法22点、不明4点であった。製作技法ごとの大きさの分布を見ると、SK9木棺墓の鋳型法は径4.5～5.1㎜、厚さ3.4～4.0㎜、引き伸ばし法は径4.5～7.3㎜、厚さ3.0～4.5㎜の範囲内に分布する。SK3木棺墓の鋳型法は径2.8～4.3㎜、厚さ1.9～3.8㎜の範囲でまとまり、引き伸ばし法は径3.0～4.1㎜、厚さ1.8～2.8㎜のものと、それよりやや大きい径7.9～9.0㎜、厚さ5.1～6.0㎜の2群が確認できる。

ガラス小玉の形状は、いずれも丸味を帯びた形状を呈しており、管状のものは確認されない。



第３図　ガラス小玉の製作技法別の形状分布図

（３）まとめ

両木棺墓出土のガラス小玉の色調は約75％が青で、そのほとんどが半透明であった。次いで、青緑、緑となる。今回は蛍光Ｘ線による化学分析を行っていないため、どのような材料が使用されていたかは不明であるが、色調を見る限り青の色調を示したガラス小玉は同一の材料であると推定される。製作技法は、鋳型法と引き伸ばし法の2種類が確認され、SK9木棺墓では引き伸ばし法によるガラス小玉が多く、SK3木棺墓では鋳型法によるガラス小玉が多い。巻き付け法によるガラス小玉は確認されなかった。形状は、ガラス小玉すべて丸味を帯びる形状であるため、引き伸ばし法で製作されたガラス小玉は再加熱による加工が施されていると考えられる。

第3図を見ると、鋳型法によるガラス小玉は、両木棺墓ともにある程度の範囲に大きさが集中する傾向が見える。引き伸ばし法によるガラス小玉は、SK9木棺墓ではやや広い範囲にまばらに分布するのに対して、SK3木棺墓では明らかに大小2つの規格があることが看取される。出土状況からは確認できないが、装飾的な観点から大小2種類を使い分けていた可能性が考えられる。

第 1 表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧（1）

調査年度	遺構名	地　区	時　代	主な遺構	所収報告書
平成 20 年度（2008）	大野田遺跡	1 区東区	古墳～古代	竪穴遺構 1 基、溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 414 集
平成 20 年度（2008）	大野田遺跡	1 区西区	古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 1 群	第 414 集
			古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 3 群	
平成 17 年度（2005）	元袋遺跡	1 区	近世	井戸跡 1 基、溝跡 1 条	第 455 集
			中世	溝跡 1 条、火葬遺構 2 基	
			古墳～古代	竪穴住居跡 4 軒、溝跡 22 条、小溝状遺構群 26 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 19 年度（2007）	元袋遺跡	2 区	古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 2 群	第 455 集
			古墳～古代	溝跡 9 条、小溝状遺構群 4 群	
平成 20 年度（2008）	元袋遺跡	3A 区	–	–	第 414 集
平成 20 年度（2008）	元袋遺跡	3B 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 414 集
			古墳～古代	溝跡 4 条	
平成 22 年度（2010）	元袋遺跡	4 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 456 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、井戸跡 1 基、小溝状遺構群 3 群	
平成 9 年度（1997）	六反田遺跡	1A ～ C 区	古代	竪穴住居跡 2 軒、竪穴遺構 1 基、掘立柱建物跡 6 棟、柱列 3 列、小溝状遺構群 11群	第 243 集
平成 17 年度（2005）	六反田遺跡	2A 区	古墳～古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 3 群	第 455 集
平成 17 年度（2005）	六反田遺跡	2B 区	古墳～古代	溝跡 4 条、小溝状遺構群 4 群	第 455 集
平成 18 年度（2006）	六反田遺跡	3A 区	古代	竪穴住居跡 5 軒	第 455 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 13 条、小溝状遺構群 24 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 18 年度（2006）	六反田遺跡	3B 区	–	–	第 455 集
平成 18 年度（2006）	六反田遺跡	3C 区	古墳～古代	溝跡 1 条	第 455 集
平成 19 年度（2007）	六反田遺跡	4A 区	古代	竪穴住居跡 4 軒、溝跡 1 条	第 455 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 21 条、小溝状遺構群 7 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 19 年度（2007）	六反田遺跡	4B 区	古代	溝跡 1 条	第 455 集
			古墳～古代	溝跡 15 条、小溝状遺構群 6 群	
平成 20 年度（2008）	六反田遺跡	5A 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 455 集
			古墳～古代	溝跡 10 条、小溝状遺構群 4 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 20 年度（2008）	六反田遺跡	5B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	第 455 集
平成 20 年度（2008）	六反田遺跡	5C 区	古代	竪穴住居跡 2 軒	第 455 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 15 条、小溝状遺構群 10 群	
平成 20 年度（2008）	六反田遺跡	5D 区	–	–	第 455 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6A 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 455 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 4 軒、溝跡 8 条、小溝状遺構群 6 群	
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6B 区	中世	土器埋設遺構 1 基	第 455 集
			古代	竪穴住居跡 2 軒、小溝状遺構群 1 群	
			古墳～古代	溝跡 31 条	
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	6B5 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6C 南区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	6C 北区	古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	6D1 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	6D2 区	古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6E 区	古代	竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 2 棟、小溝状遺構群 6 群	第 455 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6F 区	古墳～古代	溝跡 2 条	第 455 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡	6G 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 3 群	第 455 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7A1 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7A2 西区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7A2 中区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7A2 東区	古墳～古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7A3 区	古墳～古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7B1 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 3 群	第 456 集

第 2 表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧（2）

調査年度	遺構名	地　区	時　代	主な遺構	所収報告書
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7B2 区	古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 1 条、小溝状遺構群 5 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7B3 区	古墳～古代	小溝状遺構群 4 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7B4 区	古墳～古代	溝跡 4 条、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7B5 区	古墳～古代	溝跡 4 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7C 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 456 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 4 群	
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7E 区	古代	小溝状遺構群 1 群	第 456 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 2 棟、小溝状遺構群 2 群	
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7F1 北区	古代	竪穴住居跡 7 軒、小溝状遺構群 4 群	第 456 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、掘立柱建物跡 6 棟、柱列 1 列、溝跡 6 条、小溝状遺構群 4 群	
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7F1 中区	古墳～古代	竪穴住居跡 2 軒、溝跡 6 条、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7F1 南区	古墳～古代	木棺墓 1 基、溝跡 9 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
			古墳	古墳 1 基、木棺墓 1 基	
平成 23 年度（2011）	六反田遺跡	7F2 東区	古墳～古代	掘立柱建物跡 2 棟、掘立柱建物跡 3 棟、溝跡 10 条、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
			古墳	木棺墓 2 基	
			縄文	竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 1 棟	
平成 23 年度（2011）	六反田遺跡	7F2 西区	古代	竪穴住居跡 5 軒	第 456 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 9 軒、掘立柱建物跡 4 棟、小溝状遺構群 2 群	
			古墳	竪穴住居跡 3 軒	
			縄文	竪穴住居跡 7 軒、竪穴遺構 1 基、掘立柱建物跡 4 棟、柱列 1 列、配石遺構 5 基、埋設土器遺構 6 基	
平成 22 年度（2010）	六反田遺跡	7G 区	古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 24 年度（2012）	六反田遺跡	8B 区	古代	竪穴遺構 1 基、掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 5 条	第 456 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、柱列 1 列、小溝状遺構群 3 群	
平成 25 年度（2013）	六反田遺跡	8C 区	古代	竪穴住居跡 1 軒、掘立柱建物跡 4 棟、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、小溝状遺構群 3 群	
			古墳	竪穴住居跡 3 軒	
平成 23 年度（2011）	六反田遺跡	8D 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 24 年度（2012）	六反田遺跡	9 区	古代	溝跡 3 条	第 456 集
			古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 2 群	
平成 17 年度（2005）	伊古田遺跡	1 区	古代	竪穴住居跡 2 軒	第 413 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 13 条	
平成 18 年度（2006）	伊古田遺跡	2A 区	古墳～古代	溝跡 1 条	第 413 集
平成 18 年度（2006）	伊古田遺跡	2B 区	古代	竪穴住居跡 3 軒、掘立柱建物跡 1 棟	第 413 集
			古墳～古代	溝跡 8 条	
平成 21 年度（2009）	伊古田遺跡	3 区	古代	竪穴遺構 1 基、溝跡 5 条、小溝状遺構群 1 群	第 414 集
			古墳～古代	溝跡 2 条	
			古墳	竪穴住居跡 2 軒	
平成 23 年度（2011）	伊古田遺跡	4A1・2 区	中世	竪穴建物跡 6 棟	第 456 集
			古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 7 条、小溝状遺構群 3 群	
			古墳～古代	竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 2 棟、溝跡 16 条、小溝状遺構群 3 群	
平成 23 年度（2011）	伊古田遺跡	5A1 区	古代	竪穴住居跡 1 軒、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	
平成 23 年度（2011）	伊古田遺跡	5A2 区	古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 23 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 23 年度（2011）	伊古田遺跡	5A3 区	–	–	第 456 集
平成 23 年度（2011）	伊古田遺跡	5B 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 456 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 4 軒、竪穴遺構 1 基、溝跡 9 条、小溝状遺構群 4 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒、竪穴遺構 1 基	
平成 24 年度（2012）	伊古田遺跡	6 区	–	–	第 456 集
平成 19 年度（2007）	春日社古墳	–	古墳	古墳 1 基	第 390 集
平成 15 年度（2003）	王ノ壇古墳	–	古墳～古代	小溝状遺構群 4 群	第 390 集
			古墳	古墳 1 基	
平成 7 年度（1995）	大野田古墳群	1A ～ F 区	古墳	古墳 8 基	第 243 集
			古墳～古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 12 群	
平成 8 年度（1996）	大野田古墳群	2A ～ I 区	古墳～古代	小溝状遺構群 32 群	第 243 集
			古墳	古墳 5 基、竪穴住居跡 1 軒	
平成 9 年度（1997）	大野田古墳群	3A ～ 0 区	古代	水田跡	第 243 集
			古墳～古代	溝跡 4 条、小溝状遺構群 30 群	
			古墳	古墳 3 基、木棺墓 1 基	
平成 10 年度（1998）	大野田古墳群	4A ～ C 区	古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 15 群	第 243 集
平成 12 年度（2000）	大野田古墳群	5A 区	古墳～古代	柵列 2 列、小溝状遺構群 1 群	第 390 集

第 3 表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧（3）

調査年度	遺構名	地　区	時　代	主な遺構	所収報告書
平成 13 年度（2001）	大野田古墳群	6A 区	–	–	第 390 集
平成 13 年度（2001）	大野田古墳群	6B 区	古墳～古代	溝跡 1 条	第 390 集
平成 13 年度（2001）	大野田古墳群	6C 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 14 年度（2002）	大野田古墳群	7 区	近世	掘立柱建物跡 1 棟	第 390 集
			古墳～古代	溝跡 19 条、小溝状遺構群 3 群	
			古墳	古墳 1 基、竪穴住居跡 3 軒	
平成 15 年度（2003）	大野田古墳群	8A 区	古代	溝跡 5 条	第 390 集
			古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 4 群	
			古墳	古墳 1 基	
平成 15 年度（2003）	大野田古墳群	8B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 16 年度（2004）	大野田古墳群	9A 区	古墳～古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 5 群	第 390 集
			古墳	木棺墓 2 基	
平成 16 年度（2004）	大野田古墳群	9B 区	古墳～古代	溝跡 5 条、小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 17 年度（2005）	大野田古墳群	10 区	古墳	小溝状遺構群 2 群	第 413 集
平成 18 年度（2006）	大野田古墳群	11A 区	古墳～古代	溝跡 10 条、小溝状遺構群 9 群	第 455 集
			古墳	古墳 4 基	
平成 18 年度（2006）	大野田古墳群	11B 区	古代	溝跡 5 条、小溝状遺構群 5 群	第 455 集
			古墳～古代	溝跡 17 条、小溝状遺構群 21 群	
平成 18 年度（2006）	大野田古墳群	11C 区	古墳～古代	溝跡 25 条、小溝状遺構群 2 群	第 455 集
			古墳	古墳 1 基	
平成 18 年度（2006）	大野田古墳群	11D 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 455 集
平成 19 年度（2007）	大野田古墳群	12A 区	古墳～古代	井戸跡 1 基、溝跡 79 条、小溝状遺構群 33 群	第 455 集
			古墳	古墳 7 基、木棺墓 1 基、土壙墓 3 基、竪穴住居跡 6 軒	
平成 19 年度（2007）	大野田古墳群	12B 区	古墳～古代	溝跡 10 条、小溝状遺構群 4 群	第 455 集
平成 19 年度（2007）	大野田古墳群	12C 区	古墳～古代	溝跡 5 条、小溝状遺構群 3 群	第 455 集
平成 19 年度（2007）	大野田古墳群	12D 区	古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 4 群	第 455 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13A 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 455 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13B 区	古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 6 群	第 455 集
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13C 区	古墳～古代	溝跡 3 条	第 455 集
			古墳	古墳 1 基	
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13D 区	古代	溝跡 5 条	第 455 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13E 区	古代	溝跡 3 条	第 455 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 11 群	
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群	13F 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 4 群	第 455 集
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群	14A 区	古代	溝跡 1 条	第 455 集
			古墳～古代	竪穴遺構 1 基、溝跡 3 条、小溝状遺構群 4 群	
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群	14B 区	古代	溝跡 12 条、小溝状遺構群 1 群	第 455 集
			古墳～古代	溝跡 22 条、小溝状遺構群 11 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群	14C 区	古代	溝跡 5 条	第 455 集
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群	14D 区	古墳～古代	小溝状遺構群 4 群	第 455 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群	14E 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 1 群	第 455 集
平成 22 年度（2010）	大野田古墳群	15A 区	古墳～古代	掘立柱建物跡 4 棟、溝跡 20 条、小溝状遺構群 6 群	第 456 集
平成 22 年度（2010）	大野田古墳群	15B 区	–	–	第 456 集
平成 22 年度（2010）	大野田古墳群	15C 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 456 集
			古墳～古代	溝跡 14 条、小溝状遺構群 1 群	
平成 22 年度（2010）	大野田古墳群	15D 区	古墳	古墳 1 基	第 456 集
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16A1 区	古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	第 456 集
平成 24 年度（2012）	大野田古墳群	16A1 西区	古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16A2 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16A3 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集

第 4 表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧（4）

調査年度	遺構名	地　区	時　代	主な遺構	所収報告書
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16B 区	古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 2 群	第 456 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16C 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 456 集
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16D 区	古代	溝跡 4 条	第 456 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	
平成 23 年度（2011）	大野田古墳群	16E 区	–	–	第 456 集
平成 24 年度（2012）	大野田古墳群	17A 区	古墳～古代	竪穴住居跡 1 軒、溝跡 4 条、小溝状遺構群 3 群	第 456 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
			縄文	竪穴住居跡 1 軒	
平成 24 年度（2012）	大野田古墳群	17B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	第 456 集
平成 11 年度（1999）	下ノ内遺跡	1A 区	古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 11 年度（1999）	下ノ内遺跡	1B 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 390 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 2 棟、溝跡 2 条、小溝状遺構群 5 群	
			古墳	竪穴住居跡 2 軒	
			縄文	竪穴住居跡 1 軒、掘立柱建物跡 1 棟、埋設土器遺構 5 基	
平成 11 年度（1999）	下ノ内遺跡	1C 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 390 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 4 群、水田跡	
平成 11 年度（1999）	下ノ内遺跡	1D 区	–	–	第 390 集
平成 12 年度（2000）	下ノ内遺跡	2A 区	–	–	第 390 集
平成 12 年度（2000）	下ノ内遺跡	2B 区	–	–	第 390 集
平成 12 年度（2000）	下ノ内遺跡	2C 区	古墳～古代	竪穴住居跡 4 軒、溝跡 3 条、小溝状遺構群 4 群	第 390 集
			縄文	竪穴住居跡 2 軒、埋設土器遺構 4 基	
平成 13 年度（2001）	下ノ内遺跡	3A 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 390 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	
平成 14 年度（2002）	下ノ内遺跡	4A 区	古代	竪穴住居跡 4 軒	第 390 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
			縄文	埋設土器遺構 1 基	
平成 14 年度（2002）	下ノ内遺跡	4B 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 390 集
平成 15 年度（2003）	下ノ内遺跡	5A・B 区	古墳～古代	溝跡 3 条	第 390 集
平成 17 年度（2005）	下ノ内遺跡	6 区	古代	竪穴住居跡 2 軒	第 413 集
			古墳～古代	溝跡 10 条、小溝状遺構群 3 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 18 年度（2006）	下ノ内遺跡	7A 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 413 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 15 条、小溝状遺構群 6 群	
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 18 年度（2006）	下ノ内遺跡	7B 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 413 集
平成 19 年度（2007）	下ノ内遺跡	8 区	古代	竪穴住居跡 2 基、溝跡 1 条	第 414・455 集
			古墳～古代	竪穴住居跡 5 基、掘立柱建物跡 1 棟、柱列 1 列、溝跡 13 条、小溝状遺構群 22 群	
			古墳	竪穴住居跡 4 軒、溝跡 8 条、小溝状遺構群 6 群	
			縄文	埋設土器遺構 2 基、炉跡 2 基	
平成 20 年度（2008）	下ノ内遺跡	8 区	縄文	竪穴住居跡 7 軒、埋設土器遺構 3 基	第 414・455 集
平成 20 年度（2008）	下ノ内遺跡	9 区	古墳～古代	竪穴住居跡 5 基、溝跡 16 条	第 455 集
			縄文	竪穴住居跡 1 軒	
平成 21 年度（2009）	下ノ内遺跡	10 区	古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	第 455 集
平成 8 年度（1996）	王ノ壇遺跡	1 区、1 ～ 14 ﾄﾚﾝﾁ	中世	道路跡 2 条	第 243 集
			古墳～古代	溝跡 3 条、小溝状遺構群 6 群	
			古墳	古墳 1 基	
平成 20 年度（2008）	皿屋敷遺跡	1 区	–	–	第 414 集
平成 10 年度（1998）	袋前遺跡	1A 区	古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 5 条	第 390 集
平成 10 年度（1998）	袋前遺跡	1B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 13 年度（2001）	袋前遺跡	2A 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 13 年度（2001）	袋前遺跡	2B 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 3 群	第 390 集
平成 15 年度（2003）	袋前遺跡	3 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 3 群	第 390 集
			古墳	竪穴住居跡 1 軒	
平成 16 年度（2004）	袋前遺跡	4A 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 1 群	第 390 集
平成 16 年度（2004）	袋前遺跡	4B 区	古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 1 群	第 390 集

第 5 表　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡報告書別調査成果一覧（5）

調査年度	遺構名	地　区	時　代	主な遺構	所収報告書
平成 19 年度（2007）	袋前遺跡	5 区	古代	溝跡 3 条	第 414 集
平成 22 年度（2010）	袋前遺跡	6 区	古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	第 456 集
平成 10 年度（1998）	伊古田 B 遺跡	1A 区	古代	水田跡	第 390 集
			古墳～古代	溝跡 1 条、小溝状遺構群 2 群	
平成 10 年度（1998）	伊古田 B 遺跡	1B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 10 年度（1998）	伊古田 B 遺跡	1C 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 14 年度（2002）	伊古田 B 遺跡	2A 区	–	–	第 390 集
平成 14 年度（2002）	伊古田 B 遺跡	2B 区	古墳～古代	小溝状遺構群 1 群	第 390 集
平成 14 年度（2002）	伊古田 B 遺跡	2C 区	古墳～古代	溝跡 1 条	第 390 集
平成 16 年度（2004）	伊古田 B 遺跡	3 区	古墳～古代	小溝状遺構群 2 群	第 390 集
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4A1 区	古代	小溝状遺構群 1 群、水田跡	第 414 集
			古墳～古代	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 2 条	
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4A2 区	古代	竪穴住居跡 1 軒	第 414 集
			古墳～古代	小溝状遺構群 3 群	
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4A3 区	–	–	第 414 集
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4B1 区	古代	小溝状遺構群 2 群	第 414 集
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4B2 区	古代	溝跡 2 条、小溝状遺構群 4 群、水田跡	第 414 集
			古墳～古代	溝跡 1 条	
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4C 区	古代	小溝状遺構群 3 群	第 414 集
平成 21 年度（2009）	伊古田 B 遺跡	4D 区	古代	小溝状遺構群 2 群	第 414 集
平成 22 年度（2010）	伊古田 B 遺跡	5 区	古墳～古代	溝跡 5 条、小溝状遺構群 1 群	第 456 集
平成 13 年度（2001）	袋前遺跡（大野田官衙遺跡）	2A 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟	第 390 集
平成 13 年度（2001）	袋前遺跡（大野田官衙遺跡）	2B 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟	第 390 集
平成 15 年度（2003）	袋前遺跡（大野田官衙遺跡）	3 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟	第 390 集
平成 17 年度（2005）	六反田遺跡（大野田官衙遺跡）	2B 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 20 年度（2008）	六反田遺跡（大野田官衙遺跡）	5C 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟、官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 21 年度（2009）	六反田遺跡（大野田官衙遺跡）	6A 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 12 年度（2000）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	5A 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 15 年度（2003）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	8A 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 16 年度（2004）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	9A 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟	第 390 集
平成 18 年度（2006）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	11D 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	13B 区	古代	掘立柱建物跡 1 棟、官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 20 年度（2008）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	13C 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集
平成 21 年度（2009）	大野田古墳群（大野田官衙遺跡）	14B 区	古代	官衙関連区画溝跡 1 条	第 390 集

＊基本的に溝跡や小溝状遺構群など複数地区にまたがる遺構については、各地区でそれぞれ数えた。
＊古墳は、複数地区にまたがる場合、主要部分が位置する地区のものとして扱った。
＊竪穴住居跡と竪穴建物跡については、建て替えや拡張を行っているものも 1 軒として数えた。
＊大野田官衙遺跡に関連する掘立柱建物跡と区画溝跡は、該当する遺跡から除外して大野田官衙遺跡の遺構として扱った。

引用・参考文献

青森県史編さん古代部会編　2008 『青森県史 資料編 古代 2 出土文字資料』 青森県

岩手考古学第 29 回研究大会　2002　発表要旨　岩手県を取り巻く続縄文文化

大田区立郷土博物館　2001 『ものづくり考古学－原始・古代の人々の知恵と工夫－』 東京美術

小田幸子　1980 「ガラス工」『新版考古学講座』第 9 巻　雄山閣

縄文セミナーの会編　2002 『後期前半の再検討』第 15 回縄文セミナー

鈴木恵介・掘木真美子　2015 「古墳時代後期ガラス小玉の製作技法－矢作川左岸地域 3 遺跡の分析から－」『研究紀要』第 16 号　愛知県埋蔵文化財センター

仙台市教育委員会　1981　『六反田遺跡発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第 34 集

1982　『年報 3　昭和 56 年度』 仙台市文化財調査報告書第 41 集

1987a 『六反田遺跡発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第 102 集

1987b 『春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第 108 集

1990　『下ノ内遺跡－仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ－』 仙台市文化財調査報告書第 136 集

1995a 『伊古田遺跡－仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ－』 仙台市文化財調査報告書第 193 集

1995b 『六反田遺跡－仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅳ－』 仙台市文化財調査報告書第 199 集

1996　『下の内浦・山口遺跡－仙台市高速鉄道関連遺跡発掘調査報告書Ⅴ－』 仙台市文化財調査報告書第 207 集

1998　『原遺跡－第 1・2 次発掘調査報告書－』 仙台市文化財調査報告書第 229 集

2000a 『大野田古墳群・王ノ壇遺跡・六反田遺跡』 仙台市文化財調査報告書第 243 集

2000b 『王ノ壇遺跡－都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡－発掘調査報告書Ⅰ』仙台市文化財調査報告書第 249 集

2002　『原遺跡－第 4 次発掘調査報告書－』 仙台市文化財調査報告書第 257 集

2004　『元袋遺跡－都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡－発掘調査報告書Ⅱ』仙台市文化財調査報告書第 272 集

2005　『大野田古墳群－第 8 次発掘調査報告書－』 仙台市文化財調査報告書第 290 集

2009　『大野田古墳群－第 14 次発掘調査報告書－』 仙台市文化財調査報告書第 339 集

2011a 『下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか』 仙台市文化財調査報告書第 390 集

2011b 『郡山遺跡　31』 平成 22 年度発掘調査概報　仙台市文化財調査報告書第 394 集

2013a 『伊古田遺跡・大野田古墳群・下ノ内遺跡』 仙台市文化財調査報告書第 413 集

2013b 『大野田遺跡・元袋遺跡・伊古田遺跡ほか』 仙台市文化財調査報告書第 414 集

2014　『大野田遺跡－都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡－発掘調査報告書Ⅲ』仙台市文化財調査報告書第 424 集

2017　『元袋遺跡・六反田遺跡・大野田古墳群ほか』 仙台市文化財調査報告書第 455 集

仙台市史編さん委員会編　1995 『仙台市史 特別編 2 考古資料』 仙台市

仙台市史編さん委員会編　1999 『仙台市史 通史編 1 原始』 仙台市

辻　秀人　2007 『古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究（課題番号：15320111）』平成 15 年度～18 年度科学研究費補助金（基礎研究 B）研究成果報告書　東北学院大学文学部

奈良文化財研究所飛鳥資料館　2016 『飛鳥寺跡出土遺物の研究　ガラス玉類の考古学的研究』 飛鳥資料館研究図録第 19 冊

藤田　等　1994 『弥生時代ガラスの研究－考古学的方法－』 名著出版

宮崎町教育委員会　1996 『米泉館跡』 宮崎町文化財調査報告書第 5 集

山形市教育委員会　1991 『菅沢 2 号墳』 山形市教育委員会

報 告 書 抄 録

ふ り が な	もとぶくろいせき・ろくたんだいせき・いこだいせきほか
書　　名	元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか
副 書 名	仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅵ
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書
シリーズ番号	第 456 集
編 著 者 名	主濱光朗・荒井　格・水野一夫・結城慎一・工藤信一郎・渡部弘美・湯原勝美・千田幸生・上田優喜
編 集 機 関	仙台市教育委員会
所 在 地	〒 980-0011　宮城県仙台市青葉区上杉一丁目 5 番 12 号 上杉分庁舎　　TEL 022-214-8899
発行年月日	2017 年（平成 29 年）3 月 24 日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
元袋遺跡（もとぶくろいせき）	宮城県仙台市太白区大野田字元袋（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざもとぶくろ）	04100	01179	38° 13′ 7″	140° 52′ 33″	2010.07.02 ～ 2010.08.18	約 195 ㎡	区画整理事業 市道建設
六反田遺跡（ろくたんだいせき）	宮城県仙台市太白区大野田字五反田・竹松・袋前・元袋・六反田（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざごたんだたけまつふくろまえもとぶくろろくたんだ）	04100	01189	38° 12′ 53″ ～ 38° 13′ 6″	140° 52′ 16″ ～ 140° 52′ 38″	2009.03.01 ～ 2013.09.30	約 9,440 ㎡	区画整理事業 市道建設
伊古田遺跡（いこだいせき）	宮城県仙台市太白区大野田字千刈田・塚田（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざせんがりだつかだ）	04100	01191	38° 12′ 50″ ～ 38° 12′ 53″	140° 52′ 15″ ～ 140° 52′ 19″	2010.11.08 ～ 2012.08.23	約 3,145 ㎡	区画整理事業 市道建設
大野田古墳群（おおのだこふんぐん）	宮城県仙台市太白区大野田字王ノ檀・千刈田・竹松・宮・宮脇（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざおうのだんせんがりだたけまつみやみやわき）	04100	01361	38° 12′ 47″ ～ 38° 12′ 57″	140° 52′ 19″ ～ 140° 52′ 37″	2010.04.26 ～ 2012.10.26	約 3,585 ㎡	区画整理事業 市道建設
袋前遺跡（ふくろまえいせき）	宮城県仙台市太白区大野田字袋前（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざふくろまえ）	04100	01439	38° 12′ 57″	140° 52′ 37″	2010.10.20 ～ 2010.11.08	約 48 ㎡	区画整理事業 市道建設
伊古田 B 遺跡（いこだいせき）	宮城県仙台市太白区大野田字皿屋敷（みやぎけんせんだいしたいはくくおおのだあざさらやしき）	04100	01480	38° 12′ 40″ ～ 38° 12′ 41″	140° 52′ 26″ ～ 140° 52′ 27″	2010.08.18 ～ 2010.09.08	約 142 ㎡	区画整理事業 市道建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元袋遺跡	集落跡・畑跡	古代	竪穴住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡・土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット	弥生土器・土師器・須恵器・土製品	
六反田遺跡	集落跡・畑跡・墓跡	縄文時代・古墳時代～古代	古墳・竪穴住居跡・掘立柱建物跡・木棺墓・土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット・石組遺構・集石遺構・埋設土器遺構	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・赤焼土器・灰釉陶器・瓦質土器・土製品・石器・石製品・金属製品・ガラス製品	7F1 南区から袋状掘り込みを伴う SK9 木棺墓を検出した。木棺墓内からは銅鏡、管玉、ガラス小玉が出土し、袋状掘り込み内から 6 世紀中葉頃の土師器坏と壺がが出土した。

伊古田遺跡	集落跡 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代 ・ 中世	竪穴住居跡・竪穴建物跡・掘立柱建物跡・土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・赤焼土器・灰釉陶器・陶器・土製品・石器・石製品・金属製品	中世の竪穴建物跡を 6 棟検出した。
大野田古墳群	古墳群 ・ 集落跡 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	古墳・竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・溝跡・小溝状遺構群・ピット	縄文土器・弥生土器・埴輪・土師器・須恵器・赤焼土器・青白磁・陶器・土製品・石器・石製品	15A 区 SK80・83 土坑から「方」と墨書された土器が出土した。
袋前遺跡	包蔵地 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	土坑・小溝状遺構群・ピット	土師器・須恵器	
伊古田 B 遺跡	包蔵地 ・ 畑跡	古墳時代 ～古代	溝跡・小溝状遺構群・ピット	土師器・須恵器	
要　　約	元袋遺跡 Ⅳ区Ⅴ層から性格不明遺構を検出した。南北方向に伸びる不整形な溝跡で、約 1.5 m間隔で平行して検出し、底面の凹凸が著しく、人為的に埋め戻されたものと考えられ、畑作関連の遺構と推測される。 六反田遺跡 7F2 西区のⅧa ～Ⅷd 層にかけて縄文時代後期初頭～前葉にかけての遺物包含層や遺構を検出した。 8C 区から古墳時代、4 世紀頃の区画溝と考えられる、SD58 溝跡を検出した。 7F1 南区と 7F2 東区から五反田古墳の周溝を検出した。周溝内から大野田古墳群と同時期の円筒埴輪が出土したことから、時期は 5 世紀後半頃と考えられる。 7F1 南区と 7F2 東区から木棺墓を 3 基検出した。SK9 木棺墓からは副葬品として銅鏡、管玉、ガラス小玉が出土したほか、袋状掘り込み内から 6 世紀中葉頃の土器が出土した。 7G 区検出の SD1 溝跡は大野田官衙遺跡の西側区画溝である。 7F1 北区の SI45 竪穴住居跡から「取」の字が記された墨書土器が出土した。時期は 9 世紀後半頃と考えられる。 伊古田遺跡 4A2 区から中世の竪穴建物跡 6 棟を検出した。 大野田古墳群 16C1・2 区から大野田 1・2 号墳の周溝を検出し、周溝内から 5 世紀後半頃の円筒埴輪や朝顔形埴輪が出土した。 15C2 区検出の SD30 溝跡は大野田官衙遺跡の南側区画溝である。 15A 区 SK80・83 土坑から「方」の字が記された墨書土器が出土した。時期は 9 世紀後半頃と考えられる。 袋前遺跡 Ⅴ層上面から古墳時代～古代と考えられる土坑や小溝状遺構群を検出した。 伊古田 B 遺跡 Ⅳa・Ⅳb 層上面から古代と考えられる溝跡や小溝状遺構群を検出した。				

仙台市文化財調査報告書第456集

元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか

仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡
発掘調査報告書Ⅵ

〔第２分冊〕

2017年3月

発行　仙台市教育委員会
宮城県仙台市青葉区上杉一丁目5番12号 上杉分庁舎
文化財課　022(214)8899

印刷　株式会社ライフ
千葉県成田市東和田595
TEL 0476(24)1564